

平成21年度つくば市一般会計予算執行の概要について

平成21年度は、「少子・高齢化対策」、「安心・安全対策」、「環境・温暖化対策」、「日本一の教育都市への取組」、「自立都市への取組」などを主要施策の柱とし、まちづくりに取り組みました。

予算については、人口増加や高齢化の進展などにより行財政需要が増加する中、景気低迷の影響により法人市民税の大幅な減少が見込まれるという厳しい財政状況下であったため、施策の厳選を徹底し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めました。

一般会計決算については、歳入が72,855,814千円（前年度比11.6%、7,584,129千円増）、歳出が69,258,123千円（前年度比10.0%、6,317,694千円増）となり、歳入歳出ともに前年度を上回る決算規模となりました。これは、歳入においては、国庫支出金と市債の増加により、歳出においては、平成19年度より開始した新庁舎建設事業が最終年度を迎え、事業費が増加したことによるものです。

歳入面での特徴を見ますと、市税については、人口の増加やつくばエクスプレス関連の開発により、個人市民税と固定資産税は増加しましたが、法人市民税の減少により、前年度比1.6%、628,095千円減の37,980,275千円となりました。国庫支出金については、定額給付金給付費補助金などにより、前年度比60.7%、2,919,107千円増の7,729,120千円となりました。

市債は、新庁舎建設事業及び健康づくり拠点整備事業といった大型継続費事業が最終年度を迎えたことにより、前年度比94.3%、4,695,870千円増の9,675,908千円となっています。

歳出面では、総務費が大幅に増加しており、新庁舎建設事業、定額給付金により、前年度比84.3%、6,436,191千円増の14,072,483千円となっています。大幅に減少したのは、諸支出金で、償還元金、基金積立金の減少により、前年度比76.1%、1,337,418千円減の418,913千円となっています。

この結果、収支状況は、実質収支、単年度収支及び実質単年度収支が共に黒字となりました。また、経常収支比率は88.8%となり、公債費負担比率と起債制限比率はそれぞれ13.9%、9.0%となっています。

以上、平成21年度つくば市一般会計決算の概要であります。主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

平成 21 年度 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	平成 21 年度 A	平成 20 年度 B	差引増減額 A - B	増 減 率
歳 入 総 額 C	72,855,814	65,271,685	7,584,129	11.6
歳 出 総 額 D	69,258,123	62,940,429	6,317,694	10.0
歳 入 歳 出 差 引 額 (C - D) E	3,597,691	2,331,256	1,266,435	54.3
翌年度に繰り越すべき財源 F	901,707	498,879	402,828	80.7
実 質 収 支 (E - F) G	2,695,984	1,832,377	863,607	47.1
単 年 度 収 支 H	863,607	961,857	1,825,464	—
積 立 金 I	86,292	736,785	650,493	88.3
繰 上 償 還 額 J	0	307,255	307,255	皆減
積 立 金 取 崩 し 額 K	162,765	0	162,765	皆増
実 質 単 年 度 収 支 (H+I+J - K) L	787,134	82,183	704,951	—

款 別 歳 入 決 算 額 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	収 入 割 合		
						予 算 対	調 定 対	歳 入 計
市 税	21	37,150,203	41,855,759	37,980,275	830,072	102.2%	90.7%	52.1%
	20	38,034,922	42,085,187	38,608,370	573,448	101.5%	91.7%	59.2%
地 方 譲 与 税	21	1,097,100	1,036,418	1,036,418	60,682	94.5%	100.0%	1.4%
	20	1,114,900	1,104,313	1,104,313	10,587	99.1%	100.0%	1.7%
利 子 割 交 付 金	21	157,400	115,194	115,194	42,206	73.2%	100.0%	0.2%
	20	165,600	142,227	142,227	23,373	85.9%	100.0%	0.2%
配 当 割 交 付 金	21	48,900	37,078	37,078	11,822	75.8%	100.0%	0.1%
	20	59,254	49,184	49,184	10,070	83.0%	100.0%	0.1%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	21	19,800	21,146	21,146	1,346	106.8%	100.0%	0.0%
	20	87,100	22,522	22,522	64,578	25.9%	100.0%	0.0%
地 方 消 費 税 交 付 金	21	2,158,500	2,054,134	2,054,134	104,366	95.2%	100.0%	2.8%
	20	1,998,000	1,960,136	1,960,136	37,864	98.1%	100.0%	3.0%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	21	99,981	104,735	104,735	4,754	104.8%	100.0%	0.1%
	20	128,527	122,376	122,376	6,151	95.2%	100.0%	0.2%
自 動 車 取 得 税 交 付 金	21	288,200	261,044	261,044	27,156	90.6%	100.0%	0.4%
	20	424,400	462,863	462,863	38,463	109.1%	100.0%	0.7%
地 方 特 例 交 付 金	21	453,040	453,040	453,040	0	100.0%	100.0%	0.6%
	20	414,770	414,770	414,770	0	100.0%	100.0%	0.6%
地 方 交 付 税	21	1,462,493	1,818,863	1,818,863	356,370	124.4%	100.0%	2.5%
	20	1,530,677	1,656,925	1,656,925	126,248	108.2%	100.0%	2.5%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	21	45,000	43,429	43,429	1,571	96.5%	100.0%	0.1%
	20	49,000	44,362	44,362	4,638	90.5%	100.0%	0.1%
分 担 金 及 び 負 担 金	21	1,196,903	1,338,203	1,170,693	26,210	97.8%	87.5%	1.6%
	20	1,167,978	1,324,692	1,174,214	6,236	100.5%	88.6%	1.8%
使 用 料 及 び 手 数 料	21	1,288,689	1,485,312	1,276,116	12,573	99.0%	85.9%	1.8%
	20	1,373,328	1,487,741	1,293,386	79,942	94.2%	86.9%	2.0%
国 庫 支 出 金	21	8,919,873	8,721,523	7,729,120	1,190,753	86.7%	88.6%	10.6%
	20	8,206,124	8,217,048	4,810,013	3,396,111	58.6%	58.5%	7.4%
県 支 出 金	21	2,909,042	2,764,900	2,753,017	156,025	94.6%	99.6%	3.8%
	20	2,438,411	2,454,062	2,454,062	15,651	100.6%	100.0%	3.8%
財 産 収 入	21	78,655	100,630	100,582	21,927	127.9%	100.0%	0.1%
	20	130,281	141,078	141,030	10,749	108.3%	100.0%	0.2%
寄 附 金	21	5,994	8,714	8,714	2,720	145.4%	100.0%	0.0%
	20	3,059	4,672	4,672	1,613	152.7%	100.0%	0.0%
繰 入 金	21	2,003,436	2,003,436	2,003,436	0	100.0%	100.0%	2.7%
	20	853,075	832,399	832,399	20,676	97.6%	100.0%	1.3%
繰 越 金	21	2,331,256	2,331,256	2,331,256	0	100.0%	100.0%	3.2%
	20	3,214,325	3,214,325	3,214,325	0	100.0%	100.0%	4.9%
諸 収 入	21	1,873,303	1,950,186	1,881,616	8,313	100.4%	96.5%	2.6%
	20	1,771,958	1,844,955	1,779,498	7,540	100.4%	96.5%	2.7%
市 債	21	10,931,572	9,675,908	9,675,908	1,255,664	88.5%	100.0%	13.3%
	20	5,343,574	4,980,038	4,980,038	363,536	93.2%	100.0%	7.6%
歳 入 合 計	21	74,519,340	78,180,908	72,855,814	1,663,526	97.8%	93.2%	100.0%
	20	68,509,263	72,565,875	65,271,685	3,237,578	95.3%	89.9%	100.0%

市 税 収 入 実 績 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	徴 収 率
市 民 税	21	現年課税分	18,309,853	18,831,974	18,384,834	697	447,898	97.6%
		滞納繰越分	165,661	1,422,283	177,208	107,649	1,137,516	12.5%
		計	18,475,514	20,254,257	18,562,042	108,346	1,585,414	91.6%
	20	現年課税分	19,306,966	19,675,444	19,289,479	378	387,903	98.0%
		滞納繰越分	158,744	1,283,894	178,420	74,661	1,030,876	13.9%
		計	19,465,710	20,959,338	19,467,899	75,039	1,418,779	92.9%
固 定 資 産 税	21	現年課税分	15,635,290	16,827,937	16,307,563	1,127	519,676	96.9%
		滞納繰越分	200,844	1,740,328	229,910	84,040	1,426,513	13.2%
		計	15,836,134	18,568,265	16,537,473	85,167	1,946,189	89.1%
	20	現年課税分	15,639,754	16,528,002	16,060,080	2,485	465,747	97.2%
		滞納繰越分	215,183	1,600,009	201,810	123,463	1,274,736	12.6%
		計	15,854,937	18,128,011	16,261,890	125,948	1,740,483	89.7%
軽自動車税	21	現年課税分	235,580	265,696	250,652	21	15,036	94.3%
		滞納繰越分	6,389	48,317	6,902	4,610	36,812	14.3%
		計	241,969	314,013	257,554	4,631	51,848	82.0%
	20	現年課税分	220,091	249,746	236,122	18	13,634	94.5%
		滞納繰越分	6,718	45,369	6,358	4,334	34,677	14.0%
		計	226,809	295,115	242,480	4,352	48,311	82.2%
市 た ば こ 税	21	現年課税分	1,218,009	1,223,254	1,223,254	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-
		計	1,218,009	1,223,254	1,223,254	0	0	100.0%
	20	現年課税分	1,247,769	1,257,228	1,257,228	0	0	100.0%
		滞納繰越分	1	31	31	0	0	100.0%
		計	1,247,770	1,257,259	1,257,259	0	0	100.0%
特 別 土 地 保 有 税	21	現年課税分	1	1,380	975	0	406	70.7%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-
		計	1	1,380	975	0	406	70.7%
	20	現年課税分	1	16	16	0	0	100.0%
		滞納繰越分	1	2,389	0	2,389	0	0.0%
		計	2	2,405	16	2,389	0	0.7%
入 湯 税	21	現年課税分	8,640	8,041	7,584	0	456	94.3%
		滞納繰越分	0	245	245	0	0	-
		計	8,640	8,286	7,829	0	456	94.5%
	20	現年課税分	6,675	8,491	8,246	0	245	97.1%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-
		計	6,675	8,491	8,246	0	245	97.1%
都 市 計 画 税	21	現年課税分	1,361,935	1,422,944	1,378,236	97	44,648	96.9%
		滞納繰越分	8,001	63,360	12,912	196	50,263	20.4%
		計	1,369,936	1,486,304	1,391,148	293	94,911	93.6%
	20	現年課税分	1,228,941	1,404,397	1,363,962	215	40,248	97.1%
		滞納繰越分	4,078	30,171	6,618	440	23,113	21.9%
		計	1,233,019	1,434,568	1,370,580	655	63,361	95.5%
合 計	21	現年課税分	36,769,308	38,581,226	37,553,098	1,942	1,028,120	97.3%
		滞納繰越分	380,895	3,274,533	427,177	196,495	2,651,104	13.0%
		計	37,150,203	41,855,759	37,980,275	198,437	3,679,224	90.7%
	20	現年課税分	37,650,197	39,123,324	38,215,133	3,096	907,777	97.7%
		滞納繰越分	384,725	2,961,863	393,237	205,287	2,363,402	13.3%
		計	38,034,922	42,085,187	38,608,370	208,383	3,271,179	91.7%

収入済額には、還付未済額2,177,238円を含む。

内訳 現年課税分：市民税 1,455,121円、固定資産税 429,132円、軽自動車税 13,200円、都市計画税 36,868円
滞納繰越分：市民税 89,717円、固定資産税 135,352円、軽自動車税 7,200円、都市計画税 10,648円

都市計画税を充当した事業の実施状況

(単位:千円)

区 分		平成 21 年度 決 算 額	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一 般 財 源
			国庫・県支出金	地 方 債	そ の 他	
街 路	建設事業費	121,443	35,500	64,000	0	21,943
	地方債償還金	21,002	0	0	0	21,002
公 園	建設事業費	366,873	129,700	175,200	0	61,973
	地方債償還金	103,630	0	0	0	103,630
市街地 開 発	建設事業費	850,650	0	800,247	0	50,403
	地方債償還金	185,743	0	0	0	185,743
その他	建設事業費	878,208	0	704,600	0	173,608
	地方債償還金	1,871,220	0	0	0	1,871,220
下水道	建設事業費	4,206,625	820,832	3,043,600	260,201	81,992
	地方債償還金	3,534,809	0	0	0	3,534,809
合 計	建設事業費	6,423,799	986,032	4,787,647	260,201	389,919
	地方債償還金	5,716,404	0	0	0	5,716,404
	計	12,140,203	986,032	4,787,647	260,201	(A) 6,106,323
一 般 財 源 の うち 都 市 計 画 税						(B) 1,391,148
充当割合 $\frac{(B)}{(A)} \times 100 (\%)$						22.8%

款 別 歳 出 内 訳

(単位:千円)

区 分	平成 21 年度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 20 年度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 21 年度と 平成 20 年度の 増 減 額	増 減 比 (%)
議 会 費	385,830	0.6	416,665	0.7	30,835	7.4
総 務 費	14,072,483	20.3	7,636,292	12.1	6,436,191	84.3
民 生 費	17,782,442	25.7	17,379,907	27.6	402,535	2.3
衛 生 費	4,142,093	6.0	4,329,540	6.9	187,447	4.3
労 働 費	55,398	0.1	27,131	0.1	28,267	104.2
農 林 水 産 業 費	2,766,270	4.0	2,238,696	3.5	527,574	23.6
商 工 費	709,550	1.0	702,640	1.1	6,910	1.0
土 木 費	9,159,767	13.2	9,130,568	14.5	29,199	0.3
消 防 費	3,070,516	4.4	3,026,167	4.8	44,349	1.5
教 育 費	9,675,286	14.0	8,680,287	13.8	994,999	11.5
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公 債 費	7,019,575	10.1	7,616,205	12.1	596,630	7.8
諸 支 出 金	418,913	0.6	1,756,331	2.8	1,337,418	76.1
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	69,258,123	100.0	62,940,429	100.0	6,317,694	10.0

職 員 数 及 び 人 件 費 の 調

区 分	職 員 数 (人)					職員に要した 人件費(千円)
	一 般 職	単 労 職	教 育 職	医 療 職	計	
議 会 関 係	11				11	91,624
総 務 関 係	230	7			237	3,738,785
税 務 関 係	76				76	525,027
民 生 関 係	392	25		28	445	3,123,605
衛 生 関 係	71	11		30	112	829,050
労 働 関 係	2				2	16,535
農 林 関 係	51				51	408,497
商 工 関 係	30				30	229,530
土 木 関 係	124				124	935,141
消 防 関 係	314				314	2,487,070
教 育 関 係	130	58	91	1	280	2,385,886
合 計	1,431	101	91	59	1,682	14,770,750

職員数は、平成21年4月1日現在

地 方 債 借 入 先 別 現 在 高 と 償 還 状 況

(単位:千円)

借 入 先	20年度末現在高	21年度発行額	21年度償還額		21年度末現在高
			元 金	利 子	
財 政 融 資 資 金	29,527,905	2,949,561	3,682,563	515,238	28,794,903
旧 郵 政 公 社 資 金	8,906,636	0	662,601	157,217	8,244,035
地方公共団体金融機構	4,308,993	4,610,300	653,866	154,026	8,265,427
ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険	1,862,800	0	0	17,705	1,862,800
市 中 銀 行	1,513,227	1,029,500	223,496	15,304	2,319,231
そ の 他 の 金 融 機 関	5,620,153	686,800	523,811	77,091	5,783,142
共 済 等	508,962	112,300	55,778	7,117	565,484
そ の 他	4,288,546	287,447	269,546	4,216	4,306,447
計	56,537,222	9,675,908	6,071,661	947,914	60,141,469

財政融資資金には、資金運用部資金を含む。
21年度発行額には、前借分を含む。

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				一般	67,210,000	4,299,143	3,010,197	74,519,340	78,180,908	72,855,814	97.8
01				市税	37,150,203			37,150,203	41,855,759	37,980,275	102.2
	01			市民税	18,475,514			18,475,514	20,254,257	18,562,042	100.5
		01		個人	13,897,599			13,897,599	15,751,823	14,144,045	101.8
			01	現年課税分	本年度 13,741,184			13,741,184	14,397,393	13,973,878	101.7
				前年度 13,298,132		318,623	13,616,755	14,178,455	13,808,230	101.4	
				比較 443,052		318,623	124,429	218,938	165,648		
			02	滞納繰越分	本年度 156,415			156,415	1,354,430	170,167	108.8
				前年度 148,223			148,223	1,213,801	168,457	113.7	
				比較 8,192			8,192	140,629	1,710		
		02		法人	4,577,915			4,577,915	4,502,434	4,417,997	96.5
			01	現年課税分	本年度 4,568,669			4,568,669	4,434,581	4,410,956	96.5
				前年度 5,690,211			5,690,211	5,496,989	5,481,249	96.3	
				比較 1,121,542			1,121,542	1,062,408	1,070,293		
			02	滞納繰越分	本年度 9,246			9,246	67,853	7,041	76.2
				前年度 10,521			10,521	70,093	9,963	94.7	
				比較 1,275			1,275	2,240	2,922		
02				固定資産税	15,836,134			15,836,134	18,568,265	16,537,473	104.4
	01			固定資産税	15,570,383			15,570,383	18,302,512	16,271,720	104.5
		01		現年課税分	本年度 15,369,539			15,369,539	16,562,184	16,041,810	104.4
				前年度 15,363,527			15,363,527	16,251,773	15,783,851	102.7	
				比較 6,012			6,012	310,411	257,959		
			02	滞納繰越分	本年度 200,844			200,844	1,740,328	229,910	114.5
				前年度 215,183			215,183	1,600,009	201,810	93.8	
				比較 14,339			14,339	140,319	28,100		
	02			国有資産等所在市	265,751			265,751	265,753	265,753	100.0
		01		現年課税分	本年度 265,751			265,751	265,753	265,753	100.0
				前年度 276,227			276,227	276,229	276,229	100.0	
				比較 10,476			10,476	10,476	10,476		
03				軽自動車税	241,969			241,969	314,013	257,554	106.4
	01			軽自動車税	241,969			241,969	314,013	257,554	106.4
		01		現年課税分	本年度 235,580			235,580	265,696	250,652	106.4
				前年度 220,091			220,091	249,746	236,122	107.3	
				比較 15,489			15,489	15,950	14,530		
			02	滞納繰越分	本年度 6,389			6,389	48,317	6,902	108.0
				前年度 6,718			6,718	45,369	6,358	94.6	
				比較 329			329	2,948	544		
04				市たばこ税	1,218,009			1,218,009	1,223,254	1,223,254	100.4
	01			市たばこ税	1,218,009			1,218,009	1,223,254	1,223,254	100.4
		01		現年課税分	本年度 1,218,009			1,218,009	1,223,254	1,223,254	100.4
				前年度 1,247,769			1,247,769	1,257,228	1,257,228	100.8	
				比較 29,760			29,760	33,974	33,974		
		x		滞納繰越分	本年度 1			1	31	31	3100.0
				前年度 1			1	31	31		
				比較 1			1	31	31		
05				特別土地保有税	1			1	1,380	975	97500.0
	01			特別土地保有税	1			1	1,380	975	97500.0
		01		現年課税分	本年度 1			1	1,380	975	97500.0
				前年度 1			1	16	16	1600.0	
				比較 1			1	1,364	959		
		x		滞納繰越分	本年度 1			1	2,389		
				前年度 1			1	2,389			
				比較 1			1	2,389			
06				入湯税	8,640			8,640	8,286	7,829	90.6
	01			入湯税	8,640			8,640	8,286	7,829	90.6
		01		現年課税分	本年度 8,640			8,640	8,041	7,584	87.8
				前年度 6,675			6,675	8,491	8,246	123.5	
				比較 1,965			1,965	450	662		
			02	滞納繰越分	本年度 1			1	245	245	
				前年度 1			1	245	245		
				比較 1			1	245	245		
07				都市計画税	1,369,936			1,369,936	1,486,304	1,391,148	101.5
	01			都市計画税	1,369,936			1,369,936	1,486,304	1,391,148	101.5
		01		現年課税分	本年度 1,361,935			1,361,935	1,422,944	1,378,236	101.2
				前年度 1,228,941			1,228,941	1,404,397	1,363,962	111.0	
				比較 132,994			132,994	18,547	14,274		

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01	07	01	02	滞納繰越分	本年度	8,001		8,001	63,360	12,912	161.4
				前年度	4,078		4,078	30,171	6,618	162.3	
				比較	3,923		3,923	33,189	6,294		
02	01	01	01	地方譲与税		1,097,100		1,097,100	1,036,418	1,036,418	94.5
				地方揮発油譲与税		170,730		170,730	167,302	167,302	98.0
				地方揮発油譲与税		170,730		170,730	167,302	167,302	98.0
				地方揮発油譲与税	本年度	170,730		170,730	167,302	167,302	98.0
				前年度							
				比較	170,730		170,730	167,302	167,302		
				自動車重量譲与税		826,100		826,100	754,246	754,246	91.3
				自動車重量譲与税		826,100		826,100	754,246	754,246	91.3
				自動車重量譲与税	本年度	826,100		826,100	754,246	754,246	91.3
				前年度	825,800		825,800	835,751	835,751	101.2	
				比較	300		300	81,505	81,505		
				地方道路譲与税		100,270		100,270	114,870	114,870	114.6
地方道路譲与税		100,270		100,270	114,870	114,870	114.6				
地方道路譲与税	本年度	100,270		100,270	114,870	114,870	114.6				
前年度	289,100		289,100	268,562	268,562	92.9					
比較	188,830		188,830	153,692	153,692						
03	01	01	01	利子割交付金		157,400		157,400	115,194	115,194	73.2
				利子割交付金		157,400		157,400	115,194	115,194	73.2
				利子割交付金		157,400		157,400	115,194	115,194	73.2
				利子割交付金	本年度	157,400		157,400	115,194	115,194	73.2
				前年度	165,600		165,600	142,227	142,227	85.9	
比較	8,200		8,200	27,033	27,033						
04	01	01	01	配当割交付金		48,900		48,900	37,078	37,078	75.8
				配当割交付金		48,900		48,900	37,078	37,078	75.8
				配当割交付金		48,900		48,900	37,078	37,078	75.8
				配当割交付金	本年度	48,900		48,900	37,078	37,078	75.8
				前年度	171,700		59,254	49,184	49,184	83.0	
比較	122,800	112,446	112,446	10,354	12,106	12,106					
05	01	01	01	株式等譲渡所得割		19,800		19,800	21,146	21,146	106.8
				株式等譲渡所得割		19,800		19,800	21,146	21,146	106.8
				株式等譲渡所得割		19,800		19,800	21,146	21,146	106.8
				株式等譲渡所得割	本年度	19,800		19,800	21,146	21,146	106.8
				前年度	87,100		87,100	22,522	22,522	25.9	
比較	67,300		67,300	1,376	1,376						
06	01	01	01	地方消費税交付金		2,158,500		2,158,500	2,054,134	2,054,134	95.2
				地方消費税交付金		2,158,500		2,158,500	2,054,134	2,054,134	95.2
				地方消費税交付金		2,158,500		2,158,500	2,054,134	2,054,134	95.2
				地方消費税交付金	本年度	2,158,500		2,158,500	2,054,134	2,054,134	95.2
				前年度	1,998,000		1,998,000	1,960,136	1,960,136	98.1	
比較	160,500		160,500	93,998	93,998						
07	01	01	01	ゴルフ場利用税交		118,000	18,019	99,981	104,735	104,735	104.8
				ゴルフ場利用税交		118,000	18,019	99,981	104,735	104,735	104.8
				ゴルフ場利用税交		118,000	18,019	99,981	104,735	104,735	104.8
				ゴルフ場利用税交	本年度	118,000	18,019	99,981	104,735	104,735	104.8
				前年度	128,527		128,527	122,376	122,376	95.2	
比較	10,527	18,019	28,546	17,641	17,641						
08	01	01	01	自動車取得税交付		314,200	26,000	288,200	261,044	261,044	90.6
				自動車取得税交付		314,200	26,000	288,200	261,044	261,044	90.6
				自動車取得税交付		288,200		288,200	261,044	261,044	90.6
				自動車取得税交付	本年度	288,200		288,200	261,044	261,044	90.6
				前年度	424,400		424,400	462,863	462,863	109.1	
				比較	136,200		136,200	201,819	201,819		
				旧法による自動車		26,000	26,000				
旧法による自動車	本年度	26,000	26,000								
前年度											
比較	26,000	26,000									
09	01	01	01	地方特例交付金		396,400	56,640	453,040	453,040	453,040	100.0
				地方特例交付金		199,300	49,729	249,029	249,029	249,029	100.0
				地方特例交付金		199,300	49,729	249,029	249,029	249,029	100.0
				地方特例交付金	本年度	199,300	49,729	249,029	249,029	249,029	100.0
				前年度	179,117	20,108	199,225	199,225	199,225	100.0	
比較	20,183	29,621	49,804	49,804	49,804						

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
09	02			特別交付金	197,100		6,911	204,011	204,011	204,011	100.0
		01		特別交付金	197,100		6,911	204,011	204,011	204,011	100.0
			01	特別交付金	197,100		6,911	204,011	204,011	204,011	100.0
				本年度	197,100		6,911	204,011	204,011	204,011	100.0
				前年度	197,100		46	197,146	197,146	197,146	100.0
				比較			6,865	6,865	6,865	6,865	
		x		地方税等減収補て							
			x	地方税等減収補て							
			x	地方税等減収補て ん臨時交付金			18,399	18,399	18,399	18,399	100.0
				本年度			18,399	18,399	18,399	18,399	100.0
				前年度							
				比較							
10				地方交付税	1,369,000		93,493	1,462,493	1,818,863	1,818,863	124.4
	01			地方交付税	1,369,000		93,493	1,462,493	1,818,863	1,818,863	124.4
		01		地方交付税	1,369,000		93,493	1,462,493	1,818,863	1,818,863	124.4
			01	地方交付税	1,369,000		93,493	1,462,493	1,818,863	1,818,863	124.4
				本年度	1,369,000		93,493	1,462,493	1,818,863	1,818,863	124.4
				前年度	1,490,000		40,677	1,530,677	1,656,925	1,656,925	108.2
				比較	121,000		52,816	68,184	161,938	161,938	
11				交通安全対策特別	45,000			45,000	43,429	43,429	96.5
	01			交通安全対策特別	45,000			45,000	43,429	43,429	96.5
		01		交通安全対策特別	45,000			45,000	43,429	43,429	96.5
			01	交通安全対策特別 交付金	45,000			45,000	43,429	43,429	96.5
				本年度	45,000			45,000	43,429	43,429	96.5
				前年度	49,000			49,000	44,362	44,362	90.5
				比較	4,000			4,000	933	933	
12				分担金及び負担金	1,158,474		38,429	1,196,903	1,338,203	1,170,693	97.8
	01			分担金	62,237			62,237	58,663	58,663	94.3
		01		農林水産業費分担	62,237			62,237	58,663	58,663	94.3
			01	農業費分担金	62,237			62,237	58,663	58,663	94.3
				本年度	62,237			62,237	58,663	58,663	94.3
				前年度	126,302		227	126,075	125,559	125,559	99.6
				比較	64,065		227	63,838	66,896	66,896	
	02			負担金	1,096,237		38,429	1,134,666	1,279,540	1,112,030	98.0
		01		総務費負担金	443			443	419	419	94.6
			01	選挙費負担金	443			443	419	419	94.6
				本年度	443			443	419	419	94.6
				前年度	246			246	225	225	91.5
				比較	197			197	194	194	
		02		民生費負担金	1,070,472		37,745	1,108,217	1,254,483	1,086,973	98.1
			01	社会福祉費負担金	37,009		120	37,129	38,084	37,791	101.8
				本年度	37,009		120	37,129	38,084	37,791	101.8
				前年度	32,198		1,478	30,720	33,978	33,681	109.6
				比較	4,811		1,598	6,409	4,106	4,110	
			02	児童福祉費負担金	1,033,463		37,625	1,071,088	1,216,399	1,049,182	98.0
				本年度	1,033,463		37,625	1,071,088	1,216,399	1,049,182	98.0
				前年度	969,566		23,623	993,189	1,147,183	997,000	100.4
				比較	63,897		14,002	77,899	69,216	52,182	
		03		衛生費負担金	2,357			2,357	2,358	2,358	100.0
			01	衛生費負担金	2,357			2,357	2,358	2,358	100.0
				本年度	2,357			2,357	2,358	2,358	100.0
				前年度	2,357			2,357	2,358	2,358	100.0
				比較							
		04		農林水産業費負担	8,002		684	8,686	7,318	7,318	84.3
			01	農林水産業費負担	8,002		684	8,686	7,318	7,318	84.3
				金	8,002		684	8,686	7,318	7,318	84.3
				本年度	8,002		684	8,686	7,318	7,318	84.3
				前年度	429			429	429	429	100.0
				比較	7,573		684	8,257	6,889	6,889	
		05		土木費負担金	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
			01	共同溝維持管理費	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
				負担金	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
				本年度	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
				前年度	14,962			14,962	14,962	14,962	100.0
				比較	1			1			
13				使用料及び手数料	1,396,909		108,220	1,288,689	1,485,312	1,276,116	99.0
	01			使用料	706,180		1,540	707,720	892,659	691,716	97.7
		01		総務使用料	2,929			2,929	3,208	3,208	109.5
			01	情報センター使用	140			140	99	99	70.7
				料	140			140	162	162	115.7
				本年度	140			140	99	99	70.7
				前年度	140			140	162	162	115.7
				比較					63	63	
			02	行政財産使用料	2,561			2,561	2,843	2,843	111.0
				本年度	2,561			2,561	2,843	2,843	111.0
				前年度					2,725	2,724	
				比較	2,561			2,561	118	119	
			03	公舎使用料	228			228	266	266	116.7
				本年度	228			228	266	266	116.7
				前年度					228	190	
				比較	228			228	38	76	

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
13	01	02		民生使用料	12,793			12,793	13,684	13,668	106.8
		01		福祉センター使用料	1,713			1,713	1,939	1,939	113.2
				前年度	1,917			1,917	2,094	2,094	109.2
				比較	204			204	155	155	
		02		児童福祉使用料	529			529	657	657	124.2
				前年度	529			529	282	282	53.3
				比較					375	375	
		×		ふれあい元気広場使用料							
				前年度	1			1			
				比較	1			1			
		04		障害者センター使用料	10,471			10,471	9,826	9,810	93.7
				前年度	9,749		134	9,883	10,524	10,524	106.5
				比較	722		134	588	698	714	
		05		行政財産使用料	80			80	1,262	1,262	1577.5
				前年度			1,094	1,094	1,157	1,157	105.8
				比較	80		1,094	1,014	105	105	
		03		衛生使用料	70,317			70,317	68,734	68,713	97.7
		01		保健衛生使用料	69,900			69,900	68,480	68,480	98.0
				前年度	58,720		6,793	65,513	70,810	70,810	108.1
				比較	11,180		6,793	4,387	2,330	2,330	
		02		行政財産使用料	417			417	254	233	55.9
				前年度					78	67	
				比較	417			417	176	166	
		04		農林水産業使用料	52,244			52,244	52,177	52,177	99.9
		01		ゆかりの森施設使用料	19,265			19,265	20,201	20,201	104.9
				前年度	18,455			18,455	19,634	19,634	106.4
				比較	810			810	567	567	
		02		ふれあいの里施設使用料	32,949			32,949	31,943	31,943	96.9
				前年度	32,936			32,936	29,695	29,695	90.2
				比較	13			13	2,248	2,248	
		03		行政財産使用料	30			30	33	33	110.0
				前年度					23	23	
				比較	30			30	10	10	
		05		商工使用料	42,612			42,612	47,089	47,089	110.5
		01		筑波山駐車場使用料	35,000			35,000	35,796	35,796	102.3
				前年度	35,000			35,000	35,199	35,199	100.6
				比較					597	597	
		02		行政財産使用料	50			50	165	165	330.0
				前年度					144	144	
				比較	50			50	21	21	
		03		産業振興センター使用料	7,562			7,562	11,128	11,128	147.2
				前年度							
				比較	7,562			7,562	11,128	11,128	
		06		土木使用料	395,790		1,540	397,330	582,056	381,188	95.9
		01		公園使用料	4,150		1,540	5,690	6,622	6,622	116.4
				前年度	3,910			3,910	5,982	5,982	153.0
				比較	240		1,540	1,780	640	640	
		02		広場使用料	15,900			15,900	15,861	15,861	99.8
				前年度	16,000			16,000	16,044	16,044	100.3
				比較	100			100	183	183	
		03		駐車場使用料	63,167			63,167	59,424	59,424	94.1
				前年度	58,067			58,067	59,284	59,284	102.1
				比較	5,100			5,100	140	140	
		04		駅前広場使用料	4,380			4,380	4,983	4,983	113.8
				前年度	2,040			2,040	4,890	4,890	239.7
				比較	2,340			2,340	93	93	
		05		市営住宅使用料	218,193			218,193	402,102	201,234	92.2
				前年度	213,423			213,423	382,689	198,506	93.0
				比較	4,770			4,770	19,413	2,728	
		06		道路占用使用料	90,000			90,000	92,991	92,991	103.3
				前年度	90,000			90,000	89,168	89,168	99.1
				比較					3,823	3,823	
		07		行政財産使用料					73	73	
				前年度					13	13	
				比較					60	60	

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
13	01	07		消防使用料	148			148	159	159	107.4
		01		行政財産使用料	148			148	159	159	107.4
				本年度	148			148	159	159	107.4
				前年度					28	28	
				比較	148			148	131	131	
		08		教育使用料	129,347			129,347	125,552	125,514	97.0
		01		教職員住宅使用料	3,456			3,456	2,691	2,691	77.9
				本年度	3,456			3,456	2,691	2,691	77.9
				前年度	3,744			3,744	3,085	3,085	82.4
				比較	288			288	394	394	
		02		幼稚園使用料	90,247			90,247	87,833	87,805	97.3
				本年度	90,247			90,247	87,833	87,805	97.3
				前年度	85,847			85,847	85,336	85,336	99.4
				比較	4,400			4,400	2,497	2,469	
		03		公民館使用料	517			517	352	352	68.1
				本年度	517			517	352	352	68.1
				前年度	254			254	542	542	213.4
				比較	263			263	190	190	
		04		市民ホール使用料	8,637			8,637	7,925	7,925	91.8
				本年度	8,637			8,637	7,925	7,925	91.8
				前年度	9,100			9,100	8,376	8,376	92.0
				比較	463			463	451	451	
		05		視聴覚使用料	3,128			3,128	2,482	2,482	79.3
				本年度	3,128			3,128	2,482	2,482	79.3
				前年度	2,604			2,604	2,532	2,532	97.2
				比較	524			524	50	50	
		06		体育館使用料	11,964			11,964	12,607	12,607	105.4
				本年度	11,964			11,964	12,607	12,607	105.4
				前年度	11,484			11,484	12,058	12,058	105.0
				比較	480			480	549	549	
		07		テニスコート使用料	2,796			2,796	3,164	3,164	113.2
				本年度	2,796			2,796	3,164	3,164	113.2
				前年度	2,796			2,796	3,210	3,210	114.8
				比較					46	46	
		08		野球場使用料	2,088			2,088	2,182	2,182	104.5
				本年度	2,088			2,088	2,182	2,182	104.5
				前年度	2,088			2,088	1,776	1,776	85.1
				比較					406	406	
		09		ソフトボール場使用料	144			144	142	142	98.6
				本年度	144			144	142	142	98.6
				前年度	144			144	132	132	91.7
				比較					10	10	
		10		サッカー場使用料	6,240			6,240	5,279	5,279	84.6
				本年度	6,240			6,240	5,279	5,279	84.6
				前年度	200			200	273	273	136.5
				比較	6,040			6,040	5,006	5,006	
		11		行政財産使用料	130			130	895	885	680.8
				本年度	130			130	895	885	680.8
				前年度					642	642	
				比較	130			130	253	243	
	02			手数料	690,729		109,760	580,969	592,653	584,400	100.6
	01			総務手数料	86,030			86,030	86,176	86,176	100.2
		01		戸籍住民登録手数料	45,955			45,955	44,481	44,481	96.8
				本年度	45,955			45,955	44,481	44,481	96.8
				前年度	46,500			46,500	44,546	44,546	95.8
				比較	545			545	65	65	
		02		事務手数料	22,200			22,200	21,082	21,082	95.0
				本年度	22,200			22,200	21,082	21,082	95.0
				前年度	25,050			25,050	21,382	21,382	85.4
				比較	2,850			2,850	300	300	
		03		徴税手数料	16,000			16,000	18,978	18,978	118.6
				本年度	16,000			16,000	18,978	18,978	118.6
				前年度	16,001			16,001	18,346	18,325	114.5
				比較	1			1	632	653	
		04		自動車臨時運行許可手数料	1,875			1,875	1,635	1,635	87.2
				本年度	1,875			1,875	1,635	1,635	87.2
				前年度	1,725			1,725	1,719	1,719	99.7
				比較	150			150	84	84	
	02			衛生手数料	579,419		109,760	469,659	476,194	467,941	99.6
		01		廃棄物処理手数料	574,379		110,000	464,379	470,070	461,817	99.4
				本年度	574,379		110,000	464,379	470,070	461,817	99.4
				前年度	592,150		5,000	587,150	515,595	505,494	86.1
				比較	17,771		105,000	122,771	45,525	43,677	
		02		畜犬登録等事務手数料	5,040			5,040	6,124	6,124	121.5
				本年度	5,040			5,040	6,124	6,124	121.5
				前年度	5,280			5,280	6,142	6,142	116.3
				比較	240			240	18	18	
		04		公害対策事務手数料			240	240			
				本年度			240	240			
				前年度							
				比較			240	240			
	03			商工手数料	190			190	236	236	124.2
		01		商工手数料	190			190	236	236	124.2
				本年度	190			190	236	236	124.2
				前年度	190			190	246	246	129.5
				比較					10	10	

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
13	02	04		土木手数料	22,818			22,818	28,085	28,085	123.1
		01		土木手数料	21,966			21,966	27,150	27,150	123.6
				前年度	20,454		702	21,156	27,937	27,937	132.1
				比較	1,512		702	810	787	787	
		02		駐車場手数料	852			852	935	935	109.7
				前年度	1,020			1,020	768	768	75.3
				比較	168			168	167	167	
		05		消防手数料	2,272			2,272	1,728	1,728	76.1
		01		消防手数料	2,272			2,272	1,728	1,728	76.1
				前年度	2,087			2,087	2,247	2,247	107.7
				比較	185			185	519	519	
		06		民生手数料					234	234	
		01		民生手数料					234	234	
				前年度							
				比較					234	234	
14				国庫支出金	4,083,024	3,397,863	1,438,986	8,919,873	8,721,523	7,729,120	86.7
	01			国庫負担金	3,157,367		130,787	3,288,154	3,149,999	3,149,999	95.8
		01		民生費国庫負担金	3,157,367		130,787	3,288,154	3,149,999	3,149,999	95.8
		01		心身障害者福祉費負担金	534,213		103,312	637,525	636,108	636,108	99.8
				前年度	535,243		436	535,679	542,091	542,091	101.2
				比較	1,030		102,876	101,846	94,017	94,017	
		02		児童手当負担金	744,650		14,125	758,775	756,055	756,055	99.6
				前年度	733,680		106	733,574	733,574	733,574	100.0
				比較	10,970		14,231	25,201	22,481	22,481	
		03		児童福祉費負担金	434,663		21,776	456,439	438,220	438,220	96.0
				前年度	335,325		33,900	369,225	395,730	395,730	107.2
				比較	99,338		12,124	87,214	42,490	42,490	
		04		生活保護費負担金	1,190,134			1,190,134	1,074,277	1,074,277	90.3
				前年度	1,189,599			1,189,599	1,167,557	1,167,557	98.1
				比較	535			535	93,280	93,280	
		05		国民健康保険事業費負担金	52,233			52,233	52,407	52,407	100.3
				前年度	57,500		1,310	56,190	56,190	56,190	100.0
				比較	5,267		1,310	3,957	3,783	3,783	
		06		児童扶養手当負担金	197,067		8,426	188,641	188,642	188,642	100.0
				前年度	180,579		1,963	182,542	182,252	182,252	99.8
				比較	16,488		10,389	6,099	6,390	6,390	
		07		社会福祉費負担金	4,407			4,407	4,290	4,290	97.3
				前年度	4,800			4,800	3,415	3,415	71.1
				比較	393			393	875	875	
		x		衛生費国庫負担金							
		x		衛生費負担金							
				前年度					1,107	1,107	
				比較					1,107	1,107	
	02			国庫補助金	848,631	3,397,863	1,298,867	5,545,361	5,488,442	4,496,039	81.1
		01		総務費国庫補助金	1,000	3,183,299	823,893	4,008,192	3,998,851	3,462,309	86.4
		01		選挙費補助金	1,000			1,000	945	945	94.5
				前年度			105	105	105	105	100.0
				比較	1,000		105	895	840	840	
		02		定額給付金給付費補助金		3,183,299		3,183,299	3,092,899	3,092,899	97.2
				前年度			3,195,844	3,195,844	3,193,191	8,700	0.3
				比較		3,183,299	3,195,844	12,545	100,292	3,084,199	
		03		街路交通調査費補助金			3,000	3,000	3,000		
				前年度							
				比較			3,000	3,000	3,000		
		04		地域活性化臨時交付金			820,893	820,893	902,007	368,465	44.9
				前年度							
				比較			820,893	820,893	902,007	368,465	
		02		民生費国庫補助金	148,018	51,064	21,895	177,187	182,048	176,180	99.4
		01		社会福祉費補助金	54,750		15,864	70,614	76,765	76,765	108.7
				前年度	54,565		792	53,773	56,648	56,648	105.3
				比較	185		16,656	16,841	20,117	20,117	
		02		児童福祉費補助金	87,268		31,759	55,509	56,059	53,559	96.5
				前年度	45,726		1,240	44,486	44,486	44,486	100.0
				比較	41,542		30,519	11,023	11,573	9,073	
		03		老人福祉費補助金	6,000		6,000				
				前年度	65,000		20,000	45,000	45,000	45,000	100.0
				比較	59,000		14,000	45,000	45,000	45,000	

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
14	02	05	子育て応援特別手当補助金	本年度		51,064		51,064	49,224	45,856	89.8	
			前年度			123,920	123,920	121,900	72,856	58.8		
			比較		51,064	123,920	72,856	72,676	27,000			
		03	衛生費国庫補助金		14,140		26,741	40,881	36,849	36,849	90.1	
			01	保健衛生費補助金	本年度	14,140		26,741	40,881	36,849	36,849	90.1
				前年度	10,926		2,793	13,719	11,450	11,450	83.5	
		比較		3,214		23,948	27,162	25,399	25,399			
		04	商工費国庫補助金		2,835			2,835	1,748			
			01	観光費補助金	本年度	2,835			2,835	1,748		
				前年度								
		比較		2,835			2,835	1,748				
		x	x	農林水産費国庫補助金								
				農業費国庫補助金	本年度							
				前年度	102		102					
		比較	102		102							
		05	01	土木費国庫補助金		490,740	163,500	10,918	665,158	571,478	529,096	79.5
				土木費補助金	本年度	99,350	47,300	22,763	169,413	179,413	140,898	83.2
				前年度	165,000	116,710	33,500	248,210	248,210	190,910	76.9	
			比較	65,650	69,410	56,263	78,797	68,797	50,012			
			02	都市計画費補助金	本年度	79,000	89,200		168,200	168,200	168,200	100.0
				前年度	506,000	33,500	580,500	1,120,000	1,120,000	1,030,800	92.0	
				比較	427,000	55,700	580,500	951,800	951,800	862,600		
			03	住宅費補助金	本年度	312,390	27,000	12,615	326,775	223,065	219,198	67.1
				前年度	136,688		12,170	148,858	148,858	121,858	81.9	
				比較	175,702	27,000	24,785	177,917	74,207	97,340		
			04	河川費補助金	本年度			770	770	800	800	103.9
				前年度								
				比較			770	770	800	800		
			06	消防費国庫補助金		32,882		966	31,916	31,916	31,916	100.0
				01	消防費補助金	本年度	32,882		966	31,916	31,916	31,916
		前年度			30,594			30,594	30,594	30,594	100.0	
		比較	2,288			966	1,322	1,322	1,322			
		07	01	小学校費補助金	本年度	1,124		274,096	275,220	307,261	62,638	22.8
				前年度	1,135		143	992	1,112	1,112	112.1	
				比較	11		274,239	274,228	306,149	61,526		
			02	中学校費補助金	本年度	100,016		173,550	273,566	285,772	147,310	53.8
				前年度	560			560	573	573	102.3	
				比較	99,456		173,550	273,006	285,199	146,737		
			03	幼稚園費補助金	本年度	22,338		13,030	35,368	37,481	24,831	70.2
				前年度	18,423		978	19,401	21,649	21,649	111.6	
				比較	3,915		12,052	15,967	15,832	3,182		
			04	社会教育費補助金	本年度	35,538		500	35,038	35,038	24,910	71.1
前年度	15,810				1,440	14,370	14,370	14,370	100.0			
比較	19,728				940	20,668	20,668	10,540				
03	01	委託金		77,026		9,332	86,358	83,082	83,082	96.2		
		総務費委託金		16,500			16,500	18,983	18,983	115.0		
		総務管理費委託金	本年度	16,500			16,500	18,983	18,983	115.0		
	前年度	16,453		7	16,460	16,483	16,483	100.1				
	比較	47		7	40	2,500	2,500					
	02	民生費委託金		58,181		9,332	67,513	62,253	62,253	92.2		
		01	国民年金事務委託金	本年度	57,831			57,831	54,536	54,536	94.3	
			前年度	55,491			55,491	58,083	58,083	104.7		
			比較	2,340			2,340	3,547	3,547			
		02	児童福祉費委託金	本年度	350			350	345	345	98.6	
			前年度	350			350	350	350	100.0		
	比較						5	5				
	03	市民生活対策費委託金	本年度			9,332	9,332	7,372	7,372	79.0		
		前年度										
		比較				9,332	9,332	7,372	7,372			
01	土木費委託金		2,345			2,345	1,846	1,846	78.7			
	河川費委託金	本年度	2,345			2,345	1,846	1,846	78.7			
	前年度	2,382			2,382	2,070	2,070	86.9				
比較	37			37	224	224						

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
15			県支出金	2,669,618		239,424	2,909,042	2,764,900	2,753,017	94.6
	01		県負担金	1,332,812		62,398	1,395,210	1,378,410	1,378,410	98.8
		01	民生費県負担金	1,332,812		62,398	1,395,210	1,378,410	1,378,410	98.8
			01 社会福祉費負担金	本年度 1,025		1,048	2,073	341	341	16.4
				前年度 1,025			1,025			
				比較		1,048	1,048	341	341	
			02 児童福祉費負担金	本年度 217,331		10,888	228,219	218,292	218,292	95.7
				前年度 167,662		16,950	184,612	198,493	198,493	107.5
				比較		6,062	43,607	19,799	19,799	
			03 児童手当負担金	本年度 387,525		8,212	395,737	395,510	395,510	99.9
				前年度 389,308		3,162	386,146	386,146	386,146	100.0
				比較		11,374	9,591	9,364	9,364	
			04 生活保護費負担金	本年度 23,400			23,400	33,435	33,435	142.9
				前年度 21,185			21,185	37,141	37,141	175.3
				比較			2,215	3,706	3,706	
			05 国民健康保険事業負担金	本年度 312,937		19,982	292,955	293,042	293,042	100.0
				前年度 340,750		55,850	284,900	284,900	284,900	100.0
				比較		35,868	8,055	8,142	8,142	
			06 障害福祉費負担金	本年度 249,941		53,850	303,791	288,754	288,754	95.1
				前年度 249,429		2,986	252,415	244,322	244,322	96.8
				比較		50,864	51,376	44,432	44,432	
			07 後期高齢者医療事業負担金	本年度 140,653		8,382	149,035	149,036	149,036	100.0
				前年度 100,117		35,272	135,389	135,390	135,390	100.0
				比較		26,890	13,646	13,646	13,646	
		x	衛生費県負担金							
		x	衛生費負担金	本年度						
				前年度				1,648	1,648	
				比較				1,648	1,648	
		x	商工費県負担金							
		x	商工費負担金	本年度						
				前年度	7,140		7,140	7,140	7,140	100.0
				比較	7,140		7,140	7,140	7,140	
	02		県補助金	849,721		235,027	1,084,748	924,008	912,125	84.1
		01	総務費県補助金	165			165	170	170	103.0
			01 総務管理費補助金	本年度 114			114	93	93	81.6
				前年度 143			143	114	114	79.7
				比較			29	21	21	
			02 統計調査費補助金	本年度 41			41	42	42	102.4
				前年度 41			41	40	40	97.6
				比較				2	2	
			03 戸籍住民基本台帳費補助金	本年度 10			10	35	35	350.0
				前年度 15			15	41	41	273.3
				比較			5	6	6	
		02	民生費県補助金	593,693		69,954	663,647	649,375	643,135	96.9
			01 社会福祉費補助金	本年度 30,269		4,996	35,265	49,628	49,628	140.7
				前年度 30,746		5,592	36,338	36,347	36,347	100.0
				比較		477	1,073	13,281	13,281	
			02 老人福祉費補助金	本年度 4,855			4,855	4,719	4,719	97.2
				前年度 5,804		2,028	3,776	3,464	3,464	91.7
				比較		949	2,028	1,255	1,255	
			03 心身障害者福祉費補助金	本年度 4,020			4,020	2,990	2,990	74.4
				前年度 3,876			3,876	2,714	2,714	70.0
				比較			144	276	276	
			04 医療福祉費補助金	本年度 447,298			447,298	417,767	417,767	93.4
				前年度 473,726		84,912	388,814	388,814	388,814	100.0
				比較		26,428	84,912	28,953	28,953	
			05 児童福祉費補助金	本年度 107,251		64,958	172,209	174,271	168,031	97.6
				前年度 118,328		10,234	108,094	103,225	103,225	95.5
				比較		11,077	75,192	71,046	64,806	
		03	衛生費県補助金	74,673		128,553	203,226	78,652	78,652	38.7
			01 保健衛生費補助金	本年度 74,673		128,553	203,226	78,652	78,652	38.7
				前年度 16,623		2,790	19,413	16,574	16,574	85.4
				比較		58,050	125,763	62,078	62,078	
		04	農林水産業費県補	140,327		10,840	129,487	125,055	125,055	96.6
			01 農業費補助金	本年度 84,571		3,967	80,604	77,535	77,535	96.2
				前年度 68,104		3,710	71,814	70,327	70,327	97.9
				比較		16,467	7,677	8,790	7,208	

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
15	02	04	02	畜産業費補助金	本年度	17		1,278	1,295	1,259	1,259	97.2		
				前年度	47		1,200	1,247	1,250	1,250	100.2			
				比較	30		78	48	9	9				
			03	林業費補助金	本年度	55,739		8,151	47,588	46,261	46,261	97.2		
				前年度	20,128		3,619	23,747	23,702	23,702	99.8			
				比較	35,611		11,770	23,841	22,559	22,559				
			05	01	土木費県補助金	本年度	9,000		1,771	7,229	7,259	7,259	100.4	
					都市計画費補助金	本年度	8,000		1,541	6,459	6,459	6,459	100.0	
					前年度	8,000		1,480	6,520	6,520	6,520	100.0		
			02	住宅費補助金	本年度	1,000		1,000						
				前年度	3,000		3,000							
				比較	2,000		2,000							
			03	河川費補助金	本年度			770	770	800	800	800	103.9	
				前年度				770	770	800	800			
				比較				770	770	800	800			
			06	01	消防費県補助金	本年度	750		2,195	2,945	3,365			
					消防費補助金	本年度	750		2,195	2,945	3,365			
					前年度	400		70	330	334	334	101.2		
			比較	350		2,265	2,615	3,031	334					
				07	教育費県補助金	本年度	31,113		1,358	29,755	33,644	31,366	105.4	
				01	教育総務費補助金	本年度	14,169		325	14,494	14,401	14,401	99.4	
			前年度		15,138		1,572	13,566	13,236	13,236	97.6			
			比較		969		1,897	928	1,165	1,165				
			02	社会教育費補助金	本年度	6,944		1,683	5,261	8,574	6,296	119.7		
				前年度	7,813		3,189	4,624	4,089	4,089	88.4			
				比較	869		1,506	637	4,485	2,207				
			03	小学校費補助金	本年度	10,000			10,000	8,876	8,876	88.8		
				前年度					10,000	8,876	8,876			
				比較	10,000				10,000	8,876	8,876			
			04	保健体育費補助金	本年度					1,793	1,793			
前年度							1,793	1,793						
比較							1,793	1,793						
08	01	労働費県補助金	本年度			48,294	48,294	26,488	26,488	54.8				
		労働諸費補助金	本年度			48,294	48,294	26,488	26,488	54.8				
		前年度												
比較	48,294		48,294	48,294	26,488	26,488								
	03	委託金	本年度	487,085		58,001	429,084	462,482	462,482	107.8				
	01	総務費委託金	本年度	477,587		57,421	420,166	454,482	454,482	108.2				
総務管理費委託金		本年度	17,698			17,698	18,441	18,441	104.2					
前年度		18,959			18,959	17,081	17,081	90.1						
比較	1,261		1,261	1,360	1,360									
	02	徴税费委託金	本年度	292,430			292,430	329,225	329,225	112.6				
		前年度	529,292		85,735	443,557	451,037	451,037	101.7					
比較		236,862		85,735	151,127	121,812	121,812							
03	戸籍住民登録費委託金	本年度	173			173	175	175	101.2					
	前年度	167			167	173	173	103.6						
	比較	6			6	2	2							
04	統計調査費委託金	本年度	26,204			26,204	22,966	22,966	87.6					
	前年度	10,895		85	10,810	10,620	10,620	98.2						
	比較	15,309		85	15,394	12,346	12,346							
05	選挙費委託金	本年度	141,082		57,421	83,661	83,675	83,675	100.0					
	前年度	10			10	84	84	840.0						
	比較	141,072		57,421	83,651	83,591	83,591							
02	01	民生費委託金	本年度	9,145		580	8,565	7,833	7,833	91.5				
		心身障害者福祉費委託金	本年度	9,120		580	8,540	7,830	7,830	91.7				
		前年度	8,640		450	9,090	8,530	8,530	93.8					
比較	480		1,030	550	700	700								
	02	社会福祉費委託金	本年度	25			25	3	3	12.0				
		前年度	25			25	41	41	164.0					
比較						38	38							
03	01	農林水産業費委託	本年度	200			200							
		農地費委託金	本年度	200			200	106	106	53.0				
		前年度	200			200	106	106						
比較					106	106								

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
15	03	04		商工費委託金	97			97	97	97	100.0
		01		商工費委託金	97			97	97	97	100.0
				本年度	97			97	97	97	100.0
				前年度	170			170	97	97	57.1
				比較	73			73			
		05		土木費委託金	36			36	44	44	122.2
		01		土木費委託金	36			36	44	44	122.2
				本年度	36			36	44	44	122.2
				前年度	36		197	233	245	245	105.2
				比較			197	197	201	201	
		06		教育費委託金	20			20	26	26	130.0
		01		教育費委託金	20			20	26	26	130.0
				本年度	20			20	26	26	130.0
				前年度	20			20	75	75	375.0
				比較					49	49	
16				財産収入	105,514		26,859	78,655	100,630	100,582	127.9
	01			財産運用収入	25,501		3,141	28,642	31,849	31,801	111.0
		01		財産貸付収入	10,643			10,643	13,691	13,643	128.2
				土地建物貸付収入	10,643			10,643	13,691	13,643	128.2
				本年度	10,643			10,643	13,691	13,643	128.2
				前年度	7,718			7,718	11,229	11,181	144.9
				比較	2,925			2,925	2,462	2,462	
		02		利子及び配当金	14,858		3,141	17,999	18,158	18,158	100.9
		01		利子及び配当金	14,858		3,141	17,999	18,158	18,158	100.9
				本年度	14,858		3,141	17,999	18,158	18,158	100.9
				前年度	19,572		6,989	26,561	26,526	26,526	99.9
				比較	4,714		3,848	8,562	8,368	8,368	
	02			財産売払収入	80,013		30,000	50,013	68,781	68,781	137.5
		01		不動産売払収入	2,001			2,001	12,968	12,968	648.1
				土地売払収入	2,001			2,001	12,968	12,968	648.1
				本年度	2,001			2,001	12,968	12,968	648.1
				前年度	2,001		8,000	10,001	12,735	12,735	127.3
				比較			8,000	8,000	233	233	
		02		物品売払収入	78,012		30,000	48,012	55,813	55,813	116.2
		01		物品売払収入	78,012		30,000	48,012	55,813	55,813	116.2
				本年度	78,012		30,000	48,012	55,813	55,813	116.2
				前年度	78,001		8,000	86,001	90,588	90,588	105.3
				比較	11		38,000	37,989	34,775	34,775	
17				寄附金	5		5,989	5,994	8,714	8,714	145.4
	01			寄附金	5		5,989	5,994	8,714	8,714	145.4
		01		一般寄附金	1			1			
				一般寄附金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1	417	417	41700.0
				比較					417	417	
		02		アイラブつくばま	1		5,989	5,990	8,714	8,714	145.5
		01		アイラブつくばま	1		5,989	5,990	8,714	8,714	145.5
				ちづくり寄附金	1		225	225	1,225	1,225	544.4
				本年度	1		5,764	5,765	7,489	7,489	
				比較							
		03		民生費寄附金	1			1			
		01		民生費寄附金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1		1,530	1,531	1,730	1,730	113.0
				比較			1,530	1,530	1,730	1,730	
		04		環境衛生費寄附金	1			1			
		01		環境衛生費寄附金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1		1,000	1,000	1,000	1,000	100.0
				比較			1,000	999	1,000	1,000	
		05		教育費寄附金	1			1			
		01		教育費寄附金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1		300	301	300	300	99.7
				比較			300	300	300	300	
		×		土木費寄附金							
		×		土木費寄附金							
				本年度							
				前年度	1			1			
				比較	1			1			
18				繰入金	1,297,063		706,373	2,003,436	2,003,436	2,003,436	100.0
	01			基金繰入金	1,297,061		342,128	1,639,189	1,639,189	1,639,189	100.0
		01		基金繰入金	1,297,061		342,128	1,639,189	1,639,189	1,639,189	100.0
				基金繰入金	1,297,061		342,128	1,639,189	1,639,189	1,639,189	100.0
				本年度	1,297,061		342,128	1,639,189	1,639,189	1,639,189	100.0
				前年度	117,860		373,604	491,464	478,893	478,893	97.4
				比較	1,179,201		31,476	1,147,725	1,160,296	1,160,296	

平成 21 年度 歳入 予 算 執 行 状 況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
18	02			特別会計繰入金	2		364,245	364,247	364,247	364,247	100.0
		01		老人保健特別会計	1		24,579	24,580	24,580	24,580	100.0
			01	老人保健特別会計繰入金	1		24,579	24,580	24,580	24,580	100.0
				本年度	1		172,597	172,598	164,494	164,494	95.3
				前年度							
				比較			148,018	148,018	139,914	139,914	
		02		国民健康保険特別	1		293,053	293,054	293,054	293,054	100.0
			01	国民健康保険特別会計繰入金	1		293,053	293,054	293,054	293,054	100.0
				本年度	1		126,155	126,156	126,156	126,156	100.0
				前年度							
				比較			166,898	166,898	166,898	166,898	
		03		介護保険事業特別			39,012	39,012	39,012	39,012	100.0
			01	介護保険事業特別会計繰入金			39,012	39,012	39,012	39,012	100.0
				本年度			62,857	62,857	62,857	62,857	100.0
				前年度							
				比較			23,845	23,845	23,845	23,845	
		04		後期高齢者医療特			7,601	7,601	7,601	7,601	100.0
			01	後期高齢者医療特別会計繰入金			7,601	7,601	7,601	7,601	100.0
				本年度							
				前年度							
				比較			7,601	7,601	7,601	7,601	
19				繰越金	1,500,000	498,879	332,377	2,331,256	2,331,256	2,331,256	100.0
		01		繰越金	1,500,000	498,879	332,377	2,331,256	2,331,256	2,331,256	100.0
			01	繰越金	1,500,000	498,879	332,377	2,331,256	2,331,256	2,331,256	100.0
				本年度	1,500,000	498,879	332,377	2,331,256	2,331,256	2,331,256	100.0
				前年度	1,500,000	420,092	1,294,233	3,214,325	3,214,325	3,214,325	100.0
				比較			78,787	961,856	883,069	883,069	
20				諸収入	1,701,215	49,865	122,223	1,873,303	1,950,186	1,881,616	100.4
		01		延滞金,加算金及	36,203		1,091	37,294	57,513	57,513	154.2
			01	延滞金	36,152			36,152	56,371	56,371	155.9
				本年度	36,152			36,152	56,371	56,371	155.9
				前年度	36,151			36,151	47,944	47,944	132.6
				比較	1			1	8,427	8,427	
			02	加算金及び過料	51		1,091	1,142	1,142	1,142	100.0
				本年度	51		1,091	1,142	1,142	1,142	100.0
				前年度	51			51	250	250	490.2
				比較			1,091	1,091	892	892	
		02		市預金利子	13,000			13,000	7,293	7,293	56.1
			01	市預金利子	13,000			13,000	7,293	7,293	56.1
				本年度	13,000			13,000	7,293	7,293	56.1
				前年度	13,500			13,500	20,677	20,677	153.2
				比較	500			500	13,384	13,384	
		03		貸付金元利収入	162,862			162,862	183,573	160,009	98.2
			01	民生費貸付金元利	680			680	24,424	860	126.5
				本年度	320			320	320	320	100.0
				前年度	779			779	780	780	100.1
				比較	459			459	460	460	
			02	住宅新築資金等貸付金元利収入	360			360	24,104	540	150.0
				本年度	360			360	22,986	467	129.7
				前年度	360			360	1,118	73	
				比較							
			02	農林水産業費貸付	10,182			10,182	10,143	10,143	99.6
				しいたけ生産振興	10,182			10,182	10,143	10,143	99.6
				貸付金元利収入	9,677			9,677	9,685	9,685	100.1
				本年度	505			505	458	458	
				前年度							
				比較							
			03	商工費貸付金元利	58,000			58,000	55,006	55,006	94.8
				自治金融預託金元	55,000			55,000	55,006	55,006	100.0
				利収入	55,000			55,000	55,025	55,025	100.0
				本年度					19	19	
				前年度							
				比較							
			02	コンベンション開	3,000			3,000	6,000	6,000	200.0
				催資金貸付金元利	3,000			3,000	6,000	6,000	200.0
				収入							
				本年度							
				前年度							
				比較							
		04		土木費貸付金元利	94,000			94,000	94,000	94,000	100.0
				花室西部土地区画	94,000			94,000	94,000	94,000	100.0
				整理組合無利子貸	174,000		94,000	80,000	80,000	80,000	100.0
				付金元利収入	80,000		94,000	14,000	14,000	14,000	
				本年度							
				前年度							
				比較							
		04		受託事業収入	83,123	49,865	11,685	144,673	124,085	123,997	85.7
			01	受託事業収入	83,123	49,865	11,685	144,673	124,085	123,997	85.7
				本年度	30,950			30,950	16,068	16,068	51.9
				前年度							
				比較	30,950			30,950	16,068	16,068	

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
×	×	×	×	住宅金融公庫業務受託事業収入	本年度								
				前年度	1			1					
					比較	1				1			
				02	流域貯留浸透施設整備受託事業収入	本年度	34,381	49,865	981	83,265	83,265	83,265	100.0
						前年度	52,000		1,335	50,665	669	669	1.3
						比較	17,619	49,865	354	32,600	82,596	82,596	
				03	理科支援員等配置事業受託事業収入	本年度	2,828			2,828	2,645	2,645	93.5
						前年度	2,828			2,828	2,291	2,291	81.0
						比較					354	354	
				04	学校支援地域本部事業受託事業収入	本年度	3,811		2,301	6,112	2,019	2,019	33.0
						前年度							
						比較	3,811		2,301	6,112	2,019	2,019	
				05	県給食受託事業収入	本年度	11,153			11,153	11,739	11,739	105.3
						前年度	7,522			7,522	8,608	8,608	114.4
						比較	3,631			3,631	3,131	3,131	
				06	不登校解消モデル事業受託事業収入	本年度			1,035	1,035	1,035	947	91.5
						前年度							
						比較			1,035	1,035	1,035	947	
				07	電子黒板活用教育調査研究事業受託事業収入	本年度			5,870	5,870	5,659	5,659	96.4
						前年度							
比較			5,870			5,870	5,659	5,659					
08	認知症地域支援体制構築等推進事業受託事業収入	本年度			3,460	3,460	1,655	1,655	47.8				
		前年度											
		比較			3,460	3,460	1,655	1,655					
×	英語活動等国際理解活動推進事業受託事業収入	本年度											
		前年度	980		314	666	666	666	100.0				
		比較	980		314	666	666	666					
×	後期高齢者医療制度健診実施受託事業収入	本年度											
		前年度	27,548		11,432	16,116	15,275	15,275	94.8				
		比較	27,548		11,432	16,116	15,275	15,275					
×	地方の元気再生受託事業収入	本年度											
		前年度			16,006	16,006	15,026	15,026	93.9				
		比較			16,006	16,006	15,026	15,026					
×	食育推進事業受託事業収入	本年度											
		前年度			80	80	70	70	87.5				
		比較			80	80	70	70					
05	01	雑入		1,406,027		109,447	1,515,474	1,577,722	1,532,804	101.1			
		雑入		1,406,027		109,447	1,515,474	1,577,722	1,532,804	101.1			
01	01	総務費雑入	本年度	64,863			64,863	79,965	79,965	123.3			
			前年度	37,582		4,859	42,441	61,392	61,360	144.6			
			比較	27,281		4,859	22,422	18,573	18,605				
02	民生費雑入	本年度	194,136		7,145	201,281	241,809	209,682	104.2				
		前年度	146,281		76,018	222,299	267,420	238,304	107.2				
		比較	47,855		68,873	21,018	25,611	28,622					
03	衛生費雑入	本年度	90,804		82,132	172,936	173,572	173,572	100.4				
		前年度	147,708		21,895	125,813	124,767	124,583	99.0				
		比較	56,904		104,027	47,123	48,805	48,989					
04	労働費雑入	本年度	183			183	238	238	130.1				
		前年度	183			183	270	270	147.5				
		比較					32	32					
05	農林水産業費雑入	本年度	12,343		7,758	20,101	19,275	19,275	95.9				
		前年度	13,326		7,096	20,422	19,482	19,482	95.4				
		比較	983		662	321	207	207					
06	商工費雑入	本年度	5,951		1,000	6,951	7,557	7,557	108.7				
		前年度	3,057			3,057	3,769	3,769	123.3				
		比較	2,894		1,000	3,894	3,788	3,788					
07	土木費雑入	本年度	26,003			26,003	25,463	25,463	97.9				
		前年度	6,185			6,185	11,488	11,487	185.7				
		比較	19,818			19,818	13,975	13,976					
08	消防費雑入	本年度	50,392		11,381	39,011	39,514	39,514	101.3				
		前年度	40,137		7,180	32,957	33,774	33,774	102.5				
		比較	10,255		4,201	6,054	5,740	5,740					
09	教育費雑入	本年度	961,352		22,793	984,145	990,329	977,538	99.3				
		前年度	1,012,460		13,739	1,026,199	1,036,643	1,023,037	99.7				
		比較	51,108		9,054	42,054	46,314	45,499					

平成 21 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
21				市債	10,423,675	352,536	155,361	10,931,572	9,675,908	9,675,908	88.5
	01			市債	10,423,675	352,536	155,361	10,931,572	9,675,908	9,675,908	88.5
		01		総務債	3,510,200		324,500	3,185,700	3,185,700	3,185,700	100.0
			01	新庁舎建設事業債	本年度 3,510,200		324,500	3,185,700	3,185,700	3,185,700	100.0
				前年度	1,207,400		138,300	1,069,100	1,069,100	1,069,100	100.0
				比較	2,302,800		186,200	2,116,600	2,116,600	2,116,600	
		x		民生債							
			x	社会福祉施設事業債	本年度 56,300		42,500	13,800	13,800	13,800	100.0
				前年度	56,300		42,500	13,800	13,800	13,800	
				比較	56,300		42,500	13,800	13,800	13,800	
		02		農林水産業債	566,600		27,000	539,600	539,600	539,600	100.0
			01	農林水産業債	本年度 566,600		27,000	539,600	539,600	539,600	100.0
				前年度	73,100		5,000	68,100	68,100	68,100	100.0
				比較	493,500		22,000	471,500	471,500	471,500	
		03		土木債	2,848,975	352,536	132,900	3,068,611	2,073,547	2,073,547	67.6
			01	道路事業債	本年度 64,000	30,400	26,300	68,100	51,000	51,000	74.9
				前年度	134,000	65,400	42,200	157,200	126,800	126,800	80.7
				比較	70,000	35,000	15,900	89,100	75,800	75,800	
			02	河川事業債	本年度 22,500			22,500	19,000	19,000	84.4
				前年度	22,500		22,500	22,500	19,000	19,000	
				比較	22,500		22,500	22,500	19,000	19,000	
			03	都市計画事業債	本年度 2,638,675	322,136	96,800	2,864,011	1,889,547	1,889,547	66.0
				前年度	2,029,725	84,605	579,500	1,534,830	1,201,694	1,201,694	78.3
				比較	608,950	237,531	482,700	1,329,181	687,853	687,853	
			04	住宅事業債	本年度 123,800		9,800	114,000	114,000	114,000	100.0
				前年度							
				比較	123,800		9,800	114,000	114,000	114,000	
		04		消防債	84,300		10,400	73,900	73,800	73,800	99.9
			01	消防債	本年度 84,300		10,400	73,900	73,800	73,800	99.9
				前年度	55,200		9,800	45,400	45,400	45,400	100.0
				比較	29,100		600	28,500	28,400	28,400	
		05		教育債	1,685,600		35,300	1,720,900	1,460,400	1,460,400	84.9
			01	学校建設事業債	本年度 149,000		128,100	277,100	23,500	23,500	8.5
				前年度	104,900		19,700	85,200	85,200	85,200	100.0
				比較	44,100		147,800	191,900	61,700	61,700	
			02	社会教育事業債	本年度 35,200		16,000	19,200	12,300	12,300	64.1
				前年度							
				比較	35,200		16,000	19,200	12,300	12,300	
			03	保健体育事業債	本年度 1,501,400		76,800	1,424,600	1,424,600	1,424,600	100.0
				前年度	1,155,100	66,700	361,400	860,400	860,400	860,400	100.0
				比較	346,300	66,700	284,600	564,200	564,200	564,200	
		06		臨時財政対策債	1,728,000		614,861	2,342,861	2,342,861	2,342,861	100.0
			01	臨時財政対策債	本年度 1,728,000		614,861	2,342,861	2,342,861	2,342,861	100.0
				前年度	1,510,000		456	1,509,544	1,509,544	1,509,544	100.0
				比較	218,000		615,317	833,317	833,317	833,317	

事業名：議員報酬等に要する経費

議会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	01	本年	271,144		13,711		257,433	256,344	99.6	
				前年	276,767		7,097		269,670	268,851	99.7	
				比較	5,623		6,614		12,237	12,507		

1. 事業の目的

議会運営を円滑に進める。(地方自治法により設置された議会等への出席に対する経費)

2. 事業の概要

定例会(6, 9, 12, 3月), 臨時会, 常任委員会, 特別委員会等の開催。議員数32名

3. 事業の成果及び効果

議会活動状況(平成21年4月～平成22年3月)

区 分	回 数	会議実 日 数	付 議 件 数	左のうち		
				可 決	否 決	継 続
定 例 会	4	21	140	138	2	
臨時会	2	2	6	6		
議運・常任委員会	43	53				
特別委員会	19	23				
全員協議会	5	45				
その他の会議	14	15				
合 計	87	119	146	144	2	

請願・陳情

受付件数	内 訳							
	採 択	一 部 採 択	趣 旨 採 択	不採択	継 続 審 査	撤 回	審 議 未 了	陳 情
22	3		1	7	4	2		5

事業名：議会運営に要する経費

議会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	51,112		6,528		44,584	37,862	84.9	
				前年	50,915		659		51,574	45,644	88.5	
				比較	197		7,187		6,990	7,782		

1. 事業の目的

議会運営を円滑に進め、議会活動の周知と議会に対する市民意識の向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) 年4回の定例会の結果及び正月号の「議会だより」を69,500～71,500部発行し、新聞折込み67,250部から69,000部により市民への議会活動の周知。
- (2) 会議録の作成に関しては、本会議(定例会・臨時会)は68部、委員会は2部製本し、中央図書館、情報公開室等において市民に公開。また、議会ホームページにおいても定例会並びに臨時会及び各委員会会議録を掲載。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 議会運営と議会活動の周知
- (2) 議会だより

第107号(12ページ)	5/15発行	第111号(12ページ)	2/15発行
第108号(8ページ)	8/15発行	第110号(2ページ)	1/ 1発行
第109号(8ページ)	11/15発行		

事業名：文書管理に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	11	本年	12,518		1,259	441	13,336	11,725	87.9	
				前年	8,789				8,789	8,226	93.6	
				比較	3,729		1,259	441	4,547	3,499		

1. 事業の目的

文書事務を適切かつ正確に行うことを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 文書ファイリングシステムの維持管理実地指導を実施した。
- (2) 文書管理システムの運用(約1,300台)
- (3) 文書ファイリングシステムを維持管理するための用品の購入
- (4) 文書事務の指導及び改善
- (5) 文書事務の進行管理
- (6) 文書の整理,保管,保存,引継ぎ及び廃棄
- (7) 行政資料及び図書の整理,保管及び利用
- (8) 公印の管理

3. 事業の成果及び効果

- (1) 文書ファイリングシステムの維持管理実地指導により,文書管理の改善が図られた。
- (2) 文書管理システムの利用により,庁内文書の共有化・電子化が図られ,事務処理が正確かつ迅速になった。

事業名：通信運搬に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	12	本年	21,931		2,800	441	19,572	19,572	100.0	
				前年	18,403				18,403	17,571	95.5	
				比較	3,528		2,800	441	1,169	2,001		

1. 事業の目的

迅速かつ的確な文書の取り扱いを実施することを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 文書の收受
市に到着した文書を受領し,その種別に応じ適切な方法により,主管課へ配付する。
- (2) 文書の発送
文書を郵送(料金後納)により相手方に送達する。
- (3) 文書の集配
各庁舎を巡回(午前・午後)し,收受文書,庁内メールの集配業務をする。
- (4) 郵便料金(後納料金・切手・はがき)の管理

3. 事業の成果及び効果

区内特別扱いの徹底により料金の軽減を図り,経費の節減に繋がった。

事業名：法制・法務に要する経費

(総務部 法務室)
総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	13	本年	13,024		1,500		11,524	10,170	88.3	
				前年	14,259				14,259	12,460	87.4	
				比較	1,235		1,500		2,735	2,290		
<p>1. 事業の目的 法に基づく行政の執行に寄与する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 条例,規則その他法令の審査,指導及び助言 (2) 不服申立て,訴訟等の助言 (3) つくば市例規集の編集</p> <p>3. 事業の成果及び効果 条例39件,規則56件,告示610件,訓令12件 つくば市例規集 追録2,038ページ</p>												

事業名：総合賠償保険に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額																		
02	01	01	14	本年	3,259				3,259	3,243	99.5																			
				前年	3,220				3,220	3,207	99.6																			
				比較	39				39	36																				
<p>1. 事業の目的 市が,利用者に対し施設の瑕疵や業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を保険金により補填する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 保険の内容 賠償責任保険 市が管理する施設の瑕疵や,市が行う業務上の過失に起因する事故について,市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害を補填する。 補償保険 市が主催する行事又は市民団体によるボランティア活動に参加している住民の偶発的な事故について,市の法律上の賠償責任の有無に関係なく,市が支払う補償金を補填する。 (2) 保険期間 平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間 (3) 市の業務 加入業務 事故発生時の保険会社への連絡 事故報告書等の必要書類作成 示談等の手続き</p> <p>3. 事業の成果及び効果 市からの一時的及び多額な損害賠償金支払いを防ぎ,財政の安定性に寄与する。 <平成21年度保険金の支払実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事故発生月</th> <th>担当課</th> <th>保険金支払月</th> <th>保険種目</th> <th>保険金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>H21.5</td> <td>観光物産課</td> <td>H21.7</td> <td>対物賠償</td> <td>90,709 円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>H21.5</td> <td>働く婦人の家</td> <td>H21.11</td> <td>入院通院補償</td> <td>45,000 円</td> </tr> </tbody> </table>													No.	事故発生月	担当課	保険金支払月	保険種目	保険金額	1	H21.5	観光物産課	H21.7	対物賠償	90,709 円	2	H21.5	働く婦人の家	H21.11	入院通院補償	45,000 円
No.	事故発生月	担当課	保険金支払月	保険種目	保険金額																									
1	H21.5	観光物産課	H21.7	対物賠償	90,709 円																									
2	H21.5	働く婦人の家	H21.11	入院通院補償	45,000 円																									

事業名：庶務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	15	本年	922				922	469	50.9	
				前年	302				302	230	76.2	
				比較	620				620	239		

1. 事業の目的

行政相談及び定例議会等の開催時における総合調整等の業務を行う。

2. 事業の概要

- (1) 行政相談の開催
- (2) 専決処分手続き, 定例議会, 臨時議会

3. 事業の成果及び効果

効率的な行政運営に寄与する。

平成21年度実績

- (1) 行政相談開催 …………… 国・県・市総合相談(年1回・5月), 定例相談(年3回)

開 催 日	会 場
平成21年 5月27日 (水)	市民ホールやたべ
平成21年 7月28日 (火)	つくば市桜庁舎
平成21年10月23日 (金)	筑波公民館
平成22年 1月21日 (木)	大穂公民館

- (2) 専決処分手続き …………… 13件
- (3) 議会定例会 …………… 4回
- (4) 議会臨時会 …………… 2回

事業名：情報公開等に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	16	本年	388				388	118	30.4	
				前年	388				388	31	8.0	
				比較						87		

1. 事業の目的

情報公開条例・個人情報保護条例の施行による, 情報の公開・個人情報の自己開示等の実施及び個人情報の保護を図る。

不服申立てが提起された場合, 審査会の事務局業務を行う。

2. 事業の概要

- (1) 情報公開事務
 - 情報公開申請に対する相談業務
 - 公開・非公開決定の調整, 各課との連絡調整
 - 不服申立書受理に関する事務
- (2) 個人情報保護事務
 - 自己開示等請求に対する相談業務
 - 個人情報の適正管理の届出及び指導業務
 - 開示・非開示等決定の調整, 各課との連絡調整
- (3) 情報公開等審査会に関する事務(不服申立てがあった場合)
 - 審査会への諮問書の受理
 - 審査会の調整, 各課との連絡調整
 - 会議録の作成

3. 事業の成果及び効果

情報公開事務, 個人情報保護事務を行うことにより, 行政の説明責任の明確化, 行政運営の透明性

の向上など、地方自治の本旨に即した市政の実現に寄与する。

<平成21年度情報公開・個人情報開示の実績>

(1) 情報公開事務

情報公開請求書の受付件数

請求書受付件数 …………… 56件 (市内30件・市外26件)

請求者実人数 …………… 36人 (市内21人・市外15人)

情報公開請求に対する処理内容及び件数

処 理 内 容	件 数
公 開	21
一 部 公 開	34
非 公 開	3
請求却下(対象文書不存在等)	5
合 計 (延べ)	63
決定期間の延長(30日延長)	13
第三者照会の実施	1

情報公開の実施状況

公 開 の 方 法	件 数
閲 覧 に よ る 公 開	2
写しの交付による公開	53
未 来 庁	1

(2) 個人情報保護事務

個人情報開示請求書の受付件数

請求書受付件数 …………… 10件 (市内6件・市外4件)

請求者実人数 …………… 9人 (市内6人・市外3人)

個人情報開示請求に対する処理内容及び件数

処 理 内 容	件 数
開 示	5
一 部 開 示	6
不 開 示	0
請求却下(対象文書不存在)	1
合 計 (延べ)	12
第三者照会の実施	1

個人情報開示の実施状況

開 示 の 方 法	件 数
閲 覧 に よ る 開 示	0
写しの交付による開示	11
請求取り下げなど	0

(3) 情報公開等審査会に関する事務

異議申立て件数 …………… 1件

情報公開審査会について

諮 問 案 件 …………… 1件

会議の開催回数 …………… 1回

事業名：公平委員会共同設置に要する経費 (総務部 法務室)
総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	17	本年	517				517	517	100.0	
				前年	525				525	524	99.8	
				比較	8				8	7		

1. 事業の目的

地方公務員法第7条第4項の規定により共同設置したつくば市等公平委員会の経費を負担する。

2. 事業の概要

つくば市、つくばみらい市、かすみがうら市及び新治地方広域事務組合の計4団体による共同設置

3. 事業の成果及び効果

経費の負担 均等割額 団体数 × 10,000円
職員割額 団体職員数 × 300円
1,689人 × 300円 + 10,000円 = 516,700円

事業名：すぐ対応室に要する経費 (市長公室 広報広聴課 すぐ対応室)
総務部 総務課 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	18	本年	4,706				4,706	4,686	99.6	
				前年	4,345				4,345	4,276	98.4	
				比較	361				361	410		

1. 事業の目的

現地対応については、誠意を持って対応し、市民の満足度を向上させる。

2. 事業の概要

市民からの要望・要請・苦情等に対して、速やかに対応することにより、不安・不満等をなくすよう努力し市民のサービス向上を図る。

3. 事業の成果及び効果

平成20年度 受付件数:1,244件(1,112件) うち、道路補修340件(331件) 蜂の処理831件(730件)
平成21年度 受付件数:1,107件(911件) うち、道路補修297件(284件) 蜂の処理713件(575件)
()内の件数は、すぐ対応室処理件数を示す。

要望・要請等に対して、早急に現地に出向き、市民の話をよく聞き、敏速に処理することによって、行政サービスの向上を図ることに努力した。道路の補修については、道路の安全確保に努めた。蜂の駆除要望は、その場で巣を撤去するため、市民から大変喜ばれている状況である。

事業名：政治倫理審査会に要する経費 (総務部 法務室)
総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	19	本年	350				350	220	62.9	
				前年	350				350	170	48.6	
				比較						50		

1. 事業の目的

政治倫理の確立に寄与する。

2. 事業の概要

会議の開催(委員数 6名)

3. 事業の成果及び効果

会議開催 4回
資産等報告書の審査結果を市長へ報告した。

事業名：私学振興に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	20	本年	416				416	84	20.2	
				前年	501				501	122	24.4	
				比較	85				85	38		
<p>1. 事業の目的 構造改革特別区域法により認定を受けた「つくば市教育特区」における株式会社立の学校の認可等及び認可校の評価を行う。</p> <p>2. 事業の概要 つくば市教育特区学校審議会の運営 (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第4条第1項の規定による認可に係る事項 (2) 学校教育法第13条の規定による閉鎖命令に係る事項 (3) 学校教育法第14条の規定による変更命令に係る事項 (4) 法第12条第5項の規定による学校の評価に関する事項</p> <p>3. 事業の成果及び効果 つくば市教育特区学校審議会を開催し、「つくば市教育特区」における認可校の教育内容、管理状況、経営状況の把握及び指導を行った。</p>												

事業名：(仮称)自治基本条例に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	21	本年	2,227				2,227	727	32.6	
				前年	295				295	229	77.6	
				比較	1,932				1,932	498		
<p>1. 事業の目的 (仮称)自治基本条例を制定し、住民自治の一層の促進を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 先進地視察:(仮称)自治基本条例制定に向け、先進地視察を実施し、今後の進め方等についての検討 (2) 庁内研修:幹部職員への研修</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 市民ワークショップ・市民会議の取り組み方を勉強することができた。 (2) 幹部職員の意識付けを行うことができた。 (3) 自治基本条例制定を目指すための前段階として、先進地での取り組み・職員研修を行うことができた。(先進地視察先・・・流山市)</p>												

事業名：土地開発公社に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	22	本年	200				200	139	69.5	
				前年	200				200			
				比較						139		
<p>1. 事業の目的 土地開発公社が実施する、地域の秩序ある整備を図るために必要な土地(公有地)の取得及び造成その他の管理等事務の運営補助</p> <p>2. 事業の概要 土地開発公社への運営費補助(事務従事者の労災保険料及び法人市民税分)を実施。なお、事務従事者は、財政課職員が兼任。</p>												

3. 事業の成果及び効果

139千円の補助を実施(内訳は、労働保険料が67千円、法人県民税均等割が22千円、法人市民税均等割が50千円)した。

土地開発公社の運営に必要な財源の補助により、公有地を先行取得するための手段を確保できた。

事業名：外部監査に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	23	本年	5,068				5,068	4,786	94.4	
				前年	5,068				5,068	4,692	92.6	
				比較						94		

1. 事業の目的

地方自治法の規定に基づき、監査委員の監査に加え、より専門的で独立の立場から、監査機能の独立性、専門性及び透明性を強化し、市民の監査機能に対する信頼向上を図る。

2. 事業の概要

地方自治法第252条の41第1項に基づく市長からの事務監査請求の外部監査を行う。

- (1) 監査委員に対し、個別外部監査の実施に対する意見要求
- (2) 個別外部監査人の推薦候補者募集及び候補者の決定
- (3) 個別外部監査契約の締結に対する意見要求
- (4) 個別外部監査の委託
- (5) 個別外部監査の実施
- (6) 個別外部監査結果報告

3. 事業の成果及び効果

個別外部監査の実施により監査の独立性、専門性及び透明性など更なる監査機能の向上を図る。

<平成21年度実績>

- (1) 監査対象とした事項 保育事業について
- (2) 監査期間 平成21年10月1日から平成22年3月26日
- (3) 監査内容
 - 保育所の運営について
 - ・ 保育サービスに関する検証・職員等の配置配分についての検証
 - ・ 保育料に関する検証
 - 保育所施設について
 - ・ 施設の立地状況についての検証・効果的、効率的な施設の配置についての検証
 - ・ 施設整備の手法についての検証

事業名：特別職報酬等審議会運営に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	11	本年	100				100			
				前年	100				100			
				比較								

1. 事業の目的

特別職報酬改正の際に、審議会委員を任命、招集し、報酬等改正を審議する。

2. 事業の概要

平成21年度は、審議会を開催しなかった。

3. 事業の成果及び効果

事業名：給与事務に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	12	本年	128			5	133	100	75.2	
				前年	137				137	35	25.5	
				比較	9			5	4	65		

1. 事業の目的

職員給与等の支給や保険等の天引きを行う。

2. 事業の概要

例月給与、期末・勤勉手当、児童手当支払事務、人事院勧告との調整、控除額計算、共済負担金の送付等の実施

3. 事業の成果及び効果

平成21年度は、約1,800人の職員の給料や時間外手当等各種手当の支給、各種保険料の控除等の給与事務を円滑に実施した。

事業名：職員研修に要する経費

(総務部 職員研修所)
総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	13	本年	13,849				13,849	12,244	88.4	
				前年	12,678				12,678	11,031	87.0	
				比較	1,171				1,171	1,213		

1. 事業の目的

当市を取り巻く環境の変化に即応した研修を実施し、地方分権時代に対応する質の高い、市民感覚を備えた職員の育成を図る。

2. 事業の概要

(1) 基本研修 9課程 指定人数 304人

各職層ごとに共通した知識及び技能の習得

(2) 特別研修 18課程 指定人数 2,232人

管理職特別(人事評価者訓練)研修、先進地調査研修、政策課題研究研修、行政対象暴力等対応研修、接遇リーダー養成研修、接遇強化研修、文書管理主任研修、法務研修、ISO9001研修、ISO14001研修、情報主管・情報調整主管研修、OA研修、市民参加型まちづくり技法研修、パワーハラスメント研修、メンタルマネジメント研修、ストレス対処法研修、クレーム対応研修、ユニバーサルデザイン研修

(3) 派遣研修 37課程 指定人数 86人

国等の機関(総務省、総務省消防庁、経済産業省、国土交通省)、都市再生機構、(株)つくば研究支援センター、茨城県、荒川区、自治大学校、茨城県自治研修所、市町村アカデミー、国土交通大学校、安全運転中央研修所、(財)全国建設研修センター、(財)公務研修協議会、(社)日本経営協会、外

(4) 通信教育研修 9課程 指定人数 9人

パソコン、民法、文書実務、個人情報保護、外国語講座、管理職のための指導力向上、ほか

3. 事業の成果及び効果

【成果】

(1) 基本研修 9課程 修了人数 292人(修了率 96.1%)

(2) 特別研修 18課程 修了人数 2,155人(修了率 96.6%)

(3) 派遣研修 37課程 修了人数 83人(修了率 96.5%)

(4) 通信教育研修 9課程 修了人数 9人(修了率 100.0%)

【効果】

(1) 基本研修

各職層に応じた知識を習得させるとともに、政策形成能力の向上に努めた。また、管理職層に

おける組織管理能力，指導職層における組織管理の補佐業務及び調整能力を養うことに効果があった。

(2) 特別研修

業務遂行に必要な実務能力（法務・文書）の向上や，高度な政策形成能力の養成につながった。また，平成21年度が新庁舎開庁に向けた「スマイル・アップ運動推進強化年度」に指定されたことに伴い，接遇能力の向上に努めた。

(3) 派遣研修

高度な専門知識の習得に効果があり，また，他自治体・関係機関との情報交換ができた。

(4) 通信教育研修

実務遂行に必要なスキルの向上が図られた。

事業名：職員福利厚生に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	14	本年	16,348		1,400	5	17,743	16,813	94.8	
				前年	16,297			450	16,747	15,953	95.3	
				比較	51		1,400	455	996	860		

1. 事業の目的

職員が安心してその公務に専念することができるように，地方公務員法第42条に定められた職員の保健，元気回復，その他の厚生に関する事業等を実施する。

2. 事業の概要

茨城県市町村職員共済組合や茨城県市町村総合事務組合に関する事務及び健康診断等各種の事業を実施し，職員を側面からバックアップし，公務の能率向上を図る。

3. 事業の成果及び効果

- | | |
|------------------|--|
| (1) 共済組合に関する事業 | 年金の請求・保険給付・組合員証の更新等の事務の実施 |
| (2) 公務災害に関すること | 公務遂行中に発生した災害3件の補償事務の実施 |
| (3) 総合事務組合に関する事業 | 職員の届出事務・退職金の請求事務の実施 |
| (4) 作業服の支給 | 職員作業服支給基準により，夏服180着・冬服84着・防寒着37着・多目的ベスト1,360着を支給 |
| (5) 体育事業 | 官公庁野球大会等に参加 |
| (6) 健康診断 | 定期健康診断に672人，人間ドックに1,066人の職員が受診 |

事業名：人事管理に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	15	本年	11,906				11,906	10,191	85.6	
				前年	12,009			950	12,959	11,326	87.4	
				比較	103			950	1,053	1,135		

1. 事業の目的

職員の採用，異動，退職，人事関係の条例の改廃，職員組合等協議，公務能率向上のための施策の策定等により，適切な人事管理を行う。

2. 事業の概要

人事異動，昇任・昇格，職員採用・退職に関する事務，職員数や給与等に関する総務省や他団体からの各種調査，人事評価実施，分限等による休職・免職，職員の勤務条件に関する各種制度の整備等の実施

3. 事業の成果及び効果

総務省，経済産業省，国土交通省へ各1名の派遣研修を実施したほか，市からは茨城県企画部，土木部，その他公益法人等に16名の派遣及び派遣研修を，県からは経済部に1名を受け入れ，人事交流

を行った。

派遣終了後は、それぞれ関係部署に勤務し、国、県等での経験を生かした効果を上げている。

職員採用試験については、受験者580名分の試験問題の作成と採点の委託を実施。統一試験の問題を採用しているため、全国共通レベルで、なおかつ安価で契約が可能であった。

人事評価制度では、全職種、全職員を対象に人事評価を実施し、6月及び12月勤勉手当の成績率へ評価結果を反映させた。

さらに、職員の基本データである人事記録システムの管理委託もこの事業で行っており、人事評価異動関連作業や給与支給関連業務も年間を通して行った。

また、退職関係では、退職者80名に感謝状を贈った。

事業名：臨時職員に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	16	本年	115,594		2,840	541	118,975	118,553	99.6	
				前年	105,510			256	105,766	105,321	99.6	
				比較	10,084		2,840	285	13,209	13,232		

1. 事業の目的

職員の補助・補充として雇用している臨時職員等の適切な管理の実施

2. 事業の概要

臨時職員等が安心して公務に専念し、公務能率の向上が図れるよう各種保険の加入や健康診断等を実施する。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 臨時職員の社会保険の資格取得170件、喪失117件、雇用保険の資格取得268件、喪失147件の手続き事務の実施
- (2) 労災保険・非常勤公務災害補償制度に加入し、公務中に発生した災害15件の補償手続き事務
- (3) 臨時職員344人の健康診断の実施、生活習慣病予防健診へ54人申込み

事業名：秘書業務に要する経費

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	03	11	本年	17,454				17,454	10,757	61.6	
				前年	17,738			1,738	19,476	12,709	65.3	
				比較	284			1,738	2,022	1,952		

1. 事業の目的

市長統括のもと、関係各部局課相互の連携を図り、一体的に行政機能を発揮する。

2. 事業の概要

市長・副市長の秘書業務
儀式及び交際に関すること
市長会に関すること

3. 事業の成果及び効果

関係各部局課との円滑な調整に基づく市政運営

事業名：表彰・褒章・儀式関係に要する経費

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	03	12	本年	85				85	10	11.8	
				前年	96			522	618	579	93.7	
				比較	11			522	533	569		

1. 事業の目的
市民生活と文化の向上等に特に功績のあった方を讃え、市民福祉の増進と、市政の発展に資する。

2. 事業の概要
叙勲・一般表彰等に関する事務手続き

3. 事業の成果及び効果
つくば市名誉市民 0件、死亡叙勲 1件、高齢者叙勲 0件、平成21年度春の叙勲 0件
平成21年度秋の叙勲 1件、叙位叙勲 0件、叙位 3件

事業名：広報広聴活動に要する経費

市長公室 広報広聴課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	04	11	本年	46,192				46,192	41,751	90.4	
				前年	47,059		7,243		39,816	29,976	75.3	
				比較	867		7,243		6,376	11,775		

1. 事業の目的
各種広報媒体の作成を通じ、行政情報を迅速かつ正確に提供する。また、広聴活動を通して市民ニーズを的確に把握し、市政に反映させるとともに、市政への市民参加がより一層進展するよう働きかける。

2. 事業の概要
広報事業
(1) 広報つくばの発行
(2) 「つくば市民べんり帳」作成
(3) 点字録音広報作成
(4) ケーブルテレビ広報番組「つくば市広報タイム」放送
(5) ラジオFM広報番組「つくば市広報ステーション」放送
広聴事業
(1) モニター制度等

3. 事業の成果及び効果
広報事業
(1) 広報つくば、つくば市民べんり帳等の印刷物、ケーブルテレビ(ACCS)、つくば市記者会への情報提供など各種広報媒体を活用し市政情報を的確に提供した。
広報つくばの発行
月1回(1日)新聞折り込み・郵送等で配布 75,000部
「つくば市民べんり帳」作成
各世帯配布(区会配布)及び各庁舎窓口配布用 100,000部
A4判、行政情報のほかに、市民の生活に必要な生活情報や地域情報等を掲載し、より利便性の高い情報紙を作成(民間事業者と協働で事業を実施)
点字録音広報作成
広報つくばの点訳及び録音版を作成し、視聴覚障害者に配布した。
点訳8部×1回×12月=96部
録音21件×1回×12月=252件
ケーブルテレビ広報番組「つくば市広報タイム」放送
番組制作回数:週1回、放送時間:1回15分、放送回数:1日5回
(2) イーアスつくば「市民プラザ」へはチラシ・ポスター等を常時配置し、ラジオFM(ラヂオつくば)の定

期番組を活用することで市政情報の提供に努めた。

ラジオFM広報番組「つくば市広報ステーション」放送

番組制作回数：週1回，放送時間：1回15分，放送回数：1日3回

広聴事業

(1) 要望者(団体)数は，一般要望95件，市長へのたより61件，市長へのメール107件，市政モニター通信票19件(市政モニター10名)，相談カード12件，総計294件で，要望等の数は614件。これらの要望等に対する回答書を通して，市民満足度の向上を図った。

事業名： 予算事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	05	11	本年	1,297				1,297	627	48.3	
				前年	1,503		100		1,403	1,077	76.8	
				比較	206		100		106	450		

1. 事業の目的

第3次つくば市総合計画に定める，人と自然と科学が調和し，安らぎと活力に満ちた「健康で健全なまち・つくばの創造」の実現を目指し，つくば市の各会計(一般会計及び7特別会計)の予算を編成する。

2. 事業の概要

各会計の予算編成を実施。また，予算の推移や予算概要について，市民への情報提供を実施する。各会計の現年度予算について，制度変更や財政状況の変化に対応するために補正予算の編成を行うとともに，次年度の年間総合予算としての当初予算の編成を行う。

3. 事業の成果及び効果

平成21年度予算について，限りある財源の効果的で効率的な活用を図りながら，一般会計で11回，国民健康保険特別会計で3回，下水道事業特別会計で3回，老人保健特別会計で2回，後期高齢者医療特別会計で4回，介護保険事業特別会計で3回の補正予算編成を行った。

また，実施計画等との整合性を図りながら，全会計の平成22年度当初予算を編成した。

さらに，市ホームページを活用して，当初予算書，予算の経年変化に関する資料等を公開し，市民への情報提供に努めた。

庁内情報システムに予算書データを掲示することで，予算書印刷部数を減らし経費の節減に努めた。

事業名： 決算事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	05	12	本年	772				772	416	53.9	
				前年	627		34	31	562	341	60.7	
				比較	145		34	31	210	75		

1. 事業の目的

予算及びその執行結果の実績を決算として取りまとめ，事業の成果，効果を明らかにすることで，議会及び市民への説明責任を果たす。

2. 事業の概要

地方自治法第233条第5項に定める主要施策の成果及び予算執行の実績報告書を調製し，会計管理者の調製する決算書と合わせて，監査委員の決算審査に付し，議会に対する決算認定の提案にかかわる一連の事務を行う。併せて地方財政状況調査や財政健全化比率の算定を行い，財政状況に関する資料を作成する。

また，平成20年度決算から，新公会計制度による連結財務諸表を作成し，市民に公表する。

3. 事業の成果及び効果

決算事務を通して予算と執行過程，実績を把握し，事業の評価を念頭に経費対効果などを検証するとともに，決算から算出される財政指標をもとに，財政運営の健全化に努めた。

また、連結財務諸表を作成し、公表することにより、既存の決算資料では把握されていない市全体の財政状況が整理できた。

さらに、主要施策の成果及び予算編成の実績報告書を本年度からホームページに掲載し、市民に対する、より詳細な情報提供に努めた。

事業名：理財事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	05	13	本年	299				299	202	67.6	
				前年	16,324			31	16,355	16,280	99.5	
				比較	16,025			31	16,056	16,078		

1. 事業の目的

地方交付税、基金及び各種交付金など歳入の確保と資金調整に関連する事務処理を通して、財源の計画的な確保を図るとともに、市債の同意申請、借入、償還事務を執行する。

2. 事業の概要

市債の借入、一時借入、基金の総合調整、地方交付税、地方譲与税、交付金の管理及び債務負担行為の管理並びに各種調査・報告等の事務を行う。

3. 事業の成果及び効果

市債については、一般会計債において、平成21年度の同意を得て借り入れた事業は20事業、借入額は、前年度債の繰越分を含め9,388,461千円。

また、起債同意を要しない茨城県からの借入は、繰越分を含め2件で287,447千円となった。前年度借入は4,980,038千円、借入額合計は9,675,908千円となった。

普通交付税については、財源超過により不交付団体となるが、合併算定替えの特例により、旧荳崎町分として1,392,493千円の交付があった。

事業名：出納事務に要する経費

会計課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	06	11	本年	14,006			18	14,024	13,264	94.6	
				前年	11,568			273	11,841	9,400	79.4	
				比較	2,438			255	2,183	3,864		

1. 事業の目的

出納事務をとおして、予算の公正な執行の実現を図る。

2. 事業の概要

会計事務の検査及び指導を行うとともに、現金の出納と保管、公金預金の管理を行う。

3. 事業の成果及び効果

収入については、速やかに収納するとともに、支出にあつては、支払調書等を厳正に審査し、適正で正確な事務処理を行った。

事業名：決算事務に要する経費

会計課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	06	12	本年	494			18	476	278	58.4	
				前年	494			160	334	333	99.7	
				比較				142	142	55		

1. 事業の目的

歳入歳出予算の執行状況を正確に把握し、決算書を調製して行財政運営の資料とする。

2. 事業の概要

前年度の歳入歳出の決算内容を確認するとともに、決算に関わる資料を徴して決算書を調製する。

3. 事業の成果及び効果

監査委員の審査及び議会の審議を経て、決算の内容が厳密に検証され、財務の効率化、適正化に資することができた。

事業名：共同物品調達に要する経費

会計課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	06	13	本年	16,088				16,088	13,881	86.3	
				前年	16,088			113	15,975	14,894	93.2	
				比較				113	113	1,013		

1. 事業の目的

共同物品(コピー用紙、封筒等)について、一括購入のメリットを生かし、コスト削減に努める。

2. 事業の概要

市役所で使用する共同物品の発注、保管及び頒布を一元的に行う。

3. 事業の成果及び効果

共同物品購入状況

	平成21年度	平成20年度
コピー用紙(A3 A4 B4 B5)	13,525,000枚	11,532,500枚
封筒(角0 角1 角2 角3)	347,000枚	307,500枚

購入枚数の増加は、新庁舎対応、総合計画策定業務等によるものである。

事業名：庁舎維持管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	11	本年	273,149		130,067		403,216	295,018	73.2	63,415
				前年	239,160		6,709		245,869	242,059	98.5	
				比較	33,989		123,358		157,347	52,959		63,415

1. 事業の目的

各庁舎の保全と、庁舎内の秩序維持を保つための施設等の維持管理業務

2. 事業の概要

各庁舎の建物及び設備等の修繕及び維持管理

- (1) 空調設備保守点検業務 ・清掃業務 ・警備業務 ・冷暖房運転業務 ・消防設備点検業務
- (2) 空気環境測定業務 ・エレベーター保守点検業務 ・受水槽高架水槽清掃業務
- (3) 大穂庁舎駐車場通路舗装修繕 ・筑波庁舎コンセント修繕ほか

3. 事業の成果及び効果

各庁舎の施設を保守、修繕することで効率的に利用できるように努めた。

事業名：市有土地建物の管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	12	本年	6,560				6,560	6,414	97.8	
				前年	3,030		345	2,596	5,971	5,848	97.9	
				比較	3,530		345	2,596	589	566		

1. 事業の目的

公有財産(普通財産)を良好な状態に維持管理し、経済的価値を十分に発揮するよう運用する。

2. 事業の概要

- (1) 公有財産管理委員会の開催

- (2) 普通財産(土地)の管理(除草等)及び処分(払い下げ)
- (3) 普通財産(建物)の維持管理
- (4) 土地境界立会

3. 事業の成果及び効果

- (1) 市有地の除草等を実施することで荒廃を防止し生活環境を保全する等適正に管理した。
- (2) 希望者には一時貸付を実施する等有効に活用した。
- (3) 市有建物の屋根老朽化による修繕工事を行った。
- (4) 一般競争入札により、普通財産の処分を実施した。

事業名：車両管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	13	本年	118,542				118,542	91,450	77.1	
				前年	117,281			2,596	114,685	100,378	87.5	
				比較	1,261			2,596	3,857	8,928		

1. 事業の目的

各部署における公用自動車の維持管理事務を効率的にかつスムーズに遂行できるよう調整を行う。

2. 事業の概要

- (1) 公用自動車の修理及び車検整備
- (2) 公用自動車のリース
- (3) 公用自動車の任意保険への加入

3. 事業の成果及び効果

公用自動車の修理及び整備,リース車の導入により,事務事業が効率的かつスムーズに遂行できた。

事業名：事務機器管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	14	本年	26,246		3,290		29,536	27,340	92.6	
				前年	26,262				26,262	24,826	94.5	
				比較	16		3,290		3,274	2,514		

1. 事業の目的

各部署の事務事業が効率的に遂行できるよう,事務機器の管理等を行う。

2. 事業の概要

事務機器の管理

コピー機	カラーコピー機	ファクシミリ	印刷機	シュレッダー
35台	4台	36台	6台	2台

3. 事業の成果及び効果

事務機器の適正配置及び管理によって,効率的な事務事業の遂行に寄与した。

事業名：事業契約に要する経費

(財務部 管財課)
総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	07	15	本年	5,082				5,082	4,646	91.4	
				前年	5,464				5,464	5,053	92.5	
				比較	382				382	407		

1. 事業の目的

入札参加業者の登録・管理及び入札・契約事務を円滑に執行するために行う。

2. 事業の概要

- (1) 入札参加希望業者の受付, 審査, 登録, 情報管理
- (2) 入札審査委員会の開催
- (3) 入札の実施, 契約の締結
- (4) 入札事務評価委員会の開催
- (5) いばらき電子入札共同利用システムの運営委託
- (6) 業者管理システムの保守管理委託

3. 事業の成果及び効果

20・21年度入札参加資格審査 追加受付(21年9月実施) 77社(者)
 22・23年度入札参加資格審査 定期受付(22年2月実施) 3,240社(者)
 入札審査委員会開催 12回 (月1回)
 入札実施件数 指名競争入札 811件 (電子入札 2件, 単価契約 68件)
 (不調分除く) 一般競争入札 61件 (電子入札 41件, 単価契約 3件)
 入札事務評価委員会開催 2回 (21年7月, 22年2月)

事業名：業務検査に要する経費

(総務部 工事検査室)
総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	07	16	本年	150				150	109	72.7	
				前年	201				201	74	36.8	
				比較	51				51	35		

1. 事業の目的

市が発注する建設工事及びこれに付随する設計の適正な履行を確認するため、工事請負契約約款及びつくば市工事等検査規程等に基づいた検査を実施する。

2. 事業の概要

契約金額が1件130万円以上の建設工事及びこれに付随する設計について、完成・完了検査、出来高検査及び中間検査等を行う。

3. 事業の成果及び効果

繰越し分等を除く建設工事等の検査をすべて実施した結果、適正な履行の確認ができた。なお、本年度における検査実施件数は以下のとおりである。

(単位:件)

	建設工事	設計委託業務	合計
完成・完了検査	400	70	470
出来高検査	20	2	22
中間検査	2	0	2
手直し検査	0	1	1
計	422	73	495

事業名：行政経営に要する経費

市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	11	本年	5,226		1,498		3,728	3,126	83.9	
				前年	8,175				8,175	6,614	80.9	
				比較	2,949		1,498		4,447	3,488		

1. 事業の目的

長期的展望に立った効率的、効果的な行政経営を推進するため、「計画(P)、実施(D)、評価(C)、改善(A)」というマネジメントサイクルの確立及び行政改革に取り組む。

2. 事業の概要

行政改革の推進、行政評価、パブリックコメント(市民と行政が共に施策をつくる手続制度)、職員提案制度等の実施

3. 事業の成果及び効果

各事業に取り組むことで効率的、効果的な行政経営を推進するとともに、市民に対する説明責任を果たすため各種情報の公開に努めた。

(平成21年度実施状況)

- (1) 行政改革実施計画(集中改革プラン)の平成20年度進捗状況を取りまとめた。
- (2) 行政改革実施計画(集中改革プラン)の平成21年度終了と平成22年5月の新庁舎開庁を踏まえ、さらなる行政改革に取り組むため、新たな実施計画(行政改革マニフェスト)(案)を策定した。
- (3) 平成20年度事務事業の中から50事業を抽出し、行政評価を実施した。
- (4) 行政経営懇談会を6回開催し、行政評価及び行政改革について意見をいただいた。
- (5) パブリックコメント実施状況 案件16件(条例案2件、計画案等14件)、意見数 228人、946件
- (6) 職員提案制度実施状況 提案50件、業務改善報告8件
- (7) 行政改革担当理事を引き続き任用し、行財政改革のさらなる推進を図った(9月任期満了)。
- (8) 指定管理者候補者選定検討会議を開催し、平成22年4月から管理運営する6施設の指定管理者候補者を選定した。
- (9) 市民意識調査結果を各部等に周知し、事務事業の見直しや新規事業の企画立案等の参考資料として活用を図った。
- (10) 新庁舎建設に伴う現庁舎の利活用及び各市民窓口センターのあり方について検討を進め、現庁舎等利活用方針を策定した。

事業名：玉取・栗原地域周辺整備推進に要する経費

(市長公室 政策審議室)
市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	12	本年	12				12			
				前年	17				17			
				比較	5				5			

1. 事業の目的

茨城県が行うつくばメモリアルホール周辺整備事業を推進し、玉取・栗原地区の地域振興を図る。

2. 事業の概要

つくばメモリアルホール周辺整備は全体計画面積が17haあるが、その内、事業計画が未確定である13.5haの区域について整備促進を図るため、茨城県及び地元と調整を進める。

3. 事業の成果及び効果

つくばメモリアルホール周辺整備事業の一環として、平成19年4月に茨城県立つくば養護学校が開校したが、事業計画未確定の区域について県から具体的な方向性が示されていない。

事業名：地域情報化に要する経費

総務部 情報システム課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	13	本年	14,088				14,088	14,000	99.4	
				前年	16,850				16,850	16,712	99.2	
				比較	2,762				2,762	2,712		

1. 事業の目的

つくば市IT推進プランに策定されている各施策を推進し、電子自治体を構築する。それにより、行政手続きの効率化、行政サービスの品質向上を図り、自治体経営の効率化及び市民生活の向上を実現する。

2. 事業の概要

- (1) 電子申請・届出の推進
- (2) GISの整備
- (3) いばらきブロードバンドネットワークの活用
- (4) 市内ブロードバンド化
- (5) 情報セキュリティの向上

3. 事業の成果及び効果

- (1) いばらき電子申請・届出サービスを適正に運営した。電子申請・届出が可能な手続は16手続。平成21年度の申請・届出件数は373件(簡易申請を含めると738件)。
- (2) 茨城県域統合型GISのレイヤー管理及び各課利用支援を行った。
- (3) いばらきブロードバンドネットワークを有効活用した。
- (4) 市内のブロードバンド・ゼロ地域を解消するため、関係機関へ要望活動を行った。
- (5) 職員を対象に情報セキュリティ研修を実施した。

事業名：情報ネットワークセンター運営に要する経費

総務部 情報ネットワークセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	14	本年	12,253				12,253	10,879	88.8	
				前年	13,484				13,484	13,176	97.7	
				比較	1,231				1,231	2,297		

1. 事業の目的

地域情報化に関する計画の策定及び推進を図り、市民生活の利便性の向上及び市の情報発信に関する事務を推進していく。

2. 事業の概要

- (1) 29ヶ所の管理端末をネットワーク回線で結び、公共施設予約情報等の市民への提供
- (2) 市民開放端末の設置
- (3) 館内における市民を対象としたパソコン講座の開催やインターネット体験、コンテンツ作成、情報バリアフリーコーナーなど、市民の情報リテラシーの向上や高齢者・障害者のための支援

3. 事業の成果及び効果

- (1) 情報ネットワークセンターを中核施設として29ヶ所の管理端末をネットワーク回線で結び、公共施設予約情報等を市民に提供した。
- (2) 市民開放端末を31ヶ所に設置し、市民生活の利便性の向上を図った。
- (3) 館内では市民を対象としたパソコン講座の開催やインターネット体験、コンテンツ作成、情報バリアフリーコーナーなど、施設を市民に開放し、市民の情報リテラシーの向上や高齢者、障害者のための支援を行った。経費は、これら拠点施設の維持管理費用である。

来館者数

1階各種体験コーナー	8,425人(前年度:7,521人)
2階パソコン研修室	研修室利用回数: 46回(内訳: 一般利用 12回, 公用利用 34回) 研修室利用者数: 529人(内訳: 一般利用121人, 公用利用408人)

(市長公室 庁舎建設室)
財務部 管財課

事業名：庁舎建設に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	15	本年	4,667,813	49,865	146,817		4,570,861	4,561,838	99.8	
				前年	1,402,722	300	129,980		1,273,042	1,222,966	96.1	49,865
				比較	3,265,091	49,565	16,837		3,297,819	3,338,872		49,865

1. 事業の目的

新庁舎を建設することにより、分散方式による弊害を解消し、住民サービスの向上と行政の効率化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 新庁舎建築工事(本体工事及び外構工事，H19～21の3ヶ年継続事業)
- (2) ネットワーク配線工事(新庁舎内LAN配線工事，H20～21の2ヶ年継続事業)
- (3) 新庁舎建設工事及び外構工事監理業務
- (4) 新庁舎太陽光発電設備設置工事
- (5) 新庁舎フロアサイン工事
- (6) 流域貯留浸透施設整備工事
- (7) 新庁舎オフィス環境整備業務
- (8) 新庁舎新規備品購入

3. 事業の成果及び効果

新庁舎建設基本計画に基づき経済的・機能的な庁舎を建設することが出来き、従来の分散方式による弊害を解消するとともに、住民サービスの向上と行政の効率化を図れた。

- (1) 新庁舎建築工事(本体工事及び外構工事，H19～21の3ヶ年継続事業)
敷地面積 約66,000㎡ 建築面積 6,192㎡ 延床面積 21,004㎡ 地上7階建
構造鉄筋コンクリート造(PC造)，一部鉄筋，免震構造
- (2) ネットワーク配線工事(新庁舎内LAN配線工事，H20～21の2ヶ年継続事業)
情報システム課に予算を令達し，工事を実施
- (3) 新庁舎建設工事及び外構工事監理業務
本体工事及び外構工事に係わる工事の監理業務
- (4) 新庁舎太陽光発電設備設置工事
新庁舎3階屋上に太陽光パネル(65Kw)を設置
- (5) 新庁舎フロアサイン工事
新庁舎屋外及び室内に来庁者用の案内サインを設置
- (6) 流域貯留浸透施設整備工事
雨水の流出抑制，地下水の涵養(かんよう)を図るため，新庁舎敷地内に流域貯留浸透施設を設置。
当初H20～21の2ヶ年継続事業で整備を予定していたが，外構工事と一体的に整備する必要があるため，21年度に設置。
工事費 83,265千円(H20年度49,865千円(繰越)，H21年度33,400千円)
- (7) 新庁舎オフィス環境整備業務
現庁舎の現状調査，新庁舎の執務室等のレイアウト計画作成，新規什器購入計画作成，転用什器の移転計画作成，引越計画の作成業務等の業務委託。(H20～21の2ヶ年継続事業)
- (8) 新庁舎新規備品購入
新庁舎執務室内で使用する机・椅子・収納庫等の購入

事業名：総合計画策定に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	16	本年	14,032	7,000	743		20,289	18,785	92.6	
				前年	7,652				7,652	54	0.7	7,000
				比較	6,380	7,000	743		12,637	18,731		7,000

1. 事業の目的

まちづくりの推進に当たっての理念や将来像及び人口予測、土地利用等を設定すると共に、これを実現していくための施策の大綱について定め、さらに、主要な行政施策の目標とする基本計画を定める。

また、基本計画で定められた主要な施策を効果的に実現するため、毎年度の予算編成の指針として、具体的な事業計画と事業規模等を定める。

2. 事業の概要

総合計画の平成22年度から平成26年度の5年間の施策の展開を示す「後期基本計画」を策定するもので、基本構想の施策の大綱に基づき、その実現を図るための施策の体系と目標、そして主要な行政施策を定める。

策定までの業務

- (1) 総合計画審議会の開催(5回)
- (2) 総合計画策定委員会の開催(3回)
- (3) まちづくり懇談会の開催
- (4) 市民意向調査(アンケート)の実施
- (5) 各課等ヒアリング(3回)
- (6) パブリックコメントの実施

3. 事業の成果及び効果

「健康で健全なまち・つくば」を目指し、平成17年策定の第3次つくば市総合計画・前期基本計画(H17～H21)の計画期間満了に伴い、平成22年度を初年度とする後期基本計画(H22～H26)を策定した。

平成17年の計画策定から5年が経過し、その間、つくばエクスプレスの開通や圏央道の一部開通などにより、つくば市は、都市の発展・熟成に向けた新たなステージを迎えている。一方、財政状況が一層厳しさを増す中、本格的な少子高齢化時代を迎え、地方自治体の自主性・自立性が強く求められるようになってきた。

このような市を取り巻く状況の変化を踏まえ、第3次つくば市総合計画・後期基本計画を策定した。

事業名：情報通信ネットワークシステム運用に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	17	本年	114,556		10,904		125,460	116,758	93.1	498
				前年	111,632		669	2,500	108,463	105,045	96.8	
				比較	2,924		11,573	2,500	16,997	11,713		498

1. 事業の目的

市民生活の利便性に寄与するため、情報発信の中核となる情報ネットワークセンターを運営し、情報発信に関する事務を推進していく。

また、庁舎及び出先機関における情報化を進めるための基盤ネットワークの維持管理を行い、円滑な事務執行及び事務の効率化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 情報ネットワークセンターを中核施設として、7庁舎を含めた約200施設を広域ネットワークで結び構築した全庁ネットワークの保守及び管理運営を行う。
- (2) 新庁舎開庁に伴う、新庁舎ネットワークシステムの構築及び現行ネットワークシステム全体の見直しを行う。
- (3) ホームページを使った様々な情報提供サービスを展開し、利便性の高い先進的な情報を随時市

民に提供する。

- (4) 公共施設予約管理システム, 粗大ごみ収集受付システム, 図書館システム等の24時間いつでも, 市民の都合が良いときに利用できるサービスを提供するため, ネットワーク機器及び専用アプリケーションの管理運用を行う。

3. 事業の成果及び効果

- (1) ネットワークトラブル(メンテナンス等の計画停止を除く)による市民サービスへの影響(サービス停止)は, 年間総稼働時間の約0.5%以内に留めることができた。

- (2) 新庁舎開庁, 窓口センター設置, 並びに旧庁舎廃止に伴う出先機関及び旧庁舎付属施設のネットワーク再編及び整備を行った。

新設6ヶ所, 改修4ヶ所 内容: 情報系及び基幹系ネットワークの改修・IP電話網新設

- (3) つくば市公式ホームページについて, 市民ニーズにあった, 利用しやすく, Webアクセシビリティ, ユーザビリティに配慮したものとして運営した。

- (4) 平成21年度において, インターネット上からつくば市のネットワークに対して不正侵入・攻撃等を試みた件数は約61千件/年, メール等により送られてきたコンピュータウイルス約14,600件/年, スパムメール約1,571千件/年。前年度比で, 不正侵入・攻撃等は30%減, ウイルスメールは6.9倍増, スパムメールは25%増となっている。これらの現状に対し, セキュリティシステムは有効に機能している。

- (5) つくば市公共施設予約管理システム登録カード発行者数 (平成22年3月31日現在)

個人カード18,070枚(2,143枚) + 団体カード1,795枚(175枚) = 合計19,865枚(2,318枚)

()内の数字は平成21年度登録分

平成21年度予約状況 ・窓口受付: 103,589件 ・インターネット受付: 30,684件

・携帯受付: 3,453件

事業名: ISO9001事業に要する経費 (市長公室 行政経営課 / 市長公室 企画経営課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	18	本年	2,996				2,996	2,937	98.0	
				前年	5,504				5,504	5,038	91.5	
				比較	2,508				2,508	2,101		

1. 事業の目的

品質に関する国際標準規格であるISO9001の認証を取得し, 行政サービスの質的向上や市民満足度を高めながら, 「市民に信頼され親しまれる市役所づくり」を目指していく。

2. 事業の概要

- (1) ISO9001品質マネジメントシステムの規格に基づく「つくば市行政サービス向上システム」の運用
 (2) 向上システムの内部監査実施
 (3) 市民満足度を把握するための市民アンケート窓口調査実施
 (4) ISO9001審査登録機関の受審

3. 事業の成果及び効果

- (1) 業務の効率化や質的向上, 市民満足度の向上に努めた。
 (2) 向上システムの適切な運用を維持するために内部監査を実施した。
 (3) 市民満足度を把握するための市民アンケート窓口調査を年2回実施した。
 (4) 審査登録機関による審査を受審し, 全78部署におけるISO9001の認証を維持した。

事業名：東京事務所に要する経費

市長公室 つくば市東京事務所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	19	本年	29,808				29,808	29,389	98.6	
				前年	39,657				39,657	38,569	97.3	
				比較	9,849				9,849	9,180		

1. 事業の目的

つくばエクスプレス沿線地域を中心とする首都圏に向けたつくば市のシティセールス前線拠点として活動するため、東京事務所の維持管理及び有効活用を図る。

2. 事業の概要

東京事務所の適切な維持管理を行うとともに、事務所の一部を研究交流サロンとして市内関係者の打合せスペースとして有効活用するなど、事務所の付加価値を高めた運営を行う。また、秋葉原ダイビルに入居する大学・企業・独法等で構成される「アキバテクノクラブ」に参加し、各機関との相互交流や情報収集を行う。

3. 事業の成果及び効果

関係部署への会議室の貸出や、市内研究機関関係者等による研究交流サロンの利用拡大により、東京事務所の利用者数が増加した。

【21年度研究交流サロン 利用回数:205回 利用人数:669人 (前年度実績 133回 480人)】

【事務所利用回数:50回】

- ・市内中学校 6校
- ・庁内 23回
- ・その他 21回

また、年1回開催される「アキバテクノクラブ レビュー＆プロモーション」において、産学官連携事業の発表及び交流会でのつくばの食材をPRした。

事業名：シティセールスに要する経費

市長公室 つくば市東京事務所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	20	本年	15,936				15,936	12,684	79.6	
				前年	5,080				5,080	4,069	80.1	
				比較	10,856				10,856	8,615		

1. 事業の目的

つくばエクスプレス沿線や都内の自治体、また各種団体等との交流・連携により、つくばの豊かな自然や世界最先端の科学技術等つくば市の持つ魅力を、秋葉原に事務所を構えるメリットを活かして積極的に情報発信することで、都内からの誘客による観光振興、定住促進及び産学官連携による産業活性化を図る。

2. 事業の概要

(1) つくばスタイル魅力発信事業

「サマーライフinつくば2009 ～つくばの自然と科学を体感しよう～」(7月25日～26日の1泊2日)

(2) つくばエクスプレスを中心とした地域間交流促進事業

- ・荒川区:「川の手荒川まつり」への出展 (4月29日)
- ・港区:「シロカネ・グローバル・フェスタ2009」への出展 (5月15日～16日)
- ・千代田区:いずみこどもプラザによる農園作り体験事業招致
(5月23日,6月27日,8月29日,10月17日)
- ・三郷市:「misato style 2009」への出展 (8月8日)
- ・荒川区:スポーツ交流事業の実施 (9月21日,26日,11月29日)
サッカー,野球,バレーボール
- ・港区:「みなと区民まつり」への出展 (10月10日～11日)
- ・荒川区:「つくば物語」への東京荒川少年少女合唱隊招致 (10月31日)

- ・台東区:台東区観光課職員つくば視察 (10月31日～11月1日)
 - ・港区:「商店街と地方都市との交流物産展」への出展 (11月5日～6日)
 - ・港区:魚らん商店街において「つくばさんず」オープン (12月12日)
 - ・荒川区:「荒川区交流都市フェアin日暮里」への出展 (3月28日) ほか
- (3) 企業立地促進・産学官連携促進事業
- ・東京都:「産業交流展2009」への招待出展 (11月4日～6日)
 - ・足立区:異業種グループ足立イコー会つくば視察 (11月13日～14日)
 - ・板橋区:「いたばし産業見本市」への出展 (11月19日～21日)
 - ・「第3回つくば産産学連携促進市inアキバ ～試せる場つくば～」の開催 (2月16日)ほか
- (4) 情報発信・各種PR事業
- ・つくば市観光情報, イベント情報の発信 (通年)
 - ・ケーブルテレビ足立:「夏のつくば満喫ツアー」放映 (30分×16回)
 - ・東京ケーブルネットワークテレビ:「つくばの春をハイキング&ウォーキング」放映 (30分×43回)
 - ・科学PRイベント「昆虫の感覚と行動の不思議」:エキスポセンターとの共同開催 (8月3日, 23日)
 - ・科学PRイベント「ロボット出前授業」 足立区立千寿第八小学校にて開催 (10月16日)
 - ・シティセールス会議の開催:市内各種団体が参加 (9月28日, 3月25日) ほか

3. 事業の成果及び効果

港区においては、「シロカネ・グローバル・フェスタ」や「みなと区民まつり」への出展をきっかけとして、新たなイベント(「商店街と地方都市との交流物産展」)への出展を依頼されるなど、交流の裾野が広がった。更にはこれらイベントへの出展が発展して港区魚らん商店街におけるつくばの新鮮野菜販売「つくばさんず」が開設されることとなり、月2回開催される「つくばさんず」は大変評判を得ている。

メディアを活用したつくばPRにおいては、都内ケーブルテレビ局側からつくばでの取材について協力依頼を受けるとともに、東京事務所が関わった事業への同行取材が増加した。また、新たなメディアとして台東区内のケーブルテレビ(J:COM台東)の活用を図ることができた。【都内ケーブルテレビ各社で放映されたつくば関連PR番組の放送時間 計6,801分】

つくばエクスプレス沿線を中心とする自治体との交流・連携を深めながら、つくばの継続したPRを行うことで交流の多様化が図れるようになってきており、今後の市への誘客効果が期待される。

事業名: 政策審議に要する経費

市長公室 政策審議室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	21	本年	45,051		2,706	218	47,539	44,814	94.3	
				前年	15,582		3,203		18,785	16,564	88.2	
				比較	29,469		497	218	28,754	28,250		

1. 事業の目的

市政に関する各種重要施策の調整を行うことで、市政の円滑な推進を図る。

2. 事業の概要

- ・庁議の開催に関すること
- ・業務核都市に関すること
- ・構造改革特区に関すること
- ・まちづくり事業に関すること
- ・市内大学との連携に関すること
- ・全国特例市連絡協議会に関すること
- ・開発等に関わる土地利用の調整に関すること
- ・筑波研究学園都市整備に関すること
- ・都市再生に関すること
- ・中央要望や各種要望に関すること
- ・ユニバーサルデザインに関すること
- ・茨城ゴールドンゴールズとの連携に関すること

3. 事業の成果及び効果

庁議の開催や各種重要事項の調整を図ることで、市政の円滑な運営を図った。

事業名：つくば市OB人材活動支援事業に要する経費

市長公室 政策審議室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	22	本年	4,988		100	10	4,898	4,647	94.9	
				前年	4,276		1,637		2,639	2,369	89.8	
				比較	712		1,537	10	2,259	2,278		

1. 事業の目的

大学、研究機関が集積し専門的能力の高い人材が多いというつくば市の特質を背景に、退職者等の生きがい対策とともに、一般への知識の普及を図ることにより、人材の定着及び地域社会・経済の活性化を図る。

2. 事業の概要

OB人材のさまざまな社会参加・活動を支援し、いつまでも社会発展の牽引力となって活躍できる事業モデルを構築する中で、子どもたちや一般市民の方々に講義をしていただけるOBの方々を登録したりリストを作成し、公民館講座をはじめとした登録OB人材の活動の場を調整していく。

3. 事業の成果及び効果

約80名のOB人材を登録した「筑波研究学園都市OB人材講師登録リスト」を刊行し、庁内、周辺自治体、商工会及び民間企業等に400部を超える配付を行い、登録人材に対し、延べ67回の講座講師の場を提供したことにより、つくばの特性を生かした退職者等の生きがい対策等を実施した。

(市長公室 研学地区整備推進課)

事業名：研究学園地区土地利用に要する経費

市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	23	本年	4,082		6,762	500	11,344	10,455	92.2	
				前年	4,386			12	4,374	4,041	92.4	
				比較	304		6,762	512	6,970	6,414		

1. 事業の目的

研究学園地区については、概成して約30年が経過し、公共施設等の老朽化や国家公務員宿舎の一部廃止への対応など新たな課題も顕在化していることから、建設時の計画標準の理念を継承し、緑豊かでゆとりある環境の保全に努める。また、つくばエクスプレス沿線地区については、各地区の特長を活かした魅力ある街づくりを推進する。

2. 事業の概要

国土交通省を事務局とした「筑波研究学園都市整備検討委員会」において実施された、「研究学園地区建設計画」等の計画の進捗・達成状況の把握、課題の整理に伴う結果を基にした今後のつくばのあり方の検討。

3. 事業の成果及び効果

つくば市及び茨城県を事務局とした「新たなグランドデザイン」を策定し、知財(科学)、人財(人)の集積と、都市と自然、田園との調和のとれたフィールド(まち)を融合することによって、世界や日本が直面する問題解決に向けて先導し、貢献するという「つくばの理念」を基に、「2つの基本姿勢」「目指すべき2つの基本目標」そして「将来像実現のための7つの戦略」を掲げた。

また、7つの戦略の1つ「都市景観・文化の創造・保全」に規定されている国家公務員宿舎(平成19年度廃止予定分)跡地対策として、ゆとりある緑豊かな都市環境について地区計画を策定し、保全に努めた。

事業名：自転車のまちづくり推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	24	本年	5,133		4,500		9,633	48	0.5	9,240
				前年	1,342			92	1,250	693	55.4	
				比較	3,791		4,500	92	8,383	645		9,240

1. 事業の目的

環境に優しい持続可能なまちづくりに取り組むにあたり、自転車利用を長期的に推進するため、市内の道路状況の調査や住民・事業者の意識等を抽出・分析・整理し、今後の自転車のまちづくばの将来ビジョンや目標等を策定し、それに向けた施策の検討を整理する等自転車のまちづくばを推進する基となる基本計画を策定する。

2. 事業の概要

下記業務を実施し、自転車のまち基本計画を策定する。

- (1) 市内道路状況の調査として、市民参加型のワークショップを3回開催し道路評価の実施。
- (2) 市民3,000通、街頭調査500人程度、一般企業50社程度、大規模小売店15店を対象にアンケートを実施し、自転車利用の問題点と自転車のまちづくばの方向性を整理。
- (3) 自転車の位置づけ、将来目標の明確化
- (4) 将来ビジョンの作成として、(3)で検討した自転車の位置づけと(2)のアンケート結果をもとにした自転車のまちづくばの将来像の作成。
- (5) 実施施策の整理
- (6) 有識者や関係者の意見を聞くための勉強会の開催

3. 事業の成果及び効果

国からの補助事業である街路交通調査費補助事業を活用し、事業を実施してきたが、補助申請や調査・分析作業が遅れ、基本計画(案)までの策定となった。有識者や関係者で構成する推進委員会の設置やパブリックコメント、基本計画公表は次年度へ繰り越した。

事業名：(仮称)総合ネットワークセンターに要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	25	本年	12,524				12,524	9,057	72.3	
				前年			28,334		28,334	25,901	91.4	
				比較	12,524		28,334		15,810	16,844		

1. 事業の目的

(仮称)総合ネットワークセンターを整備・活用し、つくば市全体の情報化を推進し先端産業分野のベンチャー企業の側面支援を行うことで、つくば市の情報ネットワークの発展・情報化推進、及び産業振興をはかることを目的とする。

2. 事業の概要

(独)情報通信研究機構が所有する「つくば連携実験施設」を賃借し、(仮称)総合ネットワークセンターとして活用している。本事業により建物の施設賃借料を支払い、清掃、植栽管理、電気料等の支払いなどの施設の維持管理を実施している。

3. 事業の成果及び効果

現在、1階部分は「新庁舎電算バックアップ施設」として整備し、平成22年から利用を開始した。新庁舎のオンライン系バックアップ機能及びバッチ基幹業務を担う機能として、つくば市の電算業務処理に貢献している。

2階部分は「つくば市産業振興センター」として平成21年から、つくば発の将来有望なベンチャー企業等の受け皿施設として活用し、企業の市内定着及び経営基盤強化につなげることで、市の産業活性化に寄与している。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	27	本年	7,006	5,754	1,424	500	13,684	12,428	90.8	
				前年			6,263	105	6,368	186	2.9	5,754
				比較	7,006	5,754	4,839	605	7,316	12,242		5,754

1. 事業の目的

地球温暖化の要因となっている二酸化炭素排出量の大幅削減を図る。

2. 事業の概要

「つくば環境スタイル」の推進

つくば環境スタイルは2030年までに市民一人当たりの二酸化炭素排出量を50%削減することを目標に掲げた計画で、「市民等の協働の実践体制の構築」と「二酸化炭素削減技術の開発・実験」とを統合して国内・世界へ発信・普及を図ることを基本コンセプトにしている。

3. 事業の成果及び効果

(1) つくば市環境都市推進懇話会

大学・研究機関の理事長等のトップが中心メンバーとなり、つくば環境スタイルを推進していく協力の方向性が確認された。(平成21年7月14日に開催)

(2) つくば市環境都市推進委員会

発足:平成20年4月 構成員:34名(大学・研究機関,事業者,市民(NPO),行政)
つくば市環境都市推進委員会3回,実験タウンや制度等の検討を行うタスクフォース等を11回実施。

効果:大学・研究機関,事業者,市民,行政が連携して,環境都市づくりの推進を図る。

(3) つくば環境スタイル行動計画

策定:平成21年7月
平成25年度までに具現化する51施策をまとめ,パブリックコメント及び環境都市推進委員会を経て策定した。
庁内報告会等(3回)及びつくば市環境都市推進委員会(3回)で進捗報告を行った。
事業実施のための事業者・関係者等との協議(約90回)

(4) 国の低炭素都市推進協議会・ワーキンググループへの参加

効果:国を始め,モデル都市等の他自治体との情報交換及びケーススタディの実施。

(5) 国内外への情報発信,市民等への普及啓発

(6) クリーンエネルギーを活用した低炭素交通社会システムの共同実証プロジェクト(NHKおはよう日本(12/7),テレビ東京ワールドビジネスサテライト(1/6),日本経済新聞1面(11/27),他新聞各社への記事掲載

(7) エコ通勤ウィーク(時事通信全国版(ネット),新聞各社への記事掲載)

(8) 大子町との森林整備カーボンオフセット(新聞各社記事掲載)

(9) 市民参加事業,出前講座等(15日間),広報つくば特集号,ホームページ作成,概要版及び英語版パンフレットの作成,エコプロダクツ2009へ出展

効果:積極的な事業推進により,多くのマスコミに取り上げられ全国の注目を集めた。

(10) つくば3Eフォーラムとの連携

第3回つくば3Eフォーラム及びタスクフォースへ参加した。

事業名：地域連携・交流の促進に要する経費

市長公室 政策審議室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	01	08	28	本年	1,586		1,108		478	263	55.0		
				前年									
				比較	1,586		1,108		478	263			
<p>1. 事業の目的 市内の研究機関等との連携により、まちづくりに有意義な施策の展開や市民協働、市民参画の機運醸成を図る。周辺市区町村等との間で、都市間連携の推進を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 3Eカフェに関すること (2) 大子町との連携に関すること (3) 東広島市との交流 (4) 筑波研究学園都市連絡協議会との連絡調整に関すること (5) ジオネットワークつくばに関すること</p> <p>3. 事業の成果及び効果 3Eカフェ、ジオネットワーク開催等により、研究機関との円滑な連携を図った。 大子町と地球温暖化対策等の連携に関する協定を締結し、つくば環境スタイルの推進を図った。</p>													

事業名：新庁舎竣工式典に要する経費

市長公室 政策審議室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	01	08	29	本年			268	208	476	232	48.7	180	
				前年									
				比較			268	208	476	232		180	
<p>1. 事業の目的 新庁舎建設事業に尽力いただいた関係者を招待し、新庁舎の完成を祝う竣工式及び記念祝賀会を開催する。</p> <p>2. 事業の概要 竣工式招待状500通、竣工記念パンフレット500部の作成業務</p> <p>3. 事業の成果及び効果 新庁舎における環境に配慮した庁舎について、よりわかりやすく記載したパンフレットが作成できた。</p>													

事業名：電子情報システムの管理に要する経費

総務部 情報システム課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	09	11	本年	50,316				50,316	48,887	97.2	
				前年	70,192		3,878		66,314	64,482	97.2	
				比較	19,876		3,878		15,998	15,595		
<p>1. 事業の目的 分散庁舎方式下で庁内及び出先機関における情報化を進めるとともに、電子市役所の実現に向け、さらなるシステム構築を行い事務の効率化を図る。</p> <p>2. 事業の概要 イントラネット(端末の導入台数は、現在1,300台)の導入により、現在約200ヶ所の拠点をネットワークで結び、約30のシステム(掲示板、スケジュール、行事予定表、予約、個人・課メール、職員名簿、電子書庫、文書管理システム、電子決裁、休暇等請求・時間外申請、試験的に出退勤入退庁管理等)の円滑な運営・管理。 また、新庁舎開庁に向けた電子情報システムへの移行作業。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

情報の共有化，意思決定の迅速化を通して，分散庁舎におけるデメリットをカバーして一体的行政運営の実現を図った。

- (1) 各庁舎管理における備品管理システム(庁舎毎の公用車予約及び運行記録システム)を導入した。
 - (2) 携帯電話を使用した投票状況集計システムを継続して運用し，選挙事務の効率化を図った。
- また，新庁舎におけるOA機器システムの導入準備を行った。(シンクライアントシステム機器等)

事業名： 基幹電算業務の運営に要する経費

総務部 情報システム課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	10	11	本年	335,873		17,521		353,394	345,600	97.8	
				前年	403,435		1,776	6,000	395,659	386,516	97.7	
				比較	67,562		19,297	6,000	42,265	40,916		

1. 事業の目的

汎用コンピュータを中心に各課オンライン業務及び各課電算業務に関する管理・運営を行う。

2. 事業の概要

- (1) オンライン業務約20件(住民記録，外国人登録，各種税・収納関係等)のシステム管理，機器管理
- (2) 新庁舎開庁後にHOSTコンピュータ方式からサーバー方式への移行を行えるようシステム導入

3. 事業の成果及び効果

- (1) 新庁舎開庁に向け，バックアップ施設として整備したNictビル内でのバッチシステム運用とバックアップ用機器の整備を行うと同時に新庁舎内に新システムを準備した。
- (2) HOST連携サーバーの更新を行い，レスポンスの向上を行った。
- (3) 国保年金課・こども課等の制度改正に伴うシステム変更や業務機能の追加を行った。
- (4) 臨時賃金計算処理の迅速および確実性を高めるために臨時賃金システムの拡大を図った。

事業名： オンブズマン事務に要する経費

(市長公室 広報広聴オンブズマン室)
オンブズマン事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	11	11	本年	5,130				5,130	4,894	95.4	
				前年	3,981		1,294		5,275	4,463	84.6	
				比較	1,149		1,294		145	431		

1. 事業の目的

「つくば市オンブズマン制度」は，市民の市政に関する苦情を公平公正な立場で迅速に処理し，市民の権利利益の保護を図ることにより，開かれた市政の一層の推進と，市政に対する市民の信頼性を高めることを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) オンブズマン2名による相談日の苦情等対応
- (2) オンブズマンが，苦情申立人に代わって苦情の内容を調査し，必要な場合は市の機関に対して，サービスの内容を是正するよう勧告や注意喚起
- (3) 調査結果や勧告に対する市の機関からの是正措置の報告を苦情申立人に通知
- (4) 平成20年度における活動状況を市長及び議会に報告し，広報つくば及びつくば市ホームページに活動報告書による一般市民への公表

3. 事業の成果及び効果

- (1) 苦情申立，相談の受付，処理状況

受付件数 7件

所管別件数(1件で複数課にまたがる場合もあった。)

市長公室	市民生活部	保健福祉部	農業委員会
2	1	1	1
財務部	経済部	教育委員会	消防本部
1	1	2	1

主な内容

相談業務の対応に関する事、施設の防火管理体制に関する事、農用地除外申請に対する対応について、職員の対応に関する事など。

処理結果

- ・調査結果通知件数 7件(前年度からの繰越し3件を含む)
- ・勧告 2件
- ・行政に不備のないもの 3件
- ・調査しない旨を通知したもの 1件
- ・取り下げ 1件

(2) 報告・公表

- 市長への報告 4月15日
- 議会への報告 4月15日(議長へ報告し、報告書を6月定例会時に各議員に配布)
- 公表 市長、議長へ報告後、広報つくば・ホームページに全文を掲載
情報公開室・情報ネットワークセンター・中央図書館・公民館等に見覧用として配布する。

(3) 苦情申立により改善されたもの

市民がより活用しやすいサービスの提供や安心・安全・快適に暮らせる街づくりなど、各事業担当部署が業務を遂行する上で、市民との対応について十分配慮するようになり、また、法令遵守の徹底などが図られてきた。

(市民生活部 市民窓口課)
市民部 市民課

事業名：自衛官募集事務に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	12	11	本年	166				166	149	89.8	
				前年	142		7		149	149	100.0	
				比較	24		7		17			

1. 事業の目的

自衛官募集事務に要する経費

2. 事業の概要

自衛隊法及び地方自治法の規程に基づき自衛官の募集に関する広報活動を推進することにより、自衛隊並びに自衛官に関する市民の理解を深め、入隊希望者増による優秀な入隊者の安定した確保を図る。
自衛官募集相談員活動を支援する。

3. 事業の成果及び効果

平成21年度つくば市自衛官募集状況

受験者数 132名 合格者 18名 入隊者数 11名
(申込者数 136名)
昨年に比べ受験者数 24名増

事業名：定額給付金給付事業に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	13	11	本年		3,174,245			3,174,245	3,077,623	97.0	
				前年			3,184,366	8,500	3,192,866	17,677	0.6	3,174,245
				比較		3,174,245	3,184,366	8,500	18,621	3,059,946		3,174,245

1. 事業の目的

定額給付金を迅速かつ適正に市民に給付する。

2. 事業の概要

(1) 申請(請求)書の送付

- (2) 申請(請求)書の受付・審査
- (3) 定額給付金の給付
- (4) 事業期間等

3. 事業の成果及び効果

景気後退下での住民の不安に対処するため、住民への生活支援を行い、あわせて、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資することができた。

給付世帯数 84,117世帯 給付金額 3,024,516千円

事業名：固定資産評価審査委員会に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	11	本年	889				889	807	90.8	
				前年	292				292	184	63.0	
				比較	597				597	623		

1. 事業の目的

固定資産課税台帳に登録された価格に対する審査申出を審査・決定する行政委員会の事務

2. 事業の概要

- (1) 固定資産評価審査委員会総会
- (2) 審査・決定する合議体の開催

3. 事業の成果及び効果

- (1) 固定資産評価審査委員会総会 1回開催
- (2) 審査・決定する合議体の開催 3合議体 会議数 14回 審査申出数 3件(棄却 3件)
申出人に対し、口頭意見陳述や実地調査等を実施し、公正な立場から厳正な審査をしていただいた。

事業名：資産税事務に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	12	本年	1,715				1,715	1,312	76.5	
				前年	1,895				1,895	1,370	72.3	
				比較	180				180	58		

1. 事業の目的

固定資産税事務の円滑な運営を図るため、関係機関との連絡調整や賦課事務に係る必要な研修及び図書等を確保する。

2. 事業の概要

県市町村課、県税事務所、県地方税務協会等の県内組織及び(財)資産評価システム研究センター等の全国組織等への連絡及び調整並びに研修会への参加。

3. 事業の成果及び効果

研修会等を通じ税務知識の向上を図るとともに、近隣市町村との意見交流、研修等により均衡のとれた適正な事務が執行できた。

事業名：市民税事務に要する経費

財務部 市民税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	13	本年	10,230				10,230	9,482	92.7	
				前年	12,348				12,348	12,078	97.8	
				比較	2,118				2,118	2,596		

1. 事業の目的

- (1) 関係機関との連絡調整を円滑に進めるとともに、税務事務の一層の充実を図る。

(2) 申告相談受付のスムーズな進行を図る。

2. 事業の概要

- (1) 各協議会等の役員会(幹事会), 総会, 研修会等への出席
- (2) 申告相談受付事務の臨時職員16人の雇用
- (3) 申告相談に向けた研修会の参加

3. 事業の成果及び効果

協議会	区分	参加延べ人数
茨城県地方税務協会土浦支部		1
土浦地区税務協議会		59
茨城県都市税務協会		3
土浦税務署管内租税教育推進協議会		6
土浦税務署・茨城県土浦県税事務所		2

臨時職員の事務内容

- ・給与支払報告書受付,
- ・給与支払報告書点検, 取りまとめ
- ・申告相談受付事務
- ・申告書等の綴込み作業

租税教育推進協議会の事業による租税教育講師派遣

期日	実施学校	学年	派遣人数(延べ)
12. 3	吉沼小学校	6年生	10人(補助員・打合せ含む)
12. 18	筑波小学校	6年生	10人(補助員・打合せ含む)

事業名：収税事務に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	14	本年	1,410				1,410	726	51.5	
				前年	1,771				1,771	1,438	81.2	
				比較	361				361	712		

1. 事業の目的

収税事務の円滑な運営を図るため、税務関係機関との連携や調整を図るとともに、収税事務に必要な研修及び図書等を確保する。

2. 事業の概要

国・県等の税務関係機関や各種税務協議会への連絡、調整と各種研修会への参加

3. 事業の成果及び効果

研修会等を通じ収税知識の向上を図るとともに、税務署、県税事務所及び茨城租税債権管理機構等との連携や情報交換、研修会等に参加し、より適切かつ公平な事務が執行できた。

事業名：資産税賦課に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	11	本年	121,061		7,443		113,618	91,177	80.2	9,870
				前年	106,858		2,861		109,719	100,858	91.9	
				比較	14,203		10,304		3,899	9,681		9,870

1. 事業の目的

固定資産税・都市計画税の適正かつ公平な課税, 財源の安定確保に努める。

2. 事業の概要

- (1) 固定資産評価システム事業として、谷田部地区の家屋登記簿照合業務, 家屋図の整備等の市全域に関する評価資料の見直し・収集並びに情報内容の水準の均質化
- (2) 不動産鑑定評価事務として、適正な価格を評価額に反映させるため、市内の設定した地点の標準宅地の価格から下落率を求め、次年度の評価額の時点の修正への活用
- (3) 償却資産申告指導の強化及び実地調査
- (4) 都市計画税の新たに賦課区域の対象物件の精査・課税

3. 事業の成果及び効果

平成24年度の評価替えに向けて、前評価替えからの情勢の変化を踏まえ、現状の変化等の調査や資料収集を行うことができた。

近年の地価下落の動向を反映した的確な土地価格の算定を含めた、評価事務を行うことができた。償却資産について、申告指導や実態調査を実施することで、申告内容の正確性がより向上した。

固定資産税及び都市計画税の課税客体の状況

土地 約392,200筆、うち都市計画税課税対象 約67,000筆

家屋 約100,450棟(うち新增築約3,740棟)、うち都市計画税課税対象 約74,500棟

償却資産申告件数 約5,700件

事業名：市民税賦課に要する経費

財務部 市民税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	12	本年	34,355				34,355	32,543	94.7	
				前年	24,382		9,887		34,269	29,970	87.5	
				比較	9,973		9,887		86	2,573		

1. 事業の目的

市財源の安定的確保のため、適正公平な賦課事務に努める。

2. 事業の概要

(1) 各事業所より提出された給与支払報告書の内容確認と異動処理及び申告相談、未申告受付、税務署受付の申告書閲覧等による課税資料に基づく適正な賦課

なお、申告相談にあたって、農業所得の収支内訳書の記載要領の指導を実施

(2) 軽自動車等課税客体の適正な把握

(3) 登録法人の申告受付、内容審査及び指導並びに現地実態調査

3. 事業の成果及び効果

(1) 給与支払報告書の内容確認 約198,200件

(2) 確定申告書パンチ投入件数 約17,152件

(3) 申告相談(2月16日～3月15日) 6会場 21,391件

(4) 未申告受付(9月10日～12日) 314件

(5) 被扶養者の確認事務 674件(税額異動のあった人)

(6) 住民税住宅ローン控除関係 案内通知 6,731件 該当者件数 3,196件

(7) 年金特別徴収制度の開始

公的年金から住民税の特別徴収対象者 約28,500人 徴収者数 約7,800人

特別徴収中止による普通徴収への切替件数 約370件

年金過払い等に伴う年金特徴過誤納付金の還付処理件数 63件

(8) 特別徴収実施の勧奨(市内事業所)

勧奨チラシを市内230事業所に送付、うち60事業所を訪問。14事業所が特別徴収実施申出

(9) 軽自動車等の登録台数59,607台のうち新規、廃車及び名義変更等 約22,476台

(10) 法人市民税申告書の送付及び受付 約8,700件

事業名：訴訟に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	02	02	13	本年			1,261		1,261	996	79.0		
				前年									
				比較			1,261		1,261	996			

1. 事業の目的

平成21年12月都市計画税賦課処分の取消を求めることについて、水戸地方裁判所に提訴されたこと

に基づくための諸費用

2. 事業の概要

都市計画税賦課処分の取消を求めることについて、平成21年12月水戸地方裁判所に提訴され、2回の口頭弁論があり、現在係争中である。

3. 事業の成果及び効果

訴訟行為を弁護士に委託することにより円滑に進められる。

事業名：徴収に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	03	11	本年	204,438		274,215		478,653	424,478	88.7	
				前年	676,364		221,500		454,864	451,023	99.2	
				比較	471,926		495,715		23,789	26,545		

1. 事業の目的

市歳入の根幹をなす市税の納付の利便性を図るとともに、市税滞納者の徴収を実施することにより、税の公平の原則を維持し、納税者の税に対する信頼を確保する。

2. 事業の概要

収納率の向上を図るための具体的な対策を定め、市税の確保

- (1) 大口滞納者の対策を重点に考え、滞納整理にあたり、財産等の差押えを含めた措置を執行する。さらに、現年度の新規大口滞納者には早期に着手し、高額事案の圧縮を図る。
- (2) 新規滞納者の発生を防ぐため、特別滞納整理(財務部税四課職員による滞納整理)を実施した。
- (3) 口座振替制度の加入促進 前年比 1.39% 593人の増
- (4) 市税納付の利便性を図るため、市県民税(普通徴収)・固定資産税・都市計画税について、コンビニ収納を導入した。

3. 事業の成果及び効果

納税義務の適正な実現を通じ、市歳入の根幹を担う市税の確保に努めた。

- (1) 滞納処分(差押等)の件数 198件
- (2) 滞納繰越徴収率 13.05%
- (3) 口座振替加入 42,373人 24.60%

事業名：戸籍住民基本台帳事務に要する経費

(市民生活部 市民窓口課)
市民部 市民課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	01	11	本年	53,540		16,210		69,750	59,668	85.5	8,348
				前年	55,821		6,452		49,369	47,690	96.6	
				比較	2,281		22,662		20,381	11,978		8,348

1. 事業の目的

戸籍住民基本台帳に要する経費

2. 事業の概要

- (1) 住民記録、印鑑登録、身分を公証する戸籍事務等市民生活の基本的な事務の執行
- (2) 各窓口センターの移設及び新窓口センターの増設
- (3) 新庁舎への引っ越しに伴う新戸籍システムへの移行作業

3. 事業の成果及び効果

平成21年度末のつくば市の常住人口は、212,408名となり3,020名の増となった。処理件数については、人口増に伴い微々たる増となっている。

住民移動処理件数は24,355件、戸籍届け出受理件数は9,632件となっている。住民票の写し・戸籍謄抄本・印鑑登録証明書の交付件数は、283,899件である。

本年度については、各窓口センターの移設及び窓口センターが1カ所増により、管理用備品の増となっ

ている。

各窓口センターにおいては、セキュリティ面に配慮し各窓口センターに耐火金庫を設置することとした。戸籍システムについては、移設することによる機器のメンテナンス面が不安なために新規導入した。それに伴い、旧システムから新システムへの移行作業費用は、次年度へ繰り越した。

(市民生活部 市民窓口課)
市民部 市民課

事業名：住居表示に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	01	12	本年	77				77	37	48.1	
				前年	88			88	49	55.7		
				比較	11			11	12			

1. 事業の目的

住居表示に要する経費

2. 事業の概要

字の区域及び名称の変更事務

地区案内看板の管理修繕

3. 事業の成果及び効果

街区案内看板修繕 3箇所, 案内板清掃 1箇所

(市民生活部 市民窓口課)
市民部 市民課

事業名：旅券事務に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	01	13	本年	9,013		126		8,887	8,519	95.9	
				前年	10,783		640		10,143	9,636	95.0	
				比較	1,770		514		1,256	1,117		

1. 事業の目的

旅券事務に要する経費

2. 事業の概要

県からの旅券事務の権限委譲を受け、旅券の申請受付及び交付事務。

3. 事業の成果及び効果

事業の主体はつくば市であるが、経費については特別交付金(申請件数に応じた割合と、定額分)が県から交付になる。

平成20年6月から業務開始し、昨年実績は8,531件である。今年度は通年を通しての成果として、9,791件の申請があった。

事業名：委員会運営に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	01	11	本年	2,153				2,153	1,886	87.6	
				前年	1,092			1,092	906	83.0		
				比較	1,061			1,061	980			

1. 事業の目的

地方公共団体が処理する選挙に関する事務及びこれに関係のある事務を行う。

2. 事業の概要

- (1) 定例の委員会の開催(3月, 6月, 9月, 12月)
- (2) 臨時の委員会の開催(6回)
- (3) 選挙時の委員会の開催(2回)

3. 事業の成果及び効果

選挙人名簿及び在外選挙人名簿への登録が適正なる処理が図られた。

事業名：選挙啓発に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	02	11	本年	888				888	569	64.1	
				前年	895				895	762	85.1	
				比較	7				7	193		

1. 事業の目的

啓発活動を通し、選挙のことを正しく理解し大切な一票を有効にいかしていただくことで、明るい選挙の推進を図る。

2. 事業の概要

常時啓発や選挙時啓発(明るい選挙推進協議会・茨城県選挙管理委員会と一緒に)

3. 事業の成果及び効果

選挙啓発紙「白ばら」を発行し、明るく正しい選挙の啓発に努めた。
市内小中学生に選挙啓発ポスターを募集し、代表作品を茨城県選挙管理委員会に進達した。
応募者数 小学校：11校 35点 中学校：12校 80点

事業名：衆議院議員総選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	03	11	本年	41,991		11,830		30,161	30,148	100.0	
				前年								
				比較	41,991		11,830		30,161	30,148		

1. 事業の目的

衆議院の解散により、投票・開票事務の厳正かつ迅速な選挙事務を執行し、有権者の意思向上に努めた。

2. 事業の概要

- (1) 衆議院の解散により、総選挙にかかる啓発活動及び投開票事務
- (2) 最高裁判所裁判官国民審査にかかる投開票事務

3. 事業の成果及び効果

平成21年8月30日執行(茨城県知事選挙と同時選挙)
衆議院議員小選挙区選出議員選挙(茨城6区・定数1) 立候補者数 3人

投票状況:	区分	有権者数	投票者数	投票率(%)
	男	81,338	54,660	67.20
	女	78,220	51,357	65.66
	計	159,558	106,107	66.44

事業名：茨城県知事選挙に関する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	04	11	本年	38,991		24,948		14,043	14,032	99.9	
				前年								
				比較	38,991		24,948		14,043	14,032		

1. 事業の目的

茨城県知事の任期満了に伴い、投票・開票事務の厳正かつ迅速な選挙事務を執行する。

2. 事業の概要

選挙にかかる啓発活動及び投票事務

3. 事業の成果及び効果

平成21年8月30日執行(衆議院議員総選挙と同時選挙)

茨城県知事選挙(定数1) 立候補者数 6人

投票状況:	区分	有権者数	投票者数	投票率(%)
	男	80,372	54,481	67.79
	女	77,451	51,241	66.16
	計	157,823	105,722	66.99

事業名：農業委員会委員選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	04	05	11	本年	5,123		4,666		457	454	99.3		
				前年									
				比較	5,123		4,666		457	454			

1. 事業の目的

農業委員会委員の任期満了により、投票・開票事務の厳正かつ迅速な選挙事務を執行する。

2. 事業の概要

委員の任期満了に伴い、立候補予定者の事前審査及び立候補受付事務及び選挙会を行った。

3. 事業の成果及び効果

平成21年4月19日執行

選挙すべき人員 33人 立候補者数 33人

選挙区	定数	選挙区域	選挙区	定数	選挙区域
第1選挙区	5人	合併前の大穂町の区域	第5選挙区	8人	合併前の筑波町の区域
第2選挙区	5人	合併前の豊里町の区域	第6選挙区	3人	合併前の茎崎町の区域
第3選挙区	8人	合併前の谷田部町の区域			
第4選挙区	4人	合併前の桜村の区域			

農業委員会委員は、第1選挙区から第6選挙区まで、どの選挙区も立候補者が選挙すべき人員を超えないため投票は行わなかった。

事業名：酒丸土地改良区総代選挙に関する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	04	06	11	本年	69				69	50	72.5		
				前年									
				比較	69				69	50			

1. 事業の目的

酒丸土地改良区総代の任期満了に伴い、投票・開票事務の厳正かつ迅速な選挙事務を執行する。

2. 事業の概要

立候補予定者の立候補受付事務及び選挙事務

3. 事業の成果及び効果

平成21年4月22日執行

選挙すべき人員 36人 立候補者数 36人

酒丸土地改良区総代は、立候補者が選挙すべき人員を超えないため投票は行わなかった。

事業名：土浦市外15ヶ町村土地改良区選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	04	07	11	本年	299				299	282	94.3		
				前年									
				比較	299				299	282			

1. 事業の目的

土浦市外15ヶ町村土地改良区総代の任期満了により、投票・開票事務の厳正かつ迅速な選挙事務を執行する。

2. 事業の概要

総代の任期満了に伴い、立候補予定者の立候補受付事務及び選挙会を行った。

3. 事業の成果及び効果

平成21年11月26日執行

選挙すべき人員 55人 立候補者数 55人

選挙区	定数	選挙区域	選挙区	定数	選挙区域
第5選挙区	13人	桜地区	第8選挙区	8人	谷田部, 荃崎, 旧谷和原村
第6選挙区	10人	大穂地区	第9選挙区	9人	谷田部, 小野川地区
第7選挙区	5人	豊里地区	第10選挙区	10人	島名, 葛城, 真瀬地区

土浦市外15ヶ町村土地改良区総代は、第5選挙区から第10選挙区まで、どの選挙区も立候補者が選挙すべき人員を超えないため投票は行わなかった。

事業名：稲荷川土地改良区総代選挙に関する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	04	08	11	本年	75				75	63	84.0		
				前年									
				比較	75				75	63			

1. 事業の目的

稲荷川土地改良区総代の任期満了に伴い、投票・開票事務の厳正かつ迅速な選挙事務を執行する。

2. 事業の概要

立候補予定者の事前審査及び立候補受付事務及び選挙事務

3. 事業の成果及び効果

平成22年2月4日執行

総代人数 第1選挙区(牛久市・龍ヶ崎市地内) 17人

第2選挙区(つくば市・旧荃崎町地内) 18人

稲荷川土地改良区総代選挙は、第1選挙区及び第2選挙区ともに、どの選挙区も立候補者が選挙すべき人員を超えないため投票は行わなかった。

事業名：統計調査員に要する経費

(市長公室 行政経営課)
市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	01	11	本年	2,820			70	2,750	2,279	82.9	
				前年	2,208				2,208	650	29.4	
				比較	612			70	542	1,629		

1. 事業の目的

統計調査員に対し、統計調査の啓蒙、啓発の普及に寄与させるとともに、各種統計調査及び行政施策に必要な統計資料の作成に協力を得るため、統計調査員の資質の向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) つくば市統計調査員連絡協議会総会の開催
 (2) つくば市統計調査員連絡協議会研修会の開催

3. 事業の成果及び効果

研修会等を通じ統計調査員の資質の向上を図るとともに、各種統計調査の正確性、迅速性の確保に努めた。また、関係機関から各種資料を収集し、統計つくば等を編集し、適切な統計資料の提供に努めた。

事業名：工業統計調査に要する経費

(市長公室 行政経営課)
 市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	11	本年	530				530	512	96.6	
				前年	576		124		700	690	98.6	
				比較	46		124		170	178		

1. 事業の目的

製造業を営む事業所の実態を把握し、生産活動に関する基礎資料を得る。

2. 事業の概要

調査員12名を配置し、市内の製造業に属するすべての事業所に対して、製造品出荷額、原材料使用額等について調査を実施。

3. 事業の成果及び効果

対象事業所329事業所について調査票等を審査、取りまとめ、県へ提出。

事業名：茨城県消費者物価調査に要する経費

(市長公室 行政経営課)
 市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	12	本年	2,878				2,878	2,544	88.4	
				前年	2,903				2,903	2,878	99.1	
				比較	25				25	334		

1. 事業の目的

商品の小売価格、サービス料金及び家賃を調査し、物価水準の動向を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得る。

2. 事業の概要

市内の物品小売業者、サービス業者及び借家世帯を対象に、毎月、調査員(4名)による聞き取り調査を実施。

3. 事業の成果及び効果

82品目(4月、9月は91品目)について、毎月調査票等を審査、取りまとめ、県へ提出。

事業名：平成21年経済センサス(基礎調査)に要する経費

(市長公室 行政経営課)
 市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	13	本年	5,629				5,629	5,590	99.3	
				前年	198				198	194	98.0	
				比較	5,431				5,431	5,396		

1. 事業の目的

事業所及び企業の活動の状態を明らかにし、包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団的情報を整備する。

2. 事業の概要

市内の農林業を除くすべての事業所・企業を対象に、産業や規模の基本的な構造について調査(調査員110名,指導員7名)を実施。

3. 事業の成果及び効果

対象事業所10,667事業所について調査票等を審査,取りまとめ,県へ提出。

(市長公室 行政経営課)
市長公室 企画経営課

事業名: 全国消費実態調査に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	05	02	14	本年	4,431				4,431	4,221	95.3		
				前年									
				比較	4,431				4,431	4,221			

1. 事業の目的

国民生活の実態について、家計収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、世帯の消費・所得・資産に関する水準、構造、分布などを全国及び地域別に明らかにする。

2. 事業の概要

調査員9名,指導員2名を配置し,市内の調査対象世帯について,4種類の調査票(世帯票,家計簿,耐久財等調査票,年収,貯蓄等調査票)により調査を実施。

3. 事業の成果及び効果

対象地区9地区,対象世帯118世帯の調査票等を審査,取りまとめ,県へ提出。

(市長公室 行政経営課)
市長公室 企画経営課

事業名: 平成22年国勢調査区設定に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	05	02	15	本年	1,175				1,175	1,141	97.1		
				前年									
				比較	1,175				1,175	1,141			

1. 事業の目的

平成22年10月1日に行われる,平成22年国勢調査の準備作業として,調査員の担当区域を明確にし,調査の重複・脱漏を防止し,調査の正確を期するため調査区の設定を行う。

2. 事業の概要

調査区の設定(1調査区の世帯数はおおよそ50世帯)し,調査区地図等の関係書類の作成。

3. 事業の成果及び効果

調査単位区設定図等(1,637調査区)を審査,取りまとめ,県へ提出。

(市長公室 行政経営課)
市長公室 企画経営課

事業名: 2010農林業センサスに要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	05	02	16	本年	11,494			70	11,564	9,548	82.6		
				前年									
				比較	11,494			70	11,564	9,548			

1. 事業の目的

我が国の農林業の生産構造,農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することによって,農林業の基本構造の現状と動向を明らかにし,農林業施策及び農林業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備すること。

2. 事業の概要

農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に関する面積・頭数が一定以上の「農林業生活活動を行う者」を対象に、調査(調査員380名,指導員23名)を実施。

(農業の場合) 経営耕地面積が30a以上又は部門別に設定する経営規模以上(作付け面積,飼養頭羽数等)

(林業の場合) 保有山林面積が3ha以上であり,かつ,過去5年間に林業作業を行ったもの

3. 事業の成果及び効果

農林業経営体3,913件の調査票等を審査,取りまとめ,県へ提出。

事業名： 監査委員に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	06	01	11	本年	4,027				4,027	3,946	98.0	
				前年	4,077				4,077	4,000	98.1	
				比較	50				50	54		

1. 事業の目的

監査委員が,財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について監査等を実施し,結果に関する報告を決定するための経費。

2. 事業の概要

年間監査計画に基づく例月出納検査,定期監査,工事監査,決算審査・財政健全化に関する審査及び財政援助団体等監査の実施。

3. 事業の成果及び効果

年間監査計画に基づく監査等を実施することにより,効率的な行政運営の確保に寄与した。

例月出納検査(12日),

定期監査(9日),

工事監査(1日),

決算審査・財政健全化に関する審査(7日),

財政援助団体等監査(3日)

事業名： 監査事務運営に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	06	01	12	本年	1,287				1,287	1,081	84.0	
				前年	1,285				1,285	1,212	94.3	
				比較	2				2	131		

1. 事業の目的

監査委員監査を円滑に実施するための経費。

2. 事業の概要

年間監査計画に基づく例月出納検査,定期監査,工事監査,決算審査,財政健全化に関する審査及び財政援助団体等監査を円滑に実施するための準備事務と,結果を集約し公表するための補助事務。

3. 事業の成果及び効果

年間監査計画に基づき,効率的かつ効果的な監査等が実施できた。

事業名：社会福祉推進に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	11	本年	184,181		8,602	386	193,169	178,174	92.2	
				前年	183,685				183,685	177,236	96.5	
				比較	496		8,602	386	9,484	938		

1. 事業の目的

- (1) つくば市地域福祉計画に基づき、市民主体の「つくばらしい」健康で健全な福祉のまちづくりをすすめるため、地域ケアシステム推進事業等を実施するとともに、社会福祉協議会等社会福祉団体へ助成を行い、地域福祉の充実を図る。
- (2) 法令等に基づく援護が受けられない生活困窮者に対して人道的援助を行い、福祉の増進を図る。
- (3) 中国残留邦人等に新たな支援を行うことで、老後の生活の安定を図り、地域での生き生きとした生活を実現する。
- (4) 住宅喪失者及び住宅を喪失する恐れのある方に住宅手当を支給するとともに、就労の支援を行い生活の安定を図る。

2. 事業の概要

- (1) 地域福祉を推進するため、地域ケアシステム推進事業及び地域福祉推進事業(ボランティア育成・支援研修事業、住民参加型福祉サービス拡大事業、福祉相談事業)を社会福祉協議会に委託。また、財政基盤の安定を図るため、地域福祉推進の中核を担うつくば市社会福祉協議会及び自殺防止を目的とする茨城いのちの電話への補助金交付。
- (2) 援護を求めてきた者に対し、医療費の援助や旅費等の支給。
- (3) 中国残留邦人等支援法(「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律」平成19年法律第127号)に基づき、生活相談、生活支援等。
- (4) 住宅手当緊急特別措置事業 平成21年10月から実施
支給限度額 単身世帯35,400円 複数世帯46,000円 支給期間限度 6ヶ月間

3. 事業の成果及び効果

- (1) 地域ケアシステム推進事業を実施することにより、誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくりの推進を図った。

在宅ケアチーム 57チーム
専門ケア会議 5回開催

- (2) 地域福祉推進事業(ボランティア育成・支援研修事業、住民参加型福祉サービス拡大事業、福祉相談事業)を実施することにより、小地域単位での支え合いシステムの構築支援、ボランティア活動の支援、市民の自発的参加・協力による在宅支援を行い、地域福祉の増進を図ることができた。

ボランティア育成・支援研修事業

ボランティア団体登録数 130団体
ボランティア人数 5,198人
住民参加型福祉サービス拡大事業(さわやかサービス事業)
協力会員数 31人
利用会員数 41人
利用回数 1,145回
利用時間数 1,961時間

福祉相談事業

家庭の悩みごと相談(家庭裁判所元調停委員) 23回 76件
財産・相続相談(司法書士) 12回 47件
福祉・人権相談(弁護士) 24回 101件
子育て・子どもの悩みごと相談(学識経験者) 23回 31件

社会福祉団体への助成による地域福祉の増進

社会福祉団体補助金

単位:円

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
社会福祉協議会	158,401,252	163,165,663	161,091,575
茨城いのちの電話	100,000	100,000	100,000

法外援護費を支給し、生活困窮者等の人道的支援

法外援護費支給実績

年度	医療費		交通費		弁当代	
	件数	支給金額	件数	至急金額	件数	支給金額
平成21年度	-	-	4	6,790円	-	-
平成20年度	-	-	8	6,790円	-	-

(3) 本市に在住する中国残留邦人2名に対して生活支援給付金等を支給し、生活相談を行うことにより、安定した生活基盤の構築に努めた。

(4) 住宅手当緊急特別措置事業を実施し、住宅喪失者等の住宅確保に努め、常用就職に向けた就労相談を実施した。支給対象者10名 支給総額 974,400円

事業名：民生委員推薦会に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	12	本年	301				301	91	30.2	
				前年	304				304	173	56.9	
				比較	3				3	82		

1. 事業の目的

民生委員法第5条第2項の規定に基づき、民生委員児童委員候補者の推薦を行う。

多様化する福祉ニーズや急速に進む高齢化社会、児童問題等に対応できる民生委員児童委員を選出するため、候補者の健康状態、将来にわたって積極的な活動を考慮し、適任者の推薦に努める。

2. 事業の概要

つくば市民生委員推薦会委員は、民生委員法第8条第2項に基づき、市議会議員、民生委員、社会福祉事業の実施に関係のある者、社会福祉関係団体の代表者、教育に関係のある者、関係行政機関の職員並びに学識経験者から2名ずつ計14名で構成する。

3年に1度の一斉改選時の推薦及び任期途中で欠員補充時の推薦を行う。

3. 事業の成果及び効果

平成21年度は、欠員補充のため民生委員推薦会を1回開催し、3名の民生委員児童委員候補者の推薦を行った。

事業名：民生委員活動に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	13	本年	28,530				28,530	28,526	100.0	
				前年	28,561				28,561	28,547	100.0	
				比較	31				31	21		

1. 事業の目的

民生委員児童委員の活動を援助し、資質の向上を図ることによって、多様化する福祉ニーズに的確に対応した相談、指導、援助等の民生委員活動が円滑に行えるようにする。

2. 事業の概要

地区民生委員児童委員協議会の活動を支援し、民生委員児童委員の資質向上を図り、多様化する福祉ニーズに的確に対応する。

また、各地区の会長、副会長等で構成するつくば市民生委員児童委員連絡協議会を開催し、各地区協議会の情報交換を行い、連携を緊密にし、各地区協議会活動及び主任児童委員活動の向上を図る。

3. 事業の成果及び効果

各地区協議会とも事業計画に基づき、月1回の定例会、事項別研修等を実施し、民生委員児童委員活動が円滑に行われた。

また、つくば市民生委員児童委員連絡協議会においても、事業計画に基づき、理事会、全体研修会等

を開催し、民生委員活動の向上を図った。

民生委員児童委員連絡協議会市補助金 平成19年度一斉改選により、3名の増員

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
民生委員・児童委員数	255人	255人	255 252人
補助金額	28,440,000円	28,440,000円	28,110,000円

平成22年3月末現在1名欠員

事業名：行旅死病人取扱いに要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	14	本年	1,037		2,096		3,133	734	23.4	
				前年	1,035				1,035	296	28.6	
				比較	2		2,096		2,098	438		

1. 事業の目的

行旅病人及行旅死亡人取扱法の規定に基づき、行旅病人の救護及び行旅死亡人の埋火葬を行う。
また、墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定に基づき、埋火葬を行う者がいない死亡者の埋火葬を行う。

2. 事業の概要

行旅病人、行旅死亡人が発生した場合、行旅病人及行旅死亡人取扱法の規定に基づき、速やかに所要の手続きを行い、行旅病人の救護又は行旅死亡人の埋火葬を行う。
また、死体の埋火葬を行うものがないとき、又は判明しないときは、墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定に基づき、死体の埋火葬を行う。

3. 事業の成果及び効果

行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律の規定に基づき、3件の火葬を行った。

火葬件数

年 度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
件 数	3件	1件	2件

事業名：遺族等援護に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	15	本年	3,538				3,538	2,896	81.9	
				前年	3,590				3,590	2,864	79.8	
				比較	52				52	32		

1. 事業の目的

戦傷病者、戦没者遺族等に対する援護活動を通じて、戦没者等への追悼の意を表すとともに、恒久平和を祈念する。
また、国の給付金に係る請求受付事務、遺族連合会が行う戦没者慰霊事業への助成を通じて、戦没者遺族等の福祉の増進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 戦傷病者戦没者遺族等援護法等に基づき、戦傷病者、戦没者遺族等の援護事務(戦没者遺族等に対する特別弔慰金や特別給付金の請求受付事務、戦傷病者特別援護法に基づく請求書等及び戦傷病者乗車券類引換証交付請求書の受付事務等)を行う。
- (2) 遺族連合会が行っている戦没者慰霊事業に対し、補助金を交付する。
- (3) 先の大戦において尊い犠牲となられた戦没者に対し、追悼の誠を捧げるとともに、遺族の労苦に対し深い敬意を表し、併せて恒久の平和を祈念し、戦没者追悼式を挙げる。

3. 事業の成果及び効果

(1) 戦傷病者、戦没者遺族等の援護事務を適正に行い、戦傷病者、戦没者遺族等の福祉増進を図った。

戦傷病者乗車券類引換証交付請求書の受付進達 10件

第九回特別給付金の受付進達 32件

(2) 遺族連合会が行った戦没者慰霊事業に補助金を交付し、戦没遺族の福祉増進を図った。

補助金額 1,000,000円(前年度と同額)

(3) 平成21年度つくば市戦没者追悼式を10月16日に市民ホールやたべで挙行し、戦没者に対し、追悼の意を表すとともに、不戦の誓いを新たにすることができた。

しかし、遺族会会員の高齢化が進み、年々参加者が減少している。

戦没者追悼式参加者実績 来賓関係者含む

	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
参加者数	641人	649人	717人	744人
前年度比較	98.8%	90.5%	96.4%	-

事業名：国民健康保険事業特別会計に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	16	本年	1,134,115			1,257,089	1,257,089	100.0	
			前年	1,312,543			1,425,160	1,425,160	100.0		
			比較	178,428		10,357	168,071	168,071			

1. 事業の目的

国民健康保険財政の基盤の安定を図るため、一般会計から繰り出す。

2. 事業の概要

		平成21年度	平成20年度	前年度比較
国民健康保険特別会計繰出金		1,257,089千円	1,425,160千円	88.2%
内 訳	保険基盤安定繰出分	460,600千円	454,788千円	101.3%
	職員給与費繰出分	141,863千円	147,226千円	96.4%
	出産一時金繰出分	89,547千円	86,800千円	103.2%
	財政安定化繰出分	50,000千円	50,000千円	100.0%
	その他繰出分	515,078千円	686,346千円	75.0%

3. 事業の成果及び効果

国保財政の安定化が図られた。

事業名：難病対策に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	17	本年	21,528			21,528	20,397	94.7	
			前年	20,880			20,880	19,119	91.6		
			比較	648			648	1,278			

1. 事業の目的

難病に罹患した者(一般特定疾患患者に限る)に対し、福祉金を支給することにより、難病患者の生活を支援し、福祉の増進を図る。

2. 事業の概要

つくば市難病患者福祉金支給要綱に基づき、茨城県が指定する56種類の一般特定疾患の承認を受けた者に対し、月額3,000円の福祉金を毎年9月及び3月にそれぞれ当月分までを支給する。

一般特定疾患数45種 56種(平成21年10月改訂)

3. 事業の成果及び効果

支給実績

年 度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
支給総額	20,397,000円	19,119,000円	18,036,000円	17,814,000円	15,858,000円
前年度比較	106.7%	106.0%	101.2%	112.3%	

事業名：福祉施設管理に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	01	18	本年	22				22	22	100.0	
				前年	24				24	19	79.2	
				比較	2				2	3		

1. 事業の目的

保健福祉施設がスムーズに運営できるよう施設整備及び維持管理を行う。

2. 事業の概要

主管課の予算令達により、保健福祉施設である保育所(23ヶ所)、児童館(18ヶ所)、老人福祉センター(2ヶ所)、障害者センター(4ヶ所)、保健センター(6ヶ所)、健康増進施設(1ヶ所)の維持管理及び修繕工事等を行う。

3. 事業の成果及び効果

各施設の実態を良く把握し、施設の事業運営に支障が起こらないよう、早期解決に努め、効率の良い予算執行に努めた。

(令達予算執行状況)

(単位:千円)

予算科目	事業名	執行額	うち修繕等
03-01-08-11	桜老人センター管理に要する経費	2,701	修繕料:1,522 修繕工事:977
03-01-08-12	谷田部老人センター管理に要する経費	6,718	修繕料:1,185 修繕工事:5,322
03-01-09-11	障害者センター桜管理に要する経費	6,159	修繕料:1,358 土木工事:1,218
03-01-09-12	障害者センター谷田部管理に要する経費	127	修繕料:127
03-01-09-13	障害者センター豊里管理に要する経費	2,930	修繕料:645
03-01-09-14	障害者センター筑波管理に要する経費	3,429	修繕料:1,551 土木工事:168
03-02-04-13	保育所管理に要する経費	78,027	修繕料:9,356 修繕工事:15,060 建築工事:2,483
03-02-05-12	放課後児童対策に要する経費	9,439	建築工事:9,135
03-02-05-13	児童館管理に要する経費	27,056	修繕料:3,441 修繕工事:11,332
04-01-05-15	いきいきプラザ管理に要する経費	1,983	修繕料:311
04-01-06-11	保健センター管理に要する経費	15,774	修繕料:2,121 修繕工事:683
合 計		154,343	修繕料:21,617 修繕工事:33,374 土木工事:1,386 建築工事:11,618

事業名：福祉バスに要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	01	19	本年	6,322		2,007		4,315	3,886	90.1	
				前年	6,361		1,537		4,824	4,170	86.4	
				比較	39		470		509	284		

1. 事業の目的

保健福祉部が実施する保健福祉事業に配車することにより、高齢者の生きがい対策事業や健康増進事業の充実を図るとともに、公共施設の有効利用を図る。

2. 事業の概要

40人乗りバス2台を福祉バスとして保有し、福祉及び行政目的に使用するため、配車・管理を行う。
 運転業務は、民間業者に委託する。 契約額 1日当たり14,700円
 燃料代、車検代、修繕費等経費は、平成20年度より管財課管理

3. 事業の成果及び効果

保健福祉部が実施する保健福祉事業に配車することにより、高齢者の生きがい対策事業や健康増進事業に活用し、保健福祉の増進に寄与した。

平成21年度運行実績 延べ 264日

委託実績

年 度	平成21年度	平成20年度
運行台数	2台	2台
委託(運行)総額	3,880,800円	4,116,000円

事業名：在宅老人対策に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	02	11	本年	16,919		5,691		11,228	7,947	70.8	
				前年	13,766		1,888		11,878	9,416	79.3	
				比較	3,153		3,803		650	1,469		

1. 事業の目的

在宅のひとり暮らしや高齢者世帯の要介護高齢者に対し、自立した生活を支援するための生活支援サービスを提供する。

2. 事業の概要

生活支援サービス

軽度生活援助事業(経済的に困窮し介護サービスを受けられない高齢者等に軽度なサービスを提供)、布団丸洗い乾燥事業(各人年3回まで利用可能)、日常生活用具給付事業(電磁調理器・自動消火器)、高齢者住宅用防災警報器購入費助成事業(購入費の一部を助成) 高齢者日常生活支援事業(1世帯助成券年5枚まで利用可能、自己負担あり)

3. 事業の成果及び効果

- (1) 軽度生活援助事業 利用者3名
- (2) 布団丸洗い乾燥事業 助成券交付者445名
 布団丸洗い乾燥 掛布団850枚、敷布団834枚、毛布807枚
 布団貸出し 掛布団31枚、敷布団35枚、毛布29枚
- (3) 日常生活用具給付等事業 電磁調理器3名
- (4) 高齢者住宅用防災警報器 助成券交付者数38名、利用枚数29枚
 購入費助成事業費
- (5) 高齢者日常生活支援事業 助成券交付者149名

事業名：老人ホーム入所措置に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	02	12	本年	11,571		3,092		8,479	7,972	94.0	
				前年	13,621		4,716		8,905	7,959	89.4	
				比較	2,050		1,624		426	13		

1. 事業の目的

老人福祉法に基づき、環境上の理由及び経済的理由で居宅での養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに措置入所させる。

2. 事業の概要	
(1) 入所者負担分費用徴収	
(2) 入所者の市負担分入所措置費の負担	
(3) 入所各施設を訪問し、状況調査実施	

3. 事業の成果及び効果	
継続入所者4名	

事業名：ひとり暮らし老人福祉に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	13	本年	11,821		767		11,054	9,135	82.6	
				前年	14,014		2,535		11,479	10,837	94.4	
				比較	2,193		1,768		425	1,702		

1. 事業の目的	
ひとり暮らし高齢者の病気や災害の際の不安解消と、安否の確認や孤独感の解消を図る。	

2. 事業の概要	
(1) 緊急通報システム設置事業(ペンダント型無線発信機や緊急通報装置を貸与し、つくば市消防本部と協力して24時間体制で通報を受ける。これに付随して、機器の定期点検を実施)	
(2) 愛の定期便事業(牛乳販売店などの協力で、乳製品を配達し、安否確認を行う。)	

3. 事業の成果及び効果	
(1) 緊急通報システム設置事業 新規設置台数40台、延設置台数305台	
(2) 愛の定期便事業 配付世帯数147件	

事業名：老人生きがい対策に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	14	本年	31,728				31,728	29,919	94.3	
				前年	34,072		221		34,293	33,343	97.2	
				比較	2,344		221		2,565	3,424		

1. 事業の目的	
社会参加活動の機会及び就労の場を提供し、心身の健康保持と身体の状態を高める。	

2. 事業の概要	
(1) いばらきねりんスポーツ大会(5種目の大会)	
(2) 高齢者生きがい活動支援事業(社会参加活動、生きがいと健康づくりのための支援事業)	
(3) シルバー人材センター補助(就労の場を提供する団体への助成)	

3. 事業の成果及び効果	
(1) いばらきねりんスポーツつくば市大会 6月3~4日 荃崎運動公園で開催 493名(106チーム)参加(グラウンドゴルフ, ゲートボール, クロケター, ペタンク, 輪投げ)	
(2) 高齢者生きがい活動支援事業 シルバークラブ大会, いきいきまつり, シニアライフ発見物語	
(3) シルバー人材センター 補助額 11,000,000円 会員数689名	
(4) いばらきねりんスポーツ茨城大会 平成21年11月12日実施	
(5) 49名参加(グラウンドゴルフ, クロケター, ゲートボール, ペタンク, 輪投げ)	

事業名：敬老事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	15	本年	80,649		5,908		74,741	71,257	95.3	
				前年	46,252		6,261		39,991	39,112	97.8	
				比較	34,397		353		34,750	32,145		

1. 事業の目的

高齢者の長寿を祝福し敬老の意を表する。

2. 事業の概要

- (1) 敬老福祉大会
- (2) 敬老祝金の給付
- (3) 長寿をたたえる事業

3. 事業の成果及び効果

(1) 敬老福祉大会

場 所 9月19日市民ホールやたべ・つくばね・きざき及びエポカルつくば
参加者 3,733名 (出席率17.0%)

(2) 敬老祝金の給付

対象者 8月1日現在市内に1年以上居住し、年度内に75歳以上、88歳、100歳以上の誕生日をむかえる方
75歳以上 15,904名 (商品券 3,000円 / 人)
88歳到達者 498名 (祝金 10,000円 / 人)
100歳達成者 13名 (祝金 30,000円 / 人)
101歳以上 31名 (祝金 20,000円 / 人)

(3) 長寿をたたえる事業

対象者 8月1日現在88歳達成者及び100歳以上の方。ほう状等を贈呈
88歳到達者 510名
100歳達成者 13名
101歳以上 31名

事業名：老人援護に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	16	本年	13,499				13,499	9,151	67.8	
				前年	22,325		9,167		13,158	6,527	49.6	
				比較	8,826		9,167		341	2,624		

1. 事業の目的

高齢者及び家族の経済的負担の軽減を図り、家族の扶養意識の高揚を図る。

2. 事業の概要

- (1) あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業(70歳以上の高齢者に1,000円の助成券8枚を限度に支給)
- (2) 理髪料助成事業(ねたきり老人に対し、居宅において受ける理髪料の一部を助成、4,000円の助成券2枚を限度に支給)
- (3) 福祉タクシー助成事業(移動手段のないひとり暮らし高齢者等にタクシー初乗り料金利用券24枚を支給。利用券は、1回乗車に1枚を使用。)

3. 事業の成果及び効果

- (1) あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業 助成券交付者数538名
- (2) 理髪料助成事業 助成券交付者数109名
- (3) 福祉タクシー助成事業 助成券交付者数964名

事業名：シルバークラブ助成に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	17	本年	14,701				14,701	13,806	93.9	
				前年	15,012				15,012	14,174	94.4	
				比較	311				311	368		
<p>1. 事業の目的 単位シルバークラブ及び市シルバークラブ連合会が行う社会奉仕活動, 趣味教養活動, 健康増進活動などを助成し, 健全なシルバークラブの育成を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) シルバークラブ連合会補助 連合会事業に必要な経費の一部を補助する。 (2) 単位シルバークラブ補助 単位シルバークラブ活動に必要な経費の一部を補助する。 1シルバークラブ当たり補助単価 会員100名以上 67,600円 会員50名以上100名未満 62,600円 会員30名以上50名未満 57,600円 会員30名未満 20,000円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) シルバークラブ連合会補助金 3,000,000円 (2) 単位シルバークラブ補助金 67,600円 × 3クラブ = 202,800円 62,600円 × 99クラブ = 6,197,400円 57,600円 × 72クラブ = 4,147,200円 20,000円 × 9クラブ = 180,000円 計 183クラブ 10,727,400円</p>												

事業名：ふれあい元気広場管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	18	本年	1,170				1,170	887	75.8	
				前年	1,587				1,587	950	59.9	
				比較	417				417	63		
<p>1. 事業の目的 クロッケー及びニュースポーツを通じ, 高齢者の交流促進, 健康増進を図る。</p> <p>2. 事業の概要 クロッケーコート, 管理棟などの管理運営</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) クロッケーコート利用実績: 毎週水曜日2団体, 毎週月曜日, 火曜日, 土曜日, 日曜日各1団体 (2) クロッケー大会開催(年6回), グラウンドゴルフ大会(年2回)</p>												

事業名：食事サービスに要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	19	本年	21,201		5,278		15,923	14,773	92.8	
				前年	20,562		4,246		16,316	14,674	89.9	
				比較	639		1,032		393	99		
<p>1. 事業の目的 日常生活に支障のあるひとり暮らしや高齢者世帯の高齢者の安否確認と健康保持を行う。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 日常生活に支障のあるひとり暮らしなどの高齢者に夕食を宅配</p>												

(2) 調理を市内の特養等10ヶ所に委託。配食は、市社協と老健等4ヶ所に委託

3. 事業の成果及び効果

利用者数168名, 延配食数142,500食(平成22年3月31日現在)

事業名：介護保険事業特別会計に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	20	本年	1,290,430		29,225		1,261,205	1,261,205	100.0	
				前年	1,221,440		15,047		1,206,393	1,206,393	100.0	
				比較	68,990		14,178		54,812	54,812		

1. 事業の目的

平成12年度から実施している介護保険制度に係る事務を円滑に執り行うため。

2. 事業の概要

一般会計から介護保険事業特別会計への介護給付費, 職員給与等, 事務費及び地域支援事業費の繰り出し。

市町村の一般会計における負担割合は, 介護保険法第124条により, 介護給付及び予防給付に要する経費の12.5%, 包括的支援事業等支援額の20%と定められている。

3. 事業の成果及び効果

事業の安定運営を図るため, 以下のとおり繰出した。

介護給付費(介護給付費12.5%)	992,533,000円
職員給与等(平成21年度職員給与繰入分)	123,877,000円
事務費(平成21年度事務費繰入金)	103,815,000円
新予防給付職員関係経費(平成21年度新予防給付職員給与繰入分)	7,892,000円
介護予防事業交付対象(地域支援事業費の介護予防の12.5%)	4,865,000円
包括的支援事業・任意事業交付対象 (地域支援事業費の包括的支援・任意事業の20%)	28,223,000円

事業名：介護保険低所得者負担対策に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	21	本年	2,046				2,046	223	10.9	
				前年	2,435		1,737		698	493	70.6	
				比較	389		1,737		1,348	270		

1. 事業の目的

真に利用者負担額を負担することが困難な低所得者について, 経過的に利用者負担の助成を行い, 介護保険制度の円滑な導入に資する。

2. 事業の概要

国の特別対策

低所得者で特に生計が困難であるものに対して, 介護サービスの提供を行う社会福祉法人が利用者負担を減免する場合の支援措置

3. 事業の成果及び効果

利用者負担を軽減した2事業所(該当者36人)に対して補助金を交付した。

負担率: 市1/4, 県・国3/4

事業名：高齢者福祉計画の策定に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	22	本年	185				185	7	3.8	
				前年	4,486				4,486	3,482	77.6	
				比較	4,301				4,301	3,475		
<p>1. 事業の目的 つくば高齢者保健福祉計画及び介護保険計画の策定</p> <p>2. 事業の概要 第4期計画(平成21年度を初年度とし、平成23年度までの3ヵ年計画)を策定した内容を公開する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 第4期計画書を送付・窓口設置(閲覧用)をした。</p>												

事業名：老人福祉施設整備に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	23	本年	6,497				6,497	6,157	94.8	
				前年	65,384		20,000		45,384	45,171	99.5	
				比較	58,887		20,000		38,887	39,014		
<p>1. 事業の目的 地域密着型サービスの施設整備を進めることにより、高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、認知症ケアの充実を図り、地域に開かれた良質なサービスの提供を確保する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 施設整備事業 地域密着型サービス施設整備を進めることにより、高齢者一人一人が住み慣れた地域で安全で安心して、尊厳ある生活ができるようになる。 (2) 高齢者健康遊具設置事業 高齢者の健康増進、寝たきり予防、介護予防等の健康維持を図るため、健康遊具を設置する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 事業所更新のため、地域密着型運営委員会を開催した。 (2) 二の宮公園、荃崎運動公園に、以下の高齢者用健康遊具を設置した。 二の宮公園：背のばしベンチ(上半身のストレッチ、つば押し)、バランス円盤(下半身の柔軟)、飛び石(足首、ひざの柔軟)、ステップ(下半身の筋力アップ)、腕のばしテスト(足腰のバランスを計測) 荃崎運動公園：健康快道(足裏の刺激・マッサージ) パネルラダーステーション(全身のストレッチ、筋力アップ) バランス円盤、飛び石、ステップ、腕のばしテスト</p>												

事業名：認知症地域支援体制構築等推進事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	01	02	24	本年			3,460		3,460	1,655	47.8		
				前年									
				比較			3,460		3,460	1,655			
<p>1. 事業の目的 認知症の人が在宅でも安心して暮らせるよう、地域ぐるみで認知症の本人とその家族を支援する体制を構築していく。</p> <p>2. 事業の概要</p>													

茨城県からの受託事業であり、県がモデル地域を指定し、地域の実情に応じた認知症の人への地域支援体制を構築するため、地域資源マップの作成や徘徊SOSネットワーク構築などの事業を進める。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 認知症地域支援コーディネーターの選定・配置によるネットワーク形成の推進 1名
- (2) 認知症ケアの研修会開催による認知症ケアの高度化 1回
- (3) 認知症キャラバンメイト連絡会の組織化 69人

事業名：身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳に要する経費 保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	11	本年	4,707			131	4,838	4,524	93.5	
				前年	3,781		1,840	302	5,928	5,323	89.9	
				比較	926		1,840	171	1,085	799		

1. 事業の目的

身体に障害のある方へ身体障害者手帳を交付することにより、様々な援助を受けられる状態とし、障害を持つ者及び介護をする者の負担を軽減し、身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進させ、もっては身体障害者の福祉の増進を図る。

また、精神に障害をもつ者に対し、精神保健福祉手帳を交付するところにより、在宅生活の支援サービスを受けやすくし、障害を持つ者及び介護をする者の負担軽減を図る。

2. 事業の概要

身体障害者手帳交付事務は法律上県が行うこととなっているが、茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成11年茨城県条例第44号)により、平成16年度から権限がつくば市に移譲されたため、現在はつくば市が行っている。

申請者から提出された身体障害者福祉法第15条第1項に規定する指定医の診断書・意見書を審査し、身体障害者福祉法別表に該当するのか、また該当する場合、身体障害者福祉法施行規則の別表5号の級別について審査を行い、決定した場合申請者へ手帳の交付を行う。

市審査で認定が困難なケースについては、茨城県社会福祉審議会へ諮問し、答申を基に手帳の交付を行う。

また、身体障害者手帳交付申請時には必ず指定医の診断書が必要となっているが、1障害区分について1度のみ診断書料の補助を行っている。(原則として半額補助だが、補助上限額は3,500円まで)

精神障害者保健福祉手帳取得時の診断書料に対し半額補助(上限3,500円まで)を行い、手帳取得時の負担の軽減を図る。

3. 事業の成果及び効果

(1)身体障害者手帳交付者数

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
1級	176名	145名	166名
2級	48名	55名	26名
3級	81名	83名	70名
4級	76名	93名	79名
5級	15名	12名	18名
6級	20名	30名	21名
計	416名	418名	380名

(2)身体障害者手帳交付に伴う制度利用

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
補装具費助成	284人	275人	254人
日常生活用具の助成	334人	262人	271人
有料道路割引申請	853人	695人	840人
特別駐車券交付者数	669人	550人	647人
住宅リフォーム補助	11件	7件	5件

(3)診断書料補助

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
身体障害者	447人	478人	439人
補助額	1,476,640円	1,557,512円	1,420,399円
精神障害者	168人	157人	155人
補助額	437,415円	416,604円	354,559円

そのほか、公共交通機関の割引や市県民税、所得税の控除、公共施設の利用料割引などがある。

事業名：補装具の援助に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	12	本年	37,791				37,791	33,360	88.3	
				前年	34,802		457		35,259	33,691	95.6	
				比較	2,989		457		2,532	331		

1. 事業の目的

身体障害者(児)に対し、補装具を支給することにより身体障害者(児)の日常生活や社会生活(職業生活)の能率の向上を図ることを目的とする。

2. 事業の概要

障害者自立支援法第76条の規定に基づき、身体の失われた部分や障害のある部分を補って、日常生活や働くことを容易にする用具(補装具)を購入・修理するための費用を支給する。利用者負担は原則1割で、9割が公費負担であるが、所得に応じて自己負担上限月額が設定されている。

3. 事業の成果及び効果

補装具の交付・修理申請件数

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
肢体不自由関係	294件	260件	269件
視覚障害関係	18件	5件	11件
聴覚障害関係	87件	88件	66件
合計	399件	353件	346件
事業に係る公費負担額	33,305,507円	33,204,669円	31,780,861円

肢体不自由関係:義肢,装具,座位保持装置,車いす,電動車いす,歩行器,歩行補助つえ,重度障害者用意意思伝達装置など

視覚障害関係:盲人安全つえ,義眼,眼鏡など

聴覚障害関係:補聴器

事業名：日常生活の援助に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	13	本年	29,834			131	29,703	27,269	91.8	
				前年	34,980			302	34,678	26,793	77.3	
				比較	5,146			171	4,975	476		

1. 事業の目的

在宅の身体及び知的障害児(者)に対し、住宅改修費の助成、貸付、特殊寝台等の日常生活用具を給付、又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資することを目的とする。

2. 事業の概要

日常生活用具給付は、身障手帳おおむね1.2級または療育手帳(A)、Aの在宅の方が対象で、特殊寝台、便器、盲人用時計、聴覚障害者用屋内信号装置、ファクシミリ、透析液加湿器、特殊マット、頭部保護帽、ストマ装具、紙おむつ等の給付をしている。なお、各用具によって障害程度、世帯状況等により制限がある。自己負担額はかかった費用の1割であるが、種目によって基準額が定められている。

3. 事業の成果及び効果

(1) 身体障害者住宅リフォーム助成(段差解消工事等)実績

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
助成件数	11件	7件	5件
公費負担額	2,708,797円	2,092,785円	1,644,829円

(2) 身体障害者(児)及び知的障害者の日常生活用具給付実績

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
申請件数	2,523件	2,312件	576件
公費負担額	24,479,627円	21,085,384円	21,123,490円

事業名：社会参加の促進に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	14	本年	14,030			150	13,880	12,540	90.3	
				前年	13,396			110	13,506	12,470	92.3	
				比較	634			260	374	70		

1. 事業の目的

在宅の障害者(児)がスポ - ツやレクリエ - ション、芸術活動等を通じて、障害者自らが生きがいを高めることにより、社会参加への意欲と意識の高揚を図る。また施設整備においてもユニバーサルデザインの実現を目指し、人にやさしいまちづくりの充実を図ることを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 「おひさまサンサンフェスティバル」の実施
- (2) 「チャレンジア - トフェスティバル」の実施
- (3) 体験乗馬療法事業
- (4) 障害者スポ - ツ教室
- (5) 各種奉仕員養成事業
- (6) 市内6カ所の公共施設にある椅子式階段昇降機の定期的な保守点検等

3. 事業の成果及び効果

- (1) おひさまサンサンフェスティバル及びチャレンジア - トフェスティバルは、つくば市社会福祉協議会に委託し事業を効率的に運営することができ、経費の縮減を図ることができた。高齢者いきいきまつりと合同開催により、おひさまサンサンいきいきまつり(10月17日・豊里多目的広場)として事業を実施し、参加・来場者は、合計2,290名であった。
- (2) チャレンジア - トフェスティバル(2月23日～2月28日の6日間、つくば美術館で作品展示、つくばカピオで舞台発表)は438点の作品の展覧、18団体の舞台発表があり、合わせて2,238名の来場者があった。
- (3) 体験乗馬療法事業は、障害者(児)・一般児童合わせて、499名に実施した。
- (4) 市内6カ所の公共施設にある椅子式階段昇降機の定期的な保守点検を実施し、オストメイト対応トイレの設置については大穂庁舎に設置した。

事業名：特別障害者手当等支給に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	15	本年	63,794		5,719		58,075	55,366	95.3	
				前年	64,703		7,206		57,497	55,364	96.3	
				比較	909		1,487		578	2		

1. 事業の目的

身体または精神に重度の障害を有する在宅の障害者(児)、及び障害児を養育している父母または養

育者に手当を支給することにより、日常生活における負担を軽減し、かつ障害者福祉の増進を図る。

2. 事業の概要

(1) 特別障害者手当	月額26,440円	支給月2, 5, 8, 11月	
(2) 障害児福祉手当	月額14,380円	支給月2, 5, 8, 11月	
(3) 経過的福祉手当	月額14,380円	支給月2, 5, 8, 11月	
(4) 在宅障害児福祉手当	月額 5,000円	支給月4, 8, 12月	
(5) 特別児童扶養手当	1級月額50,750円	2級月額33,800円	支給月4, 8, 12月

認定請求等各種受付・認定・その他各種業務

3. 事業の成果及び効果

(支給実績)

	平成21年度 (H22.3.31現在)	平成20年度 (H21.3.31現在)	平成19年度 (H20.3.31現在)
特別障害者手当	65名	70名	66名
障害児福祉手当	105名	102名	104名
経過的福祉手当	7名	6名	7名
在宅障害児手当	251名	265名	254名
特別児童扶養手当	275名	315名	259名

事業名：障害福祉サービスに要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	16	本年	916,649		226,319		1,142,968	1,097,416	96.0	
				前年	845,587		77,625		923,212	890,022	96.4	
				比較	71,062		148,694		219,756	207,394		

1. 事業の目的

障害者及び障害児がその有する能力と適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスに係る給付等の支援を行い、障害者及び障害児の福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 利用までの流れ

障害者等が市及び相談支援事業者 서비스에支給申請を行い、市は認定調査と医師意見書を基に障害程度区分認定審査会において区分1から区分6までの判定を行うとともに、障害福祉サービス支給量の決定を行い、受給者証の交付を行います。交付を受けた障害者等が、指定障害福祉サービス事業者と契約を結び、サービスの提供を受ける。

(2) 費用負担割合

費用負担については、原則1割が利用者負担(所得により月額負担上限額の設定あり)のほか、残り9割を国が1/2、県が1/4、市が1/4の負担となる。

(3) サービスの内容

サービスの内容は、大別すると介護給付と訓練等給付に分けられ、介護給付には居宅介護・重度訪問介護・行動援護・児童デイサービス・重度障害者等包括支援・療養介護・生活介護・共同生活介護・施設入所支援(旧法施設支援含む)があり、訓練等給付には自立訓練(機能)(生活)・就労移行支援・就労継続支援(雇用型)(非雇用型)・共同生活援助のサービスがある。

3. 事業の成果及び効果

(1) 障害程度区分認定

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
審査会開催回数	22回	17回	19回
審査判定件数	234件	130件	129件

(2) サービス支給決定件数

	平成21年度 (H22.3.31現在)	平成20年度 (H21.3.31現在)	平成19年度 (H20.3.31現在)
居宅介護	126件	135件	129件
重度訪問介護	16件	18件	17件
行動援護	3件	3件	4件
重度障害者等包括支援	0件	0件	0件
療養介護	1件	1件	1件
生活介護	161件	90件	45件
児童デイサービス	202件	164件	210件
短期入所	311件	252件	244件
共同生活介護	29件	24件	11件
施設入所支援	123件	163件	200件
共同生活援助	28件	15件	13件
自立訓練(機能)	1件	0件	2件
自立訓練(生活)	46件	49件	47件
就労移行支援	88件	47件	30件
就労継続支援(雇用型)	2件	0件	2件
就労継続支援(非雇用型)	90件	70件	45件
合計	1,227件	1,031件	1,000件

事業名：心身障害者扶養共済に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	17	本年	9,120		580		8,540	8,030	94.0	
				前年	8,680		450		9,130	8,363	91.6	
				比較	440		1,030		590	333		

1. 事業の目的

障害ある方を扶養している保護者(加入者)の方々の連帯と相互扶助の精神に基づき、障害のある方の生活の安定の一助と福祉の増進に資するとともに、障害のある方の将来に対し、保護者が抱く不安の軽減を図るものである。

2. 事業の概要

障害のある方を扶養している保護者(加入者)が、自ら生存中に毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万が一(死亡・重度障害)のことがあったとき、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度で、1口加入の方は月額2万円で年額24万円、2口加入の方は月額4万円で年額48万円が支払われる。

3. 事業の成果及び効果

障害者年金とともに障害者の生活の安定基盤を支えるものであり、必要なものとなっている。

3月31日現在で加入者は、51名となっている。また、保護者(加入者)が死亡した場合に支払われる年金は、28名に毎月合計620,000円が支払われている。

事業名：地域生活支援事業に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	18	本年	69,344		463	150	69,957	65,051	93.0	
				前年	48,110		970	110	48,970	45,573	93.1	
				比較	21,234		507	260	20,987	19,478		

1. 事業の目的

障害者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、障害者の自立及び社会参加を支援することを目的とする。

2. 事業の概要

障害者自立支援法施行に伴い、平成18年10月から第77条に規定する地域生活支援事業として、コミュニケーション支援事業、移動支援事業、日中一時預かり事業、地域活動支援センター事業等、地域の実情により市町村が行う事業を実施している。

3. 事業の成果及び効果

(1) 訪問入浴サ - ビス利用費助成金支給事業

平成21年度実績 支給決定者 17名 実利用者17名(延べ661回)

(2) 移動支援事業

平成21年度実績 支給決定者 50名 実利用者28名(延べ2,189.5時間 延べ回数724回)

(3) 日中一時預支援事業

平成21年度実績 支給決定者241名 実利用者113名(延べ17,408時間 延べ回数3,242回)

(4) コミュニケーション支援事業

登録者数49名

平成21年度手話通訳実績

利用延べ回数217件 派遣通訳者延べ人数271名 派遣延べ時間850時間04分

平成21年度要約筆記実績

利用延べ回数37件 派遣通訳者延べ人数47名 派遣延べ時間143時間36分

(5) 障害者福祉タクシー利用料金助成事業 交付冊数626冊 利用件数4,946件

(6) 地域活動支援センターI型及びII型機能強化事業

社会福祉法人2箇所と業務委託契約を締結し、精神障害者に対する日中活動の場における生産的活動や創作的活動等の事業を実施した。

委託先：I型 社会福祉法人創志会ライフサポートセンターみどりの

平成21年度実績 実利用者66名

II型 社会福祉法人ゆっくら地域活動支援センターわかば

平成21年度実績 実利用者33名

(7) つくば市障害者計画(第2次) 平成22年度～31年度 策定完了

事業名：自立支援医療等に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	19	本年	100,896		16,328		117,224	106,283	90.7	
				前年	133,748		25,363		108,385	105,722	97.5	
				比較	32,852		41,691		8,839	561		

1. 事業の目的

身体障害者(児)に対して、その障害を軽減するための医療費を助成することにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことを推進し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 事業の概要

身体障害者手帳に記載されている障害原因と因果関係があり、医療を行うことによってその障害が改善される、または、機能の維持が保たれるなどの効果が期待されるものについての医療費の助成を行う

ものである。具体的には、視覚障害者 水晶体摘出・網膜剥離手術等、聴覚障害者 鼓膜剥離・耳管開通処置等、言語障害者 形成術・暗示療法等、肢体不自由者 人工関節置換術・切断形成術等、内部障害 人工透析・ペースメーカー埋め込み術等が該当となる。

3. 事業の成果及び効果

今年度の更生医療の実績は申請 40件で給付総額は 104,926,017円だった。給付の対象としては、じん臓機能障害 33件(免疫抑制療法,人工透析等),免疫機能障害 7件(抗HIV療法)であった。

事業名：福祉相談コーナーに要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	20	本年	8,438		882		9,320	8,343	89.5	
				前年	14,829				14,829	14,146	95.4	
				比較	6,391		882		5,509	5,803		

1. 事業の目的

障害福祉課内福祉相談コーナーにおいて、ワンストップサービスによる相談者本位の福祉全般に係る相談業務を実施し、効果的な問題解決を図る。

2. 事業の概要

社会福祉士、精神保健福祉士、看護師などの専門職員を配置し、地域の民生委員・児童委員や各種相談員及び保健センター等の関係者と庁舎内外のネットワーク化を図り、福祉全般の相談事業を促進する。障害者自立支援法の施行に伴い、障害者の自立した日常生活や社会生活を支援するため、障害者や介護者などからの相談に応じ、必要な情報を提供しながら相談窓口等の充実に努めるとともに、相談支援事業者による相談窓口の機能強化や障害者自立支援懇談会と連携して、地域の相談支援体制と関係機関等のネットワークを活用し相談支援の充実に図る。

3. 事業の成果及び効果

福祉相談コーナー 窓口相談、訪問相談件数

		平成21年度	平成20年度	平成19年度
窓 口	来所	483	441	353
	電話	978	736	384
	その他(メール等)	9	6	0
訪問		165	322	231
計		1,635	1,505	968

事業名：老人医療給付に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	04	11	本年	1,302,405		23,564		1,325,969	1,296,925	97.8	
				前年	1,236,034		28,929	106	1,265,069	1,249,021	98.7	
				比較	66,371		5,365	106	60,900	47,904		

1. 事業の目的

老人保健・後期高齢者医療の事務の円滑化及び、老人保健・後期高齢者医療の公費負担分を繰り出し老人保健制度・後期高齢者医療制度の安定化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 老人保健特別会計への繰り出しと被保険者に関する事務
- (2) 後期高齢者医療制度特別会計への繰り出しと被保険者に関する事務

3. 事業の成果及び効果

老人保健及び後期高齢者医療に関する事務が円滑に進んだ。
老人保健特別会計への繰出金 1,217,000円

後期高齢者医療制度特別会計への繰出金 262,594,000円
 後期高齢者医療広域連合負担金 1,011,598,679円
 被保険者数 16,046人

事業名：医療福祉費支給に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	05	11	本年	1,304,066				1,304,066	1,205,736	92.5	
				前年	1,324,711		1,808		1,326,519	1,191,812	89.8	
				比較	20,645		1,808		22,453	13,924		

1. 事業の目的

医療福祉制度対象者への医療費の助成を行う。

2. 事業の概要

- (1) 乳幼児，母子家庭の母子，父子家庭の父子，妊産婦，重度心身障害者の医療費の助成
 母子父子・妊産婦・重度心身障害者には県制度（所得制限あり）を適用している。
 母子父子は，子どもが18歳(高校卒業)まで(子どもが重度心身障害者の場合は20歳まで)有効，妊産婦は母子手帳交付日以降で対象疾病の診断をされた日から出産の翌月まで有効である。
- (2) 市独自の制度としてマル福受診者の外来自己負担金(1医療機関1回600円月2回を限度)の助成と乳幼児医療費助成を満6歳未満まで扶養義務者の所得制限を撤廃して実施している。

3. 事業の成果及び効果

医療福祉給付額： 1,165,886,884円
 (内訳) 県制度適用受診者数： 17,240人
 県制度適用給付額： 943,008,382円
 市独自制度受診者数： 4,997人
 市独自制度給付額： 222,878,502円
 審査支払手数料等事務費： 39,849,414円
 乳幼児については，所得制限を撤廃しているため，小学校就学前まで(申請者全員)に医療費が助成されている。

事業名：国民年金に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	06	11	本年	4,879		227		4,652	3,796	81.6	
				前年	4,859				4,859	4,117	84.7	
				比較	20		227		207	321		

1. 事業の目的

国民年金制度の適正化を推進するとともに，国民年金受給権の確保と制度の基盤強化を図るため，未加入，未納者の解消にかかる事務。

2. 事業の概要

- (1) 適用対策事務 第1号・若年層に対する適用促進
 (2) 裁定請求事務 老齢基礎年金，障害基礎年金，遺族基礎年金，寡婦年金，死亡一時金
 (3) 一般免除事務
 (4) 学生納付特例申請事務

3. 事業の成果及び効果

国民年金の受給権確保
 (1)適用対策事務 4,949件
 (2)裁定請求事務 老齢基礎年金 102件， 障害基礎年金 97件， 遺族基礎年金 4件，

寡婦年金 2件, 死亡一時金 53件

(3)一般免除事務 3,543件

(4)学生納付特例申請事務 3,700件

事業名：民間団体活動に要する経費 (市民生活部 地域改善対策室
市民部 地域改善対策室)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	07	11	本年	4,441				4,441	4,441	100.0	
				前年	4,441				4,441	4,441	100.0	
				比較								

1. 事業の目的

部落の完全解放と基本的人権の確立のため、同和問題の正しい理解と認識を深める啓発活動を推進する民間運動団体に対し補助を行い、同和問題の早期解決を図る。

2. 事業の概要

- (1) 民間運動団体の実施する啓発活動を積極的に支援する。
 (2) 団体の主催する研修会・学習会等を支援し、同和問題の早期解決と差別意識の解消を図る。
- | | |
|---------------------|------------|
| 部落解放愛する会茨城県連合会つくば支部 | 2,479,000円 |
| 全日本同和会茨城県連合会谷田部支部 | 902,000円 |
| 全日本同和会茨城県連合会桜支部 | 760,000円 |
| 茨城県地域人権運動連合会つくば支部 | 300,000円 |

3. 事業の成果及び効果

人権・同和問題の早期解決と差別意識の解消に寄与する。

事業名：地域改善対策事業に要する経費 (市民生活部 地域改善対策室
市民部 地域改善対策室)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	07	12	本年	1,586				1,586	1,036	65.3	
				前年	1,617				1,617	972	60.1	
				比較	31				31	64		

1. 事業の目的

- (1) 人権・同和問題の早期解決を図る啓発活動を推進する。
 (2) 全職員を対象として各種研修会等への積極的な参加により、人権意識の高揚を図る。

2. 事業の概要

- (1) 啓発活動
 (2) 全職員を対象に同和問題の早期解決と差別意識解消に向けた各種研修会への参加

3. 事業の成果及び効果

- (1) 啓発活動
 人権・同和問題研修会(企業1回・民生委員4回・職員1回)、同和問題に関する相談、人権啓発ポスター掲示、同和問題啓発リーフレット・えせ同和行為対応冊子配布等
- (2) 全職員を対象に同和問題の早期解決と差別意識解消に向けて、下記の研修会に積極的に参加。
- | | | |
|-----------------------|----|-----|
| 部落解放愛する会主催 | 6回 | 46名 |
| 全国人権連(茨城県地域人権運動連合会)主催 | 2回 | 13名 |
| 全日本同和会主催 | 3回 | 6名 |
| 部落解放同盟全国連合会主催 | 1回 | 2名 |
- その他 国・県・市町村主催 研修会・学習会・講演会に参加。

事業名：桜老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	08	11	本年	27,317		3,169		24,148	21,959	90.9	
				前年	31,457		817		32,274	28,650	88.8	
				比較	4,140		3,986		8,126	6,691		

1. 事業の目的

高齢者の健康増進, 教養の向上, レクリエーション活動の場を提供するとともに, 各種相談に応じる。
また, 施設を良好な状態に維持し, 利用者の利便性の向上と効率的な運営を図る。

2. 事業の概要

- (1) 老人福祉センターの管理運営
- (2) 各種活動等への施設貸出し

3. 事業の成果及び効果

延利用者数 22,029名

事業名：谷田部老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	08	12	本年	41,615		3,835		45,450	40,323	88.7	
				前年	42,137		1,291		43,428	38,897	89.6	
				比較	522		2,544		2,022	1,426		

1. 事業の目的

- (1) 高齢者の健康増進, 教養の向上, レクリエーション活動の場を提供するとともに, 各種相談に応じる。
- (2) 施設を良好な状態に維持し, 利用者の利便性の向上と効率的な運営を図る。

2. 事業の概要

- (1) 老人福祉センター(宿泊施設含む)の管理運営
- (2) 各種活動等への施設貸出し

3. 事業の成果及び効果

- (1) 延利用者数46,527名
- (2) 宿泊施設延利用者数268名(平成21年9月30日閉所)

事業名：茎崎憩いの家管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	08	13	本年	5,095				5,095	4,672	91.7	
				前年	5,365				5,365	5,040	93.9	
				比較	270				270	368		

1. 事業の目的

高齢者の健康増進, 教養の向上, レクリエーション活動の場を提供するとともに, 施設を良好な状態に維持し, 利用者の利便性の向上と効率的な運営を図る。

2. 事業の概要

- (1) 憩いの家の管理運営
- (2) 憩いの家貸出し業務

3. 事業の成果及び効果

延利用者数 1,458名

事業名： 荳崎老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	08	14	本年	21,834			232	22,066	21,135	95.8	
				前年	20,216				20,216	18,646	92.2	
				比較	1,618			232	1,850	2,489		

1. 事業の目的

- (1) 高齢者の健康増進,教養の向上,レクリエーション活動の場を提供するとともに,各種相談に応じる。
- (2) 施設を良好な状態に維持し,利用者の利便性の向上と効率的な運営を図る。

2. 事業の概要

- (1) 荳崎老人福祉センター(障害者センター荳崎含む)及び荳崎農村高齢者交流センターの管理運営
- (2) 各種活動等への施設貸出し

3. 事業の成果及び効果

延利用者数 27,425名

事業名： 障害者センター桜運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター桜

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	09	11	本年	54,259		1,222		53,037	50,790	95.8	
				前年	52,823		846	1,266	54,935	52,592	95.7	
				比較	1,436		2,068	1,266	1,898	1,802		

1. 事業の目的

- (1) 地域活動支援サービス
在宅の身体・知的障害者に対し,創作的活動又は生産活動の機会の提供,社会との交流促進その他の便宜を供与することにより,障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図る。
- (2) 児童デイサービス
在宅の言葉に遅れがある児童,コミュニケーションをとるのが苦手な児童,肢体に不自由がある児童等に対し,日常生活における基本的な動作の指導,集団生活への適応訓練,言語訓練等の各種サービスを提供し福祉の増進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 地域活動支援サービス
障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施。
定員 45名
利用登録者(身体)23名 (知的)17名
- (2) 児童デイサービス
平成18年4月より障害者自立支援法に規定される児童デイサービスの事業所指定を受け,利用者への各種サービスの提供。
定員 20名
利用登録者82名

3. 事業の成果及び効果

(サービスの提供実績)

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
地域活動支援サービス	5,265人	5,896人	5,979人
(内訳)身体障害者	2,153人	2,643人	2,767人
知的障害者	3,112人	3,253人	3,212人
児童デイサービス	2,434人	2,857人	2,772人

事業名： 障害者センター谷田部運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター谷田部

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額																
03	01	09	12	本年	13,958				13,958	13,003	93.2																	
				前年	13,758		25		13,783	12,622	91.6																	
				比較	200		25		175	381																		
<p>1. 事業の目的</p> <p>地域活動支援サービス 在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいを支え福祉の増進を図る。</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>地域活動支援サービス 障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施。 定員 20名 利用登録者(身体)8名 (知的)8名</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (サービスの提供実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域活動支援サービス</td> <td>2,052人</td> <td>2,315人</td> <td>2,537人</td> </tr> <tr> <td>(内訳)身体障害者</td> <td>593人</td> <td>655人</td> <td>719人</td> </tr> <tr> <td>知的障害者</td> <td>1,459人</td> <td>1,660人</td> <td>1,818人</td> </tr> </tbody> </table>														平成21年度	平成20年度	平成19年度	地域活動支援サービス	2,052人	2,315人	2,537人	(内訳)身体障害者	593人	655人	719人	知的障害者	1,459人	1,660人	1,818人
	平成21年度	平成20年度	平成19年度																									
地域活動支援サービス	2,052人	2,315人	2,537人																									
(内訳)身体障害者	593人	655人	719人																									
知的障害者	1,459人	1,660人	1,818人																									

事業名： 障害者センター豊里運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター豊里

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	09	13	本年	32,646		3,500		29,146	27,639	94.8	
				前年	36,912		989		35,923	29,775	82.9	
				比較	4,266		2,511		6,777	2,136		
<p>1. 事業の目的</p> <p>(1) 地域活動支援サービス 在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいを支え福祉の増進を図る。</p> <p>(2) 児童デイサービス 在宅の言葉に遅れがある児童、コミュニケーションをとるのが苦手な児童、肢体に不自由がある児童等に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、個別療育指導等の各種サービスを提供し福祉の増進を図る。</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>(1) 地域活動支援サービス 障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施。 定員 20名 利用登録者(身体)0名 (知的)18名</p> <p>(2) 児童デイサービス 平成18年4月より障害者自立支援法に規定される児童デイサービスの事業所指定を受け、利用者に各種サービスの提供。 定員 20名 利用登録者 61名</p>												

3. 事業の成果及び効果

(サービスの提供実績)

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
地域活動支援サービス	2,362人	2,264人	2,663人
(内訳)身体障害者	0人	0人	0人
知的障害者	2,362人	2,264人	2,663人
児童デイサービス	2,286人	2,261人	2,658人

事業名： 障害者センター筑波運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター筑波

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	09	14	本年	19,358		1,500	40	17,898	17,070	95.4	
				前年	16,821		1,195		15,626	14,861	95.1	
				比較	2,537		305	40	2,272	2,209		

1. 事業の目的

地域活動支援サービス

在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図る。

2. 事業の概要

地域活動支援サービス

障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施。

定員 20名

利用登録者(身体)1名 (知的)13名

3. 事業の成果及び効果

(サービスの提供実績)

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
地域活動支援サービス	1,918人	2,304人	2,140人
(内訳)身体障害者	76人	79人	91人
知的障害者	1,842人	2,225人	2,049人

事業名： 障害者センター茎崎運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター茎崎

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	09	15	本年	28,317		2,991	40	31,268	28,898	92.4	
				前年	27,787		1,418		26,369	25,134	95.3	
				比較	530		4,409	40	4,899	3,764		

1. 事業の目的

(1) 地域活動支援サービス

在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図る。

(2) 児童デイサービス

在宅の言葉に遅れがある児童、コミュニケーションをとるのが苦手な児童、肢体に不自由がある児童等に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、言語訓練等の各種サービスを提供し福祉の増進を図る。

2. 事業の概要

(1) 地域活動支援サービス

障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施。

定員 40名 利用登録者(身体)11名 (知的)19名

(2) 児童デイサービス

平成18年4月より障害者自立支援法に規定される児童デイサービスの事業所指定を受け、利用者への各種サービスの提供。

定員 10名 利用登録者 38名

3. 事業の成果及び効果

(サービスの提供実績)

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
地域活動支援サービス	5,363人	5,328人	5,275人
(内訳)身体障害者	1,170人	1,015人	888人
知的障害者	4,193人	4,313人	4,387人
児童デイサービス	1,112人	1,242人	1,644人

事業名：消費生活センターに要する経費 (市民生活部 市民活動課 消費生活センター 市民部 消費生活センター)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	11	本年	8,786		1,975		10,761	10,439	97.0	
				前年	7,845				7,845	7,660	97.6	
				比較	941		1,975		2,916	2,779		

1. 事業の目的

消費者利益の擁護と増進を図る。

2. 事業の概要

(1) 消費生活相談

消費者と事業者間の取引に関して生じた苦情の受付及びあっせん

(2) 消費者教育・啓発推進事業

消費生活相談や消費者啓発活動をとあして、消費生活知識を高揚し、消費者被害の未然防止を図り、消費者の自立支援の実施

出前講座

街頭啓発等(消費者団体との連携協力)

広報つくば掲載

多重債務者対策

3. 事業の成果及び効果

消費生活相談の充実や消費者啓発活動の強化により、消費者被害の未然防止及び被害からの救済に繋がった。

(1) 消費生活相談

平成21年度相談件数 1,386件 あっせん解決数 119件

(うち個人情報相談 8件) (うち多重債務相談 186件)

(2) 消費者教育・啓発推進事業

出前講座 22件 参加人数 1,969名

街頭啓発等(消費者団体との連携協力)

つくばフェスティバル2009(5月10日)啓発チラシ等の配布 約1,300名

まつりつくば2009(8月29日)啓発うちわ配布 1,000名

敬老福祉大会(9月19日)高齢者向け啓発チラシ配布 約3,900名

筑波学院大学KVA祭(10月24日)啓発チラシ,アンケートクイズ 約350名

第6回つくば産業フェア(10月24日~25日)啓発チラシ等の配布 約2,000名

啓発チラシ新聞折込(2月24日) 69,000部
 広報つくば掲載
 6月, 8月, 12月, 3月号(多重債務相談案内)9月号(高齢者向け悪質商法キャンペーン)
 多重債務者対策
 第3回ネットワーク会議 12月1日 庁内関係部署 15課

事業名：コミュニティ推進事業に要する経費

(市民生活部 市民活動課)
 市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	12	本年	14,140		916	770	15,826	15,032	95.0	
				前年	11,609		2,500	80	14,029	13,487	96.1	
				比較	2,531		1,584	850	1,797	1,545		

1. 事業の目的

(1) コミュニティ助成事業

宝くじの普及広報を目的に「宝くじ受託事業の収入」を財源として、財団法人自治総合センターがコミュニティ活動団体に助成を行う事業であり、地域のコミュニティ活動や団体の育成発展に寄与するとともに、宝くじの普及拡大を図るものである。

(2) 大好きいばらき県民運動

県内各地で行われている青少年、福祉、環境、生活などの様々な分野の活動を、団体・企業・行政が手をつないで支え合い、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動であり、県内の全市町村が会員となって進めている。つくば市でも個人会員(大好きいばらきネットワーカー)を推薦し、これらの運動を支援している。

(3) 花と緑の市民参加事業

つくば市を美しく、楽しく、温かみのあるまちにするため、市民を中心として企業、NPO、ボランティアと行政が協力しながら、花や緑を通して環境美化活動を展開するものであり、様々なイベントを開催する中で、市民によるまちづくりの実践、世代や地域を越えた住民交流の促進、更には市内花卉農家の振興を目的として実施している。

2. 事業の概要

(1) コミュニティ助成事業

今下宿区会 子ども神輿1基, 小・中学生用半纏30着(250万円)

桜が丘区会 子ども神輿1基, 宮太鼓(1)・太鼓台(250万円)

(2) 大好きいばらき県民運動

茨城県知事を会長として県内市町村及び大好きいばらき県民会議が中心となり、やさしさとふれあいのあるいばらきをつくる運動。

ご近所の底力再生事業, 大好きいばらき作文コンクール, 花いっぱい運動の推進, 大好きいばらきふれあいまつりの開催, ネットワーカーの活動推進大会, NPO活動の支援

(3) 花と緑の市民参加事業

つくばセンター地区及び4駅前の花壇や市内約60ヶ所に、季節の花を植える花壇整備。

冬季は、つくば中央公園のシンボルツリー(もみの木)等に光のイルミネーションを装飾するとともに、ステージを設置し各種イベントの開催を青年会議所との協働により実施。

3. 事業の成果及び効果

(1) コミュニティ助成事業

宝くじ助成を受けることにより、地域のコミュニティ活動の活性化に貢献でき、伝統文化の継承や青少年の育成活動に寄与している。

(2) 大好きいばらき県民運動

荃崎ネットワーカーの会を中心に市内37名の県民運動推進員(ネットワーカー)が、定期的に会議を持ちながら、県民運動の周知や市民団体同士の協力体制作りを図っている。また、2月上旬に潮来市とのネットワーカー交流会を実施し、相互の実施活動について勉強会を実施した。

(3) 花と緑の市民参加事業

平成19年度より花いっぱい運動を実行委員会組織で一本化し、実施場所を4駅前花壇、広場、道路、公園、観光地、庁舎前花壇など、市民が多く利用する公共施設の玄関口を季節の花で飾った。参加団体は90団体950人の方が花壇づくりに参加した。
また、中央公園に光のイルミネーションを装飾するとともに、週末の夜はジャズ等の市民コンサート等が行えるようなステージを設置し、活気に溢れるつくばの夜をPRした。

事業名：人権擁護に要する経費

(市民生活部 市民活動課)
市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	13	本年	1,762				1,762	1,463	83.0	
				前年	1,455				1,455	1,294	88.9	
				比較	307				307	169		

1. 事業の目的

- (1) 国民に保障されている基本的人権を擁護するため、人権擁護委員法に基づき、市町村長が推薦して法務大臣が委嘱する人権擁護委員を中心として、自由人権思想の普及拡大を図るための諸活動。
- (2) 人権擁護キャンペーンや特設人権相談所の開設などを通じ、市民の人権を守り差別のない明るい社会の実現。

2. 事業の概要

- (1) 特設人権相談所の開設
- (2) 人権擁護キャンペーン
- (3) 人権教室
- (4) 人権講演会

3. 事業の成果及び効果

- (1) 特設人権相談所の開設 (6回実施 6月2日, 4日, 9日, 11月26日, 12月1日, 3日)
人権相談の件数は、23人で前年度より1人増加した。今後も多様な相談に的確に応じるため、法務局主催の専門研修に積極的に参加する体制を整備していく予定である。
- (2) 人権擁護キャンペーン(7月25日)
社会を明るくする運動と共同で、講演会及び街頭キャンペーンを行った。
- (3) 人権教室 (開催校:吉沼小, 松代小, 栗原小, 東小, 谷田部小, 作岡小の計6校で実施)
人権問題は小学校でも重要な問題であり、いじめや不登校などの問題を未然に防ぐため、人権教室の開催を継続して実施している。今年は、インフルエンザの流行によりキャンセルがあり、6校の小学校で人権教室を開催した。学校の希望日程を調整し、今後も青少年に人権について考える機会を提供していく。
- (4) 人権講演会(12月6日)
吉永みち子氏を迎え、つくばカピオにて(約172名の来場者)「市民が気づき・認め合う社会づくり」について講演を頂いた。今年は、インフルエンザの流行により50名以上のキャンセルがあったにもかかわらず、昨年に続き講演会に参加した市民も多くみられたことから、今後も継続して参加者の増員を目指す。

事業名：更生保護に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	14	本年	1,401				1,401	1,309	93.4	
				前年	1,430				1,430	1,264	88.4	
				比較	29				29	45		

1. 事業の目的

更生保護活動は、犯罪や非行を犯した人達の更生改善、社会復帰を支援するとともに、犯罪のない明るい社会づくりをめざして地域社会環境浄化等の活動を行う。

保護司や更生保護女性会が中心となり、行政と連携しながら活動を展開。

2. 事業の概要

- (1) 社会を明るくする運動
- (2) 各種大会への参加
- (3) 更正保護活動

3. 事業の成果及び効果

- (1) 社会を明るくする運動つくば市大会(7月25日)は、「都市化の中の犯罪」と題し、つくば中央署生活安全課長による講演会及び啓発ビデオ上映、そして街頭キャンペーンを実施した。
参加者は、保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員、青少年を育てるつくば市民の会、青少年相談員である。全国的な運動であり長年継続して開催しているので、その意義は浸透しつつある。今後も講演会や街頭キャンペーンを多くの市民とともに、盛大に開催できるよう企画の拡大を図る。
- (2) 茨城県更生保護女性連盟県南ブロック研修会を10月7日に取手市民会館で実施し、約300名の関係者が活動事例の発表を行った。また、2月19日には保護司関係者200名が集まり、県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会を行い、社会を明るくする運動などの活動発表を行った。
- (3) 更生保護活動は長年継続して行われているが、社会構造の多様化や諸々の事由により、近年多くの犯罪が発生している。その様ななか保護司や更生保護女性会では青少年の健全育成活動を通して犯罪や非行の未然防止に力を入れている。

事業名：文化行政に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	15	本年	80,652		9,332		89,984	78,437	87.2	
				前年	94,725		6,750	2	101,473	92,456	91.1	
				比較	14,073		2,582	2	11,489	14,019		

1. 事業の目的

(1) つくば市芸術文化公演事業

つくば市芸術文化公演事業

市内の文化施設を利用し、つくば市民等に優れた各種芸術作品に接する機会の拡充を図り、個性ある豊かな文化的生活の向上に寄与する。(一般芸術文化公演)

つくば国際音楽祭負担金

市民がクラシックを中心とした芸術性の高い公演に接する機会を設けるため、茨城県・(財)つくば都市振興財団とともに国際的にも通用する公演を開催し、地域の音楽文化の推進を目指す。

(2) つくば都市振興財団支援事業

つくば地域の都市生活の向上と地域情報の収集提供、芸術文化の振興活動、在住外国人への支援活動等市民の豊かで魅力ある都市生活の向上のため、同財団に対して財政及び人的支援を行う。

2. 事業の概要

(1) つくば市芸術文化公演事業

つくば市芸術文化公演事業

芸術文化事業のノウハウのある(財)つくば都市振興財団との共催で、音楽、演劇、美術等の幅広い芸術文化公演を実施する。

つくば国際音楽祭負担金

茨城県、(財)つくば都市振興財団などと共催し、本格的クラシックを中心とした公演を実施する。

(2) (財)つくば都市振興財団支援事業

3. 事業の成果及び効果

(1) つくば市芸術文化公演事業

つくば市芸術文化公演事業

幅広いジャンルの芸術文化公演を行った結果、計13,076人の市民が手頃な入場料で、レベルの高い芸術文化公演を身近で体験することができた。

平成21年度実績 27公演 (内訳 音楽16, 演劇4, 美術2, 舞踊1, 芸能4)

つくば国際音楽祭負担金

つくば市内外の音楽ファン(入場料収入)や地元企業の支援(協賛金収入)に支えられながら、昨年で25回目を開催できた。(10公演, 観客数計3,037人)

なお、今後も告知方法の見直し・強化など、集客力をあげる努力をする必要がある。

平成21年度実績 10公演 (内訳 オーケストラ1, リサイタル又は室内楽7, ジャズ1, その他1)

(2) (財)つくば都市振興財団支援事業

同財団は、市民の要望等を把握するとともに、つくば市からの補助金や事業収入等を加えて事業を展開するなど、総合的につくば地域の市民満足度や市民サービスの向上を図る事業を展開している。

しかし、つくば市財政が総体的に圧迫されている現況に鑑み、今後は、公益法人としての意識改革とスクラップアンドビルドをさらに徹底し、より自立した経営を目指すよう指導していく。

(市民生活部 市民活動課
市民部 市民活動課)

事業名：非核平和都市宣言事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	16	本年	1,071			80	1,151	1,072	93.1	
				前年	1,058				1,058	838	79.2	
				比較	13			80	93	234		

1. 事業の目的

安心して平和に暮らしたいという思いは、人類共通の願いである。日本は世界で唯一の戦争による被爆国であり、このような悲惨な歴史を二度と繰り返してはならないことを世界に訴える義務がある。

つくば市では、平成2年に非核平和都市宣言を行っており、この宣言を形式的なものとしなないため、各種の平和事業に取り組む。

2. 事業の概要

(1) 平和体験教室

(2) 青少年ピースフォーラム

3. 事業の成果及び効果

(1) 平和体験教室

小学5・6年生を対象とし、埼玉県平和資料館を見学して平和学習を行う。(参加37名)

平和学習は、将来を担う青少年を対象として行っている。上記の事業の取り組みを継続して展開することにより、一人でも多くの心に残るよう平和体験学習として継続していく。

(2) 青少年ピースフォーラム

毎年、長崎市で行われる青少年ピースフォーラムは、全国の非核平和都市宣言自治体が参加する全国大会であり、つくば市からも3校から6名の中学生を平和大使として派遣し、全国の仲間

と交流を図ると共に、その体験を所属校の生徒に伝えることにより、平和の大切さを訴えていく。
派遣終了後は各中学校において、全校集会などで報告会を実施し全校生徒に対して原爆の悲惨さを発表するなどの啓発活動を実施している。

参加校：筑波東中学校，筑波西中学校，大穂中学校

(市民生活部 市民活動課)
市民部 市民活動課

事業名：自治会関係に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	17	本年	139,789			5,000	144,789	142,913	98.7	
				前年	139,773				139,773	137,804	98.6	
				比較	16			5,000	5,016	5,109		

1. 事業の目的

自治会は、市民協働のまちづくりにおける協力組織、さらに大規模災害における互助組織としての役割が期待されている。

そのようなことから、主体的な自治意識を持つ区会として活動できるように支援を行う。

2. 事業の概要

市内600区会を対象に以下の事業を実施

- (1) 市区会連合会総会及び各地区(6地区)区会連合会総会の開催
- (2) 先進地視察研修の企画・取りまとめ・実施
- (3) 区長サミットインつくばの開催
- (4) 地域コミュニティの拠点となる集会所の修繕等に補助金を交付
- (5) 地区案内板撤去調査
- (6) 回覧・配布等で行政に関する情報を区会内へ周知

3. 事業の成果及び効果

- (1) (2)各区会，区会連合会等の連携や区会間の交流，活性化が図られた。
- (3) メインテーマ・サブテーマを決めて市長・区長の懇談会を開催し，活発な意見が交わされた。
- (4) 集会所建設等補助金を交付し地域活動の活性化が図られた。
つくば市地区集会所建築等補助金交付要綱に基づき新築1件，改築2件，増築1件，修繕24件(26,630千円)の補助金を交付。
- (5) 市内にある老朽化や旧地区名表示などの不用な案内板を把握することができ，計画的な撤去が可能となった。(委託金 210千円)
- (6) 区会内での回覧・配布を年間22回実施した。

(市民生活部 男女共同参画室)
市民部 男女共同参画室

事業名：女性施策推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	18	本年	9,565				9,565	8,066	84.3	
				前年	8,853		310		8,543	7,398	86.6	
				比較	712		310		1,022	668		

1. 事業の目的

男女共同参画の総合的推進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 男女共同参画審議会の設置

委員数 19名

任期 平成20年7月1日～平成22年6月30日

- (2) 男女共同参画指導員の配置

男女共同参画社会の実現に向け，地域住民への意識啓発等の活動を行う。

- 人 数 1名
任 期 平成21年4月1日～平成22年3月31日
- (3) 平成21年度つくば男女共同参画会議「つくば男・女(みんな)のつどい2009」の開催
日 時 平成21年12月12日(土) 9:30～13:00
場 所 つくばカピオ
- (4) 平成21年度「男・女(ひとひと)セミナー」の開催
期 間 平成21年6月～22年3月 年17回
会 場 桜保健センターほか
- (5) 「つくば市女性のための相談室」の実施
目 的 女性が自らの悩みの原因となる問題に気づき、自らの課題解決に向けて行動できるよう支援するため相談室事業を実施
種 類 電話相談、一般相談、心と生き方相談、法律相談
内 容 夫婦・親子の問題、生き方、人間関係、DV(夫・パートナー等からの暴力)など、女性が抱える様々な問題に応じる。
- (6) つくば市男女共同参画推進基本計画(つくばAPPLEプログラム2008～2012)の進行管理
つくば市男女共同参画推進基本計画の各課等における推進状況の調査及び公表

3. 事業の成果及び効果

- (1) 男女共同参画審議会の開催
開催状況 なし
- (2) 男女共同参画指導員の配置
身 分 非常勤特別職
活動状況 つくば男女共同参画会議及び男・女セミナーの企画・運営、男女共同参画室だよりの季刊発行等の啓発活動
- (3) 平成21年度つくば男女共同参画会議「つくば男・女(みんな)のつどい2009」の開催
テ ー マ 「男女共同参画と経済社会」
内 容 子守歌、講演、第4回つくば市男女共同参画推進標語“愛ことば”展示・表彰式、産官民による活動報告及びパネル展示(26団体)、こどもイベント等
参加者数 400名

効果

本会議の開催を通じて、市民や団体、事業者など参加者相互の情報交流及び男女共同参画意識の啓発を図る機会として、今年度も多くの参加を得ることができた。

男女共同参画推進標語には、全国から1,394点の応募があり、最優秀賞1名、優秀賞2名を表彰し、会場では標語の展示も行った。

会議開催においては、実行委員会を中心に、市内の子育て支援団体等のほか庁内関係課9課(人事課、広報広聴課、こども課、健康増進課、農業課、学務課、生涯学習課、国際文化課、産業振興課)から参画・協力を得て、市民との協働による企画・運営を行った。

- (4) 平成21年度「男・女(ひとひと)セミナー」の開催

実施状況

()は内男性者数

NO.	開催日	テ ー マ	参加数
前期1	6/19	グループコミュニケーション 生まれ持った気質で本来の自分を知る	29(2)
2	7/3	グループコミュニケーション 一人一人の力を生かし目標達成する	26(1)
3	7/10	グループコミュニケーション 価値観が違って同じ目標を共有し力を発揮する	25(1)
4	7/17	グループコミュニケーション 一人一人の持つ良さを集団で最大限に発揮する	27(0)
5	6/13. 27	ペアで楽しくエコクッキング【全2回】 (春日公民館共催)	29(12)
後期1	9/29	再就職準備セミナー ((財)21世紀職業財団茨城事務所共催)	25(0)

2	10/6	孫 - まご育て講座 (吉沼公民館共催)	10(1)
3	10/18. 31	親子で楽しむ野外活動講座【全2回】 (二の宮公民館共催)	58(15)
4	10/22 ~ 12/17	エッセイを書く講座~新しい自分の発見~【全5回】 豊里公民館共催	62(17)
5	11/10. 17.24	赤ちゃんといっしょの時間【全3回】 (鳥名公民館共催)	58(0)
6	11/6.1 3	仕事帰りのお弁当講座【全2回】 (春日公民館共催)	27(3)
7	12/8	まご育て講座(コミュニケーション) (大穂公民館共催)	37(9)
特別1	2/13	ハッピーな関係づくり~自分も相手も大切にしよう~	30(4)
2	2/15	子連れでお仕事!~再チャレンジ応援講座~ 内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するアドバイザー派遣事業」	23(0)
3	2/22	子連れでお仕事!~再チャレンジ応援講座~ 内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するアドバイザー派遣事業」	13(0)
4	3/3	健康バランス講座~Gボールで身体をしなやかに~ 働く婦人の家共催	16(1)
5	3/28	おひとりさまの老後を支えるしくみ	104(21)
合 計			599(87)

効果

今年度は、「新たな視点で自分再発見」をテーマに、コミュニケーションスキルやキャリアアップなど、【前期5回、後期7回、特別5回】の年17回のセミナーを開催し、延べ599人(うち男性87人14.5%)の参加があった。参加者数は、昨年度比で33.7%増(うち男性参加者数は、昨年度比で81.3%増)となった。

セミナーの開催にあたっては、公民館のほか、(財)21世紀職業財団や内閣府と共催で行い、予算の有効活用と効果的な事業の実施に努めた。

(5) つくば市女性のための相談室の実施

内容・件数

内 容	形態	実 施 日	時 間	相 談 員	件数
電話相談	電話	第1~第4月曜	10時~16時	女性のための相談員	143
一般相談	面接	第1~第4火曜	10時~16時	女性のための相談員	117
心と生き方相談	面接	第1~第4水曜	10時~16時	カウンセラー	132
法律相談	面接	第2・第3木曜	13時半~15時半	弁護士	46
合 計					438

研修及び事例検討会

研修会 10/1 第1回相談員研修会(庁内関係課との合同研修)

「成年後見制度について」

12/3 第2回相談員研修会(内閣府「DV被害者支援アドバイザー派遣事業」)

「グループスーパービジョン」

2/19 第3回相談員研修会(庁内関係課及び近隣市町村合同研修)

「児童虐待とDV問題について」

効果

相談件数は、昨年度比で19.5%減となったが、事業の成果は一定程度あるものと考えている。引き続き、広報紙やHP、区会回覧等で相談窓口の周知を行い、相談者に効果的な事業実施に努める。

(6) つくば市男女共同参画推進基本計画(つくばAPPLEプログラム2008~2012)

平成21年度の各課等における推進基本計画の進捗状況調査の実施

調査期間 平成21年4月9日~4月22日

事業数 109事業

事業名：国際化の推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	19	本年	18,277		1,006		19,283	17,181	89.1	
				前年	22,308		3,200	23	19,085	17,348	90.9	
				比較	4,031		4,206	23	198	167		

1. 事業の目的

多言語による広報紙の発行、国際交流員の配置による庁舎内での多言語による行政サービスを充実させ、多文化共生社会の実現を推進する。

また、姉妹・友好都市等との交流を通じて、国際理解を促進するとともに、つくば都市振興財団(つくば市国際交流協会)への補助などを通じ、国際化施策の推進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 6カ国語広報紙の発行(留学生交流員事業)
- (2) 国際交流員の配置
- (3) 姉妹・友好都市等との交流
- (4) つくば都市振興財団(つくば市国際交流協会)への補助

3. 事業の成果及び効果

6カ国語の広報紙の発行や国際交流員の配置は、行政サービスの向上推進に大きく寄与している。

また、国際交流事業により本市の国際化の推進が図られ、多文化共生社会の実現に向けてその基礎を固めつつある。

その他、各種イベントへの協力を実施することにより、日本人住民と外国人住民との交流が促進され、お互いが異文化を理解する一助となった。

- (1) 6カ国語広報紙の発行(留学生交流員事業)

6カ国語(英語・中国語・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語)による外国人向け広報紙を毎月1回発行し、市内の公共・公益施設などに配布し、各種情報の提供を行う。編集・発行作業は、「留学生交流員」として市が委嘱した外国人留学生在が担当している。

発行部数 3,200部(6カ国語の合計/月による変動あり) 英語:900部,中国語:680部,韓国語:480部,タイ語:340部,ポルトガル語:450部,スペイン語:350部

- (2) 国際交流員の配置

外国人住民への対応のため、国際交流員(英語・中国語各1名)を国際課内に配置し、庁舎内での通訳サポートや各種手続きの対応に協力した。

- (3) 姉妹・友好都市等との交流

姉妹都市であるアーバイン市との間で、20周年記念事業として市長間の交流を実施した。

また、中国からの青年訪問団(50名)を受け入れた。

- (4) つくば都市振興財団(つくば市国際交流協会)への補助

外国人住民への支援事業や国籍を超えた住民間交流促進のための事業へ補助金を支出した。

事業名：つくば市外国人のための相談室事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	20	本年	3,704				3,704	3,021	81.6	
				前年	3,581			23	3,604	3,133	86.9	
				比較	123			23	100	112		

1. 事業の目的

市内在住の外国人を対象に、自国とは異なる環境での生活から生じる疑問、悩み、困りごとについて、それらを解決するための情報・助言を提供するための相談室を開設し、外国人住民の生活上の不自由・不便さを軽減させる。

2. 事業の概要

在留資格, 出入国, 婚姻, 税金, 教育など, 生活全般について, 電話や窓口面談により相談を受ける。ただし, 相談料は無料。対応言語は, 英語, 中国語, 韓国語, タイ語, 日本語の5カ国語。相談には, 市が委嘱した「外国人生活相談員」が対応し, 必要に応じ生活相談員による通訳のもと, 弁護士資格をもつ「つくば市外国人法律相談員」による助言を行う。

【相談室の概要】

毎週火曜日(祝日・年末年始を除く): 英語・タイ語・日本語
 毎週水曜日(祝日・年末年始を除く): 中国語・韓国語・日本語
 相談時間: 10時から12時及び13時から16時45分

3. 事業の成果及び効果

在留資格, 出入国, 婚姻, 税金, 教育など, 生活全般についての相談に対応し, 適切な指導・助言を行うことによって, 外国人住民がつくば市で生活するうえでの不自由・不便さの軽減が図られた。

平成21年度の利用実績 通常相談: 198人 延べ235件
 法律相談: 4人 延べ 7件
 中国語: 36%, 英語: 25%, 日本語: 20%, タイ語: 15%, 韓国語: 4%

(市民生活部 市民活動課
 市民部 市民活動課)

事業名: 市民協働推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	21	本年	14,849				14,849	13,351	89.9	
				前年	14,091			80	14,171	13,867	97.9	
				比較	758			80	678	516		

1. 事業の目的

市民協働を推進し, 魅力と活力ある地域社会の発展を目指すとともに, 市民活動センターを拠点としてNPOなど, 社会貢献活動のための情報収集・提供, 意見交換等の場を提供するほか, 学習会や相談業務等を展開し, 市民が行う社会貢献活動を支援し公益の増進に寄与する。

2. 事業の概要

- (1) アイラブつくばまちづくり支援事業に関すること
 アイラブつくばまちづくり寄附基金と環境保全基金に積み立てられた寄附金を活用し, 市民と行政がそれぞれの特性を生かしながら知恵と労力・資金を出し合い, 個性豊かで活力あるまちづくりに自主的に取り組む活動を応援する制度の整備。
- (2) 市民協働の推進に関すること
 市民協働連絡調整会議の設置
 市民協働を推進するための職員研修の実施
 市民協働講演会の開催
- (3) 市民活動センターの管理運営に関すること
 平成19年度から, 指定管理者制度の導入によって管理運営され3年目

3. 事業の成果及び効果

- (1) アイラブつくばまちづくり支援事業(補助制度)に関すること
 本制度を活用し多くの市民協働事業が提案され, アイラブつくばまちづくり推進委員会による公正・公平な審査が実施された。(23件の申請)
- (2) 市民協働連絡調整会議に関すること
 各部の企画監を委員とした調整会議を設置し, 庁内の横断的な連絡調整機能の強化を図った。また, 相模女子大学の松下教授を講師とし, 市民協働に関する研修を実施した。
 市民協働講演会の開催
 NHK「ご近所の底力」チーフプロデューサーを講師とし, 「地域を盛り上げるしかけとは」をテーマとして, 5名のシンポジストによる討論を実施した。
- (3) 市民活動センターの管理運営に関すること
 年々利用者の増加及びサービス向上が図られている。

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
来館者総数	12,410人	11,669人	10,569人
会議室利用件数	561件(4,531人)	517件(4,162件)	388件(2,860件)
講座開催回数	55件(666人)	65件(589件)	63件(421件)

事業名：市民文化祭開催に要する経費

(市民生活部 国際文化課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	10	22	本年	10,635		592		10,043	8,570	85.3	
				前年	9,660			9,660	8,873	91.9		
				比較	975		592	383	303			

1. 事業の目的

文化芸術活動を行っている個人及び団体に発表の場を提供することにより、自主的な活動を促進するとともに、市民が文化芸術への参加意欲を高めることを目指していく。

2. 事業の概要

作品展示及び芸能発表のほか、各種文化活動の紹介、小中学校芸術展などの実施

3. 事業の成果及び効果

11月7日、8日に市内7会場(大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、荃崎、カピオ・ノバホール)において、絵画及び書などの作品展示並びに舞踊及び歌謡などの芸能発表のほか、生活文化(茶会)や国民娯楽(囲碁・将棋)を通じた市民交流、各種文化活動の紹介、小中学校芸術展などを行った。

秋の恒例イベントとして19回目の開催となり、広く市民に定着している。参加者は、市民文化祭での出展または発表に向けて公民館等で自主的に活動を展開し、達成感や満足感を味わうことができた。

	平成21年度	平成20年度
来場者数	22,961人	23,194人
参加団体数(人)	398団体(5,216人)	390団体(4,971人)

また、来場者は、居住区近隣の会場において身近に芸術作品を鑑賞したり、文化活動を体験したりすることによって文化芸術への関心が高まるなど、つくば市全域における文化芸術の振興が図られた。

このほか、小中学生が夏休みに取り組んだ絵画や書写の中から優秀な作品を展示する「小中学校芸術展」をつくばカピオにおいて同時開催しており、多くの親子連れの来場者でにぎわうとともに、それらの作品を鑑賞する場を設けることにより、児童・生徒の意欲や創造性を高めることができた。

事業名：交通安全指導推進に要する経費

(市民生活部 生活安全課
環境生活部 生活安全課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	11	11	本年	17,359			40	17,319	16,435	94.9	
				前年	16,550		318	16,868	16,824	99.7		
				比較	809		318	40	451	389		

1. 事業の目的

交通事故の増加に伴い市民生活の社会的不安が増しており、市内各地域の現状に応じた交通安全運動を積極的に展開し交通事故を減少させるため交通マナーの効果的普及を進め、交通事故防止の推進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 交通安全キャンペーン
- (2) 交通安全教室の開催
- (3) 交通安全大会等への参加

(4) 交通安全関係団体各種事業への参加

(5) 高齢者運転免許自主返納支援

3. 事業の成果及び効果

(1) 交通安全運動期間(春・夏・秋・年末)に交通安全関係団体の協力を得てキャンペーンを実施し、交通事故防止を呼びかけた。

(2) 交通安全教育指導員により、市内各小学校・中学校・幼稚園・保育所等で交通安全教室を開催し、交通安全意識の向上に努めた。(149回実施,対象者数:15,019人)

(3) 高齢者運転免許自主返納支援 59件

事業名：交通災害共済事業に要する経費

(市民生活部 生活安全課)
環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	12	本年	40			40	80	80	100.0	
				前年	735			119	616	495	80.4	
				比較	695			159	536	415		

1. 事業の目的

交通事故により市民が災害を受けた場合の救済を目的とし、県民交通災害共済制度を活用し、市民生活の安定と福祉の向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 県民交通災害共済加入事務

(2) 県民交通災害共済見舞金請求受付事務

3. 事業の成果及び効果

(1) 平成21年度県民交通災害共済加入者数 大人:4,755人,子供:522人,合計:5,277人

事業名：施設整備に要する経費

(市民生活部 生活安全課)
環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	13	本年	13,886				13,886	13,831	99.6	
				前年	13,993		74		14,067	14,039	99.8	
				比較	107		74		181	208		

1. 事業の目的

交通事故発生を未然に防止し市民の安全を確保するため、交通安全施設の整備充実を図る。

2. 事業の概要

(1) 交通安全施設の新設・修繕

(2) 交通安全器材の購入

(3) 交通危険箇所の調査

3. 事業の成果及び効果

交通安全施設の整備を行った。また、安全点検のため市内を調査した。

カーブミラー新設	カーブミラー修繕	スクールゾーン新設	回転灯新設	回転灯修繕
87基	181カ所	10カ所	5基	17カ所

事業名：違法駐車等の防止活動推進事業に要する経費 (市民生活部 生活安全課
環境生活部 生活安全課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	14	本年	588				588	435	74.0	
				前年	1,497				1,497	1,099	73.4	
				比較	909				909	664		

1. 事業の目的

市内中心部や幹線道路の多くに見られる違法駐車を無くし、交通渋滞の解消や交通事故防止を目的とし、災害発生時における緊急車両の通行を確保するなど、安全で快適な生活環境の整備を図る。

2. 事業の概要

- (1) 違法駐車防止啓発活動
- (2) 違法駐車防止立て看板の設置

3. 事業の成果及び効果

新興住宅地における違法駐車防止啓発事業として、区会を通じて違法駐車防止のチラシを配布した。

事業名：防犯対策に要する経費 (市民生活部 生活安全課
環境生活部 生活安全課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	12	11	本年	108,928				108,928	102,685	94.3	
				前年	106,477		2,861	4,799	114,137	113,899	99.8	
				比較	2,451		2,861	4,799	5,209	11,214		

1. 事業の目的

防犯意識の啓発、計画的な防犯施設の整備等各種施策を推進し、市民が安全で安心してらせるまちづくりを行う。

2. 事業の概要

- (1) 防犯灯の新設設置・修繕
- (2) 防犯運動の推進
- (3) 防犯サポーターによる防犯パトロール、広報活動
- (4) 自警団への防犯パトロール用ベストの支給
- (5) 住宅防犯診断

3. 事業の成果及び効果

- (1) 防犯灯新設設置 302基
- (2) 防犯灯電気料金及び修繕料の各自治会への補助
- (3) 防犯サポーター活動

パトロール活動	広報活動	防犯診断	環境浄化活動
24,308カ所	13,853回	9,745台	91カ所

- (4) 自警団への防犯パトロール用ベスト支給： 156着
- (5) 住宅防犯診断実施 30件

事業名：ノバホール維持管理に要する経費 (市民生活部 国際文化課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	13	11	本年	78,241		34,136	9,975	122,352	88,740	72.5	31,721
				前年	239,417	1	22,403	425	216,590	212,648	98.2	
				比較	161,176	1	56,539	10,400	94,238	123,908		31,721

1. 事業の目的

ノバホールを含むつくばセンタービルは竣工後26年が経過し、近年主要部分の経年劣化が顕著となり

早急な改修が必要とされる。また、指定管理者制度による効率的な運営のほか、日常的な維持修繕とともに大規模な修繕を要する箇所については補助金等を利用し適正な管理を行う。

2. 事業の概要

(1) ノバホール維持管理事業

ノバホール指定管理事業

ノバホールの施設管理は、平成18年度から指定管理者制度を導入し、(財)つくば都市振興財団を指定管理者として管理運営を実施。

ノバホール施設修繕事業

ノバホール内において発生する各種設備や施設の管理維持。

(2) ノバホール控室等増設工事

国のまちづくり交付金を活用し、ノバホールの慢性的な控室不足を解消するため、サイエンスインフォメーションセンター1階を改修し、控室および練習室兼小ホールの増設。

3. 事業の成果及び効果

(1) ノバホール維持管理事業

市民サービスを向上(貸出可能日の増加・受付時間の延長等)させつつ業務を通年継続実施し、利用料収入を増加させるとともに、効率的な運営により制度導入前と比較し、維持管理経費の削減を図ることができた。

また、継続的に施設の通常修繕を実施し、館内設備の機能保全を図るだけでなく施設利用者のニーズにも応えることができた。

平成21年度貸出実績

	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	入場者
ホール	278日	226日	570回	69%	106,827人

平成21年度修繕実績(修繕額:12,977,418円)

調光器・照明操作卓内リレー修繕, 調光器盤内中性極開閉端子交換, 楽屋男子便所漏水修繕, 録音装置購入, クローク天井改修, MDレコーダー修繕, ピアノハンマーヘッド修繕, パワーコンディショナー修繕, 音響調整卓更新

(2) ノバホール控室等増設工事

事業の執行にあたり、実施設計, 工事請負, 施工監理の各契約を締結し, 工事請負および施工監理契約については、平成22年度へ繰り越し引続き事業を継続して実施する。

事業名：つくばカピオ維持管理に要する経費

(市民生活部 国際文化課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	14	11	本年	335,562		9,975	309,231	304,216	98.4	
				前年	322,422		3,670	326,092	325,725	99.9	
				比較	13,140		13,645	16,861	21,509		

1. 事業の目的

つくばカピオ(市民交流センター)は、竣工以来13年が経過し、施設の主要部分の経年劣化が表面化してきていることから、同施設の維持管理を適切に行うとともに、指定管理者制度による効率的な運営と利用者の利便性向上を図る。

2. 事業の概要

つくばカピオ維持管理事業

(1)つくばカピオ指定管理事業

つくばカピオの施設管理は、平成18年度から指定管理者制度を導入し、(財)つくば都市振興財団を指定管理者として管理運営の実施。

(2)つくばカピオ施設修繕事業

経年劣化に伴う施設の設備や施設の管理維持

3. 事業の成果及び効果

(1)つくばカピオ維持管理事業

貸出可能日の増加や受付間の延長など市民サービスを向上しつつ、利用料収入を増加させるなど、指定管理者制度導入前と比較して、効率的な運営、維持管理経費の削減、市民満足度の向上を図ることができた。

また、継続的に施設の通常修繕を実施することによって、館内設備の機能保全を図るだけでなく施設利用者のニーズにも応えることができた。

平成21年度施設貸出実績

	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	入場者
アリーナ	293日	292日	670回	99%	151,018人
ホール	287日	218日	261回	76%	35,985人
会議室(4室)	303日	293日	2,302回	96%	24,191人
リフレッシュルーム	303日	298日	546回	98%	9,315人
リハーサル室(2室)	303日	297日	1,053回	98%	13,628人
和室(2室)	303日	289日	824回	95%	56,515人

(2)つくばカピオ施設修繕事業

平成21年度修繕実績(修繕額:25,132,800円)

空調機バルブモーター修繕,空調中央監視装置UPSバッテリー交換,防災監視盤バッテリー交換,吸収冷凍機蒸気遮断弁交換,小ホールボタンサーボユニットオーバーホール,得点表示板制御配線修繕,移動式バスケット台保守点検,受水槽塩素注入装置設置,ホワイエ吹抜け照明改修,誘導灯修繕,ワイヤレスマイク修繕,屋上・外壁シーリング改修

事業名：児童福祉対策に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	11	本年	1,242		370		1,612	507	31.5	
				前年	1,290				1,290	509	39.5	
				比較	48		370		322	2		

1. 事業の目的

母子家庭等の生活安定や自立促進を図り、児童福祉の向上を図る。

2. 事業の概要

入院助産を受けることができない場合は助産施設への入所措置を行い、母子家庭世帯で生活困難や児童の養育が困難な場合は、母子生活支援施設への入所措置を行う。

3. 事業の成果及び効果

平成20年度及び平成21年度とも助産施設及び母子生活支援施設への入所措置者なし

事業名：児童扶養手当支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	12	本年	592,257		24,647		567,610	564,497	99.5	
				前年	542,875		7,215		550,090	547,985	99.6	
				比較	49,382		31,862		17,520	16,512		

1. 事業の目的

父母の離婚などで父と生計を同じくしていない児童が健やかに成長するため、家庭の生活の安定・自立の促進に寄与する。

2. 事業の概要

- (1) 対象児童 国内に住所を有する18歳(障害者は20歳)までの父と生計を同じくしていない児童
- (2) 手当額 全部支給 (児童1人41,720円,児童2人46,720円,児童3人49,720円)
一部支給 (41,710円~9,850円)

3. 事業の成果及び効果

支給対象者 1,250人 支給停止者 228人 支給額 563,030千円

手当を支給することにより、児童が育成されている家庭の生活の安定と福祉の増進が図れた。

事業名：子どもの遊び場設置事業に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	13	本年	639				639	522	81.7	
				前年	1,633				1,633	1,499	91.8	
				比較	994				994	977		

1. 事業の目的

子どもに安全な遊び場を提供することにより、心身の健全な育成を推進する。

2. 事業の概要

区会等が設置管理している遊び場の遊具の新設及び修繕に対して、事業費の2分の1を補助する。

補助上限 新設50万円 修繕5万円

3. 事業の成果及び効果

新設 1区会 修繕 3区会に補助

安全な遊び場を整備することによって、児童の心身ともに健全な育成が図られた。

事業名：要保護児童対策に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	14	本年	5,278		968		4,310	4,260	98.8	
				前年	4,031				4,031	3,920	97.2	
				比較	1,247		968		279	340		

1. 事業の目的

家庭児童相談の充実と、関係機関の連携による要保護児童への適切な支援

2. 事業の概要

家庭児童相談室に家庭相談員を3名(平成22年1月からは4名)配置し、児童に関する様々な問題について相談指導を行う。

福祉、保健医療、教育、警察関係者から構成される「つくば市要保護児童対策地域協議会」を設置し、効果的な運営を行うことにより、要保護児童の早期発見と適切な支援を図る。

3. 事業の成果及び効果

家庭児童相談室における相談件数：新規 248件、延べ2,041件

つくば市要保護児童対策地域協議会の開催：代表者会議 1回、実務者会議 4回

個別ケース検討会議 20回

事業名：次世代育成支援対策推進に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	15	本年	13,273	205	2,803		16,281	14,954	91.8	
				前年	10,875		2,246	1,405	14,526	13,781	94.9	205
				比較	2,398	205	557	1,405	1,755	1,173		205

1. 事業の目的

急速な少子化の進行等を踏まえ、次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図る。

2. 事業の概要

(1)「つくば市次世代育成支援対策行動計画」に基づいて各種事業の進行管理をする。関係部署や子

- 育て支援団体等と連携を図りながら、子育て支援施策の推進に取り組む。
- (2) 「つくば市次世代育成支援対策行動計画・後期計画」及び「つくば市児童福祉施設適正化配置計画」の策定に取り組む。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 「つくば市次世代育成支援対策推進本部」(3回)と「つくば市次世代育成支援対策懇談会」(3回)を運営し、子育て支援の推進に努めた。
- (2) 「つくば市次世代育成支援対策行動計画後期計画」(素案)を基に、次世代育成支援対策懇談会及びパブリックコメント等を実施して、市民の声を聴きながら、本計画を策定した。
- (3) 「つくば市児童福祉施設適正化配置計画」(素案)を基に、パブリックコメントや庁内の協議を実施して、計画を策定した。

事業名：コミュニティづくり推進に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	16	本年	793				793	460	58.0	
				前年	1,072			280	792	519	65.5	
				比較	279			280	1	59		

1. 事業の目的

安心・安全な子育てしやすい環境を整備していくために、中学生や高校生を含むすべての市民を対象にして、子育てしやすいまちづくりに対する気運の醸成及び環境整備を図る。

2. 事業の概要

- (1) 大穂地区子育て応援「くすのき会」の活動を支援し、あいさつ・声かけ運動、多世代交流事業
- (2) 中学生や高校生を対象にした子育て体験講座の実施
- (3) つくば市あかちゃんの駅事業の準備、実施体制の構築

3. 事業の成果及び効果

子どもや子育てしやすいまちづくりに対しての意識の醸成につながった。地域社会全体で子育て支援に取り組む環境整備につながった。

- (1) 大穂地区子育て応援「くすのき会」の活動を支援し、あいさつ・声かけ運動、多世代交流事業を実施。

あいさつ声かけ運動:大穂地区内で毎月1日(原則)に実施

多世代交流事業:大穂中学校において「チャレンジランキング」の実施

- (2) 中学生や高校生を対象にした子育て体験講座を実施 参加者数 24人
- (3) つくば市あかちゃんの駅事業の準備、実施体制の構築

子育て家庭が授乳やおむつ換えをするスペースを児童館を中心に提供する体制を構築した。

事業名：子育て支援情報システムに要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	17	本年	2,736				2,736	2,598	95.0	
				前年	2,827			150	2,677	2,401	89.7	
				比較	91			150	59	197		

1. 事業の目的

子育てしやすい環境整備の一環として、子どもや子育てに関する情報を一元的に発信し、子育て支援サービスを周知し、安心して子育てができるように支援する。

2. 事業の概要

- (1) 子育てに関する情報を分かりやすく提供するために、「つくば市子育て支援情報システム」の情報管理。
- (2) 紙ベースでの情報提供を充実させるため、「つくば子育てべんり帳2010」の編集及び作成。

3. 事業の成果及び効果

多くの子育て家庭に対して、子育てサービスに関する情報提供をすることができ、子育て環境の整備の一助となった。

(1) 子育て支援情報システムアクセス数 141万アクセス(平成21年度末)

(2) 「つくば子育てべんり帳2008」の配布数 5,700冊(平成21年度末)

事業名：地域子育て支援拠点事業に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	18	本年	36,420				36,420	34,511	94.8
			前年	39,980		5,256	975	33,749	32,234	95.5	
			比較	3,560		5,256	975	2,671	2,277		

1. 事業の目的

地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。

2. 事業の概要

(1) 地域子育て支援拠点を開設

子育て親子の交流促進、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、講習等の実施

(2) 拠点担当者による定期的な連絡会の開催による事業への取り組み

3. 事業の成果及び効果

(1) センター型3箇所(けやき広場、かつらぎ保育園、さくら学園保育園)、ひろば型2箇所(わかば保育園、NPO法人ままとーん)で、地域子育て支援拠点を開設し、子育て親子の交流促進、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、講習等を実施した。

(2) 拠点担当者による定期的な連絡会を開催して、連携を深めながら事業に取り組んだ。これにより「出張子育て広場」や、「つくばウェルカムパーティ」、「つくば子育てフェスティバル」、月2回の土曜日開放「土曜日クラブinけやき広場」を実施した。

身近な地域において、子育て親子への支援を図ることができた。

子育て支援拠点利用人数合計(出張子育て広場、土曜日開放を含む) 64,024人

つくばウェルカムパーティー2009 参加者数 193人

つくば子育てフェスティバル2009 参加者数 217人

事業名：(仮)子ども・子育て総合センター建設事業に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	02	01	19	本年			185,033		185,033	13,624	7.4	171,409
			前年									
			比較			185,033		185,033	13,624		171,409	

1. 事業の目的

安心して生み、育てることができるまちづくりを推進するために、子ども・子育て支援サービスの中核となる拠点を創設する。また、子育て支援者の養成や全市的な子育て支援サービスの中核を担い、つくば市全体の子育て支援サービスの質の向上に寄与する事業を実施する施設を建設する。

2. 事業の概要

建設敷地：つくば市金田1979番地外(敷地面積3238.58㎡)

建物延床面積：617.60㎡

構造：鉄骨、平屋造

子どもや子育て家庭をはじめすべての人が安心して利用できるように、安全面、衛生面に配慮した施設とする。また、環境等にも配慮して、快適な空間を創設する。

3. 事業の成果及び効果

子育て総合支援センターの設計を完成させ、建設事業者との契約を締結した。平成22年4月から建設工事を開始する。(竣工予定は平成22年11月)

事業名：児童手当支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	02	11	本年	1,525,779		34,003		1,559,782	1,551,352	99.5	2,500
				前年	1,518,476		8,456		1,510,020	1,497,770	99.2	
				比較	7,303		42,459		49,762	53,582		2,500

1. 事業の目的

児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 支給対象者 小学校終了前までの間にある児童を養育している方(所得制限あり)。

(2) 支給額 3歳未満の児童 一律 10,000円(月額)
 3歳以上の児童 第1子 5,000円(月額)
 第2子 5,000円(月額)
 第3子 10,000円(月額)

(3) 支払時期 年3回(6月, 10月, 2月)

3. 事業の成果及び効果

支給対象者数 14,639人

支給対象児童数 19,768人

支給額 1,541,990千円

次世代の社会を担う児童の健全な育成が図れた。

事業名：母子家庭等児童福祉金支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	03	11	本年	68,840				68,840	65,310	94.9	
				前年	68,634		3,976		64,658	63,713	98.5	
				比較	206		3,976		4,182	1,597		

1. 事業の目的

父母の離婚などで、両親またはその一方に養育されず、かつ生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭や父子家庭及び児童の養育者に対し、児童福祉金を支給し経済的支援を図る。

2. 事業の概要

(1) 対象児童 市内に住所を有する義務教育終了前(15歳)までの児童

(2) 支給額 1人あたり年額30,000円 (年度途中の申請者は月額2,500円)

3. 事業の成果及び効果

支給世帯 1,701世帯 支給額 65,300千円

15歳(中学生)までの児童を養育している母子家庭や父子家庭・養育者家庭に対し、福祉金を支給することにより、経済的な支援が図れた。

事業名：保育所運営に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額																				
03	02	04	11	本年	689,761		10,526		700,287	674,168	96.3																					
				前年	662,107		7,544		669,651	652,268	97.4																					
				比較	27,654		2,982		30,636	21,900																						
<p>1. 事業の目的 施設運営を円滑に進め、要保育児童の福祉の向上を図る。</p> <p>2. 事業の概要 乳児・幼児の一人ひとりに応じた給食やおやつを提供しながら、日々の保育を実施している公立23保育所の運営費である。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 市内公立保育所3月末現在入所児童数1,889人。市外からの受託児童数44人。 (2) 保護者の就労形態の多様化により、保育が必要となった児童を保育所に入所させることにより、児童の福祉の向上が図れた。 (3) 保育所運営に必要な職員配置等を行うことで、児童の安全の確保や保育内容の充実が図れた。 (4) 保育料徴収率の向上に努めた。 (参考)市立保育所にかかる経費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算科目</th> <th>事業名</th> <th>支出済額</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>03-02-04-05</td> <td>職員給与関係経費</td> <td>1,585,265千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>03-02-04-11</td> <td>保育所運営に要する経費</td> <td>674,168千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>03-02-04-13</td> <td>保育所管理に要する経費</td> <td>133,588千円</td> <td>合計</td> <td>2,393,021千円</td> </tr> </tbody> </table>													予算科目	事業名	支出済額			03-02-04-05	職員給与関係経費	1,585,265千円			03-02-04-11	保育所運営に要する経費	674,168千円			03-02-04-13	保育所管理に要する経費	133,588千円	合計	2,393,021千円
予算科目	事業名	支出済額																														
03-02-04-05	職員給与関係経費	1,585,265千円																														
03-02-04-11	保育所運営に要する経費	674,168千円																														
03-02-04-13	保育所管理に要する経費	133,588千円	合計	2,393,021千円																												

事業名：民間保育所運営助成に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	04	12	本年	1,735,984		141,341		1,877,325	1,764,233	94.0	
				前年	1,441,100		104,158		1,545,258	1,532,855	99.2	
				比較	294,884		37,183		332,067	231,378		
<p>1. 事業の目的 民間保育所等における運営委託及び助成を行い、児童福祉の向上を図る。</p> <p>2. 事業の概要 子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援等、安心して子育てができる環境作りを総合的に推進するために、市内民間保育園(13園)へ保育業務を委託し、各種事業補助として事業の円滑な実施を図るために補助金を交付する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 市内民間保育所3月末現在入所児童数1,712人。市外からの受託児童数29人。 (2) 市外保育所への3月末現在委託保育所は43で児童数79人。 (3) 保護者の就労形態の多様化により、入所申込み件数が年々増加している。これに伴い、2ヶ所を創設し、中心地区等の待機児童の解消に努めた。 (4) 延長保育事業・一時預かり事業・病後児保育事業等各種事業を実施する保育所に対し補助金を交付し、事業の円滑な実施および保育サービスの充実を図ることができた。</p>												

事業名：保育所管理に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	04	13	本年	139,180				139,180	133,588	96.0	
				前年	146,493		3,232		149,725	147,632	98.6	
				比較	7,313		3,232		10,545	14,044		
<p>1. 事業の目的 保育施設の維持管理</p> <p>2. 事業の概要 公立23保育所の光熱水費・施設管理委託料及び修繕工事等</p> <p>3. 事業の成果及び効果 保育施設の修繕等を行うことにより、保育所入所児童の保育環境の改善を図ることができた。 【主な修繕等】 高見原保育所他床修繕工事 二の宮保育所木製建具改修工事 上郷保育所他遊具塗装修繕工事 吾妻保育所耐震診断業務委託 保育所施設定期点検業務委託</p>												

事業名：児童館運営に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	05	11	本年	79,539		7,196		86,735	80,455	92.8	
				前年	71,542		1,810	717	72,635	69,210	95.3	
				比較	7,997		5,386	717	14,100	11,245		
<p>1. 事業の目的 児童の健全育成に資すること及び地域組織活動の育成助長を図る。</p> <p>2. 事業の概要 地域の子育て支援の拠点として、市内18児童館において児童の遊びの指導及び子育て支援事業等を実施し、児童の健全育成を図る。(内1館は指定管理者制度実施)</p> <p>3. 事業の成果及び効果 児童の健全育成及び地域組織活動の育成助長が図られた。 地域活動組織 17クラブ 総来館者数 442,250人(1館あたり24,569人) 1日平均 1,741.1人(1館あたり 96.7人)</p>												

事業名：放課後児童対策に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	05	12	本年	140,475				140,475	135,311	96.3	
				前年	126,679		4,488	742	131,909	128,707	97.6	
				比較	13,796		4,488	742	8,566	6,604		
<p>1. 事業の目的 保護者の就労等により、放課後保護者から保育を受けられない概ね小学校1年生から3年生を対象に、放課後の生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 放課後児童クラブ活動 児童館で運営する児童クラブ、市が運営委託を行い児童クラブ専有施設・学校の余裕教室等の公共施設を利用して保護者会が運営する児童クラブ、及び民間幼稚園等で自らの施設を利用して運営する児童クラブがあり、おおむね10人以上で組織されている。 (2) 放課後児童指導員</p>												

児童の安心・安全な居場所を確保するため、放課後指導員を配置し生活指導等を行う。

(3) 放課後児童クラブ施設の整備

児童クラブ員の生活環境改善及び児童の安心・安全な居場所を確保するため、児童クラブ専有施設建設を行う。

3. 事業の成果及び効果

児童館児童クラブ 17ヶ所 796人

市委託児童クラブ 18ヶ所 518人

葛城小学校児童クラブ専有施設建設により、児童クラブ員の生活環境の改善が図られた。

事業名：児童館管理に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	05	13	本年	43,522				43,522	40,052	92.0	
				前年	35,617			25	35,592	34,730	97.6	
				比較	7,905			25	7,930	5,322		

1. 事業の目的

児童館施設の充実を図る。

2. 事業の概要

市内の児童館18館の光熱水費及び修繕・維持管理(大曾根児童館の光熱水費は指定管理委託料に含まれる。)

3. 事業の成果及び効果

充実した児童健全育成活動のため、適切な施設維持管理に努めた。

- 【主な修繕等】 吉沼児童館外壁塗装修繕工事
 二の宮児童館玄関ドア交換修繕工事
 九重児童館トイレ改修工事
 竹園東児童館耐震診断業務委託
 児童福祉施設定期点検業務委託

事業名：子育て応援特別手当支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	06	11	本年		123,403			123,403	117,448	95.2	
				前年			123,815	974	124,789	1,256	1.0	123,403
				比較		123,403	123,815	974	1,386	116,192		123,403

1. 事業の目的

平成20年10月30日に決定された「生活対策」の一環として、多子世帯の幼児教育期の経済的負担の軽減を図る。

2. 事業の概要

平成20年度の繰越事業として、幼児教育期の第2子以降の子ども(平成14年4月2日から平成17年4月1日生まれ)に1人あたり36,000円を支給する。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 支給世帯数 3,043世帯
 (2) 支給児童数 3,162名
 (3) 支給金額 113,832千円

景気後退下における多子世帯の幼児教育期の負担に配慮することができた。

事業名：生活保護対策に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	03	01	11	本年	1,595,504		98,922		1,694,426	1,551,917	91.6	
				前年	1,596,775		59,217		1,655,992	1,528,874	92.3	
				比較	1,271		39,705		38,434	23,043		

1. 事業の目的

生活困窮者に対し、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

2. 事業の概要

生活困窮者からの相談 生活保護申請 開始若しくは却下・取り下げ 開始の場合必要な援助及び指導

3. 事業の成果及び効果

(1) 生活保護の動向

	H21年度	H20年度	H19年度
申請件数	131件	86件	96件
却下件数	1件	0件	0件
取下件数	4件	4件	8件
開始件数	126件	82件	88件
廃止件数	76件	75件	81件
被保護世帯	621世帯	576世帯	566世帯
被保護人員	798人	740人	771人
保護率	3.7‰	3.5‰	3.7‰

(2) 生活保護費の動向(千円)

	H21年度	H20年度	H19年度
生活扶助費	410,339	398,220	395,475
住宅扶助費	156,317	147,024	136,548
教育扶助費	5,074	4,473	5,003
医療扶助費	794,070	827,439	784,160
介護扶助費	65,859	73,257	77,198
生業扶助費	2,624	1,676	1,993
葬祭扶助費	681	1,270	1,257
施設事務費	9,968	6,532	6,298
合計	1,444,932	1,459,891	1,407,932

「被保護世帯」、「被保護人員」、「保護率」は、年度末現在の数値。

事業名：災害救助に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	04	01	11	本年	500				500	280	56.0	
				前年	500				500	150	30.0	
				比較						130		

1. 事業の目的

災害(火災・自然災害)を受けた市民又はその遺族に対し、見舞金又は弔慰金を支給することにより、被災者の自立の助長を図る。

2. 事業の概要

火災及び床上浸水等により被害を受けた市民又は遺族に対し、その程度や世帯員数により見舞金等を支給する。

3. 事業の成果及び効果

平成21年度は、8件の火災による被災者に見舞金を支給し、被災者の自立を助長した。

実績

年 度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
支給件数	8件	6件	7件
支給金額	280,000円	150,000円	260,000円

事業名：献血推進事務に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	11	本年	498				498	249	50.0	
				前年	501				501	499	99.6	
				比較	3				3	250		
<p>1. 事業の目的 市内研究機関・企業等への献血の推進とともに、献血への普及啓発活動に努める。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 市内研究機関・企業等を訪問し、移動採血車による献血の協力依頼 (2) 献血協力団体等への表彰推薦に係る事務 (3) 献血への普及啓発、キャンペーンの実施</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 献血実施日数 62日 (2) 移動採血車稼働台数 66台 (3) 献血実績 200ml 629人 400ml 2,185人 成分献血 0人</p>												

事業名：休日緊急医療に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	12	本年	45,142				45,142	44,940	99.6	
				前年	45,142				45,142	44,896	99.5	
				比較						44		
<p>1. 事業の目的 休日又は夜間における地域住民の医療確保に係る事務</p> <p>2. 事業の概要 (1) 休日緊急診療事業 休日緊急診療業務をつくば市医師会に委託し在宅当番医により休日緊急診療を実施 (2) 休日緊急歯科診療 休日緊急歯科診療業務をつくば市歯科医師会に委託し在宅当番医によりお盆、年末年始の緊急歯科診療を実施 (3) 病院群輪番制事業 休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者の医療確保のため、つくば市内の病院が輪番制により実施 (4) 小児救急医療支援事業 つくば地域及び筑西広域(結城市・筑西市・桜川市)の小児救急患者を筑波メディカルセンター病院で共同利用型病院方式のもと、小児救急患者の休日、夜間受け入れを実施。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 休日緊急診療事業 72日実施(日曜・祝日・年末年始) (2) 休日緊急歯科診療 10日実施(お盆・年末年始) (3) 病院群輪番制事業 休日72日・夜間365日実施 (4) 小児救急医療支援事業 休日72日・夜間365日実施</p>												

事業名：健康増進に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	13	本年	5,581		19,733		25,314	20,661	81.6	
				前年	4,881			4,881	3,769	77.2		
				比較	700		19,733		20,433	16,892		

1. 事業の目的

(1) 保健・医療に係る各種団体への負担金交付，感染症の予防及び感染患者に対する医療に関する法律に基づき，感染症の予防及び蔓延防止を図る。

(2) 食育推進会議を開催し，つくば市食育推進計画を策定する。

2. 事業の概要

(1) 新型インフルエンザ発生に伴い，新型インフルエンザ対策行動計画に基づき，つくば市新型インフルエンザ対策本部を設置。

(2) 負担金交付に係る事務

(3) つくば市食育推進計画のパブリックコメントを行い計画を完成させる。

3. 事業の成果及び効果

(1) 新型インフルエンザ

つくば市新型インフルエンザ対策本部を設置し，蔓延予防の徹底と市民への情報周知，関係機関等との連絡調整
(電話相談窓口の開設，新聞折り込みチラシ等の発行，関係機関等との情報共有，対応用消耗品の購入)

(2) 負担金交付 団体数:5団体 支出額:1,347千円

(3) つくば市食育推進計画を3月末に完成させた。

事業名：予防接種事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	02	11	本年	211,259		163,159		374,418	212,112	56.7	
				前年	204,410			1,448	202,962	195,091	96.1	
				比較	6,849		163,159	1,448	171,456	17,021		

1. 事業の目的

予防接種法に基づき，定期の予防接種を実施し，感染症の予防を図る。

2. 事業の概要

(1) 乳幼児の予防接種

集団接種：ポリオ(桜・谷田部・大穂の保健センターで実施。年間45回開催)

個別接種：BCG，三種混合，二種混合，麻しん風しん，日本脳炎

つくば市医師会に委託及び牛久愛和総合病院で個別接種。

日本脳炎(新ワクチン)が定期接種のワクチンとして承認された。

要注意者紹介制度：接種する上で注意を要する方に，専門的な医療機関を紹介することで，より安全な予防接種ができる。(契約医療機関：茨城県立こども病院，総合病院土浦協同病院，筑波大学附属病院，筑波メディカルセンター病院，取手協同病院)

(2) 小中学校予防接種(小中学校を会場に集団接種)

二種混合：小学6年生(11歳～13歳未満)

麻しん風しん3期：中学1年生に相当する年齢の方

私立中は個別接種または保健センターで集団接種

麻しん風しん4期：高校3年生に相当する年齢の方

個別接種または保健センターで集団接種

(3) 高齢者インフルエンザ予防接種(医療機関委託)

予防接種を希望する65歳以上の方もしくは，60～64歳で心臓，腎臓または呼吸器機能及びヒ

ト免疫不全ウイルスにより免疫機能に自己の身の日常生活が殆ど不可能な程度の障害を有する方に対し、接種料金の一部補助を行う。(県医師会と委託契約)

(4) 新型インフルエンザワクチン接種費用助成

対象者：優先接種対象者で生活保護世帯，市民税非課税世帯の方(つくば市医師会と契約)。
市外医療機関での接種者については，償還払い。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 乳幼児予防接種：個人通知を対象月の前月末に行ったことで，年齢に達した早期に接種している児が多くみられ，疾病予防に繋がった。麻しん風しん1期(98%)，2期(95.8%)。
- (2) 日本脳炎についての予防接種実施規則の改正については，医師会員への説明会を開催し，医療機関や保育所・幼稚園等へのポスター掲示，ホームページ・市報などで速やかに周知ができた。
新ワクチン接種 延2,436人，旧ワクチン接種 延155人
- (3) 小中学校予防接種：二種混合(99.1%)，麻しん風しん3期(98.7%)4期(84.3%)
学校との連携を図ることで高い接種率を獲得できた。
高校生についてはもれ者通知をしたことで，昨年並の接種率が維持できた。
次年度は95%達成に向け，早期の接種勧奨を図る。
- (4) 高齢者インフルエンザ：接種率53.6%で昨年よりわずかに減少した。新型インフルエンザの影響からワクチンの供給量が全国的に不足していた背景があった。また，接種者の9割がインフルエンザの予防効果が高い10月～12月までの早期に接種していた。
- (5) 新型インフルエンザワクチン接種費用助成：

生活保護世帯・市民税非課税世帯接種者数	531人
市内医療機関による新型インフルエンザワクチン接種者	47,408人

事業名：母子健康診査事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	03	11	本年	220,669		48,444		269,113	224,307	83.4	
				前年	105,300			1,448	106,748	106,313	99.6	
				比較	115,369		48,444	1,448	162,365	117,994		

1. 事業の目的

妊娠中からの健康管理と，乳幼児期の身体的・精神的発育及び発達を確認し，疾病の早期発見と母子共に健康な生活が送れるよう支援する。また，育児についての不安を軽減し，安心して楽しく子育てできるよう支援する。

2. 事業の概要

- (1) 医療機関委託健康診査(茨城県医師会，つくば歯科医師会と委託契約)
 - 妊婦一般健康診査(妊娠中14回健診費用の一部補助)
 - 乳児一般健康診査(生後3～6ヶ月及び9～11ヶ月に各1回)
 - 2歳歯科検診 (2歳～2歳6ヶ月に1回)
- (2) 保健センターでの集団健康診査
 - 1歳6ヶ月健康診査及び3歳健康診査 2保健センターで月3回実施 各年間36回

3. 事業の成果及び効果

- (1) 妊婦一般健康診査 (受診延数 27,093人)
 - 公費負担回数が5回から14回に増えたことにより，妊婦の経済的な負担の軽減に繋がった。また，医療機関からのフォロー依頼が2件あり，あかちゃん訪問時にフォローを行った。医療機関との連携が図れている。
- (2) 乳児一般健康診査 (受診延数 3,897人)
 - 乳児の疾病の早期発見，育児不安を軽減し，健康管理の向上に繋がった。
 - 医療機関からのフォロー依頼が2件あり，電話にてフォローできた。
- (3) 2歳歯科検診 (受診延数 1,317人)
 - 結果内訳 異常なし 885人(67.2%)

要観察 305人(23.2%)

要治療 127人(9.6%)

受診者数はほぼ横ばい傾向である。この検診で保健指導まで受けることで、新たな歯予防や継続治療に繋がっている。

(4) 1歳6ヶ月健康診査 (受診延数 2,079人, 受診率 92.1%)

受診率は昨年同様。精神発達面での要フォロー者には、家庭訪問や電話相談等で必要な指導を行い、のびのび子育て教室や発達相談、療育デイサービス、医療機関等を紹介できた。

(5) 3歳健康診査 (受診延数 1,969人, 受診率 87%)

受診率は昨年同様。視能訓練士による目の健康相談を実施した。延べ28人が利用し、そのうち受診勧奨した11人中6人(内1人 眼鏡使用開始)は医療機関で経過観察中である。異常の早期発見に繋がっている。

事業名：母子健康教育事業に関する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	03	12	本年	3,418		113		3,531	2,924	82.8	
				前年	3,274				3,274	3,024	92.4	
				比較	144		113		257	100		

1. 事業の目的

妊婦とその家族が妊娠・出産・育児について知識や技術を習得することで、不安の軽減を図り、妊娠期から心身ともに充実して過ごすことが出来るよう支援する。

乳幼児期の健康保持・増進を図り、保護者の育児への不安を軽減し、家庭・地域の育児力を向上させる。

2. 事業の概要

(1) マタニティサロン

(1回目) 初妊婦に対し、サロン形式で不安や悩みを保健師・助産師が相談にのる。

調理実習や先輩ママとの交流会

(2回目) 初妊婦とその夫(家族)を対象に、楽しく子育てが出来るよう実技

(沐浴・おむつのあて方・妊婦体験)を取り入れた教室

(3回目) 小児科医師・歯科医師講話

(2) 子育て教室

あかちゃんランド: 生後5~6か月児と両親の子育て教室(離乳食・子どもの発達他)

のびのび子育て教室: 健診等事後フォロー教室

出前講座: 各団体からの要望に沿って出向き、子育ての啓発普及に努める。

(3) 思春期関係

学校出前講座: 小中学校の親を対象とした講座

あかちゃんふれあい体験学習: あかちゃんとふれあうことで、父性・母性を育むきっかけとするとともに、命の尊さを知る。

(4) 母子保健推進員活動(46人)

子育て教室・総合健診等の保育協力

3. 事業の成果及び効果

(1) マタニティサロン

今年度から妊婦関係の教室をマタニティサロンとして1つに統合。参加型教室の実施により個別の対応が充実し、参加者の不安をより軽減することができた。

開催回数(1回目:20回, 2回目:24回, 3回目:4回)

参加者延数(1回目:217人, 2回目:583人, 3回目:妊婦188人, 夫26人, 産婦2人, 義母5人)

(2) 子育て教室

あかちゃんランド

今年度から、離乳食を中心とした内容となり対象者の希望に沿った教室を行うことができ、

満足度の高い教室であった。
 開催回数 24回,
 参加者数 桜保健センター317人, 谷田部保健センター320人
 のびのび子育て教室
 子どもの成長が確認できた。必要なケースに発達相談・言語相談を紹介したり, 療育や関係機関につなげることができた。
 開催回数 48回
 参加者延数 子704人, 親594人。
 出前講座
 住民の身近な場所で行うことにより, より多くの親子に子育てに関する正しい情報や技術を提供でき, 子育て支援を図ることができた。
 開催回数 32回
 参加者数 1,078人

(3) 思春期関係

学校出前講座
 「親向けの思春期講座」を行うことにより, 保護者の意識を高めることができた。
 開催回数 7回
 参加延数 94人
 あかちゃんふれあい体験学習
 性の健康教育についての学習とあかちゃんのふれあいをとおして, 命の大切さを学んだ。保護者の子育てに対する意識を高めることができた。
 開催回数 2回
 参加者延数 60人

(4) 母子保健推進員活動

保育協力により, 子育て支援と事業の円滑な運営に役立った。
 開催回数 総会研修会 年4回
 参加者数 80人
 保育協力 年101回
 参加者数 301人

事業名：母子健康訪問・相談事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	03	13	本年	11,229		81		11,310	8,269	73.1	
				前年	7,997				7,997	6,942	86.8	
				比較	3,232		81		3,313	1,327		

1. 事業の目的

妊産婦から子育ての中の家族に対し, 個々に応じた情報の提供や, 継続的に相談・指導することにより, 安心して生活を送ることができる。

2. 事業の概要

- (1) 母子健康手帳・母子健康手帳別冊の交付
 交付することにより, 妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し, 健康管理・保健指導に活用できる。
- (2) 訪問事業
 妊産婦・あかちゃん訪問(新生児・未熟児・乳児)・幼児等を対象に, 個々に応じた相談・支援を行う。アドバイザー派遣事業として, 子育て困難ケースの家庭等への支援を行う。
- (3) 相談事業
 発達相談
 精神発達面の心配な児を早期に発見して適切な指導をしていくことで, 児の発達を促し保

護者の育児を支援していく。

すこやか健康相談

乳幼児を持つ親と子(妊産婦含)の相談を行い健やかに成長することを支援すると共に、保護者の悩みに対し相談を行い子育ての不安を軽減する。

出産母子支援事業

子育て支援を図るために、教室や訪問等において相談及び指導を行う。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 母子健康手帳・母子健康手帳別冊交付: 妊娠届出時に妊娠に関しての気持ちやサポート体制の有無を聞くことで、若年・高齢・多胎等以外のフォローが必要な妊婦を把握し、早期から関わる事ができた。

母子健康手帳交付数: 2,504冊(妊娠11週以内の届出者2,278人, 妊娠12週以降届出者120人, 出生後交付33人, 再交付73人)

母子健康手帳別冊交付数: 2,530冊

- (2) 訪問事業

全ての母と子が健やかに生まれ成長できるよう、必要なケースに関わり不安の軽減をし、子育て支援をすることができた。

妊産婦訪問: 1,850人

あかちゃん訪問: 1,865人(新生児135人, 乳児1,715人, 未熟児15人)

8割近くが生後2か月までに介入することができた。

幼児訪問: 124人

子育てアドバイザー訪問: 340人

- (3) 相談事業

発達相談

専門的な指導を得ることで、保護者が児との関わりを学んだり、気持ちに余裕を持つことができた。また、関係機関との連携を図りながら勤めることができた。

開催回数 49回 参加者延数 246人

すこやか健康相談

相談者には、身近な相談場所として利用された。

開催回数 54回 参加者延数 992人

電話相談 2,196人

出産母子支援事業

各事業において、より多くの対象者と積極的に関わることにより、子育て支援を図ることができた。

実施回数 72回 実人数 725人

事業名: 健診事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	04	11	本年	105,435		36,958		142,393	121,187	85.1	
				前年	111,393			24	111,369	97,621	87.7	
				比較	5,958		36,958	24	31,024	23,566		

1. 事業の目的

20歳から39歳の者を対象に基本健康診査, 20歳以上の者ががん検診を実施し, 生活習慣病の予防及びがんの早期発見, 早期治療を図る。

2. 事業の概要

- (1) 総合健診

がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)・結核検診・肝炎ウイルス検査・生活習慣病予防健診

- (2) 医療機関健診

がん検診(乳がん・子宮がん)・結核検診・肝炎ウイルス検査・生活習慣病予防健診

(3) 集団健診

基本健康診査

レディース検診(乳がん・子宮がん)

骨粗しょう症検診

(4) 健診受診率アップ事業

地域に出向いて、保健師による寸劇・講話

健診啓発グッズ(ポスターや健診マーク等)を公共機関や市内医療機関に掲示

3. 事業の成果及び効果

基本健康診査	2,922人	肺がん検診	7,439人	胃がん検診	4,553人
大腸がん検診	4,831人	前立腺がん検診	1,207人	結核検診	7,451人
子宮がん検診	4,963人	乳がん検診	4,780人	骨粗しょう症検診	246人
		無料クーポン券利用	1,732人	無料クーポン券利用	1,584人
肝炎ウィルス検診	1,366人	生活習慣病健診	38人		
健診受診率アップ事業	啓発活動 17回		347人		

健診啓発グッズにより、様々な形で健診を印象づけた。

事業名：健康教育に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	04	12	本年	7,155				7,155	7,009	98.0	
				前年	7,562			24	7,586	7,530	99.3	
				比較	407			24	431	521		

1. 事業の目的

健康に関する自己管理能力を獲得することができるように支援する。また疾病予防及び疾病増悪を防ぐ。

2. 事業の概要

- (1) 脱メタボ応援教室 メタボリックシンドロームの予防、改善のための栄養を中心とした教室
- (2) 健康アップ教室 脱メタボ応援教室、特定保健指導終了者のための継続教室
- (3) 乳がん自己検診法普及事業 保健師による講話
- (4) 歯周病予防事業 保健師による講話
- (5) 骨粗しょう症予防事業 保健師・栄養士による講話
- (6) 出前健康教室 保健師・栄養士による講話
- (7) 禁煙啓発普及事業 保健師による講話
- (8) つくばウォークの日 毎月第1日曜日に市内のコースをウォーキング
- (9) 市民健康講座 生活習慣病予防講演会(つくば医師会との協力)

3. 事業の成果及び効果

(1) 脱メタボ応援教室	実施46回	延	109人
(2) 健康アップ教室	3回		33人
(3) 乳がん自己検診法普及事業	52回		2,804人
(4) 歯周病予防事業	5回		664人
(5) 骨粗しょう症予防事業	4回		530人
(6) 出前健康教室	6回		81人
(7) 禁煙啓発普及事業	44回		150人
(8) つくばウォークの日	7回		1,167人
(9) 市民健康講座	1回		180人

事業名：栄養改善事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額																								
04	01	04	13	本年	2,692				2,692	2,398	89.1																									
				前年	2,705				2,705	2,485	91.9																									
				比較	13				13	87																										
<p>1. 事業の目的</p> <p>(1) 生活習慣病の予防を目的とした栄養・食生活相談を行い地域住民の健康の維持・増進を図る。 また、栄養改善推進員の研修・養成を行う。そして食生活改善推進員は中央研修会で学んだことを地域に広め「自分の健康は自分で作る」という自己意識を向上させ、正しい食生活の普及を図る。</p> <p>(2) 食育に対する市民の関心を高めるとともに、幅広い分野から意見を把握するため食育講演会を行う等食育の普及を図る。</p> <hr/> <p>2. 事業の概要</p> <p>(1) 栄養改善事業：食生活改善推進員への中央研修会（必要な知識の普及） 各事業での栄養・食生活教育事業 各事業での栄養・食生活相談事業</p> <p>(2) 地区組織活動：地区伝達講習会（学習した内容等を地区に伝達する）</p> <p>(3) 地区組織養成：食生活改善推進員養成講習会6日間（27時間）実施（推進員の増加を図る）</p> <p>(4) 食育普及事業：食育講座（食育普及を図る） 講演会（食育への市民の関心を高める。）</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果</p> <p>(1) 栄養改善事業</p> <table border="0"> <tr> <td>中央研修会</td> <td>25回</td> <td>参加延人数</td> <td>628人</td> </tr> <tr> <td>栄養・食生活教育事業</td> <td>260回</td> <td>参加延人数</td> <td>4,921人（各事業にも再記）</td> </tr> <tr> <td>栄養・食生活相談事業</td> <td>172回</td> <td>参加延人数</td> <td>659人（各事業にも再記）</td> </tr> </table> <p>(2) 地区組織活動</p> <table border="0"> <tr> <td>地区伝達講習会</td> <td>151回</td> <td>参加延人数</td> <td>5,580人</td> </tr> <tr> <td>健康増進課協力事業</td> <td>11回</td> <td>参加延人数</td> <td>401人</td> </tr> <tr> <td>その他の活動</td> <td>27回</td> <td>参加延人数</td> <td>3,711人</td> </tr> </table> <p>(3) 地区組織養成 実施日数 6日間 参加延人数 59人（入会者10人）養成修了者10人</p> <p>(4) 食育普及事業 食育普及講座 13回 参加者 121人 講演会 1回 参加者 127人</p>													中央研修会	25回	参加延人数	628人	栄養・食生活教育事業	260回	参加延人数	4,921人（各事業にも再記）	栄養・食生活相談事業	172回	参加延人数	659人（各事業にも再記）	地区伝達講習会	151回	参加延人数	5,580人	健康増進課協力事業	11回	参加延人数	401人	その他の活動	27回	参加延人数	3,711人
中央研修会	25回	参加延人数	628人																																	
栄養・食生活教育事業	260回	参加延人数	4,921人（各事業にも再記）																																	
栄養・食生活相談事業	172回	参加延人数	659人（各事業にも再記）																																	
地区伝達講習会	151回	参加延人数	5,580人																																	
健康増進課協力事業	11回	参加延人数	401人																																	
その他の活動	27回	参加延人数	3,711人																																	

事業名：健康相談に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	04	14	本年	2,193				2,193	1,902	86.7	
				前年	3,498				3,498	3,363	96.1	
				比較	1,305				1,305	1,461		
<p>1. 事業の目的</p> <p>心身の健康に関して、個別の健康相談に応じ必要な助言及び指導を行うことにより、生活習慣病の予防に寄与し、市民の「いきいきとした生活」を支援する。</p> <hr/> <p>2. 事業の概要</p> <p>(1) 基本健診時健康相談 健診時に健診結果や日常生活についての個別相談</p> <p>(2) 特定健診後の健康相談 医師・保健師・栄養士による個別相談</p> <p>(3) 歯の健康相談 歯科医師・歯科衛生士による個別相談</p> <p>(4) 成人健康相談 保健師・栄養士による個別相談</p> <p>(5) 家庭訪問による相談 保健師・栄養士による個別相談</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

(1) 基本健診時健康相談	実施	13回	延	2,922人
(2) 特定健診後の健康相談	実施	9回	延	143人
(3) 歯の健康相談	実施	9回	延	44人
(4) 成人健康相談			延	390人
(5) 家庭訪問による相談			延	120人

事業名：訪問事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	11	本年	2,610				2,610	1,698	65.1	
				前年	2,483				2,483	1,596	64.3	
				比較	127				127	102		

1. 事業の目的

在宅で生活している中高年期者とその家族が住み慣れた地域で、安心して生活が送れるよう、年間を通じて介護予防に視点をいた家庭訪問を他機関、専門職種と連携し実施する。

2. 事業の概要

介護予防訪問

- (1) 虚弱な独居高齢者やその他の関係者機関から訪問依頼のあった方への定期的な訪問指導
- (2) 保健師・看護師家庭訪問

3. 事業の成果及び効果

介護予防訪問

- (1) 保健師・看護師訪問 実180人 延 683人
- (2) (再)専門職との訪問(管理栄養士, 歯科衛生士家庭訪問) 実 30人 延 34人

事業名：介護予防事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	12	本年	7,220		423		7,643	5,842	76.4	
				前年	7,990				7,990	7,056	88.3	
				比較	770		423		347	1,214		

1. 事業の目的

中高年の健康増進, 体力改善や老化防止, 生活習慣病を予防するために, 運動・栄養・休養を通じて健康づくりに積極的に対応する。

2. 事業の概要

(1) いきいき運動教室

持久力・筋力・バランス・柔軟運動を取り入れた教室

健診結果に基づき, 個別に栄養指導・生活指導・運動指導・体力測定の実施

(2) 出前体操教室

シルバークラブ等の団体の要請に応じ, 健康講話

(3) 運動自主活動支援

身近な場所で運動が維持できるように環境の整備, 健康管理面での支援

(4) 運動普及推進員活動

運動に関する知識の普及及び実践活動, 健康増進課への協力

3. 事業の成果及び効果

- (1) いきいき運動教室 実施回数 220回 実459人 延 7,351人
- (2) 出前体操教室 18回 293人 延 503人
- (3) 運動自主活動支援 618回 625人 延 17,798人
- (4) 運動普及推進員活動 43人 延 148人

事業名：健康情報管理システム事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	13	本年	9,411				9,411	4,834	51.4	
				前年	5,637				5,637	5,534	98.2	
				比較	3,774				3,774	700		

1. 事業の目的

健康福祉情報の共有化による効率的な健康福祉サービスの提供や市民の健康管理支援を行う。

2. 事業の概要

- (1) 健康管理システムの運用による情報の共有化
- (2) 市民の健康管理のための情報管理システムによる情報の分析及び抽出

3. 事業の成果及び効果

- (1) 健康診査等の台帳のシステム化による事務処理の効率を図ることができる。
- (2) 母子健診等の長期的管理が必要な情報についても有効な利用ができる。
- (3) 健康情報が共有化され、情報の一元化・指導方法の統一化・窓口等の即時対応を図ることができる。

事業名：精神保健事業に要する事業

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	14	本年	781				781	672	86.0	
				前年	1,224				1,224	745	60.9	
				比較	443				443	73		

1. 事業の目的

精神障害者及び精神保健上問題のある方本人及び家族等に対して、適切な指導をし、社会復帰及びその自立と、社会生活を営む上での支援を行う。

2. 事業の概要

- (1) こころの健康相談
こころの病に関して、身近な所で気軽に相談できる場の提供
- (2) こころの自立サポート事業
在宅の精神障害者で慢性期にあり回復途上の方にグループ指導を実施
施設見学・体験等を通じて社会復帰施設への利用を支援
- (3) 精神保健指導
電話・面接・訪問などで相談
- (4) 精神障害者の当事者団体である精神保健福祉会組織の育成及び相談事業

3. 事業の成果及び効果

- (1) こころの健康相談 実施 12回 延 20人
- (2) こころの自立サポート事業 実施 12回 延 99人
- (3) 精神保健指導 延 450人
- (4) つくば精神保健福祉会 実施 12回 延 184人

事業名：健康増進施設いきいきプラザ管理に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	15	本年	7,899				7,899	6,805	86.2	
				前年	7,647				7,647	7,200	94.2	
				比較	252				252	395		

1. 事業の目的

運動を通じて市民の基礎体力の向上を図り、その健康を維持し、健康で豊かな市民生活の形成を図

る。

2. 事業の概要

- (1) アリーナの貸出(つくば市及び一般団体)
- (2) いきいき運動教室
- (3) 健康増進課主催教室
- (4) 健康相談・栄養相談

3. 事業の成果及び効果

事業名		実施件数	実施延人数
(1) アリーナの貸出	貸出	355	6,380
	電話問い合わせ	随時	191
	施設見学	3	7
	利用申請	189	189
(2) いきいき運動教室		220	7,351
(3) 健康増進課主催教室		43	579
(4) 健康相談・栄養相談		随時	811

事業名：保健センター管理事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	06	11	本年	29,313			29,313	27,618	94.2	
				前年	29,790	14,399		44,189	42,752	96.7	
				比較	477	14,399		14,876	15,134		

1. 事業の目的

市民の疾病予防事業並びに健康保持・増進事業推進のための拠点施設である保健センターの維持管理を図る。

2. 事業の概要

6保健センターの維持管理・修繕

3. 事業の成果及び効果

- (1) 空調機交換修繕
- (2) ガス設備修繕
- (3) 防火シャッター修繕工事外

全保健センター(6カ所)において、施設の管理委託や修繕工事等の適正な施設維持を図ることで、各種健診や予防接種、健康教室等、市民の疾病予防事業並びに健康保持・増進事業の推進を図ることができた。

事業名：環境政策に要する経費

(環境保全部 環境課)
環境生活部 環境政策課

款	項目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	11	本年	11,574	705	64	10,933	10,276	94.0	
				前年	843	336		507	233	46.0	
				比較	10,731	369	64	10,426	10,043		

1. 事業の目的

環境基本条例、環境基本計画に基づき、市総合計画の目標としている「環境に優しく人と文化がふれあうまち」の実現に向けて先進的な施策を展開するとともに、市民及び事業者と連携を図り、市民の環境問題意識の高揚を図る。

2. 事業の概要

- (1) 環境基本計画に基づく計画の推進に係る、事業の企画立案及び実施

- (2) つくば市環境審議会の事務局運営
- (3) 環境保全活動団体への支援
- (4) つくば市環境白書のホームページヘデータを掲載する。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 第2次つくば市環境基本計画を策定した。(計画期間 平成22年4月～平成32年3月)
- (2) 環境審議会を9回開催し諮問に対するの答申を行った。
- (3) 環境関連の各種施策の展開を図ることにより、市民の環境問題への意識の高揚に寄与できる。
- (4) 環境保全活動事業補助金の交付(2件)
- (5) 市環境白書のホームページヘデータを掲載し広く市民にデータを提供することができた。

事業名：環境教育・環境学習に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	12	本年	7,527		960		6,567	5,837	88.9	
				前年	8,754		1,120	87	7,547	6,783	89.9	
				比較	1,227		160	87	980	946		

1. 事業の目的

平成14年度から各学校で導入されている「総合的な学習の時間」と夏休み期間を利用し、すべての生物が生きていくうえで欠かすことのできない「水」をキーワードとして、環境問題に関する理解と関心を高める。また、市民が自然環境に触れあえる各種事業を実施して、自然環境に対する啓発を図る。

2. 事業の概要

- (1) 市内小学校(37校)の5年生全員を対象に、テレビ会議システム利用による水環境学習発表会の開催
- (2) 霞ヶ浦湖上セミナー、秋田県美郷町六郷小学校との水環境交流事業「生活体験県外派遣事業」、市内全小学校を対象とした「プールのヤゴ救出大作戦」等の実施
- (3) 小中学校を対象に、環境に配慮した料理教室「エコクッキング」の実施
- (4) 環境に関し、正しい知識と技能を身につけた、環境保全の伝道者「環境マイスター」の育成

3. 事業の成果及び効果

- (1) 市内小学校5年生の積極的な参加により、水環境はじめ環境問題への意識の高揚を図った。
水環境関連事業開催実績(参加数等)
 - ・ テレビ会議システムによる「水環境学習発表会」(小学生5年生約2,000名)
 - ・ 霞ヶ浦湖上セミナー(37名参加)
 - ・ 生活体験県外派遣事業(37名参加)
 - ・ プールのヤゴ救出大作戦(小学校全校参加)
 つくば市エコクッキング事業実績
料理を作りすぎない・捨てない・流さないをキーワードに16校1,070名参加しアンケートを行った。
- (2) 環境マイスター育成事業(23名参加)
1級認定者5名、2級認定者6名、3級認定者6名が誕生した。

事業名：動物愛護に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	13	本年	3,682				3,682	3,474	94.4	
				前年	4,086				4,086	3,751	91.8	
				比較	404				404	277		

1. 事業の目的

狂犬病の発生を予防し、そのまん延の防止及び撲滅する事により、公衆衛生の向上及び公共福祉の

推進を図る。また、動物による危害の防止をするとともに、広く動物愛護の気風を招来させることを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 狂犬病予防集合注射の実施(市内48ヶ所)
- (2) 犬の登録台帳の管理(新規登録・抹消等)及び移動報告
- (3) 蓄犬登録システムの管理
- (4) 犬及び猫の避妊手術費並びに去勢手術費補助金の実施

3. 事業の成果及び効果

- (1) 集合注射の実績 2,438頭
- (2) 新規蓄犬登録件数 1,320件
- (3) 狂犬病予防注射済票交付件数 8,708件
- (4) 犬及び猫の避妊手術費並びに去勢手術費補助金交付実績 避妊135件 去勢94件

事業名：自然環境・鳥獣保護に要する経費

(環境保全部 環境課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	14	本年	2,069				2,069	1,628	78.7	
				前年	2,311		95	2,216	1,692	76.4		
				比較	242		95	147	64			

1. 事業の目的

国定公園等の優れた自然の風景地を保護するとともに、休養の場としての利用を促進し、自然環境に対する認識と愛情を育み自然保護や環境保全の精神を高める。

また、野生鳥獣の保護繁殖及び有害鳥獣の捕獲を図り、生活環境の改善を図る。

墓地等に関しては、国民の宗教面に配慮し、公衆衛生や公共の福祉の観点から適正に事務を行う事を目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 有害鳥獣駆除のための捕獲許可
- (2) イノシシ被害予防資材購入費補助
- (3) 銃猟禁止区域の拡大更新
- (4) 水郷筑波国定公園地域内の自然保護
- (5) 水郷筑波国定公園内の「筑波山不動峠休憩所」の除草事業
- (6) 墓地台帳管理及び霊園墓地・寺院墓地・共同墓地の新規または、拡張などの許可申請事務、その他墓地に関すること。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 鳥獣を保護することにより野生の生態系を確保し、また、有害鳥獣の捕獲を行なうことにより生活環境、農作物等への被害を未然に防止することができる。
- (2) 銃猟禁止区域5ヶ所の拡大が図れた。
- (3) イノシシ捕獲 許可3件 捕獲数39頭
- (4) イノシシ被害予防資材購入費補助 11件
- (5) 「筑波山不動峠休憩所」の除草事業 8月及び10月の2回実施
- (6) 墓地の許可及び変更届等 廃止1件、管理者等の変更届13件

事業名：合併浄化槽設置事業に要する経費

(環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	15	本年	48,095				48,095	41,431	86.1	
				前年	37,068		9,300	16	46,384	38,941	84.0	
				比較	11,027		9,300	16	1,711	2,490		

1. 事業の目的

市が合併浄化槽の設置費用の一部を負担し、浄化槽の普及促進を図ることにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する。

2. 事業の概要

一般家庭において下水道事業認可区域外に高度処理型合併処理浄化槽を設置する者に対し、設置費用の一部を助成。また、単独浄化槽から高度処理浄化槽に切り換える場合、その撤去費の一部についても補助を行う。補助事業概要及び維持管理の啓発活動を行う。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 高度処理型合併処理浄化槽 設置補助数 86基, 単独処理浄化槽撤去補助数 16基
- (2) 補助金制度案内チラシの配布(下水道認可区域外全世帯)
- (3) 浄化槽維持管理・法定検査実施チラシ配布(406世帯)
- (4) 法定検査の受検指導(戸別訪問175世帯)

事業名：水質浄化に要する経費

(環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	16	本年	12,592			64	12,528	10,923	87.2	
				前年	13,602		387		13,215	12,089	91.5	
				比較	1,010		387	64	687	1,166		

1. 事業の目的

つくば市生活排水対策推進計画に基づき、霞ヶ浦や牛久沼及びこれらの湖沼に流入している河川の水質浄化を図るため、つくば市水質浄化対策推進協議会を推進母体に、茨城県をはじめ流域市町村や関係団体等と連携しつつ水質浄化意識啓発のための諸対策を推進する。

霞ヶ浦の水質の改善及び水質浄化に対する地域住民の意識の高揚を図る。

2. 事業の概要

- (1) つくば市水質浄化対策推進協議会(水質浄化活動の実施)
- (2) つくば市水質監視員活動(28名):水質検査(市内河川28ヶ所),巡回監視の実施
- (3) 霞ヶ浦問題協議会関連事業への参加
- (4) 牛久沼流域水質浄化対策協議会関連事業への参加
- (5) 佐地区及び上菅間地区並びに仕出地区に設置した生活排水路浄化施設の維持管理
- (6) 佐地区及び上菅間地区維持管理
年間6回(施設内の草刈・花卉植栽等)

3. 事業の成果及び効果

水質浄化対策の推進及び水質浄化意識の高揚を図ることができた。
流入河川の水質浄化向上を図ることができた。

事業名：簡易水道事務に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	17	本年	8,037				8,037	6,905	85.9	
				前年	8,468				8,468	6,798	80.3	
				比較	431				431	107		

1. 事業の目的

非公営水道施設が円滑に運営できるよう助成し、安定した安全な水の供給及び上水道への切替促進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 各地区の130水道組合で共同給水組合連絡協議会を組織し、総会、役員会及び研修会等を開催する。
- (2) 各地区水道組合への補助金交付

3. 事業の成果及び効果

- (1) 共同給水組合の適正な運営と安心・安全な水の供給を図ることができた。
- (2) 上水道の普及促進(水道パネルの展示・豊里庁舎)
- (3) 上水道普及促進会議の開催(大穂地区)
- (4) 各地区水道組合への補助金交付
水質検査130組合、滅菌機購入6組合、消毒液購入96組合、
水中ポンプ取替え2組合、井戸掘削1組合

事業名：除草事業に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	18	本年	1,568				1,568	1,536	98.0	
				前年	1,573			16	1,557	1,488	95.6	
				比較	5			16	11	48		

1. 事業の目的

つくば市空き地除草条例を施行することにより、空き地及びその周辺地域の環境を保全し、もって市民の安全及び健康の維持を図る。

2. 事業の概要

- (1) 空き地の適正な管理に関する啓発、指導
- (2) 空き地除草に関する苦情対応
- (3) 除草あっせん業務

3. 事業の成果及び効果

- (1) 空き地の適正管理通知 3,720件
- (2) 除草あっせん実績 実施面積 239.017m² 筆数 1,059筆

事業名：環境美化推進に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	19	本年	4,024				4,024	3,221	80.0	
				前年	5,798		1,360		4,438	4,005	90.2	
				比較	1,774		1360		414	784		

1. 事業の目的

ごみのポイ捨て、ペットのふん放置、人混みでの歩きタバコなどによるマナーの低下や市内の環境美化への影響が懸念されていることから、「きれいなまちづくり条例」や「きれいなまちづくり行動計画」の

下, 市民・事業者・市が協働して清潔できれいなまちを目指す。

2. 事業の概要

(1) 「きれいなまちづくり行動計画」に基づき, 以下の基本方針に基づいた事業を展開する。

- きれいなまちづくりのための活動の推進
- きれいなまちづくりのための意識の啓発
- 市民, 事業者及び市の相互の連携
- 自発的きれいなまちづくりのための活動に関する支援

(2) 路上喫煙禁止条例制定検討

3. 事業の成果及び効果

(1) 環境美化推進会議(8月・10月・2月開催)

きれいなまちづくり行動計画に基づく事業の進捗確認

(2) ボランティア支援

支援団体数及び人数 延べ 35団体 7,041人(個人ボランティア含む)
 物品等配布数 ゴミ袋 2,256枚 火ばさみ270本 軍手855双
 ボランティア保険 延べ 7,041人

(3) 歩行喫煙対策事業

歩行喫煙等指導員3人を雇用し, 歩行喫煙者の指導及びポイ捨て吸い殻の計量

被指導者数 594人 ポイ捨て吸い殻数 43,171本

環境保全部職員による立哨指導 1回実施 3人指導

(4) 啓発事業

TX各駅での早朝啓発事業 計7回実施

まつりつくば等イベント時のチラシ・啓発ティッシュ配布

(5) まち美化実行委員会での環境美化(落書き対策含む)活動

きれいきれい大作戦の実施 2回 延べ参加者数 約200人

まち美化シンポジウムの開催(平成22年3月22日) 参加者数 約100人

事業名：つくば市環境改善に要する経費

(環境保全部 環境課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	20	本年	3,193			3,193	2,881	90.2	
			前年	4,694			4,694	4,118	87.7		
			比較	1,501			1,501	1,237			

1. 事業の目的

市内事業所の一つとして, つくば市役所が率先して環境保全行動を行い, 環境に与える影響を改善することにより, 市民や事業者への模範を示し, 広く環境問題への取り組みの普及を図る。

2. 事業の概要

つくば市役所における事務事業を対象として, ISO14001の認証(平成16年2月取得)を維持するための取り組みを行う。

(1) 職員研修の実施

新規採用職員, 推進責任者, 内部環境監査員, 環境管理委員, 環境管理責任者

(2) 内部環境監査の実施(5月)

(3) 環境管理システムの見直し(6月庁議)

(4) ISO14001定期審査(11月)

(5) 環境影響評価の実施(2月)

(6) 環境管理委員会の開催(5月, 7月, 10月, 1月)

3. 事業の成果及び効果

11月に外部審査機関の更新審査を受け, 認証の継続が2013(平成25)年2月10日まで認められた。

また, 経費削減効果として, 省エネ・省資源の取り組みの結果, ISO14001運用開始前の平成14年度に

比べ、電気・灯油・ガス・自動車燃料・コピー用紙・水等の使用について、概算で約2,600万円の経費削減が図られた。

事業名：地域新エネルギー導入に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	21	本年	16,486		8,608	695	25,789	23,374	90.6	
				前年	19,397		17,292	5,622	42,311	39,779	94.0	
				比較	2,911		8,684	4,927	16,522	16,405		

1. 事業の目的

「つくば市地域新エネルギービジョン」に基づき、地球温暖化対策の一環として、太陽光発電などの新エネルギーを効果的、効率的に導入するなどの普及促進、市民等の環境・エネルギー問題に対する意識の高揚及び二酸化炭素排出削減を図る。

2. 事業の概要

- (1) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業の実施及び過年度設置者へのアンケート実施
- (2) 住宅用高効率給湯器設置補助事業の実施
- (3) 上菅間地区生活排水路浄化施設に設置した新エネルギー発電施設の保守点検及び維持管理
- (4) 平成16年度環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」小型風力発電機設置事業に係る2件の訴訟対応

3. 事業の成果及び効果

- (1) 住宅用太陽光発電システム設置補助交付数43件 補助設備の出力合計180.95kW
(二酸化炭素排出削減量約63.2t/年)
- (2) 住宅用高効率給湯器設置補助交付件数
エコジョーズ23件, エコキュート125件, エコウィル3件, エネファーム2件
- (3) 上菅間地区新エネルギー発電施設総発電量5,005kWh 売電電力量1,374kWh(売電額15,591円)
(浄化施設 電気化学的浄化施設 の年間電力使用量の約31%の削減, 二酸化炭素排出削減量約1.8t)
- (4) 平成16年度環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」小型風力発電機設置事業に係る2件の訴訟対応
【早稲田大学等訴訟】 控訴審: 口頭弁論1回, 弁論準備手続4回 判決: 平成22年1月20日
最高裁判所へ上告中
【住民訴訟】 控訴審: 口頭弁論4回 判決: 平成22年2月4日 最高裁判所へ上告中

事業名：環境保全活動の助成に要する経費 (環境保全部 リサイクル推進課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	22	本年	180		180					
				前年								
				比較	180		180					

1. 事業の目的

平成21年度4月からの環境保全基金条例施行に伴い、アイラブつくばまちづくり寄付金に寄付された環境保全活動等への指定寄付金を環境保全基金に積み立て、ボランティア活動団体、NPO法人区会等が行う、環境保全活動に対し補助金の交付を行う。

2. 事業の概要

当初、環境保全基金については、補助金の交付のため独自に選考委員会の設置を予定し委員謝礼を計上していたが、政策審議室、市民活動課との調整において、「アイラブまちづくり寄付基金」と「環境保全基金」を合わせ「アイラブつくばまちづくり推進委員会」において団体等から申請のあった補助金を選

考することになり、委員会開催に関わる経費については市民活動課において、当初計上していた予算から負担することとなったため、3月補正で全額を減額した。

3. 事業の成果及び効果

市民活動課において基金への入金状況に応じ「アイラブつくばまちづくり推進委員会」を2回開催した。

事業名：上水道整備に要する経費

(環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	23	本年	328,048				328,048	328,048	100.0	
				前年	358,821		5,704		353,117	353,116	100.0	
				比較	30,773		5,704		25,069	25,068		

1. 事業の目的

上水道整備事業の事業費の一部負担(統合協定書等に基づく)を行う。

2. 事業の概要

- (1) 水道部との連絡調整
- (2) 整備事業費の負担(年2回)

3. 事業の成果及び効果

上水道の早期整備及び普及推進につながる。

事業名：つくば環境フェスティバル開催に要する経費

(環境保全部 リサイクル推進課)
環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
04	01	07	24	本年			3,000		3,000	2,600	86.7		
				前年									
				比較			3,000		3,000	2,600			

1. 事業の目的

つくば環境スタイル行動計画において、2030年までに一人当たりの二酸化炭素排出量を50%削減する目標を掲げている。その着手事業の取り組みの一つとして、事業者や団体などの取り組みや発表を行う環境フェスティバルを開催し、子供たちへの環境教育及び市民一人一人の地球温暖化に対するエコへの取り組みについての意識の高揚を図る。

2. 事業の概要

実施日 12月19日(土)・20日(日)

会場 つくばカピオ北側及び大清水公園

会場内にテーマごとにブースを設けイベントを展開する。

地球温暖化防止・3R推進・水環境・市の環境への取り組み・小中学生の絵画及び標語のパネル展示等とおして、「今、一人ひとりが地球のためにできること」を考え環境問題への提起をする。

3. 事業の成果及び効果

つくば科学フェスティバルと隣接して同時開催したことにより、来場者数 18,400人。

20団体36企画の環境に関する展示や体験コーナー等を設け、家族連れを中心として環境問題への提起や、ごみ3Rなどの興味や関心を高めることができた。

事業名：公害対策に要する経費 (環境保全部 環境課)
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	08	11	本年	20,140				20,140	17,508	86.9	
				前年	17,480		371		17,109	14,503	84.8	
				比較	2,660		371		3,031	3,005		

1. 事業の目的

公害法令に基づき、各種規制、状況把握及び対策措置を実施し、現在及び将来における市民の健康を保護するとともに生活環境の保全を図る。

2. 事業の概要

(1) 公害法令の施行

所管法令

水質汚濁防止法、湖沼水質保全特別措置法、土壌汚染対策法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、県生活環境の保全等に関する条例、県霞ヶ浦水質保全条例 等

事務内容

所管法令に基づく届出受理、立入検査(排出水分析)、行政指導、行政処分

水質事故等、公害苦情の対応

法定環境調査:自動車騒音常時監視(騒音・交通量・車速24時間測定、面的評価、年1回)

公共用水域常時監視(河川・調整池等24地点、調査項目21物質、年12回)

地下水常時監視(井戸30地点、調査項目21物質、年1回)

(2) 公害防止組織の形成・推進

公害防止協定・確認(計画調整・事前協議・自己監視状況確認等)

ゴルフ場環境保全連絡協議会(総会、講習会の実施)

(3) 環境調査(市独自調査:法令環境調査の補完)

ゴルフ場周辺地下水調査(6ゴルフ場、調査項目:除草剤・殺虫剤等含有物質、年1回)

自動車排出ガス調査(主要道路2ヶ所、調査項目5物質、年1回)

(4) 環境対策事務支援システムの導入: システムの構築、PCリース

3. 事業の成果及び効果

公害法令の施行及び公害防止組織の形成・推進事業を適切に実施することにより、公害の発生及び市民の健康被害を防止することができた。

また、法定環境調査及び市独自環境調査結果を環境白書等にて市民に公表することにより、市内環境の現況を周知し、環境問題・環境汚染に対する啓発、意識高揚を図れた。

事業名：メモリアルホールに要する経費

(市民生活部 つくばメモリアルホール)
市民部 つくばメモリアルホール

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	09	11	本年	133,365				133,365	127,174	95.4	
				前年	141,481		8,190		149,671	144,877	96.8	
				比較	8,116		8,190		16,306	17,703		

1. 事業の目的

地域住民の公衆衛生の向上を図る。

2. 事業の概要

火葬、通夜、告別式、法事、法要等の一連の火葬業務の執行及び施設の維持管理事業。

3. 事業の成果及び効果

年 度	火葬件数	告別式件数
平成20年度	1,447	868
平成21年度	1,470	891

事業名：清掃に要する経費

(環境保全部 廃棄物対策課
環境生活部 廃棄物対策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	01	11	本年	5,056		1,480		3,576	3,455	96.6	
				前年	235				235	158	67.2	
				比較	4,821		1,480		3,341	3,297		

1. 事業の目的

- (1) 清掃事業に関する知識と技術の向上を図り、清掃事業の健全な発展に寄与すること。
- (2) し尿処理施設整備計画を策定し、南北し尿処理場の現状を調査する。

2. 事業の概要

- (1) 茨城県清掃協議会会員との連携を図り、研修会等への参加により清掃に関する情報を収集し、清掃事業の向上に努める。
- (2) し尿処理量の減少に伴い、南北2カ所のし尿処理施設を一本化するため、南北し尿処理場の施設の現況を調査し、今後15年程度の稼働を見据えた施設改修の具体的方策について検討する。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 円滑な清掃事業の実施ができた。
- (2) 専門調査員による南北し尿処理施設の総合的なデータの整理や改修部分の指摘などにより、今後の運転管理及びし尿処理施設の本化の検討資料となった。

事業名：管路輸送施設の管理に要する経費

(環境保全部 廃棄物対策課
環境生活部 廃棄物対策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	11	本年	14,480		51,569		66,049	65,948	99.8	
				前年	82,495	4,935	124,017		211,447	191,717	90.7	
				比較	68,015	4,935	72,448		145,398	125,769		

1. 事業の目的

管路輸送事業の終了にともない、廃止された管路輸送施設(パイプライン)の残施設管理および利用事業者への措置。

2. 事業の概要

管路輸送事業の終了にともなう、管路輸送施設(パイプライン)の後処理

- (1) パイプラインの取り出し部の閉鎖工事
- (2) 竹園公園の管路投入口撤去工事
- (3) 利用事業者に対する代償的措置(平成20年度からの引き続きで、交渉成立した残2社分)

3. 事業の成果及び効果

パイプラインの取り出し部の閉鎖工事や竹園公園の管路投入口撤去工事を実施したことで、残施設の安全性確保が完了した。

また、利用事業者に対する代償的措置は、平成20年度からの交渉が成立し、完了した。

事業名：塵芥処理に要する経費

(環境保全部 廃棄物対策課
環境生活部 廃棄物対策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	12	本年	484,305		4,941		479,364	477,433	99.6	
				前年	482,106		5,038		477,068	476,014	99.8	
				比較	2,199		97		2,296	1,419		

1. 事業の目的

市内の一般家庭から排出される廃棄物を、適正な分別、収集、運搬、再生、処分等の処理をすることにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

2. 事業の概要	
(1) 家庭系一般廃棄物の収集運搬を21社に委託しゴミの収集運搬	
(2) 道路敷地等の犬・猫等の死骸で所有者不明のものについての回収処分委託	
(3) 有害ごみ(蛍光管・乾電池)の回収委託(各庁舎・公民館等)	
(4) ごみ集積所設置補助金交付	
(5) 粗大ごみ有料戸別収集	

3. 事業の成果及び効果	
ごみ収集運搬状況	
家庭系ごみ 50.272t 犬 738頭 有害ごみ 45t 集積所設置補助金交付 20箇所	

事業名：土砂等による土地の埋立、盛土及びたい積に要する経費 (環境保全部 廃棄物対策課
環境生活部 廃棄物対策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	13	本年	134				134	107	79.9	
				前年	135				135	102	75.6	
				比較	1				1	5		

1. 事業の目的	
土砂等による土地の埋立て・盛土及びたい積行為等について、必要な規制を行うことにより、災害を防止し良好な生活環境を確保する。	

2. 事業の概要	
(1) 土砂等による土地の埋立て・盛土及びたい積行為の受付並びに許可事務	
(2) 無許可事業及び埋立て等事業と称しての違法行為に対する指導	

3. 事業の成果及び効果	
申請件数 4件	
許可件数 4件	
指導事案 9件	

事業名：可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費 環境生活部 クリーンセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	14	本年	833,576	99,974	112,099		1,045,649	942,040	90.1	52,800
				前年	1,095,240	61,351	84,218		1,240,809	1,114,105	89.8	99,974
				比較	261,664	38,623	27,881		195,160	172,065		47,174

1. 事業の目的	
可燃ごみ焼却処理施設の適切な維持管理	

2. 事業の概要	
平成9年に竣工した可燃ごみ焼却処理施設の適切な維持管理を行い、市民から排出された家庭系及び事業系の一般廃棄物を無公害かつ安定して処理することにより、市民生活の根幹をなすごみ行政の円滑な推進を図る。	
施設規模 375t (125t × 3系統)	

3. 事業の成果及び効果	
平成21年度ごみ処理量 可燃ごみ 66,230t	

事業名：粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

環境生活部 クリーンセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	15	本年	189,370		8,722		180,648	177,363	98.2	
				前年	184,063		3,812		180,251	175,759	97.5	
				比較	5,307		4,910		397	1,604		
<p>1. 事業の目的 粗大・不燃ごみ処理施設の適切な維持管理</p> <p>2. 事業の概要 (1) 市民から排出された粗大・不燃ごみを安定して処理し、生活環境の保全を図る。 (2) 有価物回収施設により、資源の有効利用と循環型社会の形成に寄与する。 処理能力 粗大ごみ処理施設 50t / 5H 有価物回収施設 30t / 8H</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成21年度ごみ処理量 粗大・不燃ごみ 4,662t 資源ごみ 5,016t 有害ごみ 45t</p>												

事業名：不法投棄対策に要する経費

(環境保全部 廃棄物対策課
環境生活部 廃棄物対策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	16	本年	10,063				10,063	9,313	92.5	
				前年	8,393				8,393	7,052	84.0	
				比較	1,670				1,670	2,261		
<p>1. 事業の目的 廃棄物不法投棄の防止や、早期発見・回収を行うことにより市内の環境保全を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 不法投棄巡回監視員を任命し、夜間を含む市内巡回監視を実施 (2) 道路等市有地の不法投棄ごみの処理 (3) 一般廃棄物不法投棄の指導・対応 (4) 産業廃棄物不法投棄に伴う県との指導・対応</p> <p>3. 事業の成果及び効果 不法投棄発生件数(軽トラック1台分程度以上のもの) 27件(うち事案解決23件) 巡回監視員による回収量 17,680kg</p>												

事業名：ごみ減量に要する経費

(環境保全部 リサイクル推進課
環境生活部 廃棄物対策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	17	本年	16,584		3,150		13,434	12,181	90.7	
				前年	4,105	5,500			9,605	2,950	30.7	
				比較	12,479	5,500	3,150		3,829	9,231		
<p>1. 事業の目的 つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、廃棄物の発生抑制と再生利用を推進するとともに、持続可能な循環型社会の形成を進める。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定 (2) 事業系ごみ搬入指導の実施 (3) ごみの出し方カレンダーの作成 (4) つくば市清掃事業のあらましの作成</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

- (1) 平成22年度から31年度までの一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定した。なお、策定にあたり一般廃棄物減量等推進審議会を6回開催した。
- (2) 分別の徹底を図るため、クリーンセンターにて現地指導を実施した。事業系の不燃ごみや資源ごみに加え、家庭系の可燃、不燃ごみについても実施した。
- (3) ごみの出し方カレンダーを13万部作成し、各世帯に配布した。
- (4) 清掃に関する事業概況や各種データを盛り込み、ごみ処理に関する広報啓発に活用する冊子作成。

(環境保全部 リサイクル推進課)
環境生活部 廃棄物対策課

事業名：リサイクルに要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
04	02	02	18	本年	13,762		2,069		15,831	12,615	79.7	
				前年	10,064		4,369		14,433	13,261	91.9	
				比較	3,698		2,300		1,398	646		

1. 事業の目的

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、有限である資源の有効活用とごみ減量とリサイクルの推進に対する市民意識の高揚に資する。

2. 事業の概要

- (1) 資源物集団回収奨励金の交付(1団体につき、限度額40,000円を補助)
- (2) 生ごみ処理容器等購入費の補助(容器等購入費の2分の1の額を補助。限度額は15,000円)
- (3) 環境教育・環境学習の実施
- (4) 市民向け啓発事業
- (5) レジ袋無料配布中止の実施
- (6) 家庭用廃食用油リサイクル事業

3. 事業の成果及び効果

- (1) 資源物集団回収奨励金の交付
回収団体数142団体、資源物回収量1,564t、奨励金額4,204千円。
- (2) 生ごみ処理容器等購入費の補助
コンポスト式186基、電気式生ごみ処理機88基、補助金額1,725千円。
- (3) 小中学校への出前講座の実施、リサイクル工場見学会、牛乳パック回収、マイバッグ推進標語募集などを実施。
- (4) 「3Rニュース」を毎月発行し、市民へのごみに関する情報を発信した。
- (5) 家庭用廃食用油からバイオディーゼル燃料の精製を行い、幼稚園バスなど公用車で軽油の代替燃料として使用している。

事業名：し尿処理施設管理に要する経費

環境生活部 クリーンセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
04	02	03	11	本年	107,929		5,922		113,851	101,507	89.2	
				前年	96,415				96,415	94,209	97.7	
				比較	11,514		5,922		17,436	7,298		

1. 事業の目的

し尿処理施設の適正な維持管理を行い、し尿等の適正処理を行う。

2. 事業の概要

し尿処理施設(クリーンセンター・南分所)の維持管理

	処理能力	処 理 方 式
クリーンセンター	50kl/日	好気性消化処理方式
南 分 所	70kl/日	好気性消化処理方式

3. 事業の成果及び効果

平成21年度し尿及び浄化槽汚泥処理量

単位: kl

	し尿	浄化槽汚泥	計
クリーンセンター	4,917.6	5,683.3	10,600.9
南分所	2,469.0	9,584.3	12,053.3
計	7,386.6	15,267.6	22,654.2

事業名：市立病院事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	03	01	11	本年	235,836		5,000		230,836	230,836	100.0	
				前年	242,330		960		241,370	241,370	100.0	
				比較	6,494		4,040		10,534	10,534		

1. 事業の目的

市立病院事業会計における経営の健全化し、経営基盤の強化を図る。

2. 事業の概要

市立病院事業会計における負担金、補助金及び出資金に係る事務

3. 事業の成果及び効果

自治体病院の経営基盤の強化、地域医療の活動の維持及び安定化

(1) 負担金 46,214千円

(2) 補助金 175,186千円

(3) 出資金 9,436千円

事業名：働く婦人の家施設管理運営に要する経費

市民部 働く婦人の家

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	01	11	本年	5,331				5,331	5,154	96.7	
				前年	6,482		389		6,871	6,506	94.7	
				比較	1,151		389		1,540	1,352		

1. 事業の目的

女子勤労者及び勤労者家庭の主婦等の福祉の増進を図り、職業生活と家庭生活に必要な指導・実習等を行い、教養知識の向上と休養及びレクリエーションの場と機会を提供する。

2. 事業の概要

- (1) 女子勤労者の仕事と家庭生活を両立させ、充実した職業生活が送れるような機会の提供のため、前期・後期・冬期と主催講座の開設
- (2) 団体及びサークル活動の支援と施設利用者の促進
- (3) 運営委員会開催

3. 事業の成果及び効果

女子勤労者及び勤労者家庭の主婦等の福祉の増進と、職業生活と家庭生活の教養知識の向上が図れた。

主催19講座、男女共同参画室共催1講座 延べ62回 (受講者 748名)

また、施設利用者の促進のため、団体及びサークル活動の発表会を実施し、利用者相互の連携支援に寄与した。

事業名：勤労者福祉の促進に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	11	本年	594				594	584	98.3	
				前年	599				599	579	96.7	
				比較	5				5	5		

1. 事業の目的

勤労者の生活の安定と福祉の増進を図り、勤労者のライフスタイルに応じた支援を行い、余暇時間の積極的な活用に資する。

2. 事業の概要

「勤労者福祉の増進」、「中小企業集団労務改善事業の推進」及び勤労者青少年福祉法に沿った「勤労者青少年福祉の増進」を行うため、各関係機関との連携を図り、勤労者福祉の向上に努めた。

- (1) 土浦地区雇用対策協議会との連携強化
- (2) 茨城県労働者福祉協議会との連携強化

3. 事業の成果及び効果

労働者福祉協議会主催の結婚相談の市内開催、雇用対策協議会における雇用主懇談会や学卒求人受理説明会を開催し、雇用におけるミスマッチの防止等に寄与した。

また、ワーク・ライフ・バランスの向上を目指し、子育てと職場生活の両立を図るよう茨城県等関係機関と連絡調整を図り、勤労者福祉関係の事業の普及・啓蒙を行った。

事業名：雇用促進対策に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	12	本年	4,346				4,346	4,149	95.5	
				前年	4,419		692		3,727	3,439	92.3	
				比較	73		692		619	710		

1. 事業の目的

ハローワーク土浦と連携し、国で行っている職業相談、職業紹介サービスを市内で行うために、つくば

ミニハローワークを設置し、市民の就職促進及び利便性の向上を図る。

2. 事業の概要

つくば市桜庁舎4階につくば市地域職業相談室(愛称:つくばミニハローワーク)を平成17年10月1日に設置し、同月11日より業務を開始。

(1) 体制 相談員6名(国3名,市3名)

(2) 業務時間 月曜日から金曜日の午前9時～午後5時。土・日曜日,祝日及び年末年始を除く。

職業相談や職業紹介の補助

求人自己検索機等による求人情報の提供・案内

職業紹介業務等の制度,業務の周知や関連機関との連携等

3. 事業の成果及び効果

市内にハローワークと同等の施設が開所したことで,市民の就職促進につながっている。特に,つくばの場合は,就職者数が目標(月30名)を大幅に超え,月平均73名の方が就職されている。

つくばミニハローワーク相談実績(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 相談件数: 15,185 件

(2) 来所者数: 23,884 人

(3) 1日平均来所者数: 99 人

(4) 紹介件数: 8,349 件

(5) 紹介人数: 6,374 人

(6) 就職者数: 885 人

事業名: ふるさと雇用再生に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
05	01	02	13	本年			21,513		21,513	12,423	57.7		
				前年									
				比較			21,513		21,513	12,423			

1. 事業の目的

現下の厳しい雇用情勢を踏まえ,離職を余儀なくされた非正規労働者,中高年者等の失業者に対して,地域の実情に応じて,市町村の創意工夫に基づいた事業を実施することにより,雇用機会を創出し,地域の雇用再生に資する。

2. 事業の概要

国の交付金を財源に茨城県において造成された「茨城県雇用創出等基金」を活用した「ふるさと雇用再生事業」の実施。

(1) 地域資源を活用した観光客誘致推進事業

(2) 大学連携型地域インターンシップ推進事業

(3) 福来みかんの活用による農商工観連携事業

(4) つくば市交通安全マナーアップ推進事業

3. 事業の成果及び効果

「ふるさと雇用再生事業」として地域の実情に応じた4事業を実施し,延べ18人の新規雇用を図るとともに地域経済及び市民生活の向上につながっている。

【新規雇用者数】

(1) 地域資源を活用した観光客誘致推進事業 1人

(2) 大学連携型地域インターンシップ推進事業 2人

(3) 福来みかんの活用による農商工観連携事業 5人

(4) つくば市交通安全マナーアップ推進事業 10人

事業名：緊急雇用創出事業に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
05	01	02	14	本年			26,781		26,781	16,553	61.8		
				前年									
				比較			26,781		26,781	16,553			

1. 事業の目的

現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出する事業を実施し、失業者等の生活の安定を図るとともに地域の雇用再生に資する。

2. 事業の概要

国の交付金を財源に茨城県において造成された「茨城県雇用創出等基金」を活用した「緊急雇用創出事業」の実施。

- (1) ごみ搬入分別指導及び調査
- (2) マスメディア活用による地域振興事業
- (3) 地区案内板撤去事業
- (4) 学校安全・安心サポート事業
- (5) 防犯・交通施設(防犯灯・カーブミラー)実態調査
- (6) 地域包括支援センターにおける地域相談体制強化事業
- (7) 筑波古道環境整備事業
- (8) 歩行喫煙等指導事業
- (9) ポイ捨てごみの回収・清掃事業
- (10) 筑波研究学園都市の情報提供事業

3. 事業の成果及び効果

「緊急雇用創出事業」として10事業を実施し、延べ28人の新規雇用を図るとともに地域振興及び市民の安心・安全な生活の向上につながっている。

【新規雇用者数】

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) ごみ搬入分別指導及び調査 | 3人 |
| (2) マスメディア活用による地域振興事業 | 2人 |
| (3) 地区案内板撤去事業 | 9人 |
| (4) 学校安全・安心サポート事業 | 2人 |
| (5) 防犯・交通施設(防犯灯・カーブミラー)実態調査 | 2人 |
| (6) 地域包括支援センターにおける地域相談体制強化事業 | 1人 |
| (7) 筑波古道環境整備事業 | 1人 |
| (8) 歩行喫煙等指導事業 | 3人 |
| (9) ポイ捨てごみの回収・清掃事業 | 4人 |
| (10) 筑波研究学園都市の情報提供事業 | 1人 |

事業名：農業委員に要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	11	本年	35,815		1,164		34,651	32,727	94.4	
				前年	33,987				33,987	32,065	94.3	
				比較	1,828		1,164		664	662		
<p>1. 事業の目的 農業・農業者を代表する行政機関である農業委員会組織の運営</p> <p>2. 事業の概要 農業委員会委員 41人（選挙委員33人，選任委員8人） (1) 毎月の定例調査会 (2) 総会，運営委員会 (3) 専門委員会，特別委員会 (4) 農業行政先進地視察研修</p> <p>3. 事業の成果及び効果 農業委員会の法令に基づく業務を滞りなく処理し，農地の権利調整や農業経営の合理化など農業振興についての対策を進めた。 (1) 毎月の定例調査会 (各地区ごとに12回開催) (2) 総会，運営委員会 (総会12回，運営委員会12回開催) (3) 専門委員会，特別委員会 (専門委員会14回，特別委員会3回開催) (4) 農業行政先進地視察研修 (1回)</p>												

事業名：農業委員会事務局に要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	12	本年	5,844				5,844	5,169	88.4	
				前年	4,284		950		5,234	4,674	89.3	
				比較	1,560		950		610	495		
<p>1. 事業の目的 農業委員会の所掌事務処理と，農業及び農業者に関する事項についての情報提供等</p> <p>2. 事業の概要 (1) 農業委員会系統組織である茨城県農業会議への負担金納入 (2) 農業委員会事務処理電算システムの保守委託 (3) 農業委員会広報紙「農委だよりつくば」を発行 (年2回)</p> <p>3. 事業の成果及び効果 農業行政システムにより，円滑で効率的な事務処理ができた。また広報紙は，農業委員会活動や農政情報を農家に周知できた。 農業委員会広報紙「農委だよりつくば」：12,000部発行</p>												

事業名：農地紛争事務処理に要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	13	本年	207				207			
				前年	209				209	30	14.4	
				比較	2				2	30		
<p>1. 事業の目的 農地の利用関係をめぐる紛争を当事者にとってより身近なところで，しかも簡易な手続きで事案の実情に即した柔軟で妥当な解決を図る。</p> <p>2. 事業の概要</p>												

農地法の規定に基づき、農地の利用関係の紛争について当事者から和解の仲介の申立てがあったときは、農業委員会会長が指名する3人の仲介委員によって和解の仲介を行う。

3. 事業の成果及び効果

平成21年度は、和解の仲介の申立てがなかった。

事業名： 農業者年金に要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	01	14	本年	269				269	258	95.9	
				前年	283				283	268	94.7	
				比較	14				14	10		

1. 事業の目的

農業者年金制度にかかわる事務

2. 事業の概要

- (1) 農協から送付を受けた農業者年金の資格取得、喪失、死亡、受給等各種諸届の受理点検、記載内容の事実の確認と農業者年金基金への送付
- (2) 農業者年金の加入推進活動
- (3) 農業者年金基金、県農業会議への調査報告
- (4) 農業者年金の受給相談

3. 事業の成果及び効果

農業者年金基金、県農業会議、農協と連携し、事務執行が適正に行われた(届出処理218件)。

また、年金加入者、受給権者に対しても適正な指導ができた。

加入推進については、認定農業者及び認定農業者の後継者等に対して、農年パンフレットを送付後、戸別訪問を実施した(訪問件数100件)。

事業名： 農業後継者結婚あっせんに要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	01	15	本年	599				599	135	22.5	
				前年	602				602	463	76.9	
				比較	3				3	328		

1. 事業の目的

兼業農家を含めた農家後継者の結婚に対する支援を行い、自立経営農家の育成と安定を図り、担い手である農業後継者を確保する。

2. 事業の概要

市内の独身男性農家後継者と独身女性との出会いと交流の場を提供するため、男女の交流会を開催する。(年1回)

3. 事業の成果及び効果

平成21年度は、女性参加者が少数のため、交流会を中止したため、成果なし。

事業名： 農業推進等に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	02	11	本年	38,679		725		37,954	34,442	90.7	
				前年	39,247				39,247	35,732	91.0	
				比較	568		725		1,293	1,290		

1. 事業の目的

- (1) 農業振興事業を円滑に推進するため、各集落と行政とのパイプ役となる農業推進委員の任命を行

う。

- (2) 派遣職員に係わる経費の管理を行う。(経済部長)
- (3) 農業課の近代化, 農業経営の改善等を図るため, 資金融資を受けた認定農業者及び農業者に対し, 利子の補給を行う。

2. 事業の概要

- (1) 農業推進委員の任命
- (2) 農業の近代化を図るための資金, 農業近代化資金利子補給助成 2.0%以内
- (3) 農業経営を改善する認定農業者に対する融資資金, 農業経営基盤強化資金利子補給助成 1.5%以内
- (4) 農協系統農業災害資金利子助成 0.25%(貸付利率 0.5%)

3. 事業の成果及び効果

- (1) 農業推進委員の活用により, 農業関係各課と農業者等との円滑な関係が図れた。
- (2) 農業近代化資金利子補給助成 4金融機関(36名)
- (3) 農業経営基盤強化資金利子補給助成 年2回(上期7金融機関(9人)下期9金融機関(12人))
- (4) 特別融資事前相談会 1回(農業経営基盤強化資金関係)
- (5) 農協系統農業災害資金利子助成 年2回(上期:2件 下期:2件)

事業名: 農業振興地域整備促進に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	03	11	本年	2,082		564		1,518	1,037	68.3	
				前年	2,450		792		1,658	1,013	61.1	
				比較	368		228		140	24		

1. 事業の目的

農業振興地域整備計画の自然的, 経済的, 社会的諸条件を考慮し, 随時変更を行う。

2. 事業の概要

- (1) 農振農用地利用計画変更申請の受付業務
- (2) 農振農用地利用計画変更申請に係る現地調査会
- (3) 農振農用地利用計画変更申請に係る農業振興地域整備促進協議会開催
- (4) 農振農用地区域内外証明交付業務

3. 事業の成果及び効果

農振農用地の保全と土地の有効活用を図った。

- (1) 農振農用地利用計画変更申請の受付業務: 9月1日~9月30日 1回実施
農振農用地利用計画変更申請の受付件数: 30件 (変更承認28件, 却下2件)
- (2) 農振農用地利用計画変更申請に係る現地調査会 11月4日~11月6日 3日間(5地区)
- (3) 農振農用地利用計画変更申請に係る農業振興地域整備促進協議会開催 11月24日開催
- (4) 農振農用地区域内外証明交付業務
農振農用地区域内外証明交付件数: 271件

事業名: 農業・農村男女共同参画社会推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	03	12	本年	1,565		222		1,343	868	64.6	
				前年	1,769				1,769	676	38.2	
				比較	204		222		426	192		

1. 事業の目的

- (1) 農業・農村における男女共同参画社会の形成に向けて, 担い手として女性が農業経営や関連する活動へ積極的に参画するための支援を行う。

(2) 農業だけでなく、商工・観光業をはじめとする地域の異業種との連携を強化し、女性の能力を發揮し、活躍できる機会を創出する。

2. 事業の概要

- (1) 農業農村男女共同参画行動計画「虹のプラン2010」(推進期間:平成22～26年度)の策定
- (2) 農家の意識改革,家族経営協定締結の推進,農業体験受け入れ支援,情報交換,講習会を開催し,女性の地位向上に努める。
- (3) 地域における農業女性組織の研修会,交流会などの開催支援を行う。
- (4) 市内の農商工観光業者を対象としたセミナーを開催する。
- (5) 市内の農産物を使った特産品づくりに取り組む。

3. 事業の成果及び効果

- (1) つくば市農業農村男女共同参画社会推進委員会 7回開催
- (2) 女性農業者組織の支援 7組織
- (3) 新規の家族経営協定締結者の推進 9組,総締結者数 145組
- (4) 農商工観光業者を対象としたセミナーの開催支援 3回開催
- (5) 女性農業者制作加工品の試作・販売支援(ブルーベリー葉茶,トマトケチャップ)

事業名: 都市農村交流推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	03	13	本年	2,487				2,487	2,352	94.6	
				前年	2,234				2,234	1,757	78.6	
				比較	253				253	595		

1. 事業の目的

研究学園地区や首都圏の都市住民を対象に、農産物の収穫体験やオーナー制度を通じて農家と交流を深めるグリーンツーリズムの振興を進め、農業の活性化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 研究学園地区や首都圏の都市住民を対象に、男女共同参画事業で組織化された「つくば・いなか体験応援隊」を通じて、農産物の収穫体験等を実施する。
- (2) 農産物オーナー制度により、年間での農家と都市住民の交流を深める。
- (3) 農業サポートとして、収穫など簡易な農作業のボランティアを募集し、都市農村交流を進めながら、農家の労働力確保につなげる。

3. 事業の成果及び効果

- (1) つくば・いなか体験応援隊を中心に農業体験受入を実施し、つくば市の新たなアグリビジネスとして位置づけられた。応援隊のパンフレットを秋葉原のいばらき情報ステーションなどで配布するとともに、つくばエクスプレス車内で中吊り広告を実施するなど、応援隊をPRしたところ、多数の反響、問い合わせがあった。
 - ・たけのこ掘りイベントの実施 5月9日 約120名参加
 - ・茶摘みとお茶手もみイベントの実施 5月9日,24日 約80名参加
 - ・田植えイベントの実施 5月23日 約160名参加
 - ・稲刈りイベントの実施 9月26日 約150名参加
- (2) つくば農産物のオーナー制実施 受け入れ13農家 参加172組
- (3) つくばの農と食を知るツアー 6月28日,7月29日,11月12日 参加者約90名
- (4) 農業サポート実施 登録サポーター 133組
5月空豆収穫,6～9月ブルーベリー収穫,7月梨・桃収穫,7月トマトハウス片づけ

事業名：畜産振興に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	04	11	本年	2,466		1,278		3,744	2,851	76.1	
				前年	1,875		1,200		3,075	2,890	94.0	
				比較	591		78		669	39		

1. 事業の目的

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染性疾病の発生及び蔓延を予防・防止し、高品質で安全性の高い畜産物を安定供給することにより、畜産の振興及び経営の健全な発展を図る。

2. 事業の概要

- (1) 家畜への伝染性疾病预防注射の推進
- (2) 検査・指導による防疫衛生の徹底
- (3) 畜産共進会事業への参加
- (4) 各種畜産団体の指導・支援

3. 事業の成果及び効果

- (1) 各種の検査・指導を行い、施設の指導強化が図れた。
・蜜蜂ふそ病検査(10件・419群)、・馬伝染性貧血検査(5件・91頭)、・豚オーエスキー病予防ワクチンの接種(4,538頭)、・牛ヨーネ病検査(1件・2頭)、・牛結核病(1件・2群)、・牛ブルセラ病(1件・2頭)
- (2) 畜舎の衛生面の指導強化
- (3) 共進会や共励会へ参加し、生産意欲の向上が図れた。
- (4) 種豚共進会へ1組、8頭出品
- (5) 茨城県肉用牛生産者共進会へ9名、10頭出品(黒毛和牛の部、交雑種の部)
- (6) 谷田部農協肉牛枝肉研究会の支援(14頭出品)

事業名：土地改良事業に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	11	本年	632,921		33,586		599,335	597,988	99.8	
				前年	591,974		9,982		581,992	580,983	99.8	
				比較	40,947		23,604		17,343	17,005		

1. 事業の目的

農業生産性の向上や農業経営安定化に向けた生産基盤の整備

2. 事業の概要

- (1) 県営畑地帯総合整備事業負担金
- (2) ため池整備事業負担金
- (3) 田園空間整備事業負担金
関係市町 つくば市「館・北条地区」、石岡市(旧八郷町)、かすみがうら市(旧千代田町)、土浦市(旧新治村)
事業内容 地域全体を田園空間博物館と位置付け、保存・復元を図り、地域住民のみならず都市住民が農村を訪れることにより、地域の活性化を図る。
- (4) 山下地区基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金
- (5) 北条地区県営かんがい排水事業負担金
- (6) 県営土地改良総合整備事業償還金補助
- (7) 団体営基幹水利施設補修事業償還金補助
- (8) 土地利用調整事業補助
- (9) 非補助融資事業 排水路整備工事
- (10) 一般単独事業 排水路等整備工事
- (11) かんがい排水整備事業償還金補助

3. 事業の成果及び効果

農地の基盤整備を実施することにより、労力の軽減及び計画的な生産が図られ、農業経営の安定化と農村環境の改善が図られた。

(1) 県営畑地帯総合整備事業負担金

谷田部北部地区、遠東地区、蓮沼・要地区、下手地区

区画整理工、農道工、用地買収補償、付帯工、換地・測量試験費、調査事業費(下手地区)

(2) ため池整備事業負担金

県営西高野地区、道水路工他

(3) 田園空間整備事業負担金

ため池護岸工、農業用排水施設工

(4) 山下地区基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金

(5) 北条地区県営かんがい排水事業負担金

(6) 県営土地改良総合整備事業償還金補助金 川口地区 23,673千円

(7) 団体営基幹水利施設補修事業償還金補助金 山下地区 2,103千円

(8) 土地利用調整事業補助金

遠東、蓮沼・要地区

(9) 非補助融資事業 排水路整備工事 木俣地区外7地区 L = 2,359m

(10) 一般単独事業 排水路等整備工事 手代木地区外7地区 L = 1,934m

(11) かんがい排水整備事業償還金補助金: 288,972千円

事業名：霞ヶ浦用水建設に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	12	本年	746,683			730,166	729,477	99.9	
				前年	180,016			172,123	171,668	99.7	
				比較	566,667		8,624	558,043	557,809		

1. 事業の目的

茨城県西南地域の関係13市町(つくば市・下妻市・土浦市・古河市・石岡市・結城市・常総市・笠間市・筑西市・板東市・桜川市・八千代町及び境町)に対して畑地かんがい及び水田への補給水として、霞ヶ浦より農業用水を供給する。

2. 事業の概要

推進組織の円滑な運営に対する補助金及び建設負担金

- (1) 霞ヶ浦用水建設推進協議会運営負担金
- (2) 霞ヶ浦用水県営かんがい排水事業負担金
- (3) 霞ヶ浦用水団体営かんがい排水事業負担金
- (4) 霞ヶ浦用水国・水資源機構事業負担金
- (5) 霞ヶ浦用水水資源機構営事業負担金
- (6) 霞ヶ浦用水国営事業負担金

3. 事業の成果及び効果

霞ヶ浦から安定的に農業用水を供給することで、慢性的な水不足が解消され生産性の向上が図られる。なお、市内においては受益面積3,106haの内、平成21年度現在約1,628haの農地に通水されている。

また、本年度については、一般型国営土地改良事業負担金を繰上償還したため、約5億6千万円ほど増加した。

事業名：市営土地改良事業に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	13	本年	3,248				3,248	2,984	91.9	
				前年	27,498		2,017		25,481	25,455	99.9	
				比較	24,250		2,017		22,233	22,471		

1. 事業の目的

農業生産性の向上や農業経営安定化に向けた生産基盤の整備

2. 事業の概要

- (1) 権利者会議開催
- (2) 換地処分登記申請

3. 事業の成果及び効果

権利者会議開催による同意取得 51名
換地処分登記済件数 109筆

事業名：土地改良振興に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	14	本年	90,865		372		90,493	88,630	97.9	
				前年	58,323		1,025		59,348	59,149	99.7	
				比較	32,542		1,397		31,145	29,481		

1. 事業の目的

土地改良事業で造成された施設の維持管理や、老朽化した施設の整備等に対して補助を行うことにより、生産基盤の安定化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 施設管理委託
- (2) 施設管理負担金
- (3) 工事補助
- (4) 霞ヶ浦用水国営造成施設管理体制整備促進事業補助
- (5) 農地・水・農村環境保全向上対策事業負担金

3. 事業の成果及び効果

土地改良区が事業主体となって実施する維持補修工事や施設管理に対し補助を行うことにより、円滑な管理運営事業の推進及び受益者の負担軽減が図れる。

- (1) 施設管理委託料 ため池2ヶ所・排水路1ヶ所
- (2) 施設管理負担金 鍋沼機場他2地区・桜川機場運営1地区
- (3) 工事補助金 維持管理適正化事業3件・県単事業7件
- (4) 霞ヶ浦用水国営造成施設管理体制整備促進事業補助金 55,036千円
- (5) 農地・水・農村環境保全向上対策事業負担金 作谷他9地区

事業名：農業用廃プラスチック処理対策に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	06	11	本年	823				823	739	89.8	
				前年	921				921	758	82.3	
				比較	98				98	19		

1. 事業の目的

施設園芸農家より排出される使用済プラスチックの適正な処理の推進と、農村環境の保全を図る。

2. 事業の概要

- (1) 農業用廃プラスチックの適正処理に関する啓発、指導

(2) 農業用廃プラスチックの適正処理推進協議会の運営補助

(3) 農業用使用済ビニール・ポリエチレンの回収

3. 事業の成果及び効果

(1) 使用済プラスチックの適正処理の啓発指導を行うことにより、農村環境の保全と施設園芸農家等の健全な発展に資することができた。

(2) 使用済ビニール回収実績 17,860kg 人数 54名

(3) 使用済ポリエチレン回収実績 36,060kg 人数 118名

事業名：園芸振興に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	06	12	本年	9,177		450		9,627	8,726	90.6	
				前年	8,827	229	2,500		11,556	8,202	71.0	
				比較	350	229	2,050		1,929	524		

1. 事業の目的

農業経営の安定と活性化を図るため、生産・経営技術の高度化を支援するとともに、消費者ニーズに対応する環境保全型農業の普及拡大を図る。

2. 事業の概要

各種生産団体と関係機関の連携を図り、社会経済情勢の急激な変化に即応出来る生産、経営支援をするとともに、特別栽培等の環境保全型農業の園芸振興事業の展開。

3. 事業の成果及び効果

(1) 地産地消の拡大、環境保全型農業の推進が図られた。

(2) 果樹園の面積拡大に対する補助(苗木・資材等) 拡大面積 88a

(3) 学校給食への地域農産物導入:全地区(5地区)・統一食材(コメシホウパン用小麦,冷凍ブルーベリー果実,)地区別(こまつな,ひらたけ,ぶなしめじ,しいたけ,黒米,落花生,人参,キャベツ,白菜,ブロッコリー,さつまいも,ヤーコン,里いも)

(4) 農産物フェア開催(10月24・25日,大清水公園・参加団体27)

(5) つくば市内で生産されている在来芝,新品種芝の振興をするための補助(茨城県つくば芝振興協議会補助金)

(6) 特別栽培の推進

市の推奨シール及び県の認証シール発行枚数 65,050枚,特別栽培面積 40ha

(7) 遺伝子組換え作物栽培連絡会の開催

連絡会で遺伝子組換え作物の栽培実験内容を説明することで,計画の全体像が明らかになり,市民への情報提供が促進された。

事業名：農道整備事業に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	07	11	本年	488,418		3,286		485,132	482,380	99.4	
				前年	560,358		3,098		557,260	556,040	99.8	
				比較	71,940		188		72,128	73,660		

1. 事業の目的

農業生産性の向上や農業経営の安定化に向けた生産基盤の整備

2. 事業の概要

(1) 一般単独事業 農道整備工事

(2) 農道維持補修工事

(3) 事業負担金及び補助金

つくば下総広域農道整備事業負担金,農道整備事業償還金補助金

3. 事業の成果及び効果

未舗装農道の整備により、農作物の荷崩れや砂塵による減産防止を防ぐとともに輸送の円滑化と農業経営の安定・農村環境の改善が図れる。

(1) 一般単独事業

農道整備工事 女堰外6地区 L = 2,169m

(2) 農道維持補修工事

真瀬地区外7ヶ所

(3) 事業負担金及び補助金

つくば下総広域農道整備事業負担金 農道舗装工 L = 325m

農道整備事業償還金補助金 365,250千円

事業名：農業経営対策事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	08	11	本年	3,585		85	3,500	2,756	78.7	
			前年	2,925		400	2,525	2,081	82.4		
			比較	660		315	975	675			

1. 事業の目的

- (1) 農業従事者の高齢化、担い手不足などの課題に対応するため、認定農業者等の担い手の確保・育成等を図る。
- (2) 農地の流動化を促進するため、農業経営基盤強化促進法に基づき、意欲ある農業者へ農地の集積を促進する。
- (3) 遊休農地の解消・防止等のため、特定法人貸付事業を実施し、農地の有効活用を図る。
- (4) 耕作放棄地の解消を目的に、グリーンバンク事業を実施し、農地の貸し手と借り手の間を市が仲介・斡旋し、意欲ある担い手や新規就農者へ農地の集積や流動化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 元気アッププランを策定し、農業維持・発展を目指すための各種支援事業の展開
- (2) 普及センターと連携して新規就農希望者等に対する相談の実施
- (3) 「茨城農業改革」推進のため、農業者が組織する団体が行う取り組みを支援
- (4) 認定農業者を始めとする意欲ある農業者へ農地の集積を図るため、利用権の設定事務の実施
- (5) 遊休農地の解消・防止を図るため、特定法人貸付事業により農業経営を実施する法人に対して、農地の貸し付けの実施
- (6) グリーンバンク事業チラシの配布及び市ホームページにおいて制度の周知

3. 事業の成果及び効果

- (1) 認定農業者等の担い手の確保や育成、農業者のバックアップが図れた。
- (2) 認定農業者: 191経営体
- (3) 新規認定就農者: 5名
- (4) 現場提案型による産地作りや、農業改革に取り組む組織への助成: 3組織
- (5) 意欲ある農業者への農地の集積を進めることができた。
- (6) 利用権設定面積(新規): 田・・・8.36ha, 畑・・・4.78ha
- (7) 特定法人貸付事業の実施: 2社
- (8) グリーンバンク事業の実績(貸し手登録40件13ha, 借り手登録10件8ha, 土地利用成立3件1.4ha)

事業名：水田農業構造改革推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	09	11	本年	7,973		3,947		4,026	3,626	90.1	
				前年	8,555		715		9,270	7,947	85.7	
				比較	582		4,662		5,244	4,321		
<p>1. 事業の目的 生産調整の推進を図る。また、転作作物の麦・大豆を推進するため、機械購入費の一部補助</p> <p>2. 事業の概要 (1) 転作作物用(麦・大豆)機械購入費補助 (2) 生産調整に係る事務の支援</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 生産調整の推進が図れた。 (2) 転作作物(麦・大豆)の推進が図れた。 (3) 転作作物機械導入 2組合 2台</p>												

事業名：市単水田農業構造改革対策事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	09	12	本年	151,282		22,491		128,791	128,791	100.0	
				前年	151,342		18,593		132,749	132,739	100.0	
				比較	60		3,898		3,948	3,958		
<p>1. 事業の目的 (1) 生産調整の実施者と未実施者との不公平感を解消し、生産調整の推進を図る。 (2) 転作等の現地確認調査を実施し、助成金の適正交付を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 生産調整目標面積の達成者に市単独で助成の実施 (2) 市及び水田協議会職員、JA職員、農業推進委員、集落転作実践委員により、市内全域の現地確認調査の実施</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 7月中7日間にわたり延べ25班52人体制で的確な現地確認調査を実施したことにより、助成金の適正交付を図った。 (2) 転作配分面積が1,689haに対し、転作実施面積が1,333haの実績であり、生産調整達成率は79%であった。</p>												

事業名：環境にやさしい農業推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	09	13	本年	14,183		126		14,309	7,563	52.9	
				前年	10,247		1,557		8,690	7,953	91.5	
				比較	3,936		1,683		5,619	390		
<p>1. 事業の目的 霞ヶ浦富栄養化防止基本計画に基づき、農業面においても施肥田植機の導入、休耕農地への被覆植物の作付推進、有機肥料への財政的支援を行い、環境保全型農業の推進を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) カバークロップ(被覆植物)導入補助 (2) 施肥田植機導入補助 (3) 有機肥料に対する補助</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

(1) カバークロップ(被覆植物)導入補助を90名に対し補助しました。

・エンバク	28ha	2,293kg
・ハゼリソウ	15.2ha	346kg
・ヘアリーベッチ	9.7ha	424kg
合 計	52.9ha	3,063kg

(2) 有機肥料に対する補助

補助した人数	56名
補助した面積	155ha

事業名：ふれあいの里施設管理運営に要する経費

経済部 筑波ふれあいの里

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	10	11	本年	67,326				67,326	63,287	94.0	
				前年	65,298		1,279		66,577	61,989	93.1	
				比較	2,028		1,279		749	1,298		

1. 事業の目的

筑波山麓の豊かな自然環境の保全や活用を通じて、学童、都市生活者及び市民等が農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を図る。ことを目的に、憩いの場の整備及び維持管理を行う。

2. 事業の概要

憩いの場の整備及び維持管理を行う。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 公共交通機関を使って訪れるお客様に対し、筑波山神社前はもとより筑波山入口及び旧筑庁舎までの送迎延長により、リピーターも増え好評を得る。
- (2) 7年目を迎えた筑波山麓自然学校は、植物観察、沢の生き物・夏の昆虫観察など親子で自然体験ができ、年々参加人数も増えている。
- (3) 自然を生かした沢のそばに遊歩道を整備し、お子さんが危険もなく沢ガニ取りや水遊びができる空間をつくり好評を得る。

【施設利用状況】

実習館(宿泊施設)	4,712人	コテージ	3,954人	キャンプ場	937人
伝習施設	949人	管理施設	733人	バーベキュー施設	5,189人
研修室	1,390人	食堂利用者	3,195人		

(合計 21,059人)

筑波山麓自然学校 11回開催 参加者計 444人

事業名：ゆかりの森施設管理運営に要する経費

経済部 ゆかりの森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	11	11	本年	50,949				50,949	48,497	95.2	
				前年	50,455				51,455	48,448	96.0	
				比較	494				494	49		

1. 事業の目的

豊かな自然環境(植物、昆虫、野鳥等とふれあえる場)と体験・宿泊型余暇活動の場を良好な状態で提供することにより、利用者のやすらぎと自然保護思想の普及及び向上に寄与する。

2. 事業の概要

施設全般の管理運営

3. 事業の成果及び効果

イルミネーションの設置(12月から1月末点灯)及びクリスマスイベントを行い、ゆかりの森の存在と活動の位置づけを周知することができた。また屋外ステージ観客席の改修工事を行い利用者に対してより

良い環境作りができた。

【施設利用状況】

昆虫館	15,500人	ファミリースポーツ公園	5,073人
キャンプ場	28,379人	屋外ステージ	902人
宿舍あかまつ(宿泊者)	2,467人	工芸館	4,885人
森のセンター(研修会議)	5,468人		

計 62,674人

昆虫教室等	29回	911人
施設利用収入	19年度	22,533千円
	20年度	20,640千円
	21年度	21,378千円

事業名：林道整備事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	02	01	11	本年	29,852		5,822		24,030	23,775	98.9	
				前年	22,493		635	48	21,810	20,476	93.9	
				比較	7,359		5,187	48	2,220	3,299		

1. 事業の目的

森林の適正な保全・整備を図り、森林の有する多面的な機能を持続的に発揮し、効率的な林業経営を確立するため、林道の整備を行う。

2. 事業の概要

林道及び生活環境保全林管理道の維持管理・整備のため、林道整備委託事業(除草、側溝清掃、倒木処理)及び林道改良工事等の実施。

- (1) 林道整備委託事業
- (2) 林道沼田新田酒寄線改良工事
- (3) 林道補修工事

3. 事業の成果及び効果

林道の整備委託、改良工事の実施によって、通行及び災害危険箇所を解消し、森林の総合利用の推進、山村の生活環境の整備を図った。

- (1) 林道整備委託事業：沼田新田酒寄線、白滝線、生活環境保全林管理道(L = 6,500m)
- (2) 林道沼田新田酒寄線改良工事：舗装工(L = 81.5m W = 4.0m)
- (3) 林道補修工事：沼田新田酒寄線・白滝線 約12箇所

事業名：林業振興に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	02	01	12	本年	45,360		5,471		39,889	37,641	94.4	
				前年	18,154		581		17,573	17,232	98.1	
				比較	27,206		4,890		22,316	20,409		

1. 事業の目的

森林の保全・整備を進め、機能豊かな森林の育成、林業生産活動の活性化を図るとともに、森林の有する多様な公益的機能を持続的に発揮させる。

2. 事業の概要

- (1) 機能豊かな森林を育成し、緑の創出と活用を図るため、造林事業、森林整備事業等の実施
- (2) 林業の振興を総合的に推進するため、しいたけ生産振興資金の貸付

3. 事業の成果及び効果

森林の有する多様な公益的機能を確保し、林業の振興を図った。

- (1) 機能豊かな森林を育成し、緑の創出と活用を図るため、造林事業、森林整備事業等を実施した。
 造林事業実施面積 (保育) 1.39ha
 身近なみどり整備推進事業実施面積 30ha
- (2) 林業の振興を総合的に推進するため、しいたけ生産振興資金の貸付を行った。
 しいたけ原木の共同購入資金貸付(10,000千円) 1団体

事業名：高崎自然の森管理に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	02	01	13	本年	53,302			53,302	51,075	95.8	
				前年	39,204		48	39,252	37,759	96.2	
				比較	14,098		48	14,050	13,316		

1. 事業の目的

- (1) 自然環境の保全及び緑の育成を図り、自然とのふれあいの場を提供するため設置した「高崎自然の森」の維持管理を行う。
- (2) 高崎自然の森再整備事業(国5/10,県2/10)を導入して、里山の自然を次世代に伝承し、市民グループ等のボランティア活動等によって、里山の原風景を回復し、市民グループ等が林業体験活動等を行える施設と一体となった快適な森林空間の創出を図る。

2. 事業の概要

(1) 維持管理

施設の概要

- ・計画面積:17.8ha, 供用面積:16.5ha
- ・主な施設:管理棟, 便益施設, 駐車場, 散策路, 菖蒲園, 花畑, 芝生広場, 木製遊具等

施設管理委託

- ・管理委託業務(施設の清掃, 除草, 樹木の伐採等)

土地賃借

- ・借地面積:15.2ha

(2) 再整備事業

共生環境整備

- ・森林整備(樹木の植栽, 不用木の除去, 林床整備) 11ha
- ・水辺環境整備 1箇所

付帯施設整備

- ・標識類整備 1式
- ・安全柵類整備 2,000m
- ・休憩施設 1箇所

林内歩道等整備

- ・林内歩道整備:2,500m

(3) 施設の利活用

施設利用申請

市主体験イベント

森林ボランティア活動

3. 事業の成果及び効果

(1) 維持管理

施設の維持管理を行うことにより、高崎自然の森を良好な状態に保ち、利用者に自然とのふれあいの場を提供した。

(2) 再整備事業

再整備事業により、里山の原風景を回復し、安全安心な施設として整備した。

(3) 施設の利活用状況

施設利用申請: 延べ30団体 (市内保育所・幼稚園, 地元グランドゴルフ, ホーイスカウト等)

市主体験イベント: 延べ930人 (四季の森づくり, ちびっ子森のたんけん隊等)

森林ボランティア活動: 2団体(森林整備 13回/年)

事業名：商工事務に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	01	11	本年	1,254				1,254	837	66.7	
				前年	796				796	676	84.9	
				比較	458				458	161		
<p>1. 事業の目的 商工行政事務を円滑に進める。</p> <p>2. 事業の概要 つくば市商工会と連携を図るため、商工会と連絡調整会議の開催及び予算の適正な執行</p> <p>3. 事業の成果及び効果 商工会との連携強化が図られ、産業フェア等のイベント内容が充実した。 また、予算の適正な執行を図るため集約化を図ったことにより、経費の削減に努めた。</p>												

事業名：商工業振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	11	本年	45,535		9,000		54,535	53,790	98.6	
				前年	45,321		300		45,621	45,276	99.2	
				比較	214		8,700		8,914	8,514		
<p>1. 事業の目的 商工行政の総合調整を行い、地域の指導的立場となる商工会との連携を密にし、中小企業の経営安定・強化により地域振興を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 地域振興を図るために、県内及び市内商工業関係機関・団体との連携強化並びに事業の実施 (2) 大規模小売店舗立地法の調整 (3) 市内工業団地企業連絡協議会) (4) 火薬類取締法に規定する火薬類の譲渡、譲渡受け及び消費の許可事務 (5) 商工会法に規定する商工会定款変更、指導検査、事業報告書の受理 (6) つくば市宝篋山ふるさとの山づくり懇談会の開催、山形県岩石採取事業者講習会講師派遣 (7) 市内工業団地企業連絡協議会セミナー、視察研修 (8) 北条市活性化プロジェクト補助 (9) 平成19年10月21日に開館した「北条ふれあい館 岩崎屋」において、交流及び商店街・周辺地域の情報発信。 (10) 駅前賑わい創出支援補助 つくば駅周辺の光のイルミネーション事業支援 (11) 景気対策事業補助 定額給付金にあわせて、市内の消費拡大・経済対策を目的としたプレミアム商品券発行事業</p> <p>3. 事業の成果及び効果 中小企業の経営安定・強化を促進するとともに、補助金等により、地域経済の健全な育成、発展及び地域の活性化が図られた。 また、市内既存商店街で唯一商店会活動を実施している北条商店街への支援を行うことで、北条商店街のもつ魅力をPRすることができた。特に、「北条ふれあい館 岩崎屋」を中心とした活性化事業については、茨城県で唯一中小企業庁選定の「新・がんばる商店街77選」に、さらには「いばらきデザインセレクション2009」知事選定(岩崎屋、北条米スクリーム)が選ばれたことにより、視察研修受け入れ12件、講師派遣9件、TV及びラジオ放送5件、情報誌掲載11件など、実績を残した。 また、谷田部内町商店街の活性化を目指す有識者が構成する団体と商工会と連携し、商店街の賑わい、活性化を図るため、ワーキング活動を展開し、今後の谷田部内町商店街の活性化を目指す準備が整った。 景気後退の中、定額給付金にあわせて、市内の消費拡大・経済対策を目的としてプレミアム商品券発</p>												

行事業を実施したことにより、市内での消費拡大・地域経済の活性化に貢献できた。

- (1) 地域振興を図るため、県内及び市内商工業関係機関・団体との連携強化並びに事業の実施
- (2) 大規模小売店舗立地法の調整
- (3) 市内工業団地企業連絡協議会(総会:5月,役員会6回,賀詞交歓会1回)
- (4) 火薬類取締法に規定する火薬類の譲渡,譲渡受け及び消費の許可事務
譲渡及び譲受・消費許可12件,煙火9件 計21件
- (5) 商工会法に規定する商工会定款変更,指導検査(1件),事業報告書の受理(1件)
- (6) つくば市宝篋山ふるさとの山づくり懇談会の開催(1回),山形県岩石採取事業者講習会講師派遣
- (7) 市内工業団地企業連絡協議会セミナー(1回),視察研修(1回)
- (8) 北条市活性化プロジェクト補助金 500,000円
年4回開催(春・夏・秋・冬) 出店団体計107団体 参加者約11,400名
- (9) 平成19年10月21日に開館した「北条ふれあい館 岩崎屋」において,交流及び商店街・周辺地域の情報発信。
来館者数約29,200名(開館以来の来館者数 約72,200名)
- (10) 駅前賑わい創出支援補助金2,500,000円 つくば駅周辺の光のイルミネーション事業支援
期間:平成21年11月末から平成22年1月上旬 来訪者数約40万人
- (11) 景気対策事業補助金 8,641千円
定額給付金にあわせて,市内の消費拡大・経済対策を目的としたプレミアム商品券発行事業
(利用期間 平成21年4月27日～10月25日)
商品券利用額 131,282,500円 利用率99.46%(発行額132,000,000円)
登録店数 671 内訳(一般店:639 大型店 32)
店舗別利用金額・利用率 一般店 83,377,500円(63.51%),大型店 47,905,000円(36.49%)
補助対象経費 17,729,546円 補助負担額市:8,641,000円,商工会:9,088,546円

事業名：融資対策に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	12	本年	197,150		20,178		176,972	137,381	77.6	
				前年	201,130		15,000		186,130	162,479	87.3	
				比較	3,980		5,178		9,158	25,098		

1. 事業の目的

市内中小企業者に対し,事業資金の融資及びこれらに関する補助を積極的に行い,中小企業の金融の円滑化及び経営基盤の安定化に努める。

2. 事業の概要

- (1) 中小企業事業資金融資あっせん審査会を毎月1回開催(計12回)
- (2) 自治金融,振興金融の融資あっせん
- (3) 中小企業事業資金信用保証料補助(融資利用者への保証料補助:茨城県信用保証協会に間接補助)
- (4) 中小企業経営対策事業融資資金利子補給補助(融資利用者へ36ヶ月分利子補助:上限1.25%)
- (5) 自治金融管理システム保守管理
- (6) 自治金融,振興金融の受付業務委託(委託先:つくば市商工会)

3. 事業の成果及び効果

中小企業の金融の円滑化及び経営の安定化に寄与した。

補助対象融資利用件数	415件	補助対象融資額計	1,606,300千円
保証料補助件数	384件	補助額	35,169千円
利子補給件数	1,593件	補助額	37,684千円

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	13	本年	57,805		549		57,256	47,768	83.4
			前年	53,622		542		54,164	41,998	77.5	
			比較	4,183		1,091		3,092	5,770		

1. 事業の目的

市内における研究機能の集積を活かした産業創造を展開させるため、産業創出支援機関との連携を図りながら、「つくば市産業振興マスタープラン」に基づき、「既存企業の躍進」、「企業立地の促進」、「新規創業の促進」を目標とした環境整備を推進し、産業創造都市つくば、自律都市つくばを目指して各種産業振興施策を展開していく。

2. 事業の概要

- (1) つくば産業創出支援機関との連携強化
- (2) つくば産業戦略会議の開催
- (3) つくば市産業戦略推進委員会の開催
- (4) つくば市産業セミナーの開催
- (5) つくば人材企業情報コーディネーター(産業コーディネーター)による情報収集・相談・アドバイス
- (6) つくば産業情報ネットワークの維持管理及び内容更新
- (7) つくば産業創出支援補助金交付要綱の運用
- (8) つくば産業フェアの開催
- (9) 全日本マイクロマウス大会2009の誘致・共催
- (10) ものづくり技術展示キャラバンの開催
- (11) 固定資産税の課税免除申請受付け
- (12) 企業訪問
- (13) つくばインターンシップ・コンソーシアムとの連携によるインターンシップ制度の周知、及び就職相談会の開催
- (14) つくば産業振興センター開設
- (15) つくば産業振興センター入居企業審査会の開催

3. 事業の成果及び効果

企業訪問などで、市内企業の課題等の把握と産業コーディネーターによる指導相談を実施した。
また、産業フェアやものづくり展示キャラバンの開催により、市内研究機関及びフェア来訪者に市内企業の紹介や販路開拓に貢献した。

一方、国内初の自立型移動ロボットの公道実験「つくばチャレンジ」や「全日本マイクロマウス大会」を開催したことにより、「ロボットの街つくば」を市内外に広くPRすることができた。

さらに、産業創出支援補助金や新たにつくば市産業活性化条例を制定し、また、つくば産業振興センターを整備したことにより、市内への企業立地促進及び市内企業の経営革新やさらなる事業展開に寄与した。

なお、つくば産業戦略会議及びつくば市産業戦略推進委員会においては、今後の産業振興施策立案に反映させるよう産業活性化のための提言・要望等に関して議論していただいた。

- (1) つくば産業創出支援機関との連携強化
- (2) つくば産業戦略会議の開催(3回)
- (3) つくば市産業戦略推進委員会の開催
(全体会2回、各部会：第一部会5回、第二部会5回、第三部会5回)
- (4) つくば市産業セミナーの開催(1回)
- (5) つくば人材企業情報コーディネーター(産業コーディネーター)による情報収集・相談・アドバイス
- (6) つくば産業情報ネットワークの維持管理及び内容更新
- (7) つくば産業創出支援補助金交付要綱の運用(交付実績件数：36件)
 - ・賃貸型企業立地奨励補助金 12件 5,929千円
 - ・産業創出奨励補助金 1件 300千円
 - ・新製品等販路拡大支援補助金 12件 3,378千円

・経営革新計画承認奨励補助金	7件	2,100千円
・創造的研究開発補助金	4件	4,000千円
・商店街空き店舗活用補助金	0件	0千円
合 計	36件	15,707千円

- (8) つくば産業フェアの開催(延べ48,000人来場)
- (9) 全日本マイクロマウス大会2009(つくばチャレンジ:エントリー数72チーム)の誘致・共催
- (10) ものづくり技術展示キャラバンの開催(8回)
 産業技術総合研究所(2回), 物質材料研究機構, 筑波大学, 農林研究団地,
 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター(2回), 高エネルギー加速器研究機構
- (11) 固定資産税の課税免除申請受付け(72件)
- (12) 企業訪問 88社(市内:59社, 市外29社)
- (13) つくばインターンシップ・コンソーシアムとの連携によるインターンシップ制度の周知, 及び就職相談会の開催
 ・インターンシップ受入承諾企業数 70社,
 ・インターンシップ参加希望(マッチングフェア参加)学生数 120名,
 ・インターンシップマッチング者 56名
 ・企業説明会の参加企業数 22社, 参加学生数 108名
- (14) つくば産業振興センター開設 21年4月 入居企業数5(うち1件年度内退去21年9月29日)
- (15) つくば産業振興センター入居企業審査会の開催(1回)

事業名：計量法事務に要する経費 (経済部 産業振興課)
 市民部 消費生活センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
07	01	02	14	本年	986				986	920	93.3	
				前年	1,075				1,075	1,009	93.9	
				比較	89				89	89		

1. 事業の目的

「適正な計量の実施を確保し, もって経済発展及び文化の向上に寄与する」という計量法の目的に沿って, 各種計量器の検査及び商品量目の適正化並びに計量思想の普及啓発等の各種事業を実施する。

2. 事業の概要

平成19年4月の特例市移行に伴い, 計量法事務の権限委譲を受け, 計量事業の開始

- (1) 特定計量器定期検査
- (2) 商品量目立入検査
- (3) 計量技術教習
- (4) 産業フェア「計量ブース」設置
- (5) 県・特定市計量行政会議
- (6) 特定市計量行政協議会 文書会議, ブロック会議, 全体会議
- (7) 全国計量行政会議

3. 事業の成果及び効果

市が計量事務を行うようになったことによる効果は, 定期検査の受験率向上と効率的な立入検査の実施であり, 消費者利益の保護と適正な計量確保に大きく寄与した。

また, 産業フェアで「計量ブース」を設置し, 普及活動を行ったことにより, 市民への計量法の啓発が図れた。

- (1) 特定計量器定期検査(5日間): 対象地区: 筑波・大穂・桜地区
 検査件数: 360件(合格: 356件, 不合格4件)
- (2) 商品量目立入検査: 2店舗
- (3) 計量技術教習(2日間): 1名参加

- (4) 産業フェア「計量ブース」設置(2日間)
- (5) 県・特定市計量行政会議(1回)
- (6) 特定市計量行政協議会 文書会議(1回), ブロック会議(1回), 全体会議(1回)
- (7) 全国計量行政会議(1回)

事業名：企業誘致推進事業に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	15	本年	4,717				4,717	4,463	94.6	
				前年	3,766				3,766	3,192	84.8	
				比較	951				951	1,271		

1. 事業の目的

市内事業者に技術的・経済的に波及効果を持つものづくり中堅企業やロボット・IT等のハイテク企業の誘致を目指して、各種PR活動や企業訪問活動を行う。市の産業構造上不足している機能を補完しつつ、研究機能や都心への利便性といったつくばの強みを生かした産業集積を図る。また、これらを内外にアピールすることで、地域の持つポテンシャルをさらに高める。

2. 事業の概要

- (1) 市内企業フォローアップ訪問
- (2) 東京事務所と連携したシティセールスと誘致活動を兼ねた企業訪問
- (3) 事業用地問い合わせ企業への訪問・説明
- (4) 空き用地の情報収集及び提供・交換
- (5) 近隣人材輩出校(高校・専門学校・大学等)への訪問
- (6) 就職説明会, 再就職支援セミナー等の後援, 共催, 参加
- (7) 企業立地促進PR事業(プロモーションを兼ねたアンケート調査)
- (8) つくばロボットフォーラム2009の開催
- (9) 国際ロボット展やCEATECジャパンへの出展(参加PR)

3. 事業の成果及び効果

平成21年度に新たにつくば市に立地した企業は4社。

リーマンショックの影響で企業の設備投資がまだ抑えられており、多くの新規立地を呼び込むのは難しい状況にある。

しかし、企業の設備投資が再開される時期に備えて、地道な活動を行っていく必要がある。今年度は、茨城圏央道協議会とも連携して各種の効果的なPR事業や企業訪問活動を行った。

- (1) 市内企業フォローアップ訪問 59社
- (2) 東京事務所と連携したシティセールスと誘致活動を兼ねた企業訪問 29社
- (3) 事業用地問い合わせ企業への訪問・説明 10社
- (4) 空き用地の情報収集及び提供・交換
- (5) 近隣人材輩出校(高校・専門学校・大学等)への訪問
- (6) 就職説明会, 再就職支援セミナー等の後援, 共催, 参加
- (7) 企業立地促進PR事業(プロモーションを兼ねたアンケート調査)
- (8) つくばロボットフォーラム2009の開催来場者: 約600名
- (9) 国際ロボット展やCEATECジャパンへの出展(参加PR)

事業名：観光施設整備事業に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	11	本年	67,456		4,326		63,130	55,380	87.7	3,885
				前年	24,556				24,556	21,396	87.1	
				比較	42,900		4,326		38,574	33,984		3,885

1. 事業の目的

筑波山周辺観光整備基本構想に基づき、筑波山頂を含む山麓山裾観光振興を実施するため、各種整備を行う。

2. 事業の概要

- (1) 筑波山頂水道整備工事測量設計業務
- (2) 梅林南駐車場進入路環境調査業務
- (3) 梅林南拡張整備計画書策定業務
- (4) 筑波山頂水道整備工事 (ポンプ施設整備) ポンプ2基, ポンプ小屋11.4㎡
(送水施設整備) 送水管 461m, 配水管 14m
- (4) 観光案内サイン作成業務 木製 25基 アルミ製 27基
- (5) 筑波山麓山裾駐車場整備工事 六所地区 砕石敷き 380㎡
- (6) 筑波山麓山裾植栽工事 キンシバイ370株植栽 延長2.2km
- (7) 桜山キャンプ場施設解体工事 トイレ解体 56㎡ 避難小屋解体 66㎡

3. 事業の成果及び効果

筑波山頂を含む山麓山裾観光施設整備の実施を通して、筑波山頂においては、安心安全な観光客受け入れ態勢の充実、筑波山麓山裾地域においては、山頂からの回遊性向上による観光誘客の促進を図ることができた。

事業名：観光施設維持管理費に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	12	本年	74,953				74,953	67,041	89.4	
				前年	82,026		1,000		81,026	76,604	94.5	
				比較	7,073		1,000		6,073	9,563		

1. 事業の目的

観光施設等を観光客等の視点にたった角度で適切な維持管理を行うことにより、更なる誘客を図る。

2. 事業の概要

- (1) 筑波山登山道及び筑波山梅林等の維持管理を行うため、清掃員6名雇用
- (2) 筑波山頂公衆便所等の清掃及び浄化槽維持管理委託
- (3) 荃崎こもれび六斗の森の管理運営を指定管理委託
- (4) つつじヶ丘公園の維持管理のため、除草作業委託
- (5) 筑波山市営駐車場の監視及び料金収集業務委託
- (6) 筑波山梅林の樹勢・樹形を保つため、剪定業務委託
- (7) 筑波山梅林展望四阿屋根、木道等の修繕工事

3. 事業の成果及び効果

観光客等に繰り返し訪れていただけるよう観光施設等の適切な維持管理を行い、受入れ態勢の充実を図ることができた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	13	本年	39,117				39,117	36,716	93.9	
				前年	39,229				39,229	36,910	94.1	
				比較	112				112	194		

1. 事業の目的

観光客誘致をさらに促進するため、各種イベントを主催・共催し、観光産業や地域経済の活性化を図る。

2. 事業の概要

(1) つくば物語2009の開催

(2) 補助事業

まつりつくば、つくばフェスティバル、ひまわりまつりへの補助

3. 事業の成果及び効果

(1) つくば物語2009

開催日：平成21年10月31日(土)

開催場所：平沢官衙遺跡歴史ひろば

来場者数：1万2千人

つくば物語は、1万人を超える多くの方々が平沢官衙遺跡に来場しコンサートなどのイベントを楽しんでいただくとともに、併せて筑波山麓の観光資源を来場者にPRでき、観光振興に大きく寄与した。

- ・オカリナ奏者「宗次郎」の演奏をメインとし、「rush!」コンサート、現代日本舞踊「美作流」(みまさかりゅう)長唄「蛸」をステージで実施した。

- ・つくば市と交流のある荒川区より「東京荒川少年少女合唱隊」を招いて合唱を披露した。

- ・平沢官衙遺跡ガイド、農産物・物産品展示即売会、遺跡ライトアップ、ステージ前かがり火を行った。

(2) 補助事業

季節ごとに行われるイベントに対し補助することで、イベントの内容をより充実させ、多くの観光客を誘致することができ、観光振興及び地域経済の活性化が図られた。

- ・まつりつくば補助金 20,038,008円

開催日：平成21年8月29日(土)～30日(日)

開催場所：TXつくば駅周辺各会場

来場者数：延べ47万人

まつりつくばは、2日目が衆議院選挙・茨城県知事選挙のダブル選挙と重なり、来場者への影響が予想されたが、10回目を迎えたアートの盛況等もあり、多くの来場者を迎えることができた。ここ数年の盛況ぶりからもまつりつくばが多くの方々に根付いてきたことが考えられる。

- ・つくばフェスティバル補助金 3,666,505円

開催日：平成21年5月9日(土)～10日(日)

開催場所：つくばセンター広場及び周辺

来場者数：延べ12万人

「つくばの科学と国際交流」をテーマに2日間開催し、多くの子どもが科学や国際交流を身近に感じる事ができる催事となった。

- ・ひまわりまつり補助金 1,102,741円

開催日：平成21年11月7日(土)

開催場所：荃崎公民館前芝生広場

来場者数：延べ8千人

事業名：観光振興に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	14	本年	72,234		1,000		73,234	64,961	88.7	
				前年	79,894		3,549		76,345	73,151	95.8	
				比較	7,660		4,549		3,111	8,190		

1. 事業の目的

筑波山及び山麓周辺の歴史や自然，研究学園都市に集積する先端技術の体験型観光等の振興することによりつくば市への来訪者の増加を図る。また，(社)つくば市観光協会の充実を図り，1観光産業の振興，学術会議の誘致を図ることにより，魅力ある観光地づくりを実施し，観光地としてのPRを行う。その他，各観光振興団体との連携を図り，つくば市観光の振興を図る。

2. 事業の概要

- (1) 市内で開催される国際会議をはじめ各種会議の援助。学術会議補助件数は全部で16件。
- (2) 各観光振興団体に対する補助・指導。つくば市観光協会の運営事業
つくば市物産会，コンベンションビューロー，りんりん道路桜植樹事業等
必要に応じて各組織への指導
(社)つくば市観光協会，つくばコンベンションビューロー
- (3) 観光を振興するために委託事業
観光案内業務委託，つくば市学術会議支援事業事務委託，レンタサイクル事業委託

3. 事業の成果及び効果

- (1) コンベンションビューローとの連携により多くの国際会議等各種会議が誘致され，関連業界の経済波及効果を上げた。
- (2) 各種観光団体に補助・指導を行うことにより，適正な事業運営を行わせることができ，観光推進への体制が強化された。
- (3) レンタサイクル事業においては，TXによる来訪者がレンタサイクルを利用しており，研究施設や公園及び商業施設などへの交通手段として利用が図られている。
また，筑波山口においては4月から11月の期間で貸出しを実施し，りんりんロードでのサイクリングや山麓周辺の史跡名所をめぐる手段として多く活用されている。

事業名：観光宣伝に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	15	本年	15,941		3,717		12,224	9,761	79.9	
				前年	17,610		8,500		9,110	7,420	81.4	
				比較	1,669		4,783		3,114	2,341		

1. 事業の目的

つくば市の観光PRを行い，より多くの来訪者を誘客することにより，つくば市の知名度向上，関連業種への経済波及効果を上げる。

2. 事業の概要

- (1) つくば市観光パンフレット，こもれび六斗の森パンフレット等の作成
観光関連施設や来訪予定者に送付。また，各種イベント時に配布
- (2) 観光キャンペーン(荒川区川の手まつり，シロカネ・グローバルフェスタ，ISTS等)に参加し，つくば市の観光PR実施
- (3) つくば市の季節ごとの観光宣伝を兼ね，漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会，JR東日本水戸支社，つくば市観光協会等との共催により，筑波山ハイキング，学園都市ハイキングの実施
- (4) 新聞，雑誌等にイベント情報や観光スポットなどへの掲載
- (5) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会・JR東日本水戸観光連盟に引き続き加入
- (6) サイエンスツアー事業への負担金拠出

3. 事業の成果及び効果

- (1) 季節ごとの観光宣伝を広域的かつ効果的に実施できた。
 (2) 来訪を促したことにより、関連業種への経済波及効果を上げた。
 (3) 平成21年4月～22年3月のサイエンスツアー利用者:6,758人(負担金2,500,000円)
 平成20年度利用者:6,324人

事業名：観光客動態調査に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	16	本年	394				394	229	58.1	
				前年	513				513	277	54.0	
				比較	119				119	48		

1. 事業の目的

茨城県からの事務委託により、観光レクリエーション地域における観光客の動態を把握し、観光施策の実施及び推進に必要な基礎資料の収集を行う。

2. 事業の概要

(1) 通年調査

市内4箇所の調査地点(筑波山・筑波実験植物園・つくばエキスポセンター・筑波宇宙センター)において、入込観光客数調査及び入込観光客アンケート調査(筑波山のみ)を実施

(2) 限定期調査

市内2箇所(筑波山・つくば牡丹園)において、入込観光客数調査を実施

(3) 行祭事・イベント調査

イベント等において、入込観光客数調査を実施

3. 事業の成果及び効果

茨城の観光レクリエーション現況を把握し、今後の観光施策に役立てることができる。

- (1) 通年調査 (調査日)5月, 8月, 11月, 2月の第1日曜日及び第1水曜日
 (2) 限定期調査 (調査日)筑波山: 4月30日～5月6日
 つくば牡丹園:4月 1日～6月14日(春のイベント期間中)
 (3) 行祭事・イベント調査 (調査日) つくばフェスティバル:5月 9日～10日
 まつりつくば: 8月29日～30日
 梅まつり: 2月20日～3月22日

事業名：フィルムコミッション事業に要する経費

経済部 観光物産課フィルムコミッション室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	17	本年	961				961	773	80.4	
				前年	984				984	894	90.9	
				比較	23				23	121		

1. 事業の目的

つくば市の地域資源を映画, TV等のマスメディアを活用することにより市の地域振興及びイメージアップを図る。

2. 事業の概要

(1) 撮影支援

市内ロケ地に関する相談・案内
 撮影時のロケ同行
 撮影に関する許可・届出手続きの協力
 宿泊施設の紹介
 ロケ弁(飲食店)の紹介
 地元住民への情報提供・協力依頼

(2) ロケ誘致活動

映像制作会社へのPR

ロケーションライブラリーの作成 / ロケ地のデータベース化

(3) 募集活動

エキストラ募集

ロケ地募集

協力施設募集

(4) 連携体制

つくばコンベンションビューロー, (社)つくば市観光協会

いばらきフィルムコミッション, 近隣市町村フィルムコミッション, 茨城県FC等連絡協議会

全国フィルムコミッション連絡協議会

3. 事業の成果及び効果

つくば市は、映像の制作会社が集中する東京から近距離にあり、加えて筑波山をはじめ、多くの自然や変化に富んだ学園都市の建物など様々なシーンの撮影に対応できるロケ適地を数多く有している。

このような適性を活かし、つくば市へのロケ誘致を促進し、つくばのイメージアップを図る。さらに、ロケ場所の観光スポット化など、新たな効果が期待され、地域の経済、観光振興、文化振興にいたるまで、その効果を拡大している。

【平成21年度実績】

撮影協力依頼件数	320件
撮影件数	88件
ロケハン件数	136件
撮影延べ日数	128日
撮影隊延べ人数	8,515人
エキストラ撮影参加日数	33日
エキストラ参加延べ人数	2744人
直接経済効果()	66,795千円

直接経済効果の集計は制作会社へ撮影終了時に行った調査結果である。

事業名：道路整備事務に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	11	本年	971				971	778	80.1	
				前年	1,101				1,101	863	78.4	
				比較	130				130	85		

1. 事業の目的

市民生活、経済活動の基盤として道路体系を確立し、広域幹線、地方幹線道となる国・県道の整備促進を推進する。また、地域住民の生活圏形成に重要な役割を果たす市道の整備について、関係機関との調整を図る。

2. 事業の概要

茨城県、近隣市町による道路整備に関する協議会等の調整(14団体)

3. 事業の成果及び効果

道路整備に関する関係機関との調整、事業の推進が図られた。

事業名：道路管理事務に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	12	本年	29,731				29,731	26,773	90.1	
				前年	34,279				34,279	31,704	92.5	
				比較	4,548				4,548	4,931		

1. 事業の目的

道路管理の円滑化と管理の充実を図る。

2. 事業の概要

- (1) 道路の認定・廃止
- (2) 道路台帳の整備
- (3) 道路占用許可
- (4) 道路の承認工事
- (5) 道路の境界確認
- (6) 放置車両の撤去
- (7) 道路情報便覧
- (8) 法定外公共物の管理

3. 事業の成果及び効果

道路の有効、適正なる管理が図られる。

- (1) 道路の認定・廃止 (認定194路線 廃止18路線)
- (2) 道路台帳の整備
- (3) 道路占用許可 (1,077件)
- (4) 道路の承認工事 (147件)
- (5) 道路の境界確認 (370件)
- (6) 放置車両の撤去 (4件)
- (7) 道路情報便覧
- (8) 法定外公共物の管理(払い下げ 10件)

事業名：登記事務に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	13	本年	7,237				7,237	6,313	87.2	
				前年	7,307				7,307	7,106	97.2	
				比較	70				70	793		
<p>1. 事業の目的 道路買収用地の登記申請を行い、未登記物件の解消を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 未登記道路用地及び当年度買収用地の登記申請 (2) 市道の廃止に伴う払い下げ申請</p> <p>3. 事業の成果及び効果 買収用地の登記がなされることにより、土地の状態、管理権が明確になり私権の制限が図られる。 (1) 未登記道路用地及び当年度買収用地の登記申請 (602件) (2) 市道の廃止に伴う払い下げ申請 (6件)</p>												

事業名：営繕事務に要する経費

都市建設部 営繕・住宅課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	14	本年	358				358	279	77.9	
				前年	429				429	262	61.1	
				比較	71				71	17		
<p>1. 事業の目的 市有建築物に係わる建築工事の総合調整及び設計施工監理</p> <p>2. 事業の概要 各主管課の予算令達により、市有建築物の新築、改築、増築若しくは移転又は修繕若しくは模様替であって、当該工事費1,000万円を超える建築工事の施工監理</p> <p>3. 事業の成果及び効果 工事の適正かつ円滑な工事監理を行い、主管課の事業スケジュールに支障が生じないよう工事の完成、引渡しにつとめた。また、事業経費の執行については、コストの縮減を念頭に適正な予算執行に努めた。 【平成21年度工事】 市営大曽根住宅1・2号棟建設工事 市営ひがし谷田川団地1・2号棟給水改修工事 健康づくり拠点整備工事 葛城地区公園管理棟建設工事 各窓口センター移設工事</p>												

事業名：道路維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	02	01	11	本年	502,961	13,992	158,396		675,349	588,348	87.1	77,177
				前年	471,013	23,150	184,000		678,163	662,248	97.7	13,992
				比較	31,948	9,158	25,604		2,814	73,900		63,185
<p>1. 事業の目的 市民生活の基盤となる道路の維持補修を行い、良好な道路環境を維持する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 小規模な道路補修・維持工事 (2) 通学路等の除草</p>												

(3) 舗装打替え工事

3. 事業の成果及び効果

舗装補修、側溝の改修、交通安全施設の設置・改修及び通学路等の除草を行い、道路通行上の安全を確保した。

(1) 小規模な道路補修・維持工事

(2) 通学路等の除草 18小学校区 A = 245,400㎡

(3) 舗装打替え工事 16路線 L = 5,499m A = 27,327㎡

事業名：道路新設改良に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	02	02	11	本年	549,682	93,363	173,453		816,498	609,832	74.7	196,990
				前年	505,551	53,915	21,100	2,100	582,666	484,819	83.2	93,363
				比較	44,131	39,448	151,353	2,100	233,832	125,013		103,627

1. 事業の目的

(1) 市民生活の基盤となる道路の改良を行い、良好な道路環境を造る。

(2) まちづくり交付金を充当し、通学路の再整備を図る。

2. 事業の概要

(1) 道路改良

(2) 排水整備

(3) 通学路整備

3. 事業の成果及び効果

幅員の狭い道路の解消、雨水の処理が行われ、歩行者及び車輛の安全が確保され、良好な道路環境が確保された。

蓋無し側溝をボックス型側溝に布設替えすることにより、通学路の安全性が確保された。

(1) 道路改良 22路線 L = 3,300m

(2) 排水整備 3路線 L = 284m

(3) 通学路整備 13路線 L = 2,880m

事業名：緊急地方道整備に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	02	03	11	本年	352,314	125,958	23,400		454,872	344,520	75.7	96,996
				前年	441,267	232,008	40,650		632,625	484,061	76.5	125,958
				比較	88,953	106,050	17,250		177,753	139,541		28,962

1. 事業の目的

国、県の補助事業を導入し市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図る。

2. 事業の概要

国庫補助事業

(1) 用地取得 市道63106号線

葛城北線

(2) 工事 市道53531号線 道路改良工事

市道64232号線 道路改良工事 護岸工事

市道1-18号線 道路改良工事

3. 事業の成果及び効果

53531号線・64232号線については、全線工事が完了し年度内に供用開始した。地域間の連絡道路として地元及び周辺住民の方々に対し利便性の向上に寄与することができた。

1-18号線については、用地取得済区間のうちL=1,145mの改良工事を施工した。

国庫補助事業

(1) 用地取得	市道63106号線	A = 858m ²	
	葛城北線	A = 1,124m ²	
(2) 工事	市道53531号線	道路改良工事	L = 338m
	市道64232号線	道路改良工事	護岸工事 L = 1,188m
	市道1-18号線	道路改良工事	L = 1,145m

事業名：河川維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	03	01	11	本年	33,813		5,000		38,813	33,402	86.1	
				前年	33,325		30,000		3,325	2,918	87.8	
				比較	488		35,000		35,488	30,484		

1. 事業の目的

市内主要河川の整備について、県・近隣市町と協議を行い、整備の促進を図り河川による災害を防止する。

2. 事業の概要

- (1) 小貝川樋管操作点検委託
- (2) ハザードマップ作成
- (3) 八幡川護岸工事

3. 事業の成果及び効果

河川清掃活動への参加により、河川に対する関心の高まりと親近感が増した。

- (1) 小貝川樋管操作点検委託 9ヶ所
- (2) ハザードマップ作成
- (3) 八幡川護岸工事 L = 109m

事業名：都市計画審議会に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	11	本年	788		549		239	126	52.7	
				前年	788		468		320	203	63.4	
				比較			81		81	77		

1. 事業の目的

都市のあり方を決定する重要事項を都市計画決定するにあたり、市都市計画審議会において調査・審議する組織であり、都市計画法第77条の2第1項に基づいて設置されている。

2. 事業の概要

都市計画審議会の開催

つくば市都市計画審議会委員(14名:定員15名)

内訳

学識経験者: 7名

市議会議員: 2名

関係行政機関の職員: 1名

茨城県の職員: 1名

市民: 3名

3. 事業の成果及び効果

平成21年度 開催回数: 1回(平成22年3月17日)

案件: 研究教育施設地区(第一地区~第十二地区)地区計画の決定

案件の内容:

国の研究・教育機関の独法化に伴い一団地の官公庁施設が廃止されたことにより、一団地の官公庁施設建設計画標準(緑地の確保、建ぺい率・容積率の制限等)の適用がされなくなった。

このため、平成18年度・19年度の2ケ年で、国土交通省、茨城県、つくば市、各独立行政法人等の協力のもと、筑波研究学園都市の建設推進状況調査検討会を設置し、検討を行い、現状に即した新たな土地利用ルール案がとりまとめられた。

これらの状況を踏まえ、今後も引き続きゆとりある空間と豊かな緑地を維持していくとともに、研究学園地区全体の良い景観を維持し、さらに試験研究及び教育を行うのにふさわしい環境を形成するため本地区計画を決定することとした。

事業名：都市計画事業推進に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	12	本年	36,763	9,135	19,658		26,240	22,699	86.5	
				前年	111,952		6,797		118,749	99,895	84.1	9,135
				比較	75,189	9,135	26,455		92,509	77,196		9,135

1. 事業の目的

つくば市として、望ましい都市像に向け都市計画事業の推進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 都市計画情報システム管理業務
- (2) つくば市都市計画図印刷
- (3) 都市計画現況調査
- (4) 茨城県都市計画協会への加入
- (5) 全国地区計画推進協議会への加入
- (6) 各種都市計画の決定
- (7) 都市計画パンフレットの作成
- (8) 都市計画道路再検討調査業務
- (9) つくばスタイルまちづくりワークショップ実施

3. 事業の成果及び効果

都市計画情報システムを導入したことにより、窓口での問い合わせに迅速な対応が可能となった。また、都市計画図(1/2,500)の任意図郭指定販売を可能とするシステム導入により、サービス向上につながった。

都市計画道路の再検討調査を行うことにより、長年未整備である区間の問題点や課題等を把握することができた。

つくばスタイルまちづくりワークショップを開催し、まちづくりに関する市民活動支援に役立てる「市民のまちづくりお助け本」を市民参加により作成した。

事業名：屋外広告物の管理に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	13	本年	7,997		770		7,227	7,118	98.5	
				前年	7,667		1,035		6,632	6,526	98.4	
				比較	330		265		595	592		

1. 事業の目的

違法に設置された立看板、はり紙、はり札等を撤去し、市内の良好な景観の形成、風致の維持を図り、公衆に対する危害を防止する。

2. 事業の概要

- (1) 違反広告物の撤去
業務委託による立看板等の撤去

茨城県まちの違反広告物追放団体による撤去(市内15団体)

(2) 屋外広告物現況調査

3. 事業の成果及び効果

違反広告物については、業務委託により、研究学園地区内や主要幹線道路沿道等の簡易除却対象広告物を撤去し、美観風致の維持や公衆に対する危害防止に努めた。

また、茨城県まちの違反広告物追放推進制度による市民団体の撤去活動により、違反広告物も減少し、違反広告物に対する意識向上につながった。

(1) 違反広告物の撤去

業務委託による立看板等の撤去

実施回数 33回/年

茨城県まちの違反広告物追放団体による撤去(市内15団体)

実施回数 団体により年2回～

(2) 屋外広告物現況調査

市内4箇所について、広告物掲出の実態調査を実施した。

事業名：下水道事業特別会計繰出金

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	14	本年	2,496,901	27,000			2,523,901	2,425,051	96.1	98,850
				前年	2,447,140		30,000		2,477,140	2,450,140	98.9	27,000
				比較	49,761	27,000	30,000		46,761	25,089		71,850

1. 事業の目的

つくば市において、下水道事業の推進を図るため、一般会計から下水道特別会計への繰出し。

2. 事業の概要

一般会計から下水道特別会計への繰出し

3. 事業の成果及び効果

平成21年度、一般会計から下水道特別会計への繰出金：一般財源 2,383,351千円
地域住宅交付金 113,550千円
合計 2,496,901千円

事業名：特定地域開発に要する経費

(都市建設部 都市整備課)
都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	15	本年	13				13	13	100.0	
				前年	27				27	21	77.8	
				比較	14				14	8		

1. 事業の目的

北条団地等の地区開発計画の推進に関し、県及び関係機関と協議しながら健全なる発展を図る。

2. 事業の概要

(1) 北条団地の開発に関する協議や調整 県及び事業主体の県住宅供給公社

(2) 上下水道などのインフラ整備に関し、市関係部署との連絡・調整

3. 事業の成果及び効果

茨城県が県住宅供給公社の解散を模索するなか、北条団地の開発を行ってきた事業者としての自覚と責任をもった対策を講ずるよう、茨城県及び県住宅供給公社に対し要望書を提出した。

また、道路等のインフラ整備に関し、県住宅供給公社と市関係部署との調整を図った。

(都市建設部 都市計画課)

事業名：土地対策に要する経費

市長公室 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	16	本年	138				138	106	76.8	
				前年	204				204	147	72.1	
				比較	66				66	41		

1. 事業の目的

国土利用計画法第23条に基づいた一定規模以上の土地売買等取引の際、届出制により、土地の投機的取引や地価高騰の抑制、乱開発を防止する。

2. 事業の概要

- (1) 国土利用計画法第23条に基づく土地売買等届出書の県への進達事務及び意見書の提出
- (2) 土地利用動向調査の実施及び県への報告等

3. 事業の成果及び効果

適正かつ合理的な土地利用の確保を図り、土地取引の規制に関する措置の強化が図られた。

事業名：公共交通対策に要する経費

市長公室 交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	17	本年	376,948	2,765	322		379,391	335,111	88.3	
				前年	375,200				375,200	346,351	92.3	2,765
				比較	1,748	2,765	322		4,191	11,240		2,765

1. 事業の目的

都市形成に不可欠な円滑なる交通網を整備する。

2. 事業の概要

- (1) つくば市コミュニティバス「つくバス」の運行
- (2) 関東鉄道が運行する「つくば駅～テクノパーク豊里循環線」への運行負担
- (3) サイクル&つくバスライド促進事業(北部シャトルの拠点停留所である大穂庁舎での駐輪場整備)
- (4) 平成22年4月のつくバス定期見直し諸準備(つくば市バスマップの作成、バス停時刻表の修正等)
- (5) 平成23年度以降の市内二次交通網再編計画を策定するため組織した法定協議会である「つくば市公共交通活性化協議会」への事業費一部負担
- (6) 茨城県公共交通活性化会議や茨城空港利用促進等協議会などの各種交通整備関連同盟会・協議会への参加(負担)

3. 事業の成果及び効果

- (1) つくバスの21年度実績は、全体で722,129人となり、市民の移動手段として定着した。
特に北部シャトル及び学園南循環は、それぞれ10.7人/便、14.2人/便と多くの利用が見られた。
- (2) 同路線の更なる利用者増加を目指し、ルートの再編を実施した。結果として利用者数は19,197人となり、前年度比較4,637人、31.8%の増加となった。
- (3) つくバスの更なる利用促進を図るため、大穂庁舎に屋根付き駐輪場56台分及び屋根なし駐輪場64台分の計120台分を整備、自転車からバス乗り換え利用者の利用促進につながった。
- (4) 平成22年4月のつくバス定期見直し準備として、バスマップ25,000部を作成、また、バス停の時刻修正、新規設置等の事業を実施、定期見直し後の円滑なつくバス運行が図られた。
- (5) 事業費の一部負担をした「つくば市公共交通活性化協議会」において、計5回の協議会を開催し、「つくば市地域公共交通総合連携計画」を策定した。この計画を基に平成23年度以降の市内二次交通の整備を推進していく。
- (6) 各種交通整備関連団体に参加することにより、中・長期的展望に立った各計画について検討を行うとともに、中央要望等を実施した。

事業名：都市景観の形成に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	18	本年	1,738		437		1,301	1,144	87.9	
				前年	1,855		402		1,453	975	67.1	
				比較	117		35		152	169		

1. 事業の目的

地域の特性を活かした景観形成のために施策を総合的、計画的に推進し、潤いと安らぎを享受できる魅力的な景観創出に資する。

2. 事業の概要

- (1) つくば市景観条例及びつくば市景観計画に基づく行為の届出
- (2) 景観形成に関する調査・研究
- (3) 景観パンフレットの作成
- (4) つくば市景観審議会の運営

3. 事業の成果及び効果

一定規模以上の建築行為等について、つくば市景観条例に基づく審査・指導・助言等を実施し、つくば市景観計画による景観形成基準の遵守、周辺景観への配慮を求めた。

事業名：開発審査会に要する経費

都市建設部 建築指導課開発指導室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	19	本年	1,303		653		650	610	93.8	
				前年	1,266				1,266	779	61.5	
				比較	37		653		616	169		

1. 事業の目的

開発許可処分についての審査請求等に対する裁決及び都市計画法第34条第14号に該当する事案についての審査議決を行う。また、開発許可にあたり、無秩序な開発を抑制し、地域の実情に合った公平かつ適正な制度の運用を図る。

2. 事業の概要

開発審査会(7名構成)の開催。

3. 事業の成果及び効果

平成21年度 開催回数:7回(4月,6月,7月,10月,12月,2月,3月)

【審査案件】

- 提案基準4 区域区分の日前から宅地である土地における開発行為の取扱い 2件
- 提案基準9 その他特に定めのないものの取扱い 7件

【報告案件】 包括承認基準許可報告

- 包括承認基準1(一身専属的許可を受けて建築した住宅の譲渡) 4件
- 包括承認基準3(指定路線区域における大規模な流通業務施設) 1件
- 包括承認基準4(第2種特定工作物に該当しない運動レジャー施設に付属する管理上必要な施設) 1件
- 包括承認基準5(小規模作業所等) 3件
- 包括承認基準6(区域区分の日前から宅地である土地における建築行為等の許可) 28件
- 包括承認基準9(社会福祉施設) 1件

計 38件

【その他】 区域指定許可状況報告 66件

事業名：開発指導に要する経費

都市建設部 建築指導課開発指導室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
08	04	01	20	本年	6,698		419		6,279	6,191	98.6		
				前年									
				比較	6,698		419		6,279	6,191			

1. 事業の目的

無秩序な開発の防止と、良好な自然環境の保全及び都市環境の整備促進を図るため、市の開発に関する条例及び開発指導要綱に基づき、許可、指導を行って行くものである。

2. 事業の概要

- (1) 開発許可等の各種都市計画法に基づく許可及び指導
- (2) 開発許可を受けた土地以外の土地における建築等の制限
- (3) 開発許可等に関する県との調整事務
- (4) 区域指定の見直し事業

3. 事業の成果及び効果

- (1) 都市計画法第29条の許可 244件
- (2) 都市計画法第43条の許可 108件
- (3) 都市計画法省令第60条証明 60件 合計412件
- (4) 茨城県開発許可等連絡調整会議 12回
- (5) 茨城県開発許可等連絡調整会議分科会 12回
- (6) 城県開発許可等連絡調整会議ワーキング委員会 10回
- (7) 茨城県宅地開発協議会共同研究会 5回
- (8) 茨城県宅地開発協議会共同研究事業・雨水浸透部会 6回
- (9) 関東甲信越ブロック開発許可会議(千葉市開催)
- (10) 北関東三県・中核市・特例市開発許可連絡協議会(群馬県前橋市開催)
- (11) 茨城県宅地開発協議会先進地視察
- (12) 先進地視察調査(都市計画法違反について・京都市)
- (13) 区域指定見直し業務
現在区域指定は64カ所、1,244.5haを指定しているが、21年度の見直し事業では、小学校区毎の人口動態調査、下水道供用開始区域等の更なる調査を実施した。
結果は22年度夏～秋に告示予定である。

事業名：土地区画整理事業に要する経費

(都市建設部 都市整備課)
都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	02	11	本年	20,599	27,450			48,049	47,406	98.7	
				前年	47,285	69,660	1,676		118,621	75,820	63.9	27,450
				比較	26,686	42,210	1,676		70,572	28,414		27,450

1. 事業の目的

土地区画整理事業により、都市計画道路など公共施設の整備を行い、スプロール化を防止すると共に土地利用の増進を図り、健全な市街地を建設する。

2. 事業の概要

土地区画整理事業を計画的に推進するための関係機関と協議や調整

3. 事業の成果及び効果

- (1) 台町土地区画整理事業
組合が事業費の捻出が困難な状態となり、東京地方裁判所に調停を申立て市及び債権者であ

る金融機関を含む三者で協議を重ねた。

その結果、平成22年3月25日に調停が成立し、平成24年度事業完了までの道筋を立てた。

(2) 花室西部土地区画整理事業

道路築造予定地の家屋移転について、地権者と交渉が難航していたが、組合と共に交渉を続けた結果、事業の核となる都市計画道路吾妻花室線を開通させ、平成23年度事業完了の見通しがついた。

事業名：訴訟に要する経費 (都市建設部 都市施設課)
都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	02	12	本年	303		1,566		1,869	1,869	100.0	
				前年	796			500	1,296	1,201	92.7	
				比較	493		1,566	500	573	668		

1. 事業の目的

土地区画整理事業に関する行政訴訟において、市が指導する土地区画整理事業の是非や、将来の都市基盤に係る行政のあり方等について、弁護士と相談しながら対応する。

2. 事業の概要

平成18年12月5日市民3名が「市が薬師土地区画整理組合に対して交付した補助金は違法」であると水戸地方裁判所へ訴状を提出し「平成18年(行ウ)第20号補助金に係る損害賠償請求事件」として訴訟となる。

市では、つくば市顧問弁護士と訴訟委託契約を締結し継続的に対応を図り、本事件について、平成20年8月27日水戸地裁において原告らの訴えに対し請求を棄却、訴訟費用は原告らの負担とする判決が言い渡された。

原告らは、水戸地裁判決を不服とし平成20年9月17日東京高等裁判所に控訴したため「平成20年(行コ)第317号」として同弁護士と再委託し対応を図る。平成21年3月26日に控訴人らの訴えに対し控訴を棄却、訴訟費用は控訴人らの負担とする判決が言い渡された。

さらに、原告らは高等裁判所の判決も不服とし平成21年4月8日付け最高裁判所に対し上告申立をしたが、上告審を受理しないことが平成21年8月28日付け決定された。

3. 事業の成果及び効果

区画整理事業に対する補助金交付は違法であるとの行政訴訟に対し、弁護士と相談し適法性を主張し的確に対応してきた結果、裁判所から補助金交付は適法であると認められたものである。

事業名：街路事業に要する経費 都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	03	11	本年	146,048	57,320	15,000		188,368	121,489	64.5	60,255
				前年	81,557	12,325			93,882	36,444	38.8	57,320
				比較	64,491	44,995	15,000		94,486	85,045		2,935

1. 事業の目的

(1) 市域の根幹を形成している街路について、関係機関との協議、整備促進を図る。

(2) まちづくり交付金を充当し、ペDESTリアンデッキの再整備を図る。

2. 事業の概要

(1) 街路事業について、関係機関との協議を行う。また、つくばエクスプレス関連開発に伴い事業者との協議を行う。

(2) 街路樹の根上がりによる凹凸、滑りやすい陶板舗装の解消のための舗装工事。L = 1,564.97m

3. 事業の成果及び効果

(1) 関係機関との協議により、各事業者の施工が円滑に行われた。

(2) 舗装改修工事を実施したことにより、安全で安心なペDESTリアンデッキにリニューアル出来た。

- (1) 都市公園及びその他の公園等の維持管理委託
- (2) 有料施設等の施設管理委託及び保守点検
- (3) 公園設備の保守点検及び警備委託
- (4) 都市公園等の施設(電気・給排水設備・遊具・運動施設等)の修繕
- (5) プールの開設(期間7月1日～8月31日)の運営管理
- (6) 運動施設及び管理用消耗品の購入
- (7) 指定管理者による公園管理
- (8) 公園施設改修工事

3. 事業の成果及び効果

都市公園, その他の公園及びそれらの付帯施設を良好に維持管理することにより, 市民に安らぎ, 潤いと憩いの場を提供した。

事業名： 地籍調査に要する経費

都市建設部 地籍調査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	07	11	本年	32,966		6,517		26,449	25,531	96.5	
				前年	34,061		4,273		29,788	26,118	87.7	
				比較	1,095		2,244		3,339	587		

1. 事業の目的

法務局に備え付けられている地図(字切図)は, 明治時代に作成された公図に加除訂正を加えたものであるため, 不完全な箇所が極めて多く, また, 測量技術も未熟であったため実際の土地に比べて形など整合しない欠点がある。この解消を図るため国土調査法に基づき事業を実施する。

2. 事業の概要

調査区域の一筆の土地ごとに所有者及び地番並びに地目の調査を実施し, 地籍簿の作成。さらに境界の測量を実施し, 縮尺500分の1の地籍図作成。

法務局に地籍簿・地籍図の写しを送付し, 法務局では登記事項の記載の変更を行うとともに, 新たに地籍図を備え付ける。葛城 地区 0.69K^m² 小野崎 地区 0.42K^m² 小野崎 地区 0.42K^m²

3. 事業の成果及び効果

地区名	面積	筆数	地権者数	地籍図	地籍簿
葛城 地区	0.72K ^m ²	760筆	311名	71枚	4冊

事業名： 共同溝維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	08	11	本年	35,463		1,124		36,587	35,469	96.9	
				前年	15,466		902		16,368	15,314	93.6	
				比較	19,997		222		20,219	20,155		

1. 事業の目的

学園地区内に整備されている共同溝の維持管理を行う。

2. 事業の概要

市中心部に設置されている共同溝の維持管理及び各占用企業者間の調整 (占用企業者 8者)

3. 事業の成果及び効果

共同溝の機能が保たれた。

事業名：センター広場・駅前広場維持管理に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	09	11	本年	36,154		6,500		29,654	26,318	88.8	
				前年	37,518				37,518	35,225	93.9	
				比較	1,364		6,500		7,864	8,907		

1. 事業の目的

各広場機能の維持及び環境の整備を図り、市民及びつくば市を訪れる人々に憩いと安らぎの空間を提供する。

2. 事業の概要

- (1) センター広場設備等保守管理及び施設の清掃、植栽等の維持管理業務委託
- (2) センター広場の平板舗装修繕及び設備修繕
- (3) TX各駅前広場設備等保守管理及び施設の清掃、植栽等の維持管理業務委託

3. 事業の成果及び効果

各広場施設の適正な維持管理、施設修繕等を行い快適な環境を提供した。

事業名：建築確認事務に要する経費

都市建設部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	10	11	本年	142,754	929	4,571		139,112	132,601	95.3	1,020
				前年	106,315		40,187		66,128	63,775	96.4	929
				比較	36,439	929	35,616		72,984	68,826		91

1. 事業の目的

建築基準法に規定する特定行政庁として、建築物の安全確保のため、完了検査率の向上、違反是正の強化等を推進し、建築規制の実効性を確保することにより、本格的な「都市発展期」に対応できるきめ細かな建築行政を推進する。

2. 事業の概要

- (1) 建築確認に関する事務
- (2) 計画変更確認に関する事務
- (3) 適合性判定機関に関する事務
- (4) 建築基準法許可等に関する事務
- (5) 完了検査に関する事務
- (6) 中間検査に関する事務
- (7) 長期優良住宅認定に関する事務
- (8) 中高層建築物協議に関する事務
- (9) 敷地認定に関する事務
- (10) 道路整備要綱事務に関する事務
- (11) 門塀等撤去補助事業に関する事務
- (12) 建設リサイクル法届出に関する事務
- (13) ひとにやさしいまちづくり条例届出に関する事務
- (14) バリアフリー法に関する事務
- (15) 省エネルギー法届出に関する事務
- (16) 証明書発行に関する事務
- (17) 写しの交付に関する事務
- (18) 定期報告(特殊建築物,昇降機,省エネルギー法)に関する事務
- (19) 木造住宅耐震診断事業(茨城県建築士会筑波支部に委託)に関する事務
- (20) パトロール(違反建築物調査,建設リサイクル法)に関する事務
- (21) 耐震改修促進計画に基づく耐震啓発事業
- (22) 建築基準法指定道路台帳図作成(平成20年,21年度継続事業)

3. 事業の成果及び効果

違反建築物調査パトロールの実施,お知らせはがきの送付により,市処分及び指定確認検査機関処分の物件を併せた市全体の中間検査実施検査率が91.14%(対前年比1%増),完了検査実施検査率が89.81%(対前年比1%増)となり,「中間・完了検査率の向上」及び「違反建築物対策」に関して一定の成果がみられた。

- (1) 建築確認件数 143件(内,計画通知64件)
- (2) 計画変更確認件数 19件(内,計画通知 6件)
- (3) 適合性判定機関取扱物件 9件
- (4) 建築基準法許可等件数 28件
- (5) 完了検査済件数 151件(内,計画通知68件)
- (6) 中間検査合格件数 18件
- (7) 長期優良住宅認定件数 244件

平成21年6月より「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行され,認定業務を行った。

- (8) 中高層建築物協議済件数 112件
- (9) 敷地認定件数 223件
- (10) 道路整備要綱事務件数 1,448件
- (11) 門塀等撤去補助事業 15件
- (12) 建設リサイクル法届出件数 366件
- (13) ひとにやさしいまちづくり条例届出件数 11件
- (14) バリアフリー法取扱件数 21件
- (15) 省エネルギー法届出件数 26件
- (16) 証明書発行 231件
- (17) 写しの交付 880件
- (18) 定期報告 特殊建築物 156件,昇降機 1,537件,省エネルギー法 26件
- (19) 木造住宅耐震診断事業(茨城県建築士会筑波支部に委託) 33戸実施
- (20) パトロール(違反建築物調査 4回実施,建設リサイクル法 2回実施)
- (21) 耐震改修促進計画に基づく耐震啓発事業

「つくば市耐震改修促進計画」に基づき,建築物の耐震化に関するパンフレットの配付や耐震実験用の建築物模型を作成して実演等を行い,住宅の耐震化に関する意識啓発を図った。

- (22) 建築基準法指定道路台帳図作成(平成20年,21年度継続事業)

建築基準法指定道路台帳図作成及び建築確認済76,000件の建築確認台帳と建築確認概要書のデジタル化等が完成した。

事業名： 建築審査会に要する経費

都市建設部 建築指導課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	10	12	本年	1,326			1,326	859	64.8	
			前年	852			852	531	62.3		
			比較	474			474	328			

1. 事業の目的

建築基準法に規定する同意や審査請求に対する裁決についての議決を行うため,建築基準法第78条の規定により設置された「建築審査会」を運営する。

2. 事業の概要

つくば市建築審査会(委員7名)の開催

3. 事業の成果及び効果

平成21年度 開催回数:5回(5月,9月,11月,1月,3月)

建築基準法による特定行政庁(つくば市長)の許可にあたり,建築審査会に対し,以下のとおり付議した。

【建築同意】 建築基準法第48条第1項ただし書(低層住居専用地域の建築物に関する許可) 2件

建築基準法第48条第6項ただし書(危険物の数量に関する許可) 2件
 【建築報告】 建築基準法第43条第1項ただし書(敷地等と道路との関係) 8件
 また、上記以外に、以下について報告を行った。

- (1) つくば市建築基準法第43条第1項ただし書許可における包括同意基準について
- (2) 全国建築審査会協議会からの「建議書」に関する報告
- (3) 研究教育施設地区計画の概要報告

事業名：ホテル等建築審議会に要する経費

都市建設部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	10	13	本年	483		352		131	72	55.0	
				前年			245		245	79	32.2	
				比較	483		597		114	7		

1. 事業の目的

つくば市ラブホテルの建築等規制条例の施行に関する重要事項を調査審議するため、つくば市ラブホテルの建築等規制条例第16条により設置した「つくば市ホテル等建築審議会」を運営する。

2. 事業の概要

つくば市ホテル等建築審議会(委員7名)の開催

3. 事業の成果及び効果

平成21年度 第1回審議会開催(2月)

- (1) つくば市ラブホテルの建築等規制条例施行の施行により、ラブホテルの建築等が制限され、市民の健全な生活環境の保全及び青少年の健全な育成が図られる。
- (2) 平成21年度ホテル等建築等確認申請の状況についての報告。

事業名：駐車場・駐輪場に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	11	11	本年	96,275				96,275	92,250	95.8	
				前年	83,906				83,906	82,134	97.9	
				比較	12,369				12,369	10,116		

1. 事業の目的

駐車場及び駐輪場の適正な管理を図り市民の円滑な利用を促す。

2. 事業の概要

- (1) つくばセンタービル地下駐車場の維持管理業務委託
- (2) 駐輪場施設管理及び施設清掃、設備保守点検等業務委託
- (3) 放置自転車等の防止指導及び撤去業務委託
- (4) 自転車駐車場整備工事

3. 事業の成果及び効果

施設の維持管理、自転車駐車場の整備を行い、TX各駅利用者の利便性向上とセンター地区の環境改善を図った。

自転車駐車場整備工事

つくば駅前広場自転車駐車場	96台
つくばセンター広場東1自転車駐車場	55台
つくばセンター広場東2自転車駐車場	44台
つくばさくら大橋南自転車駐車場	81台
研究学園駅西自転車駐車場(第2期)	164台

事業名：新線開発推進に要する経費

(市長公室 TXまちづくり推進課)
都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	12	11	本年	19,427	4,358	4,777		19,008	12,838	67.5	2,625
				前年	16,742	735	3,000		20,477	13,884	67.8	4,358
				比較	2,685	3,623	7,777		1,469	1,046		1,733

1. 事業の目的

(1) 駅前まちづくりセンター運営事業

つくばエクスプレスの開通に伴い、つくば市への来訪者に対して観光地や周辺施設等への目的地案内、沿線開発情報の提供などを主な目的とする。

(2) 沿線コミュニティ支援事業

TX沿線開発地区の旧住民側(まちづくり協議会等)が開催する新住民との交流イベントへの支援を通じ、地域コミュニティの形成を促進し、安心・安全な地域づくりへとつなげることを目的とする。

(3) まちづくりPR事業

TX沿線開発地区への新規住民を獲得するため、イベントへの協力やバスツアーの実施等を通して、市内への定住促進を図ることを目的とする。

(4) 「緑住農一体型住宅地」景観ガイドライン運用マニュアル作成事業

中根・金田台地区における「緑住農一体型住宅地」について景観緑地の管理組織のあり方を事例などから整理するとともに、質の高い街並み形成を維持するためのルールづくりに向けた作成案や運用方法のあり方などについて整理することを目的とする。

(5) 上河原崎・中西地区まちづくり支援事業

良好な住空間を有する緑住街区形成のため景観緑地の整備、維持及び制度化を実現することを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 駅前まちづくりセンター運営事業

研究学園駅前に駅前まちづくりセンターを設置して、市内の沿線開発事業、イベント・観光案内等の情報提供。

(2) 沿線コミュニティ支援事業

TXの各駅周辺の防犯団体・PTA・まちづくり協議会等の活動団体が実行委員会を立ち上げ、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅の各駅前において協働でイルミネーションツリーのライトアップの実施。

(3) まちづくりPR事業

つくばスタイル縁日2009でのPR

つくばの魅力を外に発信するため「つくばスタイル縁日2009 顔見せ縁日」において、茨城県、URと共同でつくばスタイルPRブースを出展し、つくばスタイルのPRを盛り込んだパンフレットと併せてTX沿線地区生活情報紙を配布し、市のPRを実施。

つくばにふれるバスツアー「つくば生活はじめませんか？」の開催

つくばの魅力をもっとPRするため、市外在住の方を対象にバスツアーを開催し、市内のTX沿線開発区域の見学や緑住農一体型住宅地の説明、市内の魅力あるスポットの紹介。

(4) 「緑住農一体型住宅地」景観ガイドライン運用マニュアル作成事業

緑住農一体型住宅地に係る管理組織の事例整理、景観協定作成に向けた勉強会開催及び協定案の作成、住民によるまちづくりルールの作成及び運用方法のあり方の整理。

(5) 上河原崎・中西地区まちづくり支援事業

地権者へ事業化に向けての情報提供、意識の共有及び組織化に向けた懇談会を開催し、つくば新集落の事業化に向けた整理。

3. 事業の成果及び効果

(1) 駅前まちづくりセンター運営事業

設置場所：研究学園駅改札口正面 つくば市苅間1229-2(研究学園D19街区1)

開設日時:毎週金・土・日 10:00～16:00

開設期間:平成21年9月30日まで

機能:市観光地や周辺施設等の目的地案内,土地区画整理事業の案内等

来所者数:2,842人(開設日数 78日) 1日平均約37人

対応内訳:沿線開発情報等 36.9%

目的地等案内 17.0%

その他 46.1%,

その他は,施設見学やコンビニ・飲食場所・喫煙所・トイレなどの問い合わせ等

(2) 沿線コミュニティ支援事業

実施期間:平成21年12月5日～平成22年2月5日

地域による清潔で明るいまちづくりの実現,地域全体の防犯意識の向上

駅周辺における犯罪の抑止

地域コミュニティ形成のきっかけの創出

(3) まちづくりPR事業

実施期間:顔見せ縁日 平成21年10月10日～11日

その場で縁日 平成21年10月10日～11月8日

つくばスタイル縁日2009でのPR

顔見せ縁日の2日間では,来場者が2万人を超え,多くの方々へパンフレット等を配布するなど,つくばスタイルのPRを効果的に行うことができた。

つくばにふれるバスツアー「つくば生活はじめませんか?」の開催

募集定員が30名のところ,4倍近い応募があり,また,ツアー当日の緑住農一体型住宅地の説明では,質問が多く出るなど,ツアー内容やつくばの新しいまちづくりに対する関心の高さが伺えた。

(4) 「緑住農一体型住宅地」景観ガイドライン運用マニュアル作成事業

緑住農一体型住宅地における景観緑地の管理組織の設立,景観協定の作成,まちづくりルールなどについて事例の整理や協定,ルールなどの案を作成し,勉強会を開催したことにより,地元理解,認識も深まり,新たなまちづくりの実現に向けて地元との共通認識を得ることができた。

(5) 上河原崎・中西地区まちづくり支援事業

景観緑地の維持管理組織と景観形成に関する整理

つくば新集落の事業化に向けた取組課題の整理

事業名:圏央道推進事業に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	13	11	本年	53		4,000		4,053	53	1.3	3,896
				前年	177			177	150	84.7		
				比較	124		4,000		3,876	97		3,896

1. 事業の目的

首都圏中央連絡自動車道整備について事業者と地元及び地権者との調整を図り,事業推進に努める。

2. 事業の概要

首都圏中央連絡自動車道に関する地元対策協議会との調整及び関係機関との調整

事業者 国土交通省(常総国道事務所)

地元対策協議会 5協議会

3. 事業の成果及び効果

平成22年4月につくば中央IC～つくばJCT区間が開通することとなり,開通記念イベントを開催する。

事業名：つくばエクスプレス関連土地区画整理事業に要する経費 (都市建設部 都市整備課)
都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
08	04	14	11	本年	1,050,512	101,272			1,151,784	850,650	73.9	301,127
				前年	1,005,727	82,610	53,600		1,141,937	1,040,647	91.1	101,272
				比較	44,785	18,662	53,600		9,847	189,997		199,855

1. 事業の目的

TX沿線開発の各土地区画整理事業者が行う都市計画道路の整備に対し、つくば市道の整備分に対する事業費の一部を、茨城県等との「覚書及び協定書」に基づき市が負担することにより、円滑な事業の推進を図る。

2. 事業の概要

県施行の島名・福田坪及び上河原崎・中西地区や都市再生機構施行の葛城、萱丸及び中根 金田台地区の土地区画整理事業の国庫補助事業費に対して、協定書等に基づく費用の一部負担。

3. 事業の成果及び効果

都市計画道路の市道分の整備に必要な事業費の一部負担を行い、事業が円滑に推進された。

事業名：つくばセンター地区再整備に要する経費 (市長公室 研学地区整備推進課)
都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
08	04	15	11	本年	1,403,566	224,400	114,977		1,512,989	815,231	53.9	696,968
				前年	1,318,475		295,227		1,023,248	794,264	77.6	224,400
				比較	85,091	224,400	180,250		489,741	20,964		472,568

1. 事業の目的

TXの開業に伴う駅前機能の充実や施設の老朽化等の諸問題を解決する為、円滑な交通処理機能に加え、賑わい機能や、施設の案内誘導機能を備えたセンター地区として、ユニバーサルデザイン対応にて再構築する事を目的とする。

2. 事業の概要

つくば駅前広場とセンター広場の連携をスムーズにし、ターミナル機能の強化及び施設の案内誘導などセンター街区全体の活気と魅力づくりの為の再整備事業。

(1) つくば駅前広場整備工事

(2) つくばセンター広場整備工事

3. 事業の成果及び効果

(1)つくば駅前広場整備工事:新バスターミナル築造工,送迎用一般駐車場築造工,
トイレ築造工,環境配慮工,サイン整備工

仮設バスターミナルから新設バスターミナル(バス乗降場・タクシー乗降場・公衆トイレ・大階段一部)への切替えがスムーズに完了し、ユニバーサルデザイン及び環境に配慮した誰にでも使いやすい新ターミナルの早期完成を目指す。

(2) つくばセンター広場整備工事:2FペDESTリアンデッキ改修工,サイン整備工7基,トイレ改修工

センター広場2FペDESTリアンデッキの経年劣化による段差及び破損を改修したことにより、利用者の利便性・安全性の向上が図れた。また、駅前広場と統一的な公共サインを設置したことにより、市民・来訪者に対して施設等への円滑な案内誘導を図ることができた。

22年度は、駅前広場・センター広場の早期完成を目指し、美しい街の玄関口を創り出していく。

事業名：住宅維持管理に要する経費

都市建設部 営繕・住宅課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	05	01	11	本年	167,145				167,145	164,739	98.6	
				前年	115,457				115,457	114,245	99.0	
				比較	51,688				51,688	50,494		
<p>1. 事業の目的 住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するための、市営住宅の修繕及び家賃徴収にかかわる事務。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 老朽化や自然劣化による住宅修繕 (2) 入居者の収入を調査し家賃決定のうえ徴収 (3) 入退去管理</p> <p>3. 事業の成果及び効果 住宅修繕 257件 入居者 42件 退去者 47件 収納額 現年度 188,686,840円 過年度 12,537,220円 緊急雇用対策 10,300円</p>												

事業名：住宅建設に要する経費

都市建設部 営繕・住宅課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	05	02	11	本年	317,485		68,700		248,785	247,196	99.4	
				前年	27,189		1,943		25,246	24,286	96.2	
				比較	290,296		66,757		223,539	222,910		
<p>1. 事業の目的 つくば市営住宅ストック総合活用計画により、耐用年数の過ぎた住宅の建替え、廃止、個別改善、全体改善、維持保全などの適切な手法選定の基準を定め、公営住宅ストックをより有効に活用していく。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 地上デジタル放送対応アンテナの設置(共聴アンテナ設置住宅7団地) (2) 老朽化した不良住宅のうち入居者が退居し、空き家となった小沢団地を解体撤去(1棟) (3) 地域住宅交付金の交付申請事務</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) アナログ放送の2011年7月終了をうけ、地上デジタル放送受信アンテナを設置し対応を図った。 (2) 地域住宅交付金の活用で市営大曾根住宅の整備、ひがし谷田川給水設備改善、TX沿線下水整備・道路整備・一般住宅環境整備補助への活用を図った。</p>												

事業名：消防総務に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	11	本年	31,664		156		31,820	30,531	95.9	
				前年	32,288				32,288	31,195	96.6	
				比較	624		156		468	664		

1. 事業の目的

消防活動、消防事務の円滑な推進と消防職員として、災害の実情に応じた質の高い消防防災能力を育成し、市民の生命・身体及び財産を守ることを使命とする消防責務の一層の向上を目指すもの。

2. 事業の概要

- (1) 各職種に応じた高度で専門的な知識と技術を修得させるとともに、使命感及び士気の高揚、規律の保持、協同精神の涵養並びに体力の維持向上を図ることを基本方針に、消防組織法に基づく実践的な研修教育訓練の実施。
- (2) 24時間の交代制勤務に必要な日用品及び消防で使用する共有消耗品等の購入を、年度3回の購入方式により調達を行った。

3. 事業の成果及び効果

(1) 研修職員 (38名)

研修教育先	科目	人員	研修教育先	科目	人員
消防庁消防大学校	新任消防長科	1名	県立消防学校	救助科	1名
救急救命東京研修所	救急救命士研修	1名	県立消防学校	中級幹部科	1名
救急救命九州研修所	救命士薬剤投与 研修	3名	同上	潜水講習会	1名
県立消防学校	初任科	5名	同上	操法指導者研修 会	1名
同上	新任消防長研修	1名	同上	薬剤投与研修会	1名
同上	特殊災害科	2名	同上	気管挿管再教育 講習	5名
同上	予防査察科	2名	安全運転中央研修所	緊急自動車運転 技能	2名
同上	火災調査科	1名	消防庁	惨事ストレス初 級研修	1名
同上	救急科	6名	茨城県公安委員会	安全運転管理者 研修	3名

- (2) 物品調達計画に基づき、年度3回の調達事務が効率的かつスムーズに執行でき、また、各所属の消耗品予算執行の明確化及び在庫管理の適正化が図られた。

事業名：予防広報業務に要する経費

消防本部 予防広報課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	12	本年	5,175				5,175	4,929	95.2	
				前年	5,105				5,105	4,770	93.4	
				比較	70				70	159		

1. 事業の目的

消防法を根拠とし、建築確認に対する同意、消防設備の設置指導検査、立入検査、危険物施設に対する許認可事務等を行い、市内の建築物や危険物施設が法令に基づいた秩序ある状態を確保し、もっ

て市民生活の安全を確保すること。

2. 事業の概要

- (1) 建築確認における建築主事に対する同意事務
- (2) 危険物施設の設置, 変更に対する許可, 検査事務
- (3) 防火対象物, 危険物施設に対する立入検査
- (4) 防火管理者, 防災管理者資格取得講習会の実施
- (5) 事業所等に対する防災指導
- (6) 火災予防PRイベントの開催
- (7) 消防音楽隊による火災予防PR

3. 事業の成果及び効果

【成果】

- (1) 消防同意件数 409件
- (2) 消防設備等検査済証交付件数 435件
- (3) 危険物施設設置, 変更許可件数 47件
- (4) 防火対象物の立入検査件数 417件 危険物施設の立入検査件数 400件
- (5) 防火管理者, 防災管理者の資格取得講習会 平成21年度中資格取得者 500名
- (6) 火災予防イベントを年度中4回開催し, 約3,000人に火災予防をPR
その他市内各事業所等, 自治会等における自衛消防訓練の指導出向件数 321件
- (7) 平成21年度中の消防音楽隊の出演イベント 11件

【効果】

上記事業の成果の通り, 消防行政の重要な要素である防火対象物や危険物施設の火災予防に大きな効果を発揮すると共に, 市民の防火防災意識の高揚を図り, 市民生活の安寧秩序の維持に大きな効果があった。

事業名： 警防業務に要する経費

消防本部 警防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	13	本年	27,850				27,850	26,087	93.7	
				前年	28,425				28,425	26,572	93.5	
				比較	575				575	485		

1. 事業の目的

消防法に定められている消防活動, 救急活動及び救助活動等の業務全般(警防業務)について人員, 施設を効果的に活用し, 併せて火災等の災害防除活動を円滑に実施することにより, 災害等から市民を守るという消防業務を遂行するため。

2. 事業の概要

- (1) つくば市, 常磐道及び圏央道(分担区域)に発生した火災等の災害(救急を含む。)出動
- (2) 消防活動を効果的に実施するための訓練, 演習等
- (3) 応急処置を市民に普及啓蒙するため救急講習
- (4) 茨城県緊急消防援助隊に登録された消火, 救助及び救急部隊の育成, 訓練への参加
- (5) 首都圏新都市鉄道株式会社事故対応訓練への参加

3. 事業の成果及び効果

- (1) 災害等出動状況(平成21年4月1日から平成22年3月31日)

種別	件数
火災	84
救急	6,776
救助	114
災害	178
合計	7,152

(2) つくば市総合防災訓練

平成21年9月27日筑波大学K25第3駐車場で、つくば市総合防災訓練を実施し、中央消防署及び北消防署が訓練に参加(参加・協力機関48団体)。

(3) 救命率の向上を図るため救急車が到着するまでの間、心肺停止患者に対する人工呼吸、心臓マッサージ及び日頃のケガ等に対する応急手当講習会を毎年開催。

救急講習実施状況(平成21年4月1日から平成22年3月31日)

種別	上級	普通		その他	合計
		一般	市職員		
件数	10	201	1	100	312
人員	187	3,652	36	3,077	6,952

その他は、上級及び普通講習の修了証を交付できない短時間講習

(4) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練

実施日:平成21年11月14日・15日(2日間)

訓練会場:千葉県美浜区幕張新都心内造成地

参加部隊:関東ブロック1都8県

茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 山梨, 長野, 静岡

緊急消防援助隊登録部隊1,128隊

福島県, 千葉県消防広域応援隊266部隊, 消防隊員967名

訓練概要:千葉県内での大規模地震発生を想定し、緊急消防援助隊運用要綱に基づく出動要請, 参集, 部隊配備等, 実践的な訓練を通して緊急消防援助隊相互の連携強化を図る。茨城県隊の一員として, 桜1号車及び中央資材搬送車が参加。

(5) 首都圏新都市鉄道株式会社事故対応訓練

実施日:平成21年11月20日

訓練会場:つくばみらい市筒戸 TX総合基地

参加機関:7団体

訓練概要:電車が線路内に落下していた障害物に接触し脱線停止したため, 乗客が多数負傷したとの想定を基に, 多数傷病者発生時の救助訓練を実施した。

南消防署の救助隊及び救急隊が参加。

事業名: 消防指令業務に要する経費

消防本部 消防指令課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	14	本年	34,933				34,933	33,937	97.1	
				前年	34,968				34,968	33,710	96.4	
				比較	35				35	227		

1. 事業の目的

市民の生命, 身体, 財産を火災から保護するとともに, 災害による被害を軽減し, 「安全で安心なまち」で市民が暮らせるよう消防通信体制の維持強化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 高機能消防指令センター施設及び関連機器並びに無線設備の機能を正常に運用させるために, 保守点検整備の定期的実施
- (2) 「119番の日」実施にともない, 地域住民へのPR活動
- (3) 119番ファックス登録者(聴覚・音声・言語障害者等)に対する, ファックス送受信通報訓練実施
- (4) 地図データ更新
5年間のリース契約により, 道路・住宅地図情報のシステムデータの更新

3. 事業の成果及び効果

- (1) 消防本部及び8署所の高機能消防指令センター施設及び関連機器並びに無線設備の保守点検整備を実施し, 正常な機器の運用が図られた。

< 119番着信件数 >

種 別	着信件数	119番通報内訳			その他の内訳			
		NTT	IP電話	携帯電話・PHS	緊急通報システム	高速道路・ガス専用線	加入一般・携帯電話	事故嗅覚・駆けつけ他
火 災	164	53	14	80	0	1	14	2
救 急	6,700	2,939	821	1,784	28	12	829	287
救 助	63	12	2	27	0	3	19	0
災 害	214	32	9	80	4	1	63	25
病院案内	771	304	121	333	0	0	0	13
まちがい	825	363	70	379	0	0	0	13
同 報	201	70	24	101	0	0	0	6
問い合わせ	1,344	586	188	542	0	0	1	27
その他	1,344	994	68	223	0	3	4	52
計	11,626	5,353	1,317	3,549	32	20	930	425

< 消防無線の配置状況 >

	消防本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荃崎分署	計
車載無線機	2	13	3	3	3	5	4	5	3	41
携帯無線機	4	10	3	3	4	6	4	6	3	43
計	6	23	6	6	7	11	8	11	6	84

- (2) 「119番の日」として、地域住民に消防に対する理解と認識を深めるために、「11月9日は「119番の日」です・119番通報は正確に伝えよう」の横断幕を消防本部西側(国道408号線)歩道橋南側に掲示するとともに、つくば市ホームページへも掲載し、PR活動を実施した。
- (3) 119番ファックス登録者(聴覚・音声・言語障害者等)37名に対し、ファックス送受信通報訓練を実施した。この訓練の実施により、火災・救急等発生時の119番ファックス通報に備えることができる。
- (4) 最新の地図データ更新により、現場到着までの時間短縮が図られ、初動体制が強化された。

事業名： 運営事業に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行率(%)	次年度繰越額
09	01	02	11	本年	167,607		4,728		162,879	155,263	95.3
			前年	169,870		6,504		163,366	159,519	97.6	
			比較	2,263		1,776		487	4,256		

1. 事業の目的

消防団の運営・消防団員の強固な消防精神を養成し、厳正な規律と旺盛な士気のもとに教育訓練を行い、消防技術の向上と技能の高度化に努め、消防体制を強化するものです。

2. 事業の概要

- (1) 消防ポンプ操法県南北部地区大会(つくば市と石岡市の共同開催)
- (2) つくば市消防団員訓練 「3年未満団員規律訓練」
「幹部規律訓練」(班長以上)
「消防ポンプ操法訓練」(約半年間)
- (3) つくば市消防団秋季点検 (全国火災予防週間において各支団毎に実施)
- (4) つくば市消防団出初式 (毎年1月第2日曜日に実施)
- (5) つくば市消防団夜警警戒 (12月～2月に実施)

3. 事業の成果及び効果

第60回茨城県消防ポンプ操法県南北部地区大会(平成21年10月18日つくば市において実施)
団員歴3年未満の者については、入団から3年連続規律訓練を実施することにより、消防の基礎となる

訓練礼式を習得させ、消防団としての伝達命令等の一元化が図られた。

消防操法訓練は、消火活動の基本訓練であり、この訓練において分団の組織強化が図れるとともに、有事の際における円滑な消防体制の確立を図ることができる。

(市民生活部 生活安全課
環境生活部 生活安全課)

事業名：総合防災訓練に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	12	本年	1,835				1,835	1,376	75.0	
				前年	1,844				1,844	1,431	77.6	
				比較	9				9	55		

1. 事業の目的

地震による被害発生を想定した総合防災訓練を実施することにより、防災活動の習熟及び関係機関相互の協力体制を強化するとともに、市民の防災に対する理解と意識の高揚を図る。

2. 事業の概要

各種訓練(初動対応・災害対策本部設置, 住民広報, 交通規制・交通整理, 避難誘導, 被害情報収集, 被害情報把握, 拠点救護所設置, 応急救護・応急医療, 給食・給水, 緊急物資搬送, ガス復旧, 電力復旧, 電話復旧, 高圧ガス・危険物災害, 初期消火, 総合消防演習(救出・救助, 消火))の実施

3. 事業の成果及び効果

関係機関等と緊密な連携及び市民の参加のもと、すべての訓練が沈着かつ迅速に行われ、当初の訓練目的を達成することができた。

- (1) 実施日 平成21年9月27日(日)
- (2) 場所 国立学校法人 筑波大学 K25第3ゲート駐車場内
- (3) 参加団体 48団体
- (4) 参加者数 487人 見学者を含めると約700名

(市民生活部 生活安全課
環境生活部 生活安全課)

事業名：地域防災計画に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	13	本年	16,889		1,250		15,639	14,599	93.3	
				前年	17,400		871		16,529	15,779	95.5	
				比較	511		379		890	1,180		

1. 事業の目的

地域防災計画に基づき、市民の生命と財産を災害から守るため、平常時の準備態勢を整備する。

2. 事業の概要

- (1) 災害用備蓄品の購入
- (2) 防災行政無線移設工事
- (3) 防災関連施設の維持管理

3. 事業の成果及び効果

- (1) 災害用備蓄品
 - 飲料水 70箱(500ml・24本入り)
 - クラッカー 20缶(35食入り)
 - アルファ米 20箱(50食入り)
 - 高圧加工米飯セット 15箱(30食入り)
 - 発電機 2台
- (2) 防災行政無線移設工事

新庁舎建設に伴い、荳崎庁舎に備えてあった防災行政無線の基地局(親局)を近隣施設の荳崎公民館に無線機器・外部アンテナ及び受信機(子局)の移設

事業名：国民保護に要する経費

(市民生活部 生活安全課
環境生活部 生活安全課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	14	本年	110		4,657		4,767	9	0.2	4,657
				前年	137				137	36	26.3	
				比較	27		4,657		4,630	27		4,657

1. 事業の目的

国民保護計画に基づき、武力攻撃事態等における情報の伝達を確立する。

2. 事業の概要

国民保護計画に基づく伝達訓練の実施(国・県並びに職員)において、国の全国瞬時警報システム(J-ALERT)の整備する。

3. 事業の成果及び効果

システムの整備により市から市民に的確かつ迅速に情報を伝達することができる。

事業名：常備消防施設に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	11	本年	85,916		10,732		96,648	73,416	76.0	17,079
				前年	106,482		2,927		109,409	105,194	96.1	
				比較	20,566		7,805		12,761	31,778		17,079

1. 事業の目的

防災拠点となる消防庁舎の計画的整備促進及び、施設・設備の機能保全と消防庁舎としての性格を見据えた執務機能の充実を確保するもの

2. 事業の概要

- (1) 消防庁舎8庁舎の職場環境保全として、床・窓清掃、空調、給水設備、電気工作物、浄化槽点検委託
- (2) 建物、設備等の修繕及び機能強化に係る業務
筑波・荳崎・豊里・指令課エアコン設備交換工事
- (3) 消防事務連絡車(バイク含む)21台の維持管理として、車検整備、修理整備の実施
- (4) 消防庁舎等建設償還事業(訓練塔・南消防署庁舎)

3. 事業の成果及び効果

- (1) 庁舎、設備の維持管理委託により、効率的で快適な職場環境を保つことができた。

	本部 中央	北 防署署	南 消防署	豊里 分署	桜 分署	筑波 分署	荳崎 分署	並木 分署
床・窓清掃	年2回	年2回	2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回
空調設備点検	年4回	年4回	4回	年4回	年4回	年4回	年4回	年4回
給水設備点検	月1回	月1回	月1回	月1回	なし	なし	なし	月1回
電気工作物点検	隔月1回	隔月1回	隔月1回	月1回	なし	なし	なし	月1回
浄化槽点検	なし	なし	なし	月1回	なし	月1回	なし	なし

- (2) 筑波・荳崎・豊里分署及び指令課のエアコン設備交換工事を施工し、職場環境の保全を図った。また、庁舎の維持を図るための各種修繕を施工したことにより、庁舎施設の維持、機能強化が図れた。
- (3) 車検整備車両7台、及び各種修繕を実施し、公用車の安全運行が確保された。また、業務出向及び研修先への円滑・適正な公用車の利用が図られた。

事業名：常備消防車両に要する経費

消防本部 警防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	12	本年	71,922		27,957		99,879	98,370	98.5	
				前年	55,536		2,603		52,933	51,581	97.4	
				比較	16,386		30,560		46,946	46,789		
<p>1. 事業の目的 消防法に定められている目的遂行に必要な消防活動、救急活動及び救助活動等の業務全般(警防業務)を実施するために必要な消防自動車、救急自動車等の装備強化、更新及び維持管理を実施する事業である。</p> <p>2. 事業の概要 市民ニーズ及び各種災害の多様化に対応するため、車両の更新等を年次計画に基づき実施し、装備の充実強化を図る。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 北消防署へ災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を配備(国補助事業) 最新の排ガス規制に適合した5トン車級四輪駆動の消防専用シャシにA-2高圧二段バランスタービンポンプと1,500リットルの水槽を装備した車両に更新し、緊急消防援助隊消火部隊車両として登録。 (2) 豊里分署へ高規格救急自動車を配備(地域活性化・経済危機対策交付金事業) 豊里分署配備の2B型救急車が老朽化したため、救急救命士が取り扱う高度救命処置用資機材を整備し、高度な救命処置を市民に提供するため高規格救急自動車に更新配備。 (3) 緊急車両の維持管理 緊急自動車の定期的な点検及び日常の点検を継続的に実施し車両の故障・摩耗等による不具合を早期に発見し対応することにより、消防業務における緊急車両運行の安全を確保。</p>												

事業名：非常備消防施設に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	13	本年	104,421		12,700		91,721	90,418	98.6	
				前年	83,508		8,100		75,408	72,932	96.7	
				比較	20,913		4,600		16,313	17,486		
<p>1. 事業の目的 消防組織法及び消防力の基準に基づく市町村計画により、消防水利を計画的に整備し地域における市民の生命財産を守ることに寄与する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 消火栓新設及び補修 (2) 防火水槽新設及び補修</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 消火栓新設・改良(12基) (2) 消火栓修繕(20箇所) (3) 防火水槽新設工事(耐震性40㎡型・8基) (4) 消防用施設補修等工事(火の見補修:3箇所, 詰所補修:4箇所, 防火水槽撤去:6基)</p>												

事業名：非常備消防車両に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	14	本年	55,923		2,070		53,853	51,828	96.2	
				前年	32,137			891	33,028	30,731	93.0	
				比較	23,786		2,070	891	20,825	21,097		
<p>1. 事業の目的 つくば市消防団に配備している消防車両及び消防指令車について、円滑な活動を行うため常時点検整備を行い有事に備える。</p> <p>2. 事業の概要 消防車両及び消防指令車の維持管理 (1) 消防ポンプ自動車 52台 (水槽付ポンプ自動車8台 ポンプ自動車44台) (2) 可搬ポンプ積載車 27台 (3) 可搬ポンプ 1台 (4) 消防指令車 7台 (5) 消防連絡車 1台 (6) ワゴン型貨物車 1台 上記車両の点検整備並びに、車両の更新。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) ポンプ自動車等の車検整備 41台 (2) ポンプ自動車購入(CD-1型) 2台 (3) 消防指令車購入 1台</p>												

事業名：水防訓練に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	04	11	本年	2,823				2,823	2,682	95.0	
				前年	2,845				2,845	2,731	96.0	
				比較	22				22	49		
<p>1. 事業の目的 出水期における河川の氾濫や洪水に備え、水防資機材の備蓄・水防体制の充実強化を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 小貝川沿岸5市町で構成される「鬼怒・小貝水防連合体」による水防訓練を、年1回市町持ち回りで開催し有事に備える。(つくば市・常総市・下妻市・八千代町・つくばみらい市) (2) 水防法第3条の規程により、市町村の水防責任を果たすべく、県南水防事務組合への負担金納入。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 (1) 平成21年7月5日に常総市が開催当番となり、第50回鬼怒・小貝水防訓練が実施された。 この訓練は、出水期における河川の氾濫や洪水を想定し、様々な水防工法を施しながら水防工法の技術習得を図るとともに、地域住民の方々に防災意識の高揚を促すものである。 (2) 平成21年8月23日に龍ヶ崎市において水防訓練を実施した。 利根川水系県南水防組合は、牛久沼沿岸の「つくば市・取手市・龍ヶ崎市・牛久市・つくばみらい市」の5市で構成され、毎年1回水防訓練を実施し、水防工法の技術習得に努めている。</p>												

事業名：教育委員会に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	01	11	本年	3,729				3,729	3,437	92.2	
				前年	3,785				3,785	3,594	95.0	
				比較	56				56	157		
<p>1. 事業の目的 教育委員会の会議等に関わる事務を行う。</p> <p>2. 事業の概要 教育委員会の会議等に関わる事務 教育委員5名(教育長を含む。)</p> <p>3. 事業の成果及び効果 毎月の定例会を12回及び臨時会を2回開催した。 毎月定例会及び必要に応じ臨時会を開催し、教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針や教育委員会規則、規程等の制定を行った。 議案54件を審議する他、教育行政全般についてその権限に属する事務を行った。</p>												

事業名：奨学資金に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	11	本年	2,252				2,252	2,242	99.6	
				前年	2,252		1,620		632	630	99.7	
				比較			1,620		1,620	1,612		
<p>1. 事業の目的 高等学校に在学する者で経済的理由で修学が困難であると認められるものに対して奨学金を支給し、教育の機会均等を図り、有用な人材育成を図る。</p> <p>2. 事業の概要 奨学金の支給決定に際し、年1回、つくば市奨学生選考委員会の開催。 奨学金の支給が決定された者(つくば市奨学生)に対し、高等学校在学中の正規の在学期間に、月額9,000円を支給。 つくば市奨学生選考委員会(年1回開催) 選考委員の構成・・・議会推薦者2名、学校代表者6名、民生委員6名、市職員1名 つくば市奨学生 20人</p> <p>3. 事業の成果及び効果 奨学金支給額20人に月額9,000円、総額で2,160,000円を支給。(内訳20人×12月×9,000円)</p>												

事業名：英語指導助手に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	12	本年	60,300		4,280		56,020	55,463	99.0	
				前年	50,780		1,000		49,780	49,189	98.8	
				比較	9,520		3,280		6,240	6,274		
<p>1. 事業の目的 外国人による英語教育を通して、児童・生徒の語学力の向上と広い視野を培うことにより、国際理解教育を推進し、実践的コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>2. 事業の概要 15人の英語指導助手を雇用して、市内の幼稚園、小学校、中学校を訪問し、英語教育、国際理解教育の推進。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

子どもたちが、生きた英語や外国の文化に接し、体験することで、外国語に親しみながら、外国語教育を受け入れる環境を提供することができた。また、国際理解教育を推進し、コミュニケーション能力の向上が図れた。

英語指導助手訪問回数(平均)

幼稚園 1園 × 3日 × 17園

小学校 1校 × 35日 × 37校

中学校 1校 × 185日 × 14校

事業名：教育施設維持管理に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	13	本年	2,987	29,925			32,912	32,624	99.1	
				前年	48,438		2,728		45,710	15,241	33.3	29,925
				比較	45,451	29,925	2,728		12,798	17,383		29,925

1. 事業の目的

教育施設管理に必要な事務経費等を支出する。また、事業をまたがる経費を計上することにより、事務の円滑化を図る。

2. 事業の概要

- (1) 教育施設維持管理
旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料等
- (2) (仮称)春日小中学校基本設計
委託料(前年度より繰越)
- (3) 小学校5校の芝管理委託

3. 事業の成果及び効果

- (1) 教育施設維持管理を行うための一般事務必要経費の支出
- (2) 平成24年度の(仮称)春日小中学校開校に向けて基本設計業務を委託することができた。

事業名：公用車管理に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	14	本年	6,185		1,068		5,117	4,944	96.6	
				前年	7,119		1,811		5,308	4,877	91.9	
				比較	934		743		191	67		

1. 事業の目的

市内幼稚園、小中学校が行う園外保育・校外学習等の事業を円滑に実施するため、学校教育専用バス(大型2台)の運転業務を委託し、適正管理を図る。

2. 事業の概要

- (1) 学校教育用バス2台の運転業務委託
- (2) 教育長専用の公用車の賃借

3. 事業の成果及び効果

市内幼小中学校が行う園外保育や校外学習等体験活動を行う機会を提供し、児童生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図るために、学校教育専用バスの運転業務を委託し、適正管理に努めた。

- (1) 学校教育用バス2台の運転業務委託
稼働日数 : 50人乗り 138日
55人乗り 157日
- (2) 教育長専用の公用車の賃借料
60,375円 × 12月 = 724,500円

事業名：情報教育振興に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	15	本年	19,033				19,033	18,282	96.1	
				前年	18,141				18,141	17,358	95.7	
				比較	892				892	924		

1. 事業の目的

小中学校における学力向上のためのICT教育の振興を図ることを目的とし、指導者の育成、全教員のITリテラシー、授業での利用促進支援などを行う。

2. 事業の概要

- (1) ICT研修を充実させ、授業支援体制(ICT巡回支援業務)を整え、各小中学校で、学力向上のための道具としてICT機器が効果的に活用できるようにする。
- (2) 教育用ポータルサイト作成業務を委託してホームページの作成管理やヘルプデスク(学校からの問い合わせに対応するシステム)を行う。
- (3) デジタルコンテンツを市内小中学校51校全校で活用するとともに、学力向上とデジタルコンテンツ活用との関係を研究する。

3. 事業の成果及び効果

- (1) ICT巡回支援委託では、各学校からの要請にもすぐに対応し、授業でのICT活用を図ることができた。
- (2) ポータルサイト作成委託では、全校のホームページ、学習ポータルサイトを充実させることができた。
- (3) つくば市小中学校のホームページは「いばらきデジタルコンテンツ大賞」や全国規模のパソコンコンテスト「マイタウンマップコンクール」で入賞するなど全国的にもトップの水準に達している。

事業名：学校教育活動支援・助成に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	16	本年	24,774		600		24,174	23,267	96.2	
				前年	22,754		2,000	194	20,560	19,718	95.9	
				比較	2,020		1,400	194	3,614	3,549		

1. 事業の目的

児童生徒及び教職員の活動を積極的に支援することにより、児童生徒の健全な育成並びに、教職員の資質の向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 支援事情

総合的な学習の中で、多様な芸術・文化に直接、観たり、触れたりすることで、子どもたちの学び力、生きる力を育むことを目指す。…講師謝礼、演劇・音楽鑑賞等の視聴覚事業の支援、こころの劇場を開催するための送迎支援。

(2) 助成事業

文化・体育活動、教職員の研修・研究、不登校対策等に対し補助を行い、児童生徒の健全育成のため教育環境の充実。

3. 事業の成果及び効果

小中学校の子どもたちの健全育成と教職員及び、PTAの資質の向上が図れた。

助成事業

- | | | | |
|----------------------|------------|------------------|------------|
| (1) 教職員研修費補助金 | 2,961,000円 | (6) 教育研究会補助金 | 2,669,531円 |
| (2) 市中学校体育連盟補助金 | 3,000,000円 | (7) 市小学校体育連盟補助金 | 995,233円 |
| (3) 全国大会等出場補助金 | 3,477,885円 | (8) こころの劇場開催送迎支援 | 1,711,500円 |
| (4) 視覚障害者のための講座開催補助金 | 200,000円 | (9) 市PTA連絡協議会補助金 | 394,325円 |
| (5) 不登校児童生徒教室運営支援補助金 | 1,486,000円 | | |

事業名：指導主事・社会教育主事に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	17	本年	97,301				97,301	95,561	98.2	
				前年	89,219			500	89,719	86,351	96.2	
				比較	8,082			500	7,582	9,210		
<p>1. 事業の目的 新しい時代をたくましく生きる力を育てる創意ある学校(幼稚園)づくりを目標に、幼稚園・小中学校の指導を行うことを目的とする。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 指導課内に指導主事を配置 (2) 指導課内に社会教育主事を配置 (3) 教育相談センターに指導主事を配置 (4) 学校指導訪問 (5) 研修講座</p> <p>3. 事業の成果及び効果 学校訪問・研修講座・相談活動を通して、学校経営や教育課程等に係わる指導や助言を継続し実施したことにより学力面では県平均を大きく上回り、生活面においても問題行動等は少ない状況にあった。相談事業についても専門的で高度な支援ができたことで、問題の未然防止、早期発見、早期対応が図れた。 各学校や幼稚園への指導助言等を組織的・効果的に推進することにより、つくば市の学校教育のより一層の充実と教職員の資質の向上が図れた。 (1) 指導課内に指導主事7人を配置し、市内小中学校の総括を行い、各学校の教育目標の達成と教育力の向上に向けて指導助言を行うとともに学校教職員の資質向上を目指し各種研修講座を実施した。 (2) 社会教育主事1人を指導課内に配置し、学校と地域社会との連携を図り、児童生徒の学校外の社会教育活動の推進を図った。 (3) 教育相談センターに指導主事2人を配置し、不登校やいじめ等に悩む子どもや保護者・教員等に対して電話相談・面接相談・学校訪問相談を実施し、不登校の児童生徒が学校に復帰するための適応指導教室を開催した。 (4) 学校指導訪問 計画指導訪問, 要請指導訪問, 生徒指導訪問, 特別支援教育指導訪問, 指定校指導訪問等 年間358回 (5) 研修講座 管理職研修・学習指導法指導研修・ICT研修・特別支援研修・英語活動研修・日本語指導研修等 48研修講座</p>												

事業名：つくば市教育相談センター運営に要する経費

教育委員会 教育相談センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	18	本年	30,557		1,035		31,592	30,538	96.7	
				前年	31,324				31,324	29,886	95.4	
				比較	767		1,035		268	652		
<p>1. 事業の目的 つくば市における教育上の諸問題に対する相談・指導・助言等</p> <p>2. 事業の概要 (1) 教育相談 指導主事2名(常勤), 相談員9名(非常勤)・研修生1名(常勤)により相談・指導・助言等を行うとともに、適応指導教室「つくしの広場」通級生に対する援助・指導等。</p>												

(2) スクールカウンセラー

県配置事業により市内14中学校と2小学校，市独自事業により市内2小学校にスクールカウンセラーを各1名配置し，生徒・保護者・教諭等に対する相談・指導・援助等。

(3) スクールサポーター

市内14中学校にスクールサポーターを各2名配置し，学校内で苦戦をしている生徒への援助・支援。

(4) スクールライフサポーター(平成21年度より開始)

県の委託事業として市内3小学校に各1名ずつ配置。

3. 事業の成果及び効果

相談等の状況

(1) 教育相談

相談件数(延べ) 2,001件，電話相談 93件

(2) スクールカウンセラー

県配置 16校，市配置 2校，相談者数 361名，相談回数(延べ) 825回

(3) スクールサポーター

全中学校に各2名配置，年間450時間勤務

授業中の支援や給食中・清掃中の支援・援助を行った。

(4) スクールライフサポーター

県配置 3校，年間345時間勤務

学校内で苦戦している子供達の話し相手になったり，遊び相手になったりして支援を行った。

(5) 適応指導教室

通級者数 20名，「つくしの広場」通級人数(延べ) 885名

児童・生徒の心の安定と保護者及び教師の精神的負担の軽減・教育相談の充実と学校生活適応への支援が図られた。また，児童・生徒の情緒不安や不登校の解消に寄与した。

事業名：学校災害賠償保険に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	19	本年	6,174			6,174	6,043	97.9	
			前年	5,997		45	6,042	6,041	100.0		
			比較	177		45	132	2			

1. 事業の目的

(1) 市が，園児・児童・生徒または第三者に対し学校施設の構造上欠陥や管理上の不備による事故あるいは学校業務を遂行中に不注意による事故に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を保険金により補填する。

(2) 偶発の事故により学校施設の物件に傷害が生じたときその損害を補填する。

2. 事業の概要

(1) 学校災害賠償補償保険

学校施設の構造上の欠陥や管理上の不備による事故あるいは学校業務を遂行中に不注意による事故に起因して，児童生徒または第三者が身体を害したまたは財物の損壊を被ったことにより，市が法律上の賠償責任が生じることによって被る損害を補填。

(2) 建物総合損害共済

学校施設の物件が，偶発の事故(災害等)による損害が生じたとき，その損害を補填。

幼稚園18園 現幼稚園，真瀬幼稚園(休園)

小学校38校 現小学校，旧大形小学校(廃校)

沼崎幼稚園及び筑波第一小学校については，教育財産から普通財産へ所管替えしたため，平成21年10月1日更新時に削除。(管財課で新規加入)

中学校14校

吾妻教職員住宅

学校バス車庫 (谷田部車庫)

損害賠償保険等の加入事務及び保険金請求事務

3. 事業の成果及び効果

保険加入事務及び保険金請求事務を適切に処理した。

保険金請求

落雷・火災等による災害(校舎・体育館等の火災受信機の故障, 園舎の損傷)

高山中学校, 二の宮小学校, 二の宮幼稚園保険加入事務及び保険金請求事務を適切に処理した。

事業名: 学校, 幼稚園公用車管理に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	02	20	本年	363				363	363	100.0	
				前年	363				363	363	100.0	
				比較								

1. 事業の目的

学務課及び幼稚園で使用する公用車を管理する。

2. 事業の概要

学務課管理の公用車3台(岩崎幼稚園1台, 学務課2台)の点検・整備・修理等の管理

3. 事業の成果及び効果

定期点検を全車両実施し, 車両の整備を行った。

事業名: 学校ボランティア活動に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	02	21	本年	1,072				1,072	657	61.3	
				前年	900			149	1,049	796	75.9	
				比較	172			149	23	139		

1. 事業の目的

教育支援ボランティアの活動を支援し, 教育環境の充実を図る。

2. 事業の概要

- (1) ボランティア保険の加入登録手続き(1,206人)
- (2) 日本語ボランティア活動消耗品(教材等)支給
- (3) 困難なボランティア活動に対する謝礼・旅費支払
- (4) ゲストティーチャープロジェクトの企画, 謝礼の支払

3. 事業の成果及び効果

様々なボランティア活動を実施し, 教育環境の充実が図られた。

【主な活動内容】

- (1) 図書(本の整理・移動, カバーかけ, 入れ替え, 修繕, 貸出しの手伝い等)
- (2) 本の読み聞かせ(小学生)
- (3) 交通・防犯(通学路で立哨指導, 防犯パトロール等)
- (4) 日本語(外国人, 帰国子女に日本語支援)
- (5) 児童引率(社会科見学, 生活科地域探検等)
- (6) 環境整備(樹木の管理, 除草作業等)
- (7) 英語(外国人や海外経験者が英会話を指導)
- (8) クラブ活動補助(経験者・大学生が野球・サッカー等の指導)
- (9) 学習支援(教員志願の大学生等が学習指導支援)
- (10) ゲストティチャー(つくばFC)

事業名：少人数指導非常勤講師配置事業に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	22	本年	26,681		2,354		29,035	28,655	98.7	
				前年	26,681		3,143		23,538	23,330	99.1	
				比較			5,497		5,497	5,325		
<p>1. 事業の目的</p> <p>県による少人数指導加配等の非常勤講師が配置されない小中学校に対し、市費負担による非常勤講師を独自に配置することにより、より多くの小中学校においてチーム・ティーチングによるきめ細かな学習指導方法を導入する。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>県による少人数指導加配等の非常勤講師の配置対象とならない小中学校に対し、チーム・ティーチングのための非常勤講師の雇用。</p> <p>本事業は、県によるTT特別配置事業費補助金の対象となっており、各非常勤講師の雇用に係る経費の2分の1に相当する補助金の交付を受けている。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p> <p>対象となる学級に対して教員2名体制で授業を行うことができるため、児童・生徒ひとりひとりにきめ細かな指導を実践することが可能となっている。</p> <p>平成21年度は計16校に市費負担の非常勤講師を1名ずつ配置し、各講師が週29時間以内(年間1,015時間以内)を基本として、チーム・ティーチングによる授業を実施した。</p>												

事業名：特別支援教育支援員配置事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	23	本年	28,946				28,946	26,850	92.8	
				前年	27,927				27,927	26,489	94.9	
				比較	1,019				1,019	361		
<p>1. 事業の目的</p> <p>学校生活上自立や集団参加が困難と認められる児童生徒が在籍する小学校または中学校において、学校の円滑な運営を図るため特別教育支援員を配置する。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>障害のある児童生徒が在籍する学校から申請を受け、申請書や学校指導訪問や巡回相談などを勘案して教育支援員を配置して、学校運営の改善を図る。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p> <p>学級等を担任する教員の負担が軽減され、児童生徒の安全確保及び学級の運営の改善が図られた。</p> <p>教育支援員の配置:23校に54人配置</p>												

事業名：学校管理に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	24	本年	2,253				2,253	2,110	93.7	
				前年	2,437				2,437	2,280	93.6	
				比較	184				184	170		
<p>1. 事業の目的</p> <p>システムにより就学に関する事務を迅速かつ正確に遂行する。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>旅費、消耗品一式購入、就学申立書印刷、就学事務電算処理委託、教科書集計システムパソコン賃借料、就学援助事務電算処理委託</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

システム使用により事務の正確化が図れ、また、作業時間の短縮など事務の効率化にもつながった。

事業名：教育総務に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	02	25	本年	15,907		590		15,317	14,656	95.7	
				前年	15,657		138		15,795	14,547	92.1	
				比較	250		728		478	109		

1. 事業の目的

職員の人事管理その他、他の課の事業に属さない事務局全般に関する事務を行う。

2. 事業の概要

職員研修、人権教育関係研修、社会科副読本及びつくばの教育概要の編集印刷、教育委員会関係事務機器の管理その他事業。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 職員研修、人権教育関係研修、社会科副読本及びつくばの教育概要印刷製本、教育委員会関係事務機器の管理その他の事務について適切に処理した。
- (2) 今年度はつくば市教育行政懇談会を3回開催し、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、学識経験者(懇談会委員3名)の知見の活用を図りながら、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表した。

事業名：学区審議会に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	02	26	本年	812		812					
				前年	1,015	3,045			4,060	3,684	90.7	
				比較	203	3,045	812		4,060	3,684		

1. 事業の目的

通学区域についての審議を行うことにより、小学校及び中学校の義務教育について、その適正な規模の学校と教育内容を保護し、これによって教育の機会均等とその水準の維持向上を図る。

2. 事業の概要

平成21年度は、通学区域についての審議案件がなかったため、学区審議会の開催はなかった。

3. 事業の成果及び効果

事業名：学校教育研究支援事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	02	27	本年	1,878				1,878	1,481	78.9	
				前年	2,798				2,798	2,367	84.6	
				比較	920				920	886		

1. 事業の目的

学習指導法の研究開発及びその普及を図ることで、教職員一人一人の資質を向上させることができる。

県補助金により原子力・エネルギー教育に関する教材を購入し、小中学校の授業の充実を図る。

2. 事業の概要

- (1) つくば市教育委員会により、教育研究のモデル校として教育研究校の指定をし、指導法や教材の研究開発を図るとともに発表会の開催
- (2) 教育委員会主催の各種研修講座に専門家の招聘や視察研修

(3) 茨城県原子力・エネルギー教育支援事業補助金の交付を受けて、エネルギー教育教材を購入
小中学校の理科や総合的な学習の時間等に活用

(4) 授業への利用と児童生徒の興味・関心を高めるため、太陽光発電機の購入

3. 事業の成果及び効果

(1) 教育研究校として5校を指定し、各教科・領域にわたり指導法の研究を行い研究開発を図るとともに発表会を開催し、市内教職員の資質の向上を図った。

(2) 購入した太陽光発電機を3つの小中学校に配布し、授業で活用したことで、環境教育に効果をあげた。

事業名：英語活動等国際理解活動推進事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	28	本年	2,304				2,304	1,465	63.6	
				前年	2,832				2,832	2,351	83.0	
				比較	528				528	886		

1. 事業の目的

AETや地域人材等の効果的な活用を含めた実践的な取組を推進し、小学校における英語活動等国際理解教育について指導方法の確立を図る。

2. 事業の概要

各小学校の計画により、AETや地域の外国人等を活用した国際理解集会を開き、児童が体験的な学習を行い、興味をもって外国語に触れたり外国の生活・文化に慣れ親しみながら異文化理解を促進できるようにする。各小学校での実践終了後には、その成果を『小学校外国語活動資料(「Motivation Mood Makers for English Classes ver.12」)』に掲載し、各小学校の実践について情報を共有する。

3. 事業の成果及び効果

「音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うこと」を目的に取り組んできた。

今後も、教員の指導力の向上

効果的な指導方法の工夫改善について

AETや地域人材の効果的な活用について

児童の興味関心等、学習状況の変容の把握について

中学校との連携について

ICTの効果的な活用について

以上6点について組織的・計画的な取組が必要である。

事業名：キャリア教育に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	29	本年	4,475		1,455		3,020	2,910	96.4	
				前年	5,140				5,140	5,103	99.3	
				比較	665		1,455		2,120	2,193		

1. 事業の目的

市内小中学校の児童生徒を対象に、将来社会人となるために必要な職業観・仕事観を養うため、職場見学・体験やビジネス体験を通して、キャリア教育を推進する。

2. 事業の概要

(1) 全小学校を対象に、つくばオリジナル教材「キャリアパスポート」を使用した研修会を実施し、学校・地域・企業が連携したキャリア教育について理解を深め、授業実践に生かした。

(2) 「キャリアパスポート」のデータを電子化し、各小中学校がダウンロードして、教材として利用できる

ようにした。

- (3) 中学校4校をモデル校に選定し、職場体験だけでなく、企画から収益の配分までを学ぶビジネス体験を行い、その成果を市内全児童生徒にニュースレターで発表した。

3. 事業の成果及び効果

未来を担う子どもたちに、将来の夢や職業への夢をもたせるとともに、地域社会の一員として自覚や職業人へのあこがれ等を養うことができる。

事業名： 幼保小連携教育推進事業に要する経費 教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	30	本年	610				610	524	85.9	
				前年	610				610	509	83.4	
				比較						15		

1. 事業の目的

幼稚園、保育所及び小学校間が連携して交流事業や講演会などを実施し、幼児教育から小学校教育へのスムーズな接続を図る。

2. 事業の概要

幼稚園、保育所及び小学校間が連携して交流事業や講演会などの実施

3. 事業の成果及び効果

幼児が児童や小学校教員と交流することで、小学校入学への不安感が軽減できた。また、幼児施設及び小学校の教員が、相互の課題を共有し検討することによって、幼保小連携に対する意識の高揚が図れた。

実施校：北条小学校、前野小学校、今鹿島小学校、栗原小学校、二の宮小学校

幼稚園児・保育所児童と小学生の交流事業として、小学校体験入学、合同芋掘り等を実施。

教師間の連携事業としては、合同研修会等を実施。

事業名： 学校支援のための地域本部事業に要する経費 教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	31	本年	3,811		1,510		2,301	2,018	87.7	
				前年								
				比較	3,811		1,510		2,301	2,018		

1. 事業の目的

地域コーディネーターが学校の要望している活動についてボランティアを調整し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。

2. 事業の概要

学校の要望している活動を実施するために、必要な学校支援ボランティアの人材の確保や日程調整などを行う。

平成20年度から竹園東中学校、竹園東小学校、竹園西小学校の3校で取り組んでおり、学校と地域の橋渡し役として、地域コーディネーターを各学校に3名ずつ配置。

3. 事業の成果及び効果

ボランティアの実施回数は、3校で1,473回、参加した学校支援ボランティアは延べ4,932人であり、実際に活動された人数は1,094人であった。

この他学校が直接行ってきたボランティアの調整を地域コーディネーターが代わって行ったり、名簿をまとめる作業などを行うことで、学校の負担軽減にも効果がでている。

事業名：教育振興基本計画策定に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	01	02	32	本年	4,721		1,581		3,140	2,890	92.0		
				前年									
				比較	4,721		1,581		3,140	2,890			
<p>1. 事業の目的 教育を取り巻く様々な状況の変化を踏まえ、つくば市の教育の目指すべき姿を明らかにし、その実現に向けての具体的な施策をまとめ、総合的かつ計画的に事業を推進していくため、つくば市教育振興基本計画を策定する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) (仮称)つくば市教育振興基本計画の策定 (2) 市民、保護者、児童生徒、教職員を対象に、それぞれアンケート調査を実施</p> <p>3. 事業の成果及び効果 教育を取り巻く様々な状況の変化を踏まえ、つくば市の教育の目指すべき姿を明らかにするとともに、子ども達のよりよい育成を目指し、学校・家庭・地域社会が連携して教育を推進していくための指針とする。 (1) (仮称)つくば市教育振興基本計画の策定にあたり、内部組織であるワーキングチーム会議、策定委員会及び外部委員を取り入れた懇談会を開催し、「現状の課題や今後目指すべき方向」、「重点的に取り組むべきこと」などについて協議を行った。 (2) 市民、保護者、児童生徒、教職員を対象に、それぞれアンケート調査を実施し意向を調査した。</p>													

事業名：研究奨励助成に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	01	02	33	本年	500				500	441	88.2		
				前年									
				比較	500				500	441			
<p>1. 事業の目的 学力の向上や豊かな心の育成など、つくば市が重点にしている教育のさらなる充実を図るために、自主的・組織的な研究を進め、成果が上がっている学校に対して、研究助成をし、当該校だけでなく市全体の教育レベルの向上を図ることを目的とする。</p> <p>2. 事業の概要 小中学校のうち、自主的・組織的に研究に取り組み成果をあげている学校に対する研究奨励費助成</p> <p>3. 事業の成果及び効果 桜中学校(教科指導における研究)、竹東中学校(教科指導における研究)、竹東小学校(教科指導における研究)、二の宮小学校(環境教育に関する研究)の4校が研究成果をあげ、市内の学校の教育レベルの向上に資した。</p>													

事業名：総合教育研究所に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	01	02	34	本年			22,323		22,323	987	4.4	21,262	
				前年									
				比較			22,323		22,323	987		21,262	
<p>1. 事業の目的 教職員の研修の充実及び資質の向上を図るため、教育総合研究所を開設するための実施設計委託。</p> <p>2. 事業の概要 教育総合研究所を開設するための実施設計委託</p>													

3. 事業の成果及び効果

最小の改修工事とするための、効率的な設計が行われた。

トイレ改修, 配水管補修, エアコン設置, 下水道接続等の工事設計。

なお, 工事費については, 平成22年度へ繰り越し。

事業名： 障害児就学指導に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	03	11	本年	9,837				9,837	9,542	97.0	
				前年	8,909		48		8,957	8,744	97.6	
				比較	928		48		880	798		

1. 事業の目的

障害を持った児童生徒の将来のため, 一人一人の障害にあった適正な就学を図る。

2. 事業の概要

- (1) 就学前の早期からの障害を持った幼児(主に次年度小学校1年生)の把握
- (2) 就学相談員(4名)による未就学児の就学相談と関係機関(幼・保育所等)への訪問就学指導
- (3) 障害児就学指導委員会による審議

3. 事業の成果及び効果

- (1) 障害のある児童生徒の適切な就学が図られた。就学相談の年少児や年中児からの相談も多く年々増える傾向にある。
年間相談件数 630件 (その他, 電話相談352件・学校訪問指導77件)
年間審議件数 147件
- (2) 就学指導委員会の審議は年9回行われ, 判定状況は全体で87.4%が審議結果(判定)どおりの就学ができた。
また, 個別にみると就学時では90.7%, 在学時では85.3%となっている。
特に就学児の審議判定結果どおりに就学についている割合が高くなっている。これは, 密に訪問就学指導をすることにより, 早期から障害を持った幼児の発見と把握ができたことと, 保護者・関係機関と連携を図りながら適切に対応することができたためであり, 就学相談の効果が得られた。

事業名： 特別支援教育相談事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	03	12	本年	2,079				2,079	2,001	96.2	
				前年	1,062			258	1,320	1,317	99.8	
				比較	1,017			258	759	684		

1. 事業の目的

発達障害等のある幼児・児童生徒への支援について, 障害児の指導に関する専門家を派遣したり, 講演・研修会を実施したりすることによって, 特別支援教育の支援体制の充実を図る。

2. 事業の概要

- (1) 巡回相談員1人(非常勤職員)を指導課に配置して, 幼稚園・小中学校への巡回相談
- (2) 大学の教員, 病院の医師等に巡回相談依頼
- (3) 教員及び教育支援員対象の研修会の開催(年間3回)

3. 事業の成果及び効果

- (1) 指導課に在籍する巡回相談員が幼稚園, 小中学校を訪問して巡回相談を実施した回数: 209回
- (2) 大学の教員に依頼して相談を行った回数: 2回
- (3) 特別支援教育研修会の開催回数: 3回(7月2回, 8月1回)
- (4) 学校の要請に応じた相談や特別支援を推進する研修会ができた。
- (5) 特別支援学級担当者だけでなく通常学級の担任を対象とした研修会を開催し, 学級経営や従業

構成に役立てるようにした。

事業名：教職員住宅管理に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課
教育委員会事務局 教育施設課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	04	11	本年	604				604	582	96.4	
				前年	617	60,125	1,812		62,554	57,189	91.4	
				比較	13	60,125	1,812		61,950	56,607		

1. 事業の目的

教職員住宅の維持管理を行うことで、利用するつくば市教職員の福利厚生に寄与する。

2. 事業の概要

- (1) 吾妻教職員住宅施設の修繕
- (2) 吾妻教職員住宅の受水槽の清掃実施

3. 事業の成果及び効果

平成21年度末で教職員住宅は廃止したが、廃止までの間、適切な維持管理を行うことで、快適な生活環境の確保が図れた。

事業名：施設整備事業に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課
教育委員会事務局 教育施設課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	01	11	本年	160,952		60,698		221,650	192,189	86.7	16,641
				前年	328,522		44,270		372,792	372,082	99.8	
				比較	167,570		16,428		151,142	179,893		16,641

1. 事業の目的

教育環境の維持・向上を図るため、小学校施設の修繕工事等を実施する。

2. 事業の概要

各小学校の改修、修繕、土木工事等の設計委託及び工事の実施

3. 事業の成果及び効果

修繕工事等を実施することで、教育環境の維持が図れた。

平成21年度の実施件数 建築工事、土木工事、修繕工事 89件
設計委託 12件

東小学校校庭緑化事業を次年度に繰り越した。

事業名：学校管理運営に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	01	12	本年	233,480			102	233,378	218,203	93.5	
				前年	244,397		2,265		246,662	239,664	97.2	
				比較	10,917		2,265	102	13,284	21,461		

1. 事業の目的

創造力豊かな児童の育成及びゆとりとうるおいのある教育環境の整備を図る。

2. 事業の概要

- (1) 学校管理用消耗品、光熱水費等の学校管理費の執行管理
- (2) 正職員のいない学校への臨時用務員の配置
- (3) 小田小学校スクールバスの運行

3. 事業の成果及び効果

教育環境を整備し、より良い環境での学校教育推進に寄与した。
臨時用務員 24校に配置

事業名：学校保健管理に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	13	本年	54,782		1,330		56,112	54,255	96.7	
				前年	46,087				46,087	44,491	96.5	
				比較	8,695		1,330		10,025	9,764		
<p>1. 事業の目的 (1) 各小学校に嘱託医等を配置し、定期健康診断の実施 (2) 保健室等の環境を整備することにより、心身共に健全な児童の育成</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 (1) 小学校の嘱託医等の配置 (2) 定期健康診断の実施 (3) 小学校スポーツテスト集計業務電算処理委託 (4) 災害共済給付制度への加入手続き (5) 就学时健康診断の実施</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 各学校において嘱託医等との連携がとられ、心身共に健全な児童の育成が図られた。 小学校の嘱託医等の配置：一般医50名、眼科医37名、歯科医49名、薬剤師37名</p>												

事業名：備品整備に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	14	本年	28,175		4,103		32,278	28,621	88.7	
				前年	43,965		2,151		46,116	41,369	89.7	
				比較	15,790		1,952		13,838	12,748		
<p>1. 事業の目的 小学校の管理備品を整備することにより、教育環境の充実に努める。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 (1) 各小学校の備品の修繕、複写機のパフォーマンスチャージ料 (2) 各小学校管理備品の整備</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 管理備品を整備することで、教育環境の向上が図れた。 (1) 備品の修繕、複写機パフォーマンスチャージ料 (2) 学校管理備品を購入(37校)</p>												

事業名：学校施設取得に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	15	本年	343,432		59,618		403,050	402,279	99.8	
				前年	393,405				393,405	393,391	100.0	
				比較	49,973		59,618		9,645	8,888		
<p>1. 事業の目的 都市再生機構への償還金</p>												

2. 事業の概要

都市再生機構における立替施行分の償還金

3. 事業の成果及び効果

償還金は竹園東小学校外9校分

東小学校償還金の一部について補助金を活用し繰り上げ償還を行うことで将来の市負担を軽減した。

事業名：施設管理に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	01	16	本年	108,214				108,214	107,692	99.5	
				前年	96,780		933		95,847	95,586	99.7	
				比較	11,434		933		12,367	12,106		

1. 事業の目的

- (1) 法令等に基づく施設の点検等の実施により安心安全な学校環境を作る
- (2) 施設の適切な維持管理を行うことで、教育環境の向上を図る

2. 事業の概要

- (1) 小学校施設の小規模な修繕や不具合の解消
- (2) 浄化槽法定検査手数料
- (3) 法令に基づく機器点検及び施設の維持管理のための点検等の実施
- (4) 学校用地の借上げ
- (5) 校内植栽の維持管理等

3. 事業の成果及び効果

適切な維持管理を行うことで教育環境の維持が図れた。

平成21年度の実施件数

- (1) 雨漏りや小規模な不具合などの修繕 113件実施
- (2) 浄化槽法定検査 9校実施
- (3) 消防設備, 危険物地下タンク, 電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など 51件
- (4) 学校用地の借上げ 8校分
- (5) 校内植栽の剪定等 23件

事業名：情報機器整備に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	02	01	17	本年	17,844				17,844	12,453	69.8		
				前年									
				比較	17,844				17,844	12,453			

1. 事業の目的

OA機器リース導入による小学校事務の効率化。

2. 事業の概要

- (1) 市内公立小学校(37校)における, パソコン, 複写機及び印刷機のリース
- (2) 校務用コンピュータのリース導入

3. 事業の成果及び効果

全小学校において, パソコン, 複写機及び印刷機のリース導入により事務の効率化を図るとともに, 校務用コンピュータ(パソコン及びセンターサーバ)の導入により, 校務情報の一元化を図った。

校務用コンピュータのリース導入台数: 小・中学校計600台

リース期間: 平成22年3月 ~ 平成28年2月

事業名：特別支援教育就学奨励事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	11	本年	2,267				2,267	2,252	99.3	
				前年	2,099			105	2,204	2,203	100.0	
				比較	168			105	63	49		

1. 事業の目的

小学校の特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減するとともに、児童の就学を奨励するために特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援教育の振興を図る。

2. 事業の概要

奨励費を支給する認定をした保護者に対する支給(各学期ごとに学校長を通じて)
学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費

3. 事業の成果及び効果

平成21年度認定児童数79名に対し、過不足なく支給した。

事業名：要保護等児童就学援助事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	12	本年	44,791		1,274	700	46,765	46,746	100.0	
				前年	46,339			105	46,234	44,150	95.5	
				比較	1,548		1,274	805	531	2,596		

1. 事業の目的

小学校に就学する児童の保護者が、児童への就学義務を最優先に履行していることを前提として、経済的理由により児童の就学に支障をきたしている場合に、就学援助費を支給することにより義務教育の円滑な実施を図る。

2. 事業の概要

- (1) 要保護認定児童(生活保護世帯)の保護者に対する修学旅行費の支給
- (2) 準要保護認定児童(要保護に準ずる程度に困窮していると認定された児童)の保護者に対する支給
学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費, トレシャツ費, 医療費

3. 事業の成果及び効果

平成21年度要保護認定児童数27名, 準要保護認定児童数743名に対して、過不足なく支給した。

事業名：教材整備に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	13	本年	35,910			710	35,200	33,376	94.8	
				前年	14,325				14,325	14,108	98.5	
				比較	21,585			710	20,875	19,268		

1. 事業の目的

市立小学校377校の教材や図書備品を整備し、一人一人の児童の素質を生かす学習指導を進める。

2. 事業の概要

- (1) 図書の購入(学校教育指導方針, 教師用図書, 教師用指導書)
- (2) 理科実験用薬品等購入
- (3) 図書室用図書備品の購入
- (4) 教材用消耗品購入(プリント教材用紙, 理科実験用消耗品等)

3. 事業の成果及び効果

個々の児童にあった授業の実施に寄与した。

事業名：特別活動等助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	14	本年	10,487				10,487	10,149	96.8	
				前年	13,637				13,637	12,981	95.2	
				比較	3,150				3,150	2,832		

1. 事業の目的

陸上記録会等による児童の健全育成に寄与する。

2. 事業の概要

- (1) 卒業記念品や行事用消耗品の購入
- (2) 陸上競技会大会、音楽会参加に係るバス等の自動車賃借

3. 事業の成果及び効果

- (1) 児童の心身の健全な育成に寄与した。
- (2) 保護者の負担軽減も図れた。

事業名：教育振興助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	15	本年	3,172			112	3,284	3,133	95.4	
				前年	2,981				2,981	2,881	96.6	
				比較	191			112	303	252		

1. 事業の目的

児童の学力向上、自転車通学児童の安全確保及び遠距離通学児童の保護者の負担軽減を図る。

2. 事業の概要

- (1) 学力診断テスト用紙の購入
- (2) 自転車通学をする新1年生及び転入生へ自転車用ヘルメットの配布
- (3) 通学距離4km以上の遠距離通学児童の保護者に対する通学費補助

3. 事業の成果及び効果

保護者の経済的負担の軽減と児童の学力把握に寄与した。

- (1) 自転車用ヘルメット配布 小野川小学校 30人 荳崎第二小学校3人
- (2) 遠距離通学補助 吾妻小学校 13人 谷田部小学校 9人 小野川小学校 2人
荳崎第一小学校 37人 荳崎第二小学校8人

事業名：教材備品整備に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	16	本年	28,307		30,570		58,877	25,330	43.0	27,360
				前年	53,706		1,547		55,253	50,900	92.1	
				比較	25,399		29,023		3,624	25,570		27,360

1. 事業の目的

小学校の教材備品を良好に維持することにより、教育環境の向上に努める。

2. 事業の概要

- (1) 教材備品の修繕及び整備
- (2) 理科教材備品購入及び地デジ対応テレビ整備事業を繰越

3. 事業の成果及び効果

各学校の教科用備品を整備し、教育の向上に役立てた。

- (1) 各小学校の教材備品の修繕
- (2) 各小学校の教材備品の整備(37校)

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
10	02	02	17	本年	165,774		5,870		171,644	171,432	99.9		
				前年									
				比較	165,774		5,870		171,644	171,432			

1. 事業の目的

教育環境の維持・向上を図るため、小学校のICT整備等を実施する。

2. 事業の概要

(1) 教育用、インターネット用コンピュータ・テレビ会議システムの継続分の賃借料及び、教育用コンピュータソフト継続分の賃借

(2) 文部科学省の受託事業「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」の実施

3. 事業の成果及び効果

(1) 市内全小学校の安定運用が図られた。

(2) 電子黒板を活用した、効果的な実践研究が実施された。

事業名：学校図書館司書教諭補助員に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	02	18	本年	13,504				13,504	12,605	93.3	
				前年	12,946				12,946	12,441	96.1	
				比較	558				558	164		

1. 事業の目的

小学校に学校図書館司書教諭の補助を行う司書教諭補助員、並びに協力員(大学生ボランティア)を配置して、学校図書館の環境整備等に努める。

2. 事業の概要

(1) 学校経営方針に基づき司書教諭指示による、司書教諭の補助として学校図書館の環境整備

(2) 新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務

3. 事業の成果及び効果

小学校全校(37校)に補助員、2校に協力員を配置したことにより、学校図書館の業務が円滑化され、読書活動が推進された。

事業名：理科支援員等配置事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	02	19	本年	2,828				2,828	2,645	93.5	
				前年	2,828				2,828	2,291	81.0	
				比較						354		

1. 事業の目的

理科が得意な人材を小学校理科授業に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、先端科学技術に関する実験等の演示・体験活動などを行うことにより、小学校理科教育の活性化及び一層の充実を図るとともに小学校教員の理科指導力の向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 理科支援員派遣

研究者や教員のOBなど理科が得意な人材を小学校に理科支援員として派遣し、5,6年生における理科授業の観察・実験等の準備、実施支援、後片づけ等の教員の支援。

1学級につき90時間、23学級で実施。

(2) 特別講師派遣

理科が得意な人材を小学校に派遣し、先端科学技術に関する知識やものづくり技術の伝授、実験等の特別授業の実施。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 理科支援員の配置により、実験・観察等の体験的な授業が充実し、児童の意欲が向上した。小学校13校の32学級に配置を行った。
- (2) 特別講師の派遣により、科学技術や環境に関する授業が実施され、児童の興味・関心が高まった。小学校15校の30学級で実施した。

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

事業名：小学校建設事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	03	11	本年	200,547		569,750		770,297	145,908	18.9	601,268
				前年	24,562		9,863		14,699	14,464	98.4	
				比較	175,985		579,613		755,598	131,444		601,268

1. 事業の目的

小学校施設の新築・増改築・耐震補強等を行い、教育環境の充実に努める。

2. 事業の概要

- (1) 小学校新築事業
- (2) 小学校増築事業
- (3) 小学校耐震事業
- (4) 小学校環境対策事業

3. 事業の成果及び効果

児童数増に伴う新增築事業と国の経済危機対策を活用した耐震事業を実施し、教育環境の充実と耐震化を推進した。

- (1) 小学校新築事業: 1校
春日小中実施設計(次年度に繰り越し)
- (2) 小学校増築事業: (設計)2校(大曾根小, 竹園東小)
- (3) 小学校耐震事業: (経済危機対策含み)6校
耐震診断, 耐震工事設計, 耐震工事(次年度に繰り越し)
- (4) 小学校環境対策事業: (経済危機対策)1校
太陽光発電装置設置工事設計, 同工事(次年度に繰り越し)

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

事業名：施設整備事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	11	本年	105,293		28,177		133,470	123,917	92.8	
				前年	230,935		4,510	504	225,921	225,637	99.9	
				比較	125,642		32,687	504	92,451	101,720		

1. 事業の目的

中学校施設の整備を行うことで、教育環境の維持・向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) 中学校施設の改修工事, 土木, 修繕工事の実施
- (2) 入札案件の設計業務委託

3. 事業の成果及び効果

各中学校の修繕工事等を実施することで教育環境の向上が図れた。

平成21年度の実施件数

建築工事, 修繕工事, 土木工事 52件実施

事業名：学校管理運営に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	12	本年	133,161				133,161	123,247	92.6	
				前年	140,295				140,295	131,134	93.5	
				比較	7,134				7,134	7,887		
<p>1. 事業の目的 創造力豊かな生徒の育成及びゆとりとうるおいのある教育環境の整備促進を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 光熱水費等の学校管理費の執行管理 (2) 学校管理用消耗品等の執行管理 (3) 正職員のいない学校への臨時用務員の配置</p> <p>3. 事業の成果及び効果 教育環境を整備し、より良い環境での学校教育推進に寄与した。 臨時用務員 13校に配置</p>												

事業名：学校保健管理に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	13	本年	24,503		996		25,499	24,046	94.3	
				前年	20,430				20,430	19,410	95.0	
				比較	4,073		996		5,069	4,636		
<p>1. 事業の目的 中学校に嘱託医等を配置し、定期健康診断を実施する。また、保健室等の環境を整備することにより心身共に健全な生徒の育成を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 中学校の嘱託医等の配置 (2) 中学校AED設置事業 (3) 定期健康診断の実施 (4) 中学校スポーツテスト集計業務電算処理委託 (5) 災害共済給付制度への加入手続き</p> <p>3. 事業の成果及び効果 各学校において嘱託医等との連携がとられ、心身共に健全な生徒の育成が図られた。 中学校の嘱託医等の配置：一般医21名、眼科医14名、歯科医21名、薬剤師14名</p>												

事業名：備品整備に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	14	本年	13,709		1,050		14,759	11,373	77.1	
				前年	21,294		1,222	504	23,020	21,668	94.1	
				比較	7,585		172	504	8,261	10,295		
<p>1. 事業の目的 中学校の備品を整備することにより、教育環境の向上を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 管理備品の修繕、複写機のパフォーマンスチャージ料</p>												

(2) 学校管理備品の整備

3. 事業の成果及び効果

各中学校の管理備品を整備することで教育環境の向上が図れた。

- (1) 管理備品の修繕, 複写機のパフォーマンスチャージを行った。
- (2) 学校管理備品の購入(14校)

事業名: 学校施設取得に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	15	本年	291,626				291,626	291,618	100.0	
				前年	159,124		9,535		168,659	168,649	100.0	
				比較	132,502		9,535		122,967	122,969		

1. 事業の目的

都市再生機構への償還金

2. 事業の概要

都市再生機構における立替え施工分の償還

3. 事業の成果及び効果

償還金は並木中学校外5校分

事業名: 施設管理に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	16	本年	49,535				49,535	48,741	98.4	
				前年	44,548		542		44,006	43,095	97.9	
				比較	4,987		542		5,529	5,646		

1. 事業の目的

- (1) 法令等に基づく施設の点検等の実施により安心安全な学校環境を作る
- (2) 施設の適切な維持管理を行うことで, 教育環境の向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) 中学校施設の小規模な修繕や不具合の解消
- (2) 浄化槽法定検査手数料
- (3) 法令に基づく機器点検及び施設の維持管理のための点検等の実施
- (4) 学校用地の借上げ
- (5) 校内植栽の維持管理等

3. 事業の成果及び効果

各中学校の適切な維持管理を行うことで教育環境の維持が図れた。

平成21年度実施件数

- (1) 小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕 41件実施
- (2) 浄化槽法定検査 2校実施
- (3) 消防設備, 危険物地下タンク, 電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など42件実施
- (4) 学校用地の借上げ 5校分
- (5) 校内植栽の剪定等 10件

事業名：情報機器整備に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	03	01	17	本年	9,605				9,605	7,437	77.4		
				前年									
				比較	9,605				9,605	7,437			
<p>1. 事業の目的 OA機器リース導入による中学校事務の効率化</p> <p>2. 事業の概要 市内公立中学校(14校)における, パソコン, 複写機及び印刷機のリース 校務用コンピュータのリース導入</p> <p>3. 事業の成果及び効果 全中学校において, パソコン, 複写機及び印刷機のリース導入により事務の効率化を図るとともに, 校務用コンピュータ(パソコン及びセンターサーバ)の導入により, 校務情報の一元化を図った。 校務用コンピュータのリース導入台数:小・中学校計600台 リース期間:平成22年3月～平成28年2月</p>													

事業名：特別支援教育就学奨励事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	11	本年	1,410				1,410	996	70.6	
				前年	1,306				1,306	882	67.5	
				比較	104				104	114		
<p>1. 事業の目的 中学校の特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減するとともに, 生徒の就学を奨励するために特別支援教育就学奨励費を支給し, 特別支援教育の振興を図る。</p> <p>2. 事業の概要 奨励費を支給する認定をした保護者に対する支給(各学期ごとに学校長を通じて) 学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成21年度認定生徒数20名に対し, 過不足なく支給した。</p>												

事業名：要保護等生徒就学援助事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	12	本年	47,783		4,063		51,846	51,553	99.4	
				前年	44,079				44,079	43,634	99.0	
				比較	3,704		4,063		7,767	7,919		
<p>1. 事業の目的 中学校に就学する生徒の保護者が, 生徒への就学義務を最優先に履行していることを前提として, 経済的理由により生徒の就学に支障をきたしている場合に, 就学援助費を支給することにより義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 要保護認定生徒(生活保護世帯)の保護者に対して, 修学旅行費を支給する。 (2) 準要保護認定生徒(要保護に準ずる程度に困窮していると認定された生徒)の保護者に対する支給 学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費, トレシャツ費, 医療費</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成21年度要保護認定生徒数19名, 準要保護認定児童数489名に対して, 過不足なく支給した。</p>												

事業名：教材整備に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	13	本年	17,310				17,310	16,352	94.5	
				前年	7,290				7,290	7,086	97.2	
				比較	10,020				10,020	9,266		
<p>1. 事業の目的 市立中学校14校の教材を整備し、一人一人の生徒の素質を生かす学習指導を展開する。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 図書の購入(学校教育指導方針, 教師用図書, 教師用指導書) (2) 理科実験用薬品等購入 (3) 図書室用図書備品購入 (4) 教材用消耗品購入(理科実験用消耗品等)</p> <p>3. 事業の成果及び効果 個々の生徒にあった授業の実施に寄与した。</p>												

事業名：特別活動等助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	14	本年	18,062				18,062	17,943	99.3	
				前年	19,562				19,562	19,063	97.4	
				比較	1,500				1,500	1,120		
<p>1. 事業の目的 (1) 行事等を実施するために必要な, 消耗品等の購入を行う。 (2) 部活動の環境整備を行う。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 卒業記念品や行事用消耗品の購入 (2) 市立中学校への部活動補助金交付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 生徒の心身の健全な育成に寄与した。また, 保護者の負担軽減も図れた。 市立中学校への部活動補助金交付: 14校</p>												

事業名：教育振興助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	15	本年	11,957				11,957	10,698	89.5	
				前年	11,544				11,544	10,838	93.9	
				比較	413				413	140		
<p>1. 事業の目的 生徒の学力向上, 自転車通学生徒の安全確保及び遠距離通学生徒の保護者の負担軽減を図る。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 学力診断テスト用紙の購入 (2) 新1年生及び転入生の自転車用ヘルメット購入 (3) 遠距離通学生徒の保護者に通学費補助</p> <p>3. 事業の成果及び効果 保護者の経済的負担の軽減と生徒の学力把握に寄与した。 (1) 自転車用ヘルメット配布 中学校14校へ1,692個を配布 (2) 遠距離通学補助金交付 大穂中学校 28名, 谷田部東中1名, 谷田部中学校4名, 筑波東中学校38名, 荃崎中学校8名</p>												

事業名：教材備品整備に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課
教育委員会事務局 教育施設課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	16	本年	13,270		10,500		23,770	11,521	48.5	10,395
				前年	26,464		583		27,047	24,817	91.8	
				比較	13,194		9,917		3,277	13,296		10,395

1. 事業の目的

中学校の教材備品を良好に維持することにより、教育環境の向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 教材備品の修繕及び整備

(2) 理科教材備品購入及び地デジ対応テレビ整備事業は次年度に繰り越した。

3. 事業の成果及び効果

中学校の教科用備品を整備することで、学習環境の向上を図った。

(1) 各中学校の教材備品の修繕

(2) 各中学校の教材備品の整備(14校)

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	03	02	17	本年	70,528				70,528	70,249	99.6		
				前年									
				比較	70,528				70,528	70,249			

1. 事業の目的

教育環境の維持・向上を図るため、中学校のICT整備等を実施する。

2. 事業の概要

教育用、インターネット用コンピュータ・テレビ会議システムの継続分の賃借料及び、教育用コンピュータソフト継続分の賃借料。

3. 事業の成果及び効果

(1) 市内全中学校の安定運用が図られた。

(2) コンピュータ教室の入替えを実施(1校)

事業名：学校図書館司書教諭補助員に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	18	本年	270				270	73	27.0	
				前年	229				229	146	63.8	
				比較	41				41	73		

1. 事業の目的

中学校に学校図書館司書教諭の補助を行う協力員(大学生ボランティア)を配置して、学校図書館の環境整備等に努める。

2. 事業の概要

(1) 学校経営方針に基づき司書教諭指示による、司書教諭の補助として学校図書館の環境整備

(2) 新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務

3. 事業の成果及び効果

中学校2校に補助員を配置したことにより、学校図書館の業務が円滑化され読書活動が推進された。

事業名：放課後学習チューター事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	03	02	19	本年	2,800				2,800	1,970	70.4		
				前年									
				比較	2,800				2,800	1,970			
<p>1. 事業の目的 市内の全中学校に筑波大を中心とした大学生ボランティアを派遣し、生徒の学習支援を行い、学力の向上を目指すことを目的とする。</p> <p>2. 事業の概要 全国学力学習状況調査等の結果を分析し、各中学校の学習上の課題を明確にしたうえで、大学生ボランティア(筑波大・筑波学院大と連携)を各中学校へ派遣し、生徒の学習支援を行う。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 参加した大学生ボランティア延べ784人 実施日数269日 中学生の学習意欲の向上と学力向上に資したとともに、参加した大学生にはボランティア精神の高揚に役だった。</p>													

事業名：中学校建設事業に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	03	11	本年	406,273		251,267		657,540	305,309	46.4	335,915
				前年	24,582		11,209		13,373	13,372	100.0	
				比較	381,691		262,476		644,167	291,937		335,915
<p>1. 事業の目的 中学校施設の新築・増改築・耐震等を行い、教育環境の充実に努める。</p> <p>2. 事業の概要 (1) 中学校新築事業 (2) 中学校耐震事業</p> <p>3. 事業の成果及び効果 生徒数増に伴う新增築事業と国の経済危機対策を活用した耐震事業を実施し、教育環境の充実と耐震化を推進した。 筑波東中学校及び筑波西中学校校舎の耐震化工事を行うことで、安全安心な学校づくりを進めることが出来た。 (1) 中学校新築事業1校 春日小中実施設計(次年度に繰り越し) (2) 中学校耐震事業(経済危機対策含み)3校 耐震診断,耐震工事設計,耐震工事(一部次年度に繰り越し)</p>												

事業名：施設整備事業に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	11	本年	98,116		32,800		130,916	38,234	29.2	86,070
				前年	25,772		3,601		29,373	28,493	97.0	
				比較	72,344		29,199		101,543	9,741		86,070
<p>1. 事業の目的 教育環境の維持・向上を図るため、幼稚園施設の修繕等を実施する。</p> <p>2. 事業の概要</p>												

(1) 改修工事, 土木工事, 修繕工事の設計委託及び工事の実施

(2) 幼稚園移転事業

3. 事業の成果及び効果

各幼稚園の修繕工事等を実施することで教育環境の維持が図れた。

平成21年度の実施件数

(1) 建築工事, 土木工事, 修繕工事を実施(22件)

(2) 設計委託 2件

吾妻幼稚園屋根外改修事業及び谷田部幼稚園移転事業は次年度に繰り越し

事業名：幼稚園管理運営に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	12	本年	134,500		3,831		130,669	124,271	95.1	
				前年	134,493		2,207		132,286	128,459	97.1	
				比較	7		1,624		1,617	4,188		

1. 事業の目的

幼児期にふさわしい教育をするための教育環境整備, 幼児教育及び保育の充実のため職員の資質向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 幼稚園臨時教諭の補充(特別支援を要する園児の介助, 育休代替, 未就園児体験保育指導員等)

(2) 教職員の研修受講のための旅費

(3) 幼稚園管理及び環境整備のための消耗品等の購入

(4) 通園バス委託

3. 事業の成果及び効果

幼稚園管理に必要な消耗品等の購入および, 研修による教職員の資質向上が図れた。

事業名：幼稚園保健管理に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	13	本年	7,669		180		7,849	7,582	96.6	
				前年	7,563				7,563	7,330	96.9	
				比較	106		180		286	252		

1. 事業の目的

(1) 幼稚園に嘱託医等を配置し, 定期健康診断の実施

(2) 施設及び設備等の保健環境を整備することにより心身共に健全な園児の育成

2. 事業の概要

(1) 嘱託医等の配置

(2) 災害共済給付制度への加入手続き

(3) 定期健康診断の実施

(4) 就園児健康診断

3. 事業の成果及び効果

各園において, 嘱託医等と連携をとることにより, 心身ともに健全な園児の育成が図られた。

嘱託医等の配置: 一般医17名, 歯科医17名, 薬剤師17名

事業名：私立幼稚園就園奨励事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	14	本年	119,637		1,461		118,176	117,125	99.1	
				前年	106,643				106,643	105,372	98.8	
				比較	12,994		1,461		11,533	11,753		

1. 事業の目的

市内に住所を有し、私立幼稚園に幼児を就園させている保護者へ補助金を交付することで、公立幼稚園との経済的負担の格差を是正し、もって幼児教育の振興に資する。

2. 事業の概要

- (1) 私立幼稚園園児の保護者に、国の定める所得基準に応じて補助金を交付(国庫補助事業)
- (2) 市単独事業として、園児1人につき月額1,000円を交付

3. 事業の成果及び効果

私立幼稚園 2,130人に交付

事業名：幼児教育振興に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	15	本年	5,644				5,644	4,951	87.7	
				前年	5,002				5,002	4,464	89.2	
				比較	642				642	487		

1. 事業の目的

幼稚園での教育活動や行事を通して地域に根ざした幼児教育を実践する。また、研修機会の充実により教職員の資質の向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) 教材用消耗品・行事用消耗品購入
- (2) 県国公立幼稚園長会等負担金、各種講習会等の受講料負担
- (3) 要保護家庭からの就園のための給食費等補助

3. 事業の成果及び効果

- (1) 行事等教育活動の充実
- (2) 教職員の資質の向上
- (3) 生活保護受給家庭における幼児教育を受ける機会の拡大

事業名：施設管理に要する経費

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	16	本年	19,919		1,370		21,289	21,213	99.6	
				前年	32,948		2,641		35,589	32,223	90.5	
				比較	13,029		1,271		14,300	11,010		

1. 事業の目的

- (1) 法令等に基づく施設の点検等の実施により、安全安心な幼稚園環境を作る
- (2) 施設の維持管理を行うことで、教育環境の向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) 幼稚園施設の小規模な修繕や不具合の解消
- (2) 浄化槽の法定検査の実施
- (3) 施設の管理委託の実施
- (4) 幼稚園用地の借上げ
- (5) 園内植栽の維持管理

3. 事業の成果及び効果

適切な維持管理により幼稚園環境の維持が図れた。
平成21年度の実施件数は、
(1) 施設の修繕 48件
(2) 浄化槽法定検査4園実施
(3) 施設の清掃、警備、電気保安業務委託等の実施
(4) 幼稚園用地の借り上げ2園分
(5) 園内植栽の剪定等 7件

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

事業名：幼稚園施設取得に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	17	本年	28,886				28,886	28,885	100.0	
				前年	28,876				28,876	28,875	100.0	
				比較	10				10	10		

1. 事業の目的

都市再生機構への償還金

2. 事業の概要

幼稚園施設取得に係る立替施行分の都市再生機構への償還金及び利子

3. 事業の成果及び効果

償還金及び利子 幼稚園2園分

(教育委員会事務局 施設管理課)
教育委員会事務局 教育施設課

事業名：備品整備に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	04	01	18	本年	6,422		5,100		11,522	5,290	45.9	5,100	
				前年									
				比較	6,422		5,100		11,522	5,290		5,100	

1. 事業の目的

幼稚園の備品を整備することにより、幼稚園教育の向上を図る。

2. 事業の概要

(1) 備品の修繕、複写機のパフォーマンスチャージ料
(2) 幼稚園管理備品の整備
地デジ対応テレビ整備事業は次年度に繰り越し

3. 事業の成果及び効果

(1) 備品の修繕、パフォーマンスチャージ料全幼稚園分
(2) 幼稚園管理備品の購入(全17園分)

事業名：情報機器整備に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	04	01	19	本年	4,740				4,740	4,672	98.6		
				前年									
				比較	4,740				4,740	4,672			

1. 事業の目的

OA機器リース導入による幼稚園事務の効率化

2. 事業の概要	市内公立幼稚園における、パソコン、複写機及び印刷機のリース
3. 事業の成果及び効果	全幼稚園において、パソコン、複写機及び印刷機のリース導入により事務の効率化が図られた。

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：社会教育指導員に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	11	本年	20,466				20,466	19,464	95.1	
				前年	20,582				20,582	20,197	98.1	
				比較	116				116	733		

1. 事業の目的

社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育団体の育成等にあたるため、社会教育指導員を配置する。社会教育指導員は教育委員会が委嘱する。

2. 事業の概要

社会教育指導員を社会教育施設(公民館)と生涯学習課に配置し、家庭教育学級への指導や助言を行う。また、放課後子ども教室(主管課は教育指導課)への協力を行う。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 社会教育指導員配置数:16名(社会教育施設(公民館)14名、生涯学習課(2名))
- (2) 社会教育事業(家庭教育学級、家庭教育に関するセミナー、放課後子ども教室)の推進に寄与した。
- (3) 社会教育指導員で役割分担をし、互いに協力し合いながら事業を推進することが出来た。

社会教育指導員役割分担

- 社会教育指導員連絡会(月例・臨時会議の開催、議事進行、記録等に関すること)全指導員の当番制
- 家庭教育学級班(指導者情報等の収集・発信等に関すること)
- 乳幼児班(乳幼児学級等に関すること)
- 講演会班(家庭教育学習機会の企画・運営等に関すること)
- 家庭教育セミナー班(就学時検診や入学説明会時のセミナーに関すること)
- 研修班(社会教育指導員の資質向上を図るための研修等に関すること)
- 家庭教育推進班(その他家庭教育の推進に関すること)

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：社会教育委員に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	12	本年	300				300	92	30.7	
				前年	300				300	208	69.3	
				比較						116		

1. 事業の目的

社会教育に関し教育長を経て教育委員会へ助言することを目的(社会教育委員を委嘱)

2. 事業の概要

社会教育事業に関し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べるとともに、社会教育事業の調査・研究の実施

委員15名(任期2年)

3. 事業の成果及び効果

会議開催1回(平成22年3月19日、平成21年度社会教育事業に関し意見聴取)

事業名：社会教育振興に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	13	本年	6,396				6,396	5,249	82.1	
				前年	18,207				18,207	15,460	84.9	
				比較	11,811				11,811	10,211		

1. 事業の目的

生涯学習課所管の施設及び専用バス等の円滑な管理運営を行うほか、社会教育振興のための事業や団体育成等を行うことを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 生涯学習専用バスの運転業務委託
- (2) 社会教育施設の火災保険の加入
- (3) 上大島集会所の土地賃借料の支払
- (4) 環境美化コンクールの実施
- (5) 婦人講演会の実施
- (6) 社会教育団体の育成
- (7) 教育講演会の実施(教育委員会教育総務課扱い)
- (8) 県派遣社会教育主事負担金支払(教育委員会指導課扱い)

3. 事業の成果及び効果

- (1) 生涯学習課所管の施設及び公用車(バス含む)等を管理し、事業の円滑な運営を図ることができた。 バス利用件数 84件
- (2) 環境美化コンクール実施参加団体数 11団体

事業名：成人式に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	14	本年	1,192				1,192	966	81.0	
				前年	1,878				1,878	943	50.2	
				比較	686				686	23		

1. 事業の目的

新成人としての門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任を養うことをねらいとして実施する。

2. 事業の概要

成人式の開催(1月の第2日曜日の午後に、つくばカピオを会場)
実施にあたっては、新成人者による実行委員会(出身中学校からの推薦及び自己推薦により選出)を組織し、イベント内容等について企画してもらう。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 新成人者39名(男20名、女19名)で実行委員会を組織した。
8月から実行委員会を開催(計9回開催)し、企画運営等について検討。
前日の準備・リハーサルと当日の受付や進行等を担当した。
対象者数は2,962名(男1,626名、女1,336名)、
参加者数は1,491名(男 777名、女 714名)であった。
- (2) 式典の内容
第一部「式典」並びに第二部ステージイベントを実施。
ステージイベント(実行委員会により次の企画を実施)
「アタック298(つくば)～あなたは真のつくば人～」(新成人者参加によるクイズ)
「ビデオレター～拝啓二十の君へ～」
(萩本欽一氏・小林誠氏などつくば市に縁のある方からのお祝いメッセージの上映。
収録にあたっては実行委員が主体となって実施。)

「スライドショー“つくコレ”～平成のキセキ～」

(当日の参加者等の写真を織り交ぜながら,各出身中学校ごとの思い出の写真をスライドショー形式にて上映。)

当日はトラブルもなく,実行委員による手づくりの成人式が盛大に開催できた。

なお,これらの企画は成人式大賞(新成人式研究会主催,文部科学省後援)へ応募し,『成人式努力賞』を受賞した。

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：地域改善対策に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	15	本年	2,056				2,056	1,844	89.7	
				前年	2,064				2,064	1,934	93.7	
				比較	8				8	90		

1. 事業の目的

- (1) 地域改善対策各種研修会への参加や,市民への啓発活動をすることで,差別のない社会作りを目指す。
- (2) 地区集会所の適正な管理運営を図る。

2. 事業の概要

- (1) 各種研修会への参加,啓発活動の実施
- (2) 地区集会所の維持管理

3. 事業の成果及び効果

地区集会所の利用回数は45回で,延べ人数は1,758人であった。

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：家庭教育支援に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	16	本年	5,540			105	5,435	4,644	85.4	
				前年	5,615			208	5,407	4,588	84.9	
				比較	75			103	28	56		

1. 事業の目的

家庭の教育力の向上を図ることを目的とし,保護者の学習の場の提供及び資質の向上を図る。

2. 事業の概要

- (1) 社会教育指導員による各家庭教育学級への指導・助言
- (2) 講座等における講師への謝礼金助成,事務用消耗品の支給(1学級5,800円以内)
- (3) 家庭教育セミナー(小学校の就学時検診や入学説明会時実施,保護者対象)

3. 事業の成果及び効果

- (1) 76学級が設立し,家庭教育の勉強会や学級生の交流が図られた。(参加者数:延べ19,799人)
- (2) 家庭教育講演会3回開催(10月10日,11月14日,11月25日)(参加者数:延べ394人)
- (3) 家庭教育セミナー(小学校35学級で実施)(参加者数:1,975人)

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：生涯学習事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	17	本年	751				751	441	58.7	
				前年	794				794	373	47.0	
				比較	43				43	68		

1. 事業の目的

市民が楽しく交流をしながら学習する事により、生きがいのある充実した生活を送り、その学習成果をまちづくりにも役立ててもらおうよう推進することを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 生涯学習活動の振興に関する施策を総合的に進めるため、生涯学習審議会の設置
- (2) 各課毎に対応・開催していた出前講座を生涯学習課が窓口となり市民の学習会等に市職員を講師として派遣
- (3) 市民が実行委員となり様々な分野の講師を招き「つくば人間学講座」の開催
- (4) 生涯学習指導者の登録を行い、市民の学習の求めに応じ指導者情報の提供

3. 事業の成果及び効果

- (1) 22名の委員による生涯学習審議会を開催し、生涯学習主要施策についての報告、意見を求めた。
- (2) 出前講座として市職員を派遣した。(開催回数:20回,受講者数:550人)
- (3) 「つくば人間学講座」を開催した。(開催回数:5回,受講者数:192人)

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：民家園管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	18	本年	3,708				3,708	3,518	94.9	
				前年	3,708				3,708	3,424	92.3	
				比較						94		

1. 事業の目的

つくば地方の文化や伝統について触れ、楽しみ、懐古するなど、市民の憩いの場として提供している。

2. 事業の概要

- (1) 一般開放(通年,平成20年より祝日の開園開始)
- (2) 市民,団体借園申込による歌会・お茶会・展示会等の開催

3. 事業の成果及び効果

【年間来場者数】 見学者 15,487人 施設利用団体数 22団体(849人)

事業名：科学教育推進事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	19	本年	11,155		1,198		9,957	8,814	88.5	
				前年	11,165		1,062		10,103	9,596	95.0	
				比較	10		136		146	782		

1. 事業の目的

市内にある研究機関や学校の協力を得て、青少年を中心に科学技術に触れさせ、科学への興味・関心を高めることを目的として行う。

2. 事業の概要

(1) つくばちびっ子博士

市内の協力研究機関等をスタンプラリー形式で見学する。見学期間終了後、提出されたパスポートの内容により最優秀ちびっ子博士・優秀ちびっ子博士・ちびっ子博士の各賞を授与するとい

う、全国の小中学生を対象とした事業。

(2) つくば科学フェスティバル

市内の小中高等学校・大学・研究機関等が科学実験等を出展し、青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験させ、楽しみながら科学への関心を高めさせる事業。

(3) つくば科学出前レクチャー

学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究員等と連絡調整し、講師派遣を行う。

3. 事業の成果及び効果

当該科学3事業を行うことにより、青少年につくば市ならではの科学教育を推進することができた。

また、(1)(2)については、対象者を全国的としているため、つくば市のシティセールスとイメージアップとしても効果的である。

事業名：市民研修センターに要する経費

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	20	本年	20,303				20,303	20,043	98.7	
				前年	20,573				20,573	20,312	98.7	
				比較	270				270	269		

1. 事業の目的

市民及び市内の企業に勤務する方々に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与することを目的とする。また、民間の活力を施設運営管理に活かし、経費を節減するとともに積極的に多様な生涯学習の機会を市民に提供することを目的として指定管理者制度を導入している。

2. 事業の概要

- (1) 施設貸出業務 研修室(ホール, 会議室, 工作室, 和室), 浴室
- (2) 自主事業運營業務 各種生涯学習講座及び発表会等の開催
- (3) 施設維持管理業務

3. 事業の成果及び効果

- (1) 研修室利用件数 2,737件 同利用者数 19,782人
- (2) 浴室利用者数 12,195人
- (3) 生涯学習講座等開催件数 24講座, 延受講者数 3,503人
- (4) その他発表会, イベント等

事業名：青少年育成に要する経費

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	21	本年	9,965				9,965	9,537	95.7	
				前年	9,936				9,936	9,621	96.8	
				比較	29				29	84		

1. 事業の目的

青少年が心身ともに健やかに育つよう、家庭・学校・地域が連携をとりながら市民総ぐるみ運動を展開し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

2. 事業の概要

青少年を取り巻く社会環境を整備するための活動を、家庭・学校・地域と連携して進めている。特に、図書自販機、コンビニエンスストアやレンタルビデオ店、カラオケボックスなどへの立入調査を実施し、青少年にとっての環境の整備に努めている。また、夏祭りやコンビニ等青少年のたまり場になりやすい箇所においては、街頭巡回活動を実施すると共に、あいさつ声かけ運動、キャンペーン活動に取り組む。

3. 事業の成果及び効果

(1) 青少年相談員活動

- 学校訪問(市内全小中学校及び一部高校)
- 巡回パトロール(長期休業期間や夏祭り, たまり場等)
- 『青少年の健全育成に協力する店』への登録推進活動
(青少年に関わりの深い店舗訪問, 79店舗)
- 図書等自動販売機立入調査(2ヶ所6台)
- あいさつ声かけ運動(小中学校及び一部の高校)
- 青少年健全育成講演会開催(イーアスホール, 講師: 中川志郎氏)

(2) 研修会への参加

茨城県青少年相談員研修大会, 少年院視察訪問, 第5ブロック研修会

(3) 各種会議

支部長会議(12回), 広報部会(6回), 環境部会(1回), 支部会議(随時)

事業名: ふれあいプラザ管理に要する経費 (市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	22	本年	58,100			105	58,205	58,204	100.0	
				前年	58,100			208	58,308	58,305	100.0	
				比較				103	103	101		

1. 事業の目的

市民に自主的な活動及び交流の場を提供し, 生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより, 豊かな生涯学習社会の実現に寄与することを目的とする。また, 民間の活力を施設運営管理に活かし, 経費を節減するとともに積極的に多様な生涯学習の機会を市民に提供することを目的として指定管理者制度を導入している。

2. 事業の概要

(1) 施設貸出業務

フィットネスプール, 多目的ホール, 研修室A,B,C, 会議室, 視聴覚室, 軽運動室, 調理実習室, 市民活動室, 保育室

(2) 自主事業運営業務

各種生涯学習講座及び発表会等の開催

(3) 施設維持管理業務

3. 事業の成果及び効果

(1) 施設利用件数(ホール, 研修室等)	5,374件	延利用者数	63,581人
(2) 施設利用件数(フィットネスプール)	10,349件	延利用者数	16,315人
(3) 生涯学習講座及び発表会等の件数	185講座	延受講者数	11,931人

事業名: つくばサイエンスラボ事業に要する経費 (市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	23	本年	1,044				1,044	464	44.4	
				前年	1,238				1,238	490	39.6	
				比較	194				194	26		

1. 事業の目的

子ども達が, つくば市の地域特性である自然と科学を学び活動し, 研究機関等と連携して事業を推進することにより市民の参画, 交流を図る。

2. 事業の概要

(1) 夏休みのシティーセールス事業として市内及び足立区・荒川区の4~6年生を対象に実施

(2) 研究機関等と連携して事業を推進

3. 事業の成果及び効果

全5日間(7月29・31日, 8月4～5, 7日の4コース 8月4日～5は宿泊実施)

7月29日	「見て、触れて、遊んで、科学に感激!!」～世界最大級のプラネタリウムとムシテ展～ (つくばエキスポセンター) 「お菓子で実験!」～火山噴火と土砂災害～おいしい実験がてんこ盛り!! (旧大形小学校)	参加者数 (うち市外)	40名 (19名)
7月31日	「ロボットと学ぼう新エネルギー」～ロボット工学や環境問題をわかりやすく楽しく学ぼう～ (旧大形小学校) 「ロボットなどの先端科学技術と地球のナゾにせまる」～施設見学～ (サイエンススクエアつくば・地質標本館)	参加者数 (うち市外)	36名 (10名)
8月4日～5日 (一泊二日)	「筑波山ってどんなところ?」～日本百名山 筑波山登山～ (筑波山) 「山の葉っぱでプリント, エコバッグ作り」～自然のめぐみと環境について考えよう～山の植物観察・採集自然体験 (筑波ふれあいの里) 「太陽からのめぐみ」～ソーラーカーを作ろう～ (旧大形小学校) 「宇宙への旅立ち」～一般見学施設と「きぼう」運用管制室の見学～ (筑波宇宙センター)	参加者数 (うち市外)	39名 (19名)
8月7日	「いろいろな物質・材料を見てみよう!」～物質・材料の研究所見学～ 「不思議な物質・材料にふれてみよう!」～形状記憶合金や超伝導など, 不思議な物質の実験～ (物質・材料研究機構)	参加者数 (うち市外)	35名 (7名)

子ども達が、つくば市のすばらしさを科学や自然の面から十分認識することができた。また、市内外の子どもたちの交流を図ることができた。

参加した子ども達の感想では、来年も参加したいという意見が圧倒的に多かった。

関係機関の方たちにも、事業の趣旨をご理解いただき、積極的な協力を得ることができた。

事業名：放課後子どもプラン事業に要する経費

(市民生活部 生涯学習課)
教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	24	本年	3,162		1,857		1,305	1,038	79.5	
				前年	4,783		3,341		1,442	792	54.9	
				比較	1,621		1,484		137	246		

1. 事業の目的

小学校の余裕教室等を活用し、地域の大人たちの参画を得て、体験学習・文化活動・スポーツ等の交流事業を行い、地域の子どもたちは地域全体で守り育てていくという教育環境の整備を図り、子どもたちに安心・安全な居場所を提供することを目的とする。

2. 事業の概要

児童館等の施設のない筑波地区の小学校を対象に実施

コーディネーターには社会教育指導員があたり、実施内容を学校・保護者等で協議しながら開催し、保護者(安全管理員)や学習アドバイザーとして生涯学習指導者による開催

3. 事業の成果及び効果

実施小学校	実施回数	参加者数	実施小学校	実施回数	参加者数
筑波小学校	32	902	作岡小学校	11	626
菅間小学校	3	228	田水山小学校	7	460
小田小学校	7	159	北条小学校	1	29
山口小学校	9	242	要小学校	2	63
田井小学校	11	297			
				83	3,006

実施内容は、おはなし会・バルーンアート・昔あそび・リズム遊び・サッカー教室等。

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：公民館長に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	11	本年	13,211		3,960		17,171	17,160	99.9	
				前年	13,222		2,543		15,765	15,087	95.7	
				比較	11		1,417		1,406	2,073		

1. 事業の目的

生涯学習の拠点としての公民館の事業企画及び職員の指揮監督等の総括的な業務を執行し、公民館の円滑的な運営を図る。

2. 事業の概要

非常勤特別職の館長に要する経費

3. 事業の成果及び効果

公民館の管理運営に関し、共通の認識に基づき管理運営ができるよう館長会議を開催し、相互協力や情報交換の場を設け、より効率的・効果的な管理運営ができるようになった。

公民館17館のうち非常勤特別職の館長が13名。

平成20年度非常勤特別職館長

大穂・豊里・谷田部・手代木・二の宮・島名・西・並木・広岡・吾妻・小野川・荃崎

平成21年度非常勤特別職館長

大穂・吉沼・豊里・谷田部・手代木・二の宮・春日・島名・桜・広岡・吾妻・小野川・荃崎

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：公民館運営審議会に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	12	本年	260				260	222	85.4	
				前年	260				260	152	58.5	
				比較						70		

1. 事業の目的

公民館の運営にあたり、各種の事業の企画実施について調査審議を行う。

2. 事業の概要

公民館運営審議会の開催(委員数13名)

3. 事業の成果及び効果

公民館講座の運営について諮問し、審議会において協議していただいた。

開催数：年2回

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：公民館維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	13	本年	164,090				164,090	157,724	96.1	
				前年	154,086		1,669		155,755	151,612	97.3	
				比較	10,004		1,669		8,335	6,112		

1. 事業の目的

生涯学習の拠点として、公民館利用者に対して、安全で快適な施設の利用環境を提供するため、維持管理及び施設の整備に努める。

2. 事業の概要

市内17の公民館を維持管理

3. 事業の成果及び効果

経費内訳

- (1) 賃金 10,117千円(臨時職員6名分・・・吉沼・桜・並木・竹園・広岡・荃崎)
- (2) 燃料費 2,234千円(17公民館のガソリン, 灯油, 重油代等)
- (3) 光熱水費 40,881千円(17公民館の電気, ガス, 上下水道代等)
- (4) 施設管理委託 66,204千円(17公民館の業務委託料)
- (5) 施設修繕 13,698千円(17公民館の修繕料)

	平成21年度	平成20年度	対前年度比	増減内容
利 用 件 数	45,669団体	45,697団体	0.1%減	28団体減
利 用 人 数	569,434人	565,320人	0.7%増	4,114人増

事業名：公民館行事に要する経費

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	05	02	14	本年	10,243				10,243	8,967	87.5	
				前年	10,922		710		10,212	9,880	96.7	
				比較	679		710		31	913		

1. 事業の目的

公民館講座や各種サークル活動をとおして、地域住民の方々に生涯学習の機会を提供し、住民の教養向上、生活文化の振興、健康や福祉の増進に寄与する。

2. 事業の概要

公民館講座の開催や各種サークルへの支援

3. 事業の成果及び効果

講座対象	講座数	延回数	延受講者数
小中学生	7	21	393
一般	164	787	8,975
高齢者	5	38	1,687
その他	16	52	1,044
合計	192	898	12,099

市民ニーズを反映した親子講座などを充実させ講座数を増やした。

今後も、多くの方が受講できるよう内容を検討していく。

事業名：公民館図書整備に要する経費

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	05	02	15	本年	28,993				28,993	28,514	98.3	
				前年	26,161		299		25,862	25,842	99.9	
				比較	2,832		299		3,131	2,672		

1. 事業の目的

多様化した市民の知的要求に応えるため、図書情報及び資料の充実を図り、図書貸出サービスを提供することで、市民の自主学習と文化的向上を図る。

2. 事業の概要

筑波・谷田部・小野川・荃崎の4公民館の図書室と中央図書館はオンライン化され、相互の貸出サービスを実施。他の13館の図書室は、単独で小規模の貸出を実施。

3. 事業の成果及び効果

	平成21年度	平成20年度	対前年度比	増減内容
貸出冊数	417,357冊	403,543冊	3.4%増	13,814冊増
貸出人数	103,000人	98,254人	4.8%増	4,746人増

事業名：公民館施設整備に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	16	本年	12,354				12,354	11,563	93.6	
				前年	19,726				19,726	19,655	99.6	
				比較	7,372				7,372	8,092		
1. 事業の目的 生涯学習の拠点と位置づけされた公民館において、市民にサービスする学習の場を安全かつ快適な状態で提供できるようにするため、設備及び施設の修繕を行い、充実した管理運営を目指す。												
2. 事業の概要 (1) 特殊建築物定期点検委託料 (2) 公民館等施設整備計画調査委託料 (3) つくばセンタービルエレベーター改修工事負担金												
3. 事業の成果及び効果 安全かつ快適な公民館の施設環境の充実に努め、今後の施設整備の参考となった。 (1) 特殊建築物定期点検委託料 1,985千円 (2) 公民館等施設整備計画調査委託料 2,730千円 (3) つくばセンタービルエレベーター改修工事負担金 6,552千円												

事業名：図書館維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	03	11	本年	131,744				131,744	124,858	94.8	
				前年	129,644		2,428	161	132,233	128,791	97.4	
				比較	2,100		2,428	161	489	3,933		
1. 事業の目的 施設及び設備の適正な維持管理を図り、安全で利便性の高い図書館として市民の利用に供すること。												
2. 事業の概要 (1) 図書館の施設及び設備に関する修繕及び維持管理業務 (2) 図書館情報システムの運用管理 (3) 文化会館アルスの修繕及び維持管理業務												
3. 事業の成果及び効果 文化会館アルス及び図書館の施設環境を充実させ、市民に快適な生涯学習の場を提供した。 (1) 文化会館アルス関係修繕工事 冷却塔整備修繕, 吸収冷凍機整備修繕, 冷温水流量計交換修繕 (2) 図書館関係修繕工事 閉架書庫内電動集密書架修繕												

事業名：図書館運営に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	03	12	本年	66,765		939		67,704	66,461	98.2	
				前年	63,526		819	161	62,546	61,596	98.5	
				比較	3,239		1,758	161	5,158	4,865		
1. 事業の目的 (1) 資料の質的充実を図り、市民の多様な情報要求に応えることで、生涯学習を支援する。 (2) 積極的に情報を発信し、図書館機能をさらに高めながら、市民サービスの向上に寄与する。												
2. 事業の概要												

- (1) 図書資料・視聴覚資料の受け入れ及び貸出
- (2) 図書館協議会の開催
- (3) 図書館ボランティアの活動支援
- (4) 図書館自主事業の開催

3. 事業の成果及び効果

- (1) 資料の充実に努め、自動車図書館運行、予約・リクエスト、インターネットからの照会・検索等のサービスで市民の利便性の向上を図った。(年間受入資料21,659点,年間貸出資料1,020,991点)
- (2) ボランティアを積極的に受け入れ,自主的な活動を支援した。(登録ボランティア149名)
- (3) 図書館自主事業(平成21年度開催の主な事業)
 - ジュニア図書館員
 - 児童に図書館業務を体験してもらう事業 (参加人数:29名)
 - 学校訪問ブックトーク
 - 希望する学校に職員が出向き,テーマに沿った図書を紹介する事業
(訪問校:17校,参加人数:1,048名)
 - 図書リサイクル
 - 除籍した図書を市民に無償で提供し,活用を図る事業 (参加人数:777名)

事業名：文化財保護審議会に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	11	本年	300				300	108	36.0	
				前年	380		100		280	180	64.3	
				比較	80		100		20	72		

1. 事業の目的

教育委員会の諮問などに応じて文化財の保存及び活用に関する最重要事項について調査し,教育委員会に答申などを行う。

2. 事業の概要

諮問・答申その他,文化財行政に係る重要事項における会議の開催

3. 事業の成果及び効果

8月12日,12月22日の2回,会議を開催し,諮問・答申はなかったものの,市の文化財行政について,特に,本年度より復元整備工事を始めた小田城跡の整備手法,来年度より保存のための土地買収に着手する金田官衙遺跡のあり方等について,貴重な提言・意見を得た。

事業名：文化財調査に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	12	本年	4,660			170	4,490	3,735	83.2	
				前年	4,757		130		4,627	3,832	82.8	
				比較	97		130	170	137	97		

1. 事業の目的

市内に所在する各種文化財(無指定を含む)の基本調査を行うことで,今後の文化財保存対策を立案するためのデータを収集すること。

2. 事業の概要

史跡小田城跡内での個人住宅現状変更申請地や各種開発予定地内での遺跡有無照会への対応(文献・試掘・確認調査,調整)及び市事業・個人非営利事業での記録保存に伴う本発掘調査,未指定文化財その他の各種(悉皆)調査。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 開発他事業関連では,遺跡の有無照会(文書照会76ヶ所,窓口・電話照会513ヶ所)に対応して諸

調整を行い、試掘・確認調査8ヶ所・約410㎡を実施して調査報告書を作成したことで、各種開発他事業と文化財の保存とを円滑に調整できた。

20年度と比べ調査を要する件数・面積は減少したが、各種開発等に伴う照会・調整件数は増加しており、全国的に開発が減少化していると言われる中で、各種開発等の多い本市では不可欠な事業となっている。

また、新たに確認された遺跡の出土品等、市の歴史を知るための学術資料が蓄積された。

- (2) 悉皆調査では、昨年度に続き都市化によって失われつつある伝統行事等の民俗文化財調査を実施。調査は筑波大学民俗学研究室に委託、主要行事13件について実地調査し、映像等の記録も行った。

事業名：文化財維持管理に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	13	本年	14,990		700		14,290	13,635	95.4	
				前年	16,942			16,942	16,336	96.4		
				比較	1,952		700		2,652	2,701		

1. 事業の目的

市内に所在する国・県・市指定文化財の良好な保存・管理及び活用のため、必要な措置を講ずる。

2. 事業の概要

(1) 国・県・市の指定文化財の保存・維持管理業務

指定文化財の民間所有・管理者の行う保存・修繕・管理事業に対する補助事業、市が所有・管理する史跡等草刈りその他の維持管理事業、指定文化財案内板の設置事業、市文化財専門員による文化財の巡視(定期・臨時)等による指導・報告等の実施。

(2) 文化財保護指導員の設置

文化財の専門的知識を有する文化財保護指導員を委嘱し、文化財の保護・活用を図る。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 有形・無形指定文化財について、民間所有者等が実施した保存・修繕・管理事業の経費の一部補助や市所有等の史跡草刈り等維持管理業務を実施し、適切に保存・管理ができた。

事業の種類	件数	備考
修繕事業補助	2	国重要文化財大塚家住宅等
防災設備管理事業補助	1	国重要文化財大塚家住宅
無形民俗文化財保存事業補助	3	市無形民俗文化財保存団体
指定文化財草刈り等業務委託	4	国史跡小田城跡等
指定文化財管理業務委託	1	県史跡五角堂

- (2) 巡視により文化財の保存管理状況を把握し、必要に応じて管理者に対する適切な指導や国・県への報告を行い、国・県からの助言・指導を受けることもできた。

報告の種類	件数	備考
定期的巡視及び県への報告	24	国・県指定史跡・建造物、埋蔵文化財
台風被害状況確認報告	1	国重要文化財大塚家住宅

- (3) 文化財保護指導員の設置(1名、勤務場所は出土文化財管理センター)

文化財保護指導員は、各種文化財調査確認指導、出土物・史資料等整理作業の指導、見学者に対する解説等の業務を適切に実施した。

文化財の保存や市民への文化財愛護の啓発にも貢献した。

事業名：市史編纂に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	14	本年	4,790			4,790	4,223	88.2	
			前年	4,800			4,800	4,117	85.8		
			比較	10			10	106			

1. 事業の目的

歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録し、郷土の歴史を正しく後世へ伝えることを目的とする。

2. 事業の概要

- (1) 史料散逸を防ぐための調査・解読等の作業
 保有及び未発見史・資料の整理、解読作業
 史・資料集の刊行(歳入に利すため有償頒布する)
- (2) 収集した史料を利用し、古文書講座を開催する。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 資料整理により、各種問い合わせに対する回答データが揃いつつある。
 『つくば市史史料集 第七編 太田村御用留(中)』を刊行した。
 市町村史類の年間販売数、売上げは、近隣で学会等が無かったため、出張販売が少なくなったこともあり、61冊、215,350円と20年度比で8冊、20,750円の減となった。
- (2) 古文書講座は、前年度同様に前期(7～10月)・後期(11～2月)各8回開催。
 約20人の募集に対し、前期26人(前年22人)、後期25人(同25人)と人数上限の参加があり、依然反応は上々である。

事業名：小田城跡に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
10	05	04	15	本年	92,718		21,500	170	71,388	52,851	74.0	17,702
			前年	38,970		1,698		37,272	36,844	98.9		
			比較	53,748		19,802	170	34,116	16,007		17,702	

1. 事業の目的

中世(鎌倉・室町時代)に常陸南部の中心であった国指定史跡「小田城跡」について、土地を公有化し、発掘調査を行ない、復元整備することで、史跡の保存と活用を積極的に推進する。特に整備は、全国的に珍しい平城形式の中世城郭を体感できるように実施し、平沢官衙遺跡に続き文化財保護の拠点とする。

2. 事業の概要

- (1) 保存整備委員会
 委員会及び専門部会・地域部会の組織において、以下の各事業についての協議等を行う。
 土地公有化 発掘調査 復元整備事業 管理・活用 その他保存整備に必要な事業
- (2) 復元整備
 平成20年度までに、遺構整備ゾーン(城跡中心の本丸跡を主に重点整備を行う地区)の面的本発掘調査、整備基本設計が終了。21年度から整備工事(～27年度予定)及び遺構保全ゾーン(本丸周辺の簡易整備を目指す地区)での確認調査(～26年度予定)を開始。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 復元整備委員会
 委員会及び地域部会会議
 合同で1月26日に開催した。
 専門部会会議
 6月15日、11月2日、1月11日開催。欠席者から別に個別指導も受けた。
 本年度も、とくに専門部会において全国レベルでの指導を受けながら、整備工事での整備手法や、確認調査での遺構や遺物の評価や位置付けにおいて貴重な助言を得ている。

(2) 復元整備

21年度は、本丸の南西外に位置してその出入口部分を守る「馬出」という小区画と本丸内堀跡の流末排水路を施工した。馬出は約50m四方の規模で、周囲の堀や土塁を復元し、西側に木橋、東側に土橋を構築した。排水路工事は素掘り溝を整備するものだったが、発掘調査でその下に未発見の堀跡が埋没していることが判明し、その調査が難航し時間がかかったため、工事は22年度に繰越した。

曲輪 を中心に確認調査を行った。未確認の堀跡や虎口(出入り口部)、池跡状遺構など新しい発見があり、堀・土塁や曲輪(堀・土塁に囲まれた平地)などの形状や変遷が判明した。12月6日に行った発掘調査の現地説明会では、257名の見学者があった。面的本発掘調査から部分的確認調査に移行したため、20年度より58名減少した(周辺の説明会より多い規模は保つ)。

2月20日、つくばカピオで「シンポジウム 復元!!小田城跡」を開催した。市文化財専門員による発掘調査等報告、復元整備委員会専門部会委員による講演や復元討論会に250名以上が参加した。本発掘調査終了、工事開始という節目の年に本事業を広く周知することができた。

事業名：文化財展示施設管理に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行率(%)	次年度繰越額
10	05	04	16	本年	15,529			16,684	15,936	95.5	
				前年	30,763			30,763	29,288	95.2	
				比較	15,234		1,155	14,079	13,352		

1. 事業の目的

下記文化財展示施設3館の施設及び資料、谷田部郷土資料館の資料について、適切な保存維持管理を実施し、活用を図ることで、来訪者に郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める機会を提供。

平成20年度までは3館ごとに事業費を計上していたが、経費の合理化を図るため、21年度より文化財展示施設管理事業として予算を統一した。従って前年度額はそれらを合算した金額である。

2. 事業の概要

(1) 施設や資料の管理・整理、案内清掃業務

桜歴史民俗資料館(旧桜村の歴史・産業・生活文化関係資料の保存、整理、展示)

出土文化財管理センター(市内出土文化財の保存、整理、展示や受贈図書等の整理)

平沢官衙遺跡歴史ひろば(古代の郡役所跡を復元した建物の管理、展示等の活用)

谷田部郷土資料館(旧谷田部町関係の谷田部藩や飯塚伊賀七の資料の展示、管理)

(2) 小中学校・団体等の見学の際に市文化財専門員が解説して各種学習の機会を提供、収蔵資料利用や施設利用申込みに対する条例、規則に基づく許認可事務

3. 事業の成果及び効果

(1) 各施設とも定期的な維持管理・点検業務等委託や修繕を通じて概ね適切な管理ができた。

出土文化財管理センターでは、多人数利用時に不調が生じた排水設備について改修工事を実施し改善した。桜歴史民俗資料館については、改修工事のため展示室内の燻蒸処理作業が実施できなかったが、谷田部郷土資料館については館内の燻蒸処理作業を実施し、収蔵資料の適切な保存管理ができた。

(2) 資料等の貸出し・閲覧の申請、講師派遣依頼及び施設利用許可申請等に適切に対応した。

また、文化財室でも講座や出前授業での教材として収蔵資料を有効に活用した。

平成21年度施設利用許可等申請・職員派遣依頼件数

種	別	件数	備考
講師派遣・解説依頼	市出前講座	30	うち市内小中学校からの依頼14件
文化財展示施設等所蔵資料利用許可申請		35	
文化財展示施設利用許可申請		37	うち行政財産使用許可申請11件

(3) 施設の利用者数は、平沢官衙遺跡歴史ひろばで年々増加しており(20年度に4万人越え、1年で5万人越え)、歴史に触れる機会を提供できた他、観光資源としても有効的に活用された。

ただし、他施設では学校授業での利用が定着したものの人数は少なく、展示内容や周知方法の見直しが必要である。

平成21年度各展示施設の見学等利用者数

施設名称	来館者数(人)	備考
桜歴史民俗資料館	1,034	12月14日から休館した
出土文化財管理センター	318	
平沢官衙遺跡歴史ひろば	52,317	4月・10月は月間1万人を超えた

(4) 平沢官衙遺跡歴史ひろばでは、冬季を除き季節ごとの催事を実施した。催事は屋外実施のため、天候に左右される中、全て実施でき、市民の郷土の歴史認識を深めることで施設の有効な活用が図れた。

「復元建物ライトアップ」(8月・地元平沢区会と連携)では多くの来場者や写真ファンを集めることが、「つくば物語」(10月・市観光物産課と共催)では1万2千人の来場者を得ることができ、それぞれ来場者の満足度も高かったと思われる。

「春の芝焼き」(3月・芝育成助長目的)は曇天であったため開催はできたが、当日の天気予報は朝から雨だったことからか見学者が非常に少なかった(約50人)。

(5) 桜歴史民俗資料館では、桜窓口センター併設工事に伴い12月以降を休館とした点で、サービスが低下したといえる。ただし、再開館後は桜窓口センター来庁者の見学が期待され、入館者の増加が見込まれるので、展示替えなどに取り組んでサービス向上を図ることとした。

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：市民ホール管理に要する経費

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	05	11	本年	56,392		496	55,896	54,386	97.3	
			前年	57,133		1,980	59,113	58,200	98.5		
			比較	741		1,980	496	3,217	3,814		

1. 事業の目的

地域の芸術、文化の向上を目的とし、市民が文化的な生活を営むため、また市民の文化活動の拠点としての施設の整備・管理を行う。

2. 事業の概要

4つの市民ホールにおいて、文化福祉施設として、市民のみならず広域的な文化圏を形成する上での自主的な文化・芸術活動の発表・鑑賞等の場として施設の提供。

3. 事業の成果及び効果

項目	平成21年度	平成20年度	対前年度比	増減内容
利用件数	2,052件	1,999件	2.6%増	53件増
利用人数	124,857人	110,547人	12.9%増	14,310人増

(市民生活部 生涯学習課
市民部 生涯学習課)

事業名：市民ホール施設整備に要する経費

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	05	12	本年	8,190		496	9,474	9,408	99.3	
			前年	2,574			2,574	2,516	97.7		
			比較	5,616		788	496	6,900	6,892		

1. 事業の目的

4カ所の市民ホールの適切な施設整備を行い、多様な市民活動の拠点として安心・安全な場を提供し、生活文化の振興と健康増進に寄与する。

2. 事業の概要

(1) 市民ホールつくばね非常用放送設備更新工事

(2) 市民ホールくさざき天井補強工事

3. 事業の成果及び効果

市民ホールの施設環境の充実が図られた。

- (1) 市民ホールつくばね非常用放送設備更新工事 3,308千円
- (2) 市民ホールくさざき天井補強工事 5,376千円

事業名：各種委員に要する経費

(教育委員会事務局 市民部 スポーツ振興課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	11	本年	2,552				2,552	2,078	81.4	
				前年	2,835				2,835	2,031	71.6	
				比較	283				283	47		

1. 事業の目的

市民に広くスポーツについての理解と関心を深め、積極的にスポーツをする意欲を高揚するため、生涯スポーツの普及活動及びスポーツの指導、並びに大会開催の助言等を行う。

2. 事業の概要

(1) スポーツ振興審議会委員

スポーツ振興事業等について、審議会委員の意見等を求め、各種施策への反映。

(2) 体育指導委員

市において開催するスポーツイベント等の企画に対する助言及び補助員としての活動。つくば市体育協会スポーツ振興会活動の助言指導。茨城県生涯スポーツ指導員の資格等の取得活動。ニュースポーツ等の技術の習得及び普及活動。

3. 事業の成果及び効果

(1) スポーツ振興審議会委員

平成21年度は、7月に開催し、実施事業の審議。特に、オープン前のつくばウェルネスパークについて概要を詳しく説明した。

(2) 体育指導委員

ウォークラリー大会・つくばマラソン・つくば健康マラソンに役員として協力していただき、大会をスムーズに運営。

市で年1回研修を主催。県、関東大会、女性体指等の研修会にも参加している。

事業名：体育振興事業に要する経費

(教育委員会事務局 市民部 スポーツ振興課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	12	本年	20,087				20,087	19,533	97.2	
				前年	20,992				20,992	20,632	98.3	
				比較	905				905	1,099		

1. 事業の目的

市民がよりスポーツに親しめるよう年間スポーツ行事の広報や学校体育施設の開放等を行うことで、スポーツをより身近なものとする。また、つくば市体育協会と共にスポーツの振興を図っていく。

2. 事業の概要

(1) スポーツ事業の広報

広報紙(4月1日号)により、本市において開催しているスポーツ教室・スポーツイベント及び市内の体育施設の位置を知らせる。

(2) 学校体育施設開放事業

生涯スポーツの振興を図るため、学校教育に支障のない範囲において、市民に開放している。

(3) つくば市体育協会補助

スポーツ振興について市だけでは、できない事が多いので、体育協会と協力して各種事業を実施している。年間19,000千円の補助。

3. 事業の成果及び効果

学校開放については、小中学校47校422団体8,440人、高校3校9団体134人登録、ほとんど空きがない状態になっている。

体育協会については、専門部18部門、スポーツ振興会6支部、スポーツ少年団13部門、約10,000人が加盟。年間を通して各種大会等を開催。

事業名：スポーツ教室開催に要する経費

(教育委員会事務局 市民部 スポーツ振興課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	13	本年	11,073		570		10,503	8,244	78.5	
				前年	11,372		747		10,625	8,676	81.7	
				比較	299		177		122	432		

1. 事業の目的

スポーツに対する関心及び要望が高まる中で、多くの市民に応えるべく、軽スポーツから競技スポーツまでを開催している。生涯に渡り、健康増進や多くの方とスポーツを通して交流ができる環境を提供している。

2. 事業の概要

開催しているスポーツ教室

- (1) ソフトエアロビ&チューブトレーニング
- (2) オリジナルヨガ
- (3) ゴルフ
- (4) 幼児&学童水泳(夏休み中)
- (5) バドミントン
- (6) 硬式テニス
- (7) チビッコスキー(群馬県2泊3日)

各教室とも初心者及び中級者の方(在住・在勤者)を対象に基本を中心に指導。

また、終了後、継続的に活動ができるよう助言・指導。

指導者及び補助員は、筑波大学、つくば市体育協会専門部等に委託

3. 事業の成果及び効果

スポーツ教室名	開催日	参加者数
ソフトエアロビ&チューブトレーニング	5月22日～7月3日	延210名
オリジナルヨガ	9月10日～10月22日	延301名
ゴルフ	6月14日～8月2日	延240名
水泳	7月20日～7月25日	延360名
バドミントン	10月6日～24日	延90名
硬式テニス	10月17日～11月14日	延190名
チビッコスキー	3月27日～29日	166名

事業名：スポーツ大会開催に要する経費

(教育委員会事務局 市民部 スポーツ振興課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	14	本年	15,844		3,950		19,794	19,122	96.6	
				前年	15,768		225		15,993	15,463	96.7	
				比較	76		3,725		3,801	3,659		

1. 事業の目的

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツの楽しみや健康の増進、さらには技術の向上並びに参加者の交流の場を提供する。

2. 事業の概要

- (1)近隣中学校球技大会(バレーボール・軟式野球・ソフトテニス・サッカー・バスケットボール),
- (2)高等学校硬式野球大会(市内3校によるリーグ戦),
- (3)ソフトミニバレーボール大会(男子の部・女子の部・混合の部),
- (4)健康マラソン大会(小学生から高齢者),
- (5)茨城オープンつくば市長杯テニス大会(プロ及び県内トップ選手),
- (6)荒川区とのスポーツ交流事業(サッカー, 少年野球),
- (7)U15・U18つくば市長杯サッカー大会,
- (8)つくばマラソン大会(つくば市民ランナー及び全国の市民ランナー),
- (9)つくば学園ウォークラリー大会(一般市民),
- (10)全日本大学女子選抜駅伝競走に協力。

3. 事業の成果及び効果

- (1) 近隣中学校球技大会(バレーボール52チーム・野球28チーム・ソフトテニス48チーム・サッカー24チーム・バスケットボール48チームが参加)
- (2) 高等学校野球大会(5月30日開催。市内3校によりリーグ戦)
- (3) ソフトミニバレーボール大会(2月13日開催。男子4チーム・女子4チーム・混合19チームが参加)
- (4) 健康マラソン大会(2月6日開催。小学生・中学生・一般高校・シニア・ファミリー合計1,486名が参加)
- (5) 茨城オープンつくば市長杯テニス大会(6月27日～7月5日開催)
- (6) 荒川区とのスポーツ交流事業(サッカー9月21日女子・中学校男子の試合, 野球教室9月26日開催)
- (7) U15・U18つくば市長杯サッカー大会(4月3日4日開催, U18・8チーム, U15・15チームが参加)
- (8) つくばマラソン大会(11月22日開催。フル10,169名・10キロ3,034名, 計13,203名が参加)
- (9) つくば学園ウォークラリー大会(5月16日桜総合体育館, 586名が参加)
- (10) 全日本大学女子選抜駅伝競走(12月23日 つくば市地内 出場20チーム, エントリー-191名, 協力-走路員等274名)

事業名：学校保健に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	15	本年	23,791		1,401		22,390	22,015	98.3	
				前年	23,625		775		22,850	22,415	98.1	
				比較	166		626		460	400		

1. 事業の目的

学校保健安全法に基づく検診を実施することにより、教職員・児童生徒等の健康の保持増進を図る。

2. 事業の概要

- (1) 学校保健法に基づく各種検診の実施
- (2) 学校保健関係消耗品の購入

3. 事業の成果及び効果

教職員・児童生徒の健康の保持増進が図られ、学校教育の円滑な実施に資することができた。

事業名： 体育施設維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	02	11	本年	168,292		5,000	58	163,350	142,946	87.5	14,805
				前年	128,000			2,992	130,992	130,708	99.8	
				比較	40,292		5,000	2,934	32,358	12,238		14,805

1. 事業の目的

利用者の利便性を確保し、利用促進に努める。

2. 事業の概要

市内19ヶ所の体育施設(グラウンド6・テニスコート2・体育館9・柔剣道場)の維持管理

3. 事業の成果及び効果

施設名	利用 者数	利用 件数	前年度 利用者数	施設名	利用 者数	利用 件数	前年度 利用者数
吉沼野球場	6,895	190	8,386	筑波総合体育館	32,766	1,395	37,579
谷田部勤労者体育 センター	12,564	456	13,201	桜総合体育館	84,457	5,931	72,203
豊里多目的広場	20,159	448	22,011	谷田部総合体育 館	76,574	11,220	72,427
高崎サッカー場	10,152	319	12,238	大穂体育館	17,733	1,192	18,530
高見原ソフトボール 場	5,889	234	6,326	吉沼体育館	24,561	978	23,241
フットボールスタジ アムつくば	32,178	907	0	東光台体育館	16,701	1,315	16,654
グラウンド計	87,837	2,554	62,162	豊里勤労者体育 センター	24,713	1,118	23,275
谷田部テニスコート	25,168	3,899	24,814	体育館計	277,505	23,149	263,909
豊里テニスコート	17,656	1,100	16,924	豊里柔剣道場	14,847	743	17,272
テニスコート計	42,824	4,999	41,738	総合計	423,013	31,445	385,081

事業名： 体育施設整備事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	02	12	本年	1,593,353	27,419	113,441		1,734,213	1,605,130	92.6	55,304
				前年	1,332,861	107,056	368,424	2,992	1,068,501	1,039,659	97.3	27,419
				比較	260,492	79,637	481,865	2,992	665,712	565,471		27,885

1. 事業の目的

健康づくり拠点整備事業として、クリーンセンターの余熱を有効利用した健康増進施設(プール・温浴施設)並びにサッカー場・多目的フィールド等を整備し、市民の健康増進に寄与する。

2. 事業の概要

平成19年度～平成21年度の3ヶ年の継続事業

健康増進施設 プール・浴室・トレーニングルーム
サッカー場 クラブハウス・夜間照明
多目的フィールド グランドゴルフ・サッカー・ラグビー

3. 事業の成果及び効果

健康増進施設 : 平成22年3月完成

サッカー場 : 平成21年3月完成

多目的フィールド: 平成22年3月完成

(1) 3ヶ年の継続事業が終了し、平成22年5月30日より健康増進施設がオープンした。

(2) 多目的フィールド等は芝生の養生期間があるため、平成22年9月より供用開始を予定している。

今後は指定管理者と綿密な調整を図り、健康づくりの拠点施設として市民のための運営を遂行する。

事業名：給食センター運営審議会に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	11	本年	344		492		836	364	43.5	
				前年	224				224	108	48.2	
				比較	120		492		612	256		

1. 事業の目的

学校給食の適切かつ円滑な運営を図り、教育委員会の諮問に応じ、学校給食の運営に関する重要事項について審議・助言する。

2. 事業の概要

委員22名(市議会議員5名、学校長4名、学校医1名、学校薬剤師1名、学校歯科医師1名、保健所長、保護者代表5名、学識経験者4名)で組織し、学校給食の運営に関する重要事項及び学校給食センター整備基本計画(案)について、審議・助言を得る運営審議会の開催。

3. 事業の成果及び効果

学校給食センター整備基本計画(案)の作成に関し、貴重な助言をいただいた。

運営委員会開催数： 年3回

事業名：給食センター管理運営に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	12	本年	1,318,189	1,869	1,800		1,318,258	1,306,471	99.1	
				前年	1,246,529		24,809		1,271,338	1,251,483	98.4	1,869
				比較	71,660	1,869	26,609		46,920	54,988		1,869

1. 事業の目的

学校給食施設の適切な管理運営を実施し、成長段階にある児童生徒等に栄養バランスの取れた献立と安全安心な学校給食を提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。

2. 事業の概要

学校給食施設の適切な管理運営を実施し、成長段階にある児童生徒等に栄養バランスの取れた献立と安全安心な学校給食の提供

3. 事業の成果及び効果

栄養バランスの取れた内容豊かな学校給食を提供し、児童生徒の望ましい食習慣の形成や好ましい人間関係の育成を図ることができた。

学校給食センター6施設において、幼稚園17園・園児 1,310名
小学校37校・児童 12,778名
中学校15校・生徒 5,856名(並木中等教育学校含む)
教職員等 1,546名
合計 21,490名

学校給食を、幼稚園は年間164回、小学校・中学校では、年間191回実施。

事業名：給食配送業務に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	13	本年	113,302				113,302	113,300	100.0	
				前年	133,309		20,008		113,301	113,300	100.0	
				比較	20,007		20,008		1			

1. 事業の目的

学校給食の充実と安全な給食の提供のため、衛生管理の徹底を図りながら、民間活力を活用し、より安全な給食配送を実施する。

2. 事業の概要

安全で安定した学校給食の配送業務

3. 事業の成果及び効果

安全で安定した学校給食の配送業務を実施することが出来た。

	配送台数(2t車)	配送施設数	給食対象人員
大穂学校給食センター	2台	5施設	1,741人
豊里学校給食センター	2台	6施設	1,832人
谷田部学校給食センター	5台	17施設	6,039人
桜学校給食センター	5台	17施設	6,173人
筑波学校給食センター	4台	13施設	2,336人
荃崎学校給食センター	3台	11施設	3,369人
合計	21台	69施設	21,490人

事業名：給食センター施設整備事業に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	14	本年	56,566		17,923		38,643	37,062	95.9	
				前年	55,583		2,746		52,837	52,810	99.9	
				比較	983		15,177		14,194	15,748		

1. 事業の目的

学校給食の円滑かつ安定した提供を行うために、老朽化した設備・備品の修繕等を実施する。

2. 事業の概要

- (1) 豊里学校給食センター調理室床修繕工事
- (2) 桜学校給食センター調理室床修繕工事
- (3) 荃崎学校給食センター自動ドア修繕工事
- (4) 桜学校給食センター食器洗浄機購入
- (5) 各給食センターの設備・備品の修繕や備品購入

3. 事業の成果及び効果

適正な給食施設の確保に努め、より安全で衛生的な学校給食の提供に努めた。

事業名：災害復旧に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
11	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								
<p>1. 事業の目的 台風、豪雨などの異常気象現象により、道路、橋梁等の公共土木施設が被災した場合に、早急に被災施設を復旧させるために執行される経費。</p> <p>2. 事業の概要 災害が発生しなかったため、執行しなかった。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

事業名：元金の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
12	01	01	11	本年	6,071,664				6,071,664	6,071,661	100.0	
				前年	6,401,282		173,494		6,574,776	6,574,772	100.0	
				比較	329,618		173,494		503,112	503,111		
<p>1. 事業の目的 道路、義務教育施設、消防施設の整備などの社会資本の整備に充てるために借り入れた建設地方債及び臨時財政対策債などの特例債として発行した市債の元金を償還する。</p> <p>2. 事業の概要 市債発行時の約定に従い、平成21年度の所要額を全額償還する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成21年度中に償還した元金の総額は、臨時地方道整備事業債及び一般廃棄物処理施設整備事業債のうち平成20年度をもって償還が終了した市債があり、前年度に比べ503,111千円ほど減少した。 また、平成21年度末の市債残高は60,141,469千円(前年度末市債残高56,537,222千円)で、対前年度比で6.4%、3,604,247千円増加した。 増加の主な理由は、新庁舎建設事業及び健康づくり拠点整備事業といった大型継続費事業の最終年度であることから、前年度より約47億円増の市債の発行が必要となったため。</p>												

事業名：利子の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
12	01	02	11	本年	1,005,041				1,005,041	947,914	94.3	
				前年	1,104,227		8,661		1,095,566	1,041,434	95.1	
				比較	99,186		8,661		90,525	93,520		
<p>1. 事業の目的 道路、義務教育施設、消防施設の整備などの社会資本の整備に充てるために借り入れた建設地方債及び臨時財政対策債などの特例債として発行した市債の利子を支払う。</p> <p>2. 事業の概要 道路、義務教育施設、消防施設の整備などの社会資本の整備に充てるために借り入れた建設地方債及び臨時財政対策債などの特例債として発行した市債の利子を支払う。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成21年度中に償還した利子の総額は、昭和58年度から平成5年度において、高金利発行した市債が、償還の終了時期を迎えていることに加え、近年は1%台という低金利で市債を発行していることにより、前年度に比べ93,520千円ほど減少した。なお、平成21年度末の利子残高は、6,197,337千円。</p>												

事業名：地方債の登録等に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
12	01	03	11	本年	10		10					
				前年	30		30					
				比較	20		20					
<p>1. 事業の目的 市債の登録等に必要に応じて、登録手数料、公債取扱手数料を支払う。</p> <p>2. 事業の概要 手数料等が不要であったため、執行しなかった。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

事業名：土地取得に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								
<p>1. 事業の目的 普通財産(土地の購入)の取得費用に要する経費。</p> <p>2. 事業の概要 普通財産の購入がなかったため、執行しなかった。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

事業名：財政調整基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	01	11	本年	5,907		80,237	148	86,292	86,292	100.0	
				前年	8,373		728,412		736,785	736,785	100.0	
				比較	2,466		648,175	148	650,493	650,493		
<p>1. 事業の目的 災害により生じた経費、市債の繰上償還に要する経費又は緊急に実施することが必要となった大規模な建設事業の経費その他やむを得ない理由により生じた経費の財源とするため、「つくば市財政調整基金条例」に基づき設置された基金への積立金。</p> <p>2. 事業の概要 財政調整基金への積立て</p> <p>3. 事業の成果及び効果 政策的積立79,861千円と預金利子6,431千円の積立てをした。 平成21年度は基金を162,765千円取崩し、補正予算の財源として充当した。 平成21年度末基金残高は4,011,683千円となり、財政運営の安定化に努めた。</p>												

事業名：減債基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	02	11	本年	1,284		486		1,770	1,770	100.0	
				前年	2,659		653	45	3,357	3,357	100.0	
				比較	1,375		167	45	1,587	1,587		

1. 事業の目的

市債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、「つくば市減債基金条例」に基づき設置された基金への積立金。

2. 事業の概要

減債基金への積立て

3. 事業の成果及び効果

預金利子1,770千円の積立てをした。

平成21年度末基金残高は858,226千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：土地開発基金繰出金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	03	11	本年	269		49		318	318	100.0	
				前年	447		105		552	552	100.0	
				比較	178		56		234	234		

1. 事業の目的

公用若しくは公共用に供する土地、または公共の利益のために取得する必要がある土地を予め取得することにより、事業の円滑な執行を図るため、「つくば市土地開発基金条例」に基づき設置された基金への繰出金。

2. 事業の概要

土地開発基金への積立て

3. 事業の成果及び効果

預金利子318千円の積立てをした。

平成21年度末基金残高は179,680千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：奨学資金給付基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	04	11	本年	22				22	22	100.0	
				前年	42		9		51	51	100.0	
				比較	20		9		29	29		

1. 事業の目的

高等学校に在籍する者で経済的理由により就学が困難であると認められるものに奨学金を給付するため、「つくば市奨学資金基金条例」に基づき設置された基金への積立金。

2. 事業の概要

奨学資金給付基金への積立て

3. 事業の成果及び効果

預金利子22千円の積立てをした。

平成21年度は基金を2,160千円取り崩し、奨学資金給付事業の財源として充当した。

平成21年度末基金残高は14,042千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：公共施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	05	11	本年	2,003		57		1,946	1,946	100.0	
				前年	1,423		500,305		501,728	501,728	100.0	
				比較	580		500,362		499,782	499,782		

1. 事業の目的
公共施設整備資金に充てるため、「つくば市公共施設整備基金条例」に基づき設置された基金への積立金。
2. 事業の概要
公共施設整備基金への積立て
3. 事業の成果及び効果
預金利子1,946千円の積立てをした。
平成21年度末基金残高は1,337,066千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：国際交流基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	06	11	本年	3		1		4	4	100.0	
				前年	5				5	5	100.0	
				比較	2		1		1	1		

1. 事業の目的
国際交流事業に要する経費の財源に充てるため、「つくば市国際交流基金条例」に基づき設置された基金への積立金。
2. 事業の概要
国際交流基金への積立て
3. 事業の成果及び効果
預金利子4千円の積立てをした。
平成21年度末基金残高は1,824千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：つくばエクスプレス対策基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	07	11	本年	95		48		143	143	100.0	
				前年	158		32		190	190	100.0	
				比較	63		16		47	47		

1. 事業の目的
つくばエクスプレスの建設促進及びこれに係る地域整備に要する経費の財源に充てるため、「つくば市つくばエクスプレス対策基金条例」に基づき設置された基金への積立金。
2. 事業の概要
つくばエクスプレス対策基金への積立て
3. 事業の成果及び効果
預金利子143千円の積立てをした。
平成21年度末基金残高は63,270千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：新庁舎建設基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	08	11	本年	1,896		123		2,019	2,019	100.0	
				前年	3,344		991		4,335	4,335	100.0	
				比較	1,448		868		2,316	2,316		

1. 事業の目的

新庁舎建設に必要な財源を確保するための基金への積立金。

2. 事業の概要

新庁舎建設基金への積立て

3. 事業の成果及び効果

預金利子2,019千円の積立てをした。

基金残額1,254,486千円を全額取り崩し、最終年度の新庁舎建設事業の財源として充当したことで、財政運営への影響を抑えることができた。

事業名：福祉振興基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	09	11	本年	423		5		428	428	100.0	
				前年	701		217		918	918	100.0	
				比較	278		212		490	490		

1. 事業の目的

福祉事業を推進し、快適な生活環境の形成を図るため、「つくば市福祉振興基金条例」に基づき設置された基金への積立金。

2. 事業の概要

福祉振興基金への積立て

3. 事業の成果及び効果

預金利子428千円の積立てをした。

平成21年度末基金残高は282,052千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：ふるさと創生基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	10	11	本年	4		1		5	5	100.0	
				前年	7				7	7	100.0	
				比較	3		1		2	2		

1. 事業の目的

つくば市が自ら考え自ら実践する地域づくり事業に要する経費の財源に充てるため、「つくば市ふるさと創生基金条例」に基づき設置された基金への積立金。

2. 事業の概要

ふるさと創生基金への積立て

3. 事業の成果及び効果

預金利子5千円の積立てをした。

平成21年度末基金残高は2,529千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：廃棄物管路輸送施設事業積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	11	11	本年	107		18	19	144	144	100.0	
				前年	399		272		671	671	100.0	
				比較	292		254	19	527	527		
<p>1. 事業の目的 廃棄物管路輸送施設事業に要する経費の財源に充てるため、「つくば市廃棄物管路輸送施設事業基金条例」に基づき設置された基金への積立金。</p> <p>2. 事業の概要 つくば市廃棄物管路輸送施設事業基金への積立て</p> <p>3. 事業の成果及び効果 預金利子144千円の積立てをした。 平成21年度は基金から51,569千円を廃棄物管路輸送施設事業の財源として充当した。 平成21年度末基金残高は32,633千円となり、財政運営の安定化に努めた。</p>												

事業名：南筑波土地改良区対策基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	12	11	本年	17		1		16	16	100.0	
				前年	33		7		40	40	100.0	
				比較	16		8		24	24		
<p>1. 事業の目的 南筑波土地改良区の排水路管理に資するため、「つくば市南筑波土地改良区対策基金条例」に基づき設置された基金への積立金。</p> <p>2. 事業の概要 南筑波土地改良区対策基金への積立て</p> <p>3. 事業の成果及び効果 預金利子16千円の積立てをした。 平成21年度は基金から1,800千円を南筑波土地改良区対策事業の財源として充当した。 平成21年度末基金残高は9,446千円となり、財政運営の安定化に努めた。</p>												

事業名：まちづくり事業基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	13	11	本年	1,091		2,553		3,644	3,644	100.0	
				前年	1,809		1,837		3,646	3,646	100.0	
				比較	718		716		2	2		
<p>1. 事業の目的 合併まちづくり計画に定められた事業に要する経費の財源に充てるため、「つくば市まちづくり事業基金条例」に基づき設置された基金への積立金。</p> <p>2. 事業の概要 まちづくり事業基金への積立て</p> <p>3. 事業の成果及び効果 預金利子3,644千円の積立てをした。 平成21年度末基金残高は732,321千円となり、財政運営の安定化に努めた。</p>												

事業名：学校教育施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	14	11	本年	1,663		461		1,202	1,202	100.0	
				前年	28		501,793		501,821	501,821	100.0	
				比較	1,635		502,254		500,619	500,619		

1. 事業の目的
 学校教育施設の整備の財源に充てるため、「つくば市学校教育施設整備基金条例」に基づき設置された基金への積立金。
2. 事業の概要
 学校教育施設整備基金への積立て
3. 事業の成果及び効果
 預金利子1,202千円の積立てをした。
 平成21年度は基金166,409千円を学校教育施設整備事業の財源として充当した。
 平成21年度末基金残高は945,110千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金

市長公室 政策審議室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	15	11	本年	2		5,914	2,600	8,516	8,516	100.0	
				前年			225	1,000	1,225	1,225	100.0	
				比較	2		5,689	1,600	7,291	7,291		

1. 事業の目的
 つくば市に対する寄附金を適切に管理・執行するために基金の積立てを行う。
2. 事業の概要
 アイラブつくばまちづくり寄附基金への積立て
3. 事業の成果及び効果
 アイラブつくばまちづくり寄附のあった8,515千円の積立てを行った。
 平成21年度末基金残高は9,741千円

事業名：環境保全基金積立金

(環境保全部 リサイクル推進課)
 環境生活部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	16	11	本年	2		75		77	76	98.7	
				前年			1,000		1,000	1,000	100.0	
				比較	2		925		923	924		

1. 事業の目的
 環境保全活動の推進に要する経費の財源に充てるため、「つくば市環境保全基金条例」に基づき設置された基金への積立金である。
2. 事業の概要
 アイラブつくばまちづくりキャンペーンにより、「アイラブつくばまちづくり寄附基金」に寄附のあったもの
 のうち、「環境保全及び地球温暖化対策に関する事業」への指定寄附金の積立て。
3. 事業の成果及び効果
 指定寄附金75千円、基金利子1千円の積立てを行った。
 平成21年度末基金残高は1,076千円

事業名：地域雇用創出推進基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年 繰越	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
13	02	17	11	本年			312,368		312,368	312,368	100.0		
				前年									
				比較			312,368		312,368	312,368			

1. 事業の目的

地方交付税法の改正に伴い、平成21年度、22年度に限り基準財政需要額に創設された「地域雇用創出推進費」の算入額を、地域における雇用の創設を推進するための事業の財源に充てるため、本年度制定した「つくば市地域雇用創出推進基金条例」に基づき設置した基金への積立金。

2. 事業の概要

普通交付税の基準財政需要額に算定された地域雇用創出推進費を基金に積立て。

3. 事業の成果及び効果

地域雇用創出推進費として普通交付税の基準財政需要額に算定された312,368千円の積立てをした。平成21年度末基金残高は、312,368千円となり、財政運営の安定化に努めた。

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
14	01	01	11	本年	50,000			19,664	30,336			
				前年	50,000			26,654	23,346			
				比較				6,990	6,990			

1. 事業の目的

当初予測していない予算外の支出が生じた時や、歳出予算計上額が不足したときに充用するための経費。

2. 事業の概要

総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、基金積立金へ充用。

3. 事業の成果及び効果

予備費の充当により、充用先の事業が遂行できた。

【充用額】 総務費： 9,677,192円
 民生費： 6,467,881円
 衛生費： 694,850円
 農林水産業費： 58,000円
 基金積立金： 2,766,564円
 総 額： 19,664,487円